



アクサ生命

健康経営優良法人2021 インタビュー

Voice Report



Voice Report 800号記念号発刊によせて



経済が成熟期を迎え、「人生100年時代」が身近なものになりつつある今日、こうした時代に相応しい働き方・経営の在り方を模索することは、世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本が取り組むべき重要な課題です。そのためには、まず人生の前半である「生産年齢」の段階から、経営者や従業員が健康管理に取り組みやすい環境を整える「健康経営」を推進することが重要です。

健康経営とは、「企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること」であり、人材(人財)投資の一つといえます。実際に健康経営に取り組むことで、従業員の健康状態が改善だけでなく、労働生産性や企業イメージの向上によって企業業績に良い影響をもたらし、ひいては優秀な人材の確保に繋がるといった好循環を生み出します。かつて対立概念であった「健康」と「経営」は、戦略的に融合することで新たな企業文化を形成しつつあるのです。

健康経営を推し進めるうえでカギとなるのは、何と言っても「経営トップの認識」です。経営者が、「従業員の健康は経営に直結する重要な課題である」と認識し、具体的な取り組みに繋がっていくことが重要です。しかしながら、健康経営は企業経営にとって様々なプラスの効果をもたらしますが、その投資リターンは中長期的なものであり、経営者自身がその投資対効果を実感することは容易ではありません。

このため政府においては、2015年に東京証券取引所と連携して「健康経営銘柄」の認定を開始し、2017年から日本健康会議との連携により「健康経営優良法人認定制度」をスタートさせました。私が名付けた「ホワイト500」は今や優良企業のシンボルとなり、今年からは、中小規模法人を対象とした「ブライト500」も始まりました。コロナ禍にも拘らずその取り組みは拡大の一途を辿っており喜ばしい限りです。

これまでアクサ生命さんが発行してこられた、健康経営優良法人へのインタビューである「Voice Report」は、健康経営に取り組む優良企業の取り組みや思いが的確にまとめられており、認定企業のイメージアップに繋がるばかりでなく、今後健康経営に取り組む企業や、更なる高みを目指す企業にとっての貴重なガイドブックになっています。

この度800号記念号が発刊されますことは、健康経営推進のための大きな力になっており、長年健康経営に携わってきた者として心から感謝申し上げます。今後、健康経営は、そこで働く人々のWell-being^{ウェルビーイング}をも視野に入れつつ更なる進化を遂げて参ります。こうした取り組みにより、皆様自身が素晴らしい生き方・働き方を実現されますとともに、世界が羨む健康長寿社会の実現に繋がりますことを心より祈念しております。

社会政策課題研究所 所長

江崎 禎英

1989年通商産業省入省、ヘルスケア産業課長として「健康経営」を推進し、2017年には健康経営優良法人認定制度の創設に携わる。2020年11月に内閣府大臣官房審議官を退官し、翌年1月の岐阜県知事選挙に立候補。トップに7万票差に迫るも惜敗。研究所を設立し政策課題に取り組む。著書「社会は変えられる」国書刊行会
現在、岐阜県在住。
岐阜大学客員教授
前 内閣府大臣官房審議官(科学技術・イノベーション担当)
元 経済産業省商務サービスグループ政策統括調整官 兼 厚生労働省医政局統括調整官 兼 内閣官房健康・医療戦略室次長



今回Voice Report800号記念号を発刊するにあたり、多くの企業の皆さまに、「コロナ禍にあっても様々な創意工夫をされて健康経営を実践されている事例」をご紹介いただきましたこと、心より敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

健康経営という考え方が普及する以前、「『職場』とは仕事をする場所」、「『健康』とは、余暇やレクリエーションを通じて就業時間外に取り戻すもの」という考え方が一般的でした。

そのため、仕事とは健康を害することが止むを得ないという前提のもと、「生活の糧を稼ぐ手段」という意味付けを超えることが難しかったのかもしれません。

一方で、もし、この考え方が続く中で、生産年齢人口が減少していく「人生100年時代」においてより長く働くのならば、それは、この苦役の時間が長く続くことであり、人生の不幸な時間を延ばすだけで、未来に明るい展望を抱くことが難しくなります。

東京商工会議所の就職活動中の学生へのアンケートによると、学生が企業に求めている視点として、「従業員の健康や働き方に配慮していること」や「福利厚生が充実していること」に加えて、「企業理念・使命に共感できること」が、企業選びの大切な理由の一つとして取り上げられています。つまり、学生の皆さんは、仕事を単なる生活の糧としてだけでなく、社会課題の解決に向けた高い公益を目指す目的の下で働きたいという意思表示をしています。

また、世界的な潮流である企業の存在意義「パーパス」を目指す経営の取り組みは、社是や理念のさらに上位概念として、「なぜ私たちの会社が社会に存在する必要があるのか？」という問いを投げかけています。

健康経営の考え方は、「企業理念を前提として、従業員への健康投資を通じて、業績拡大に繋がっていく」ことであり、そのために、「社員一人ひとりが、他者や地域、社会への貢献をもって、健康で生き生きと働く」というものです。つまり、本来の仕事への意味付けを目標にしており、学生や社会が求めている本質を充足する取り組みと言っても過言ではありません。

この健康経営に、より高い実効性を持たせるために、私たちアクサ生命では、人間が本来持っている公益に資する考え方を単なる職業人としての心構えだけでなく、個人としての生き方にも反映させていきたいと考えています。そして、従来の「人生の計画をつくる『ライフプランニング』」ではなく、「人生理念、人生の目的、人生ビジョンに基づいて人生の計画を建てることを『ライフマネジメントコンサルティング』と名付け、「人生を経営する」サポートをしていきたいと考えております。

「社員の皆さま一人ひとりが『人生を経営する』。それによって、社員の皆さま一人ひとりが、未来を明るく展望し、健康に気を付け、仕事や家庭生活を充実させていく。」

貴社の益々のご発展を心よりご祈念申し上げますとともに、そこに貢献できますよう、今後とも働く皆さまとそのご家族の^{ウェルビーイング}Well-being(幸せ)を目指して、微力ではございますが努力を積み重ねてまいります。

アクサ生命保険株式会社

代表取締役副社長兼チーフディストリビューションオフィサー

幸本 智彦

ホワイト500 P.

608	株式会社明電舎	静岡県	三島営業所	10
609	日東精工株式会社	京都府	福知山営業所	11

大規模法人 P.

610	大崎電気工業株式会社	東京都	横浜FA支社	12
611	日本駐車場開発株式会社	大阪府	大阪営業所	13
612	株式会社正興電機製作所	福岡県	福岡営業所	14
613	株式会社オーイーシー	大分県	大分営業所	15

ブライト500 P.

614	株式会社介援隊	宮城県	気仙沼営業所	18
615	株式会社和賀組	秋田県	横手営業所	19
616	有限会社備研	山形県	鶴岡営業所	20
617	南双サービス株式会社	福島県	いわき中央営業所	21
618	東陽電気工事株式会社	福島県	白河営業所	22
619	明和コンピュータシステム株式会社	栃木県	小山営業所	23
620	有限会社関東実行センター	栃木県	小山営業所	24
621	向洋電機土木株式会社	神奈川県	横浜営業所	25
622	伊米ヶ崎建設株式会社	新潟県	長岡営業所	26
623	株式会社協和精工	長野県	飯田営業所	27
624	株式会社西田製作所	京都府	京都営業所	28
625	株式会社法研関西	大阪府	大阪営業所	29
626	梅南鋼材株式会社	大阪府	大阪営業所	30
627	株式会社中田製作所	大阪府	大阪東営業所	31
628	株式会社中農製作所	大阪府	大阪東営業所	32
629	有限会社もものは	兵庫県	姫路営業所	33

中小規模法人

東北・北海道 P.

630	太平電気株式会社	北海道	苫小牧営業所	34
631	有限会社アルフ	北海道	苫小牧営業所	35
632	有限会社エイアンドワイヨシダ通信工業	北海道	苫小牧営業所	36
633	有限会社木村宅建サービス	北海道	苫小牧営業所	37
634	株式会社メイセイ	北海道	苫小牧営業所	38
635	東海建設株式会社	北海道	苫小牧営業所	39
636	東海商事株式会社	北海道	苫小牧営業所	40
637	栄冠運輸株式会社	北海道	旭川営業所	41
638	宮武電機株式会社	北海道	旭川営業所	42
639	株式会社カーオート・ジーエム	北海道	帯広営業所	43
640	株式会社野呂建設	青森県	五所川原営業所	44
641	株式会社タカヤ	岩手県	盛岡営業所	45
642	株式会社山田電設	岩手県	盛岡営業所	46
643	株式会社ユートー	岩手県	盛岡営業所	47
644	株式会社伊藤組	岩手県	花巻営業所	48
645	株式会社建築のフジサワ	岩手県	大船渡営業所	49
646	岩手県南運輸株式会社	岩手県	大船渡営業所	50
647	有限会社すがた	岩手県	大船渡営業所	51
648	株式会社株本	宮城県	古川営業所	52
649	晃永運輸株式会社	山形県	天童営業所	53
650	株式会社本多建設	山形県	米沢営業所	54
651	株式会社エヌティー	福島県	いわき中央営業所	55
652	コジマ建設工業株式会社	福島県	会津若松営業所	56
653	株式会社青田電気商会	福島県	相双営業所	57
654	株式会社環エスアル工業	福島県	須賀川営業所	58

関東 P.

655	株式会社伊藤鋳造鉄工所	茨城県	水戸営業所	59
656	株式会社大曾根建設	茨城県	水戸営業所	60
657	加藤鉄工株式会社	群馬県	桐生営業所	61
658	医療法人春香会	群馬県	桐生営業所	62
659	株式会社ビルメン	埼玉県	首都圏第一FA支社	63
660	株式会社清五郎運送	千葉県	船橋営業所	64
661	モデン工業株式会社	千葉県	千葉営業所	65
662	東洋ケミカルエンジニアリング株式会社	千葉県	千葉営業所	66
663	千葉倉庫株式会社	千葉県	千葉営業所	67
664	茂呂運送株式会社	東京都	首都圏第五FA支社	68
665	多摩中央葬祭株式会社	東京都	多摩営業支社	69
666	株式会社ウォールナット	東京都	多摩営業支社	70
667	株式会社イノウエ	神奈川県	相模原営業所	71
668	株式会社テクニカルスチール	山梨県	山梨北営業所	72
669	株式会社中村建設	山梨県	山梨北営業所	73
670	株式会社たけまる	山梨県	山梨北営業所	74
671	株式会社清里給油所	山梨県	山梨北営業所	75
672	四谷建設株式会社	山梨県	山梨北営業所	76
673	マルマツビューロー株式会社	静岡県	静岡営業所	77
674	静和工業株式会社	静岡県	静岡営業所	78
675	株式会社丸橋運送	静岡県	藤枝営業所	79
676	株式会社藤枝事務器商会	静岡県	藤枝営業所	80
677	株式会社マルハチ村松	静岡県	藤枝営業所	81
678	加和太建設株式会社	静岡県	三島営業所	82
679	古山精機株式会社	静岡県	浜松営業所	83
680	山本工業株式会社	静岡県	浜松営業所	84
681	株式会社藤本組	静岡県	遠州営業所	85
682	株式会社西島土木	静岡県	遠州営業所	86

北信越 P.

683	株式会社山崎建設	新潟県	上越営業所	87
684	株式会社聖籠第一設備	新潟県	新発田営業所	88
685	株式会社王紋電気	新潟県	新発田営業所	89
686	株式会社加藤組	新潟県	新発田営業所	90
687	株式会社平本組	石川県	金沢営業所	91
688	株式会社東崎倉庫運輸	石川県	小松営業所	92
689	飯島建設株式会社	長野県	長野営業所	93
690	株式会社銀乃扇	長野県	長野営業所	94
691	株式会社喜久屋商会	長野県	長野営業所	95
692	長野板販株式会社	長野県	長野営業所	96
693	COCORO社会保険労務士法人	長野県	北信営業所	97
694	堀越建設株式会社	長野県	佐久営業所	98
695	株式会社水建	長野県	松本営業所	99
696	株式会社サンテックシステム	長野県	松本営業所	100
697	十字屋リース株式会社	長野県	松本営業所	101
698	株式会社ASTEAD	長野県	諏訪営業所	102

関西・東海 P.

699	株式会社大野ナイフ製作所	岐阜県	岐阜営業所	103
700	信和株式会社	岐阜県	西濃営業所	104
701	株式会社伊藤精密製作所	岐阜県	西濃営業所	105
702	服良株式会社	愛知県	名古屋営業所	106
703	株式会社エルシティ	愛知県	名古屋営業所	107
704	東海ホイス工業株式会社	愛知県	知多営業所	108
705	丸半運輸株式会社	愛知県	知多営業所	109

Voice Report



706	オルック株式会社	愛知県	岡崎営業所	110	763	株式会社TAT	兵庫県	阪神営業所	167			
707	大法輸送株式会社	愛知県	岡崎営業所	111	764	ショーワ産業株式会社	兵庫県	阪神営業所	168			
708	株式会社梶川建設	愛知県	安城営業所	112	765	深江発条株式会社	兵庫県	阪神営業所	169			
709	小林事務機株式会社	滋賀県	彦根営業所	113	766	ユニテックジャパン株式会社	兵庫県	阪神営業所	170			
710	前出産業株式会社	滋賀県	彦根営業所	114	767	テックス理研株式会社	兵庫県	阪神営業所	171			
711	株式会社アダムスセキュリティ	滋賀県	京都営業所	115	768	アスカカンパニー株式会社	兵庫県	東播営業所	172			
712	ブロン電機株式会社	京都府	京都営業所	116	769	株式会社多田自動車商会	兵庫県	東播営業所	173			
713	コムイノベーション有限公司	京都府	京都営業所	117	770	株式会社小西建築設計事務所	兵庫県	東播営業所	174			
714	綾部商工会議所	京都府	福知山営業所	118	771	キング醸造株式会社	兵庫県	東播営業所	175			
715	日東公進株式会社	京都府	福知山営業所	119	772	株式会社高吉運送	兵庫県	姫路営業所	176			
716	株式会社ホンダ西京都	京都府	福知山営業所	120	773	東和建設株式会社	兵庫県	姫路営業所	177			
717	公栄精密株式会社	京都府	福知山営業所	121	中国・四国				P.			
718	株式会社村上運送	京都府	福知山営業所	122	774	有限会社シオテック	鳥取県	米子営業所	178			
719	ツバメ瓦斯株式会社	京都府	福知山営業所	123	775	出雲ガス株式会社	島根県	出雲営業所	179			
720	株式会社ウエハラ	京都府	福知山営業所	124	776	有限会社南栄工業	岡山県	倉敷営業所	180			
721	前橋工業株式会社	京都府	福知山営業所	125	777	株式会社南茅工業	岡山県	倉敷営業所	181			
722	株式会社テクリオ	大阪府	大阪営業所	126	778	株式会社千田組	岡山県	倉敷営業所	182			
723	株式会社Growship	大阪府	大阪営業所	127	779	守永運輸株式会社	岡山県	倉敷営業所	183			
724	株式会社NMR流通総研	大阪府	大阪営業所	128	780	水島運搬機株式会社	岡山県	倉敷営業所	184			
725	株式会社SET	大阪府	大阪営業所	129	781	株式会社本宮商会	岡山県	倉敷営業所	185			
726	株式会社インテック	大阪府	大阪営業所	130	782	株式会社キャスルコーポレーション	広島県	福山営業所	186			
727	株式会社レガーロ	大阪府	大阪営業所	131	783	ラックス建設株式会社	広島県	福山営業所	187			
728	株式会社公園マネジメント研究所	大阪府	大阪営業所	132	784	長州貨物株式会社	山口県	下関営業所	188			
729	株式会社福沢ビデオプランニング	大阪府	大阪営業所	133	785	株式会社安成工務店	山口県	下関営業所	189			
730	森下仁丹株式会社	大阪府	大阪営業所	134	786	株式会社エヌ・アルファ	山口県	下関営業所	190			
731	ケーソーエンジニアリング株式会社	大阪府	大阪営業所	135	787	株式会社東洋機工サービス	山口県	下関営業所	191			
732	株式会社河幸	大阪府	大阪営業所	136	788	関門ロードサービス株式会社	山口県	下関営業所	192			
733	株式会社HNS	大阪府	大阪営業所	137	789	株式会社コミュニティエフエム下関	山口県	下関営業所	193			
734	大阪ウェルディング工業株式会社	大阪府	大阪営業所	138	790	株式会社山賀	山口県	下関営業所	194			
735	株式会社大日ハンソー	大阪府	大阪営業所	139	791	株式会社岩国魚市場	山口県	岩国営業所	195			
736	有限会社南歯車製作所	大阪府	大阪営業所	140	792	特定非営利活動法人クリスタル	山口県	岩国営業所	196			
737	三洋金属熱錬工業株式会社	大阪府	大阪営業所	141	793	株式会社ヨコタコーポレーション	徳島県	徳島営業所	197			
738	池田産業株式会社	大阪府	大阪東営業所	142	794	港産業株式会社	徳島県	徳島営業所	198			
739	葵スプリング株式会社	大阪府	大阪東営業所	143	795	三晃産業株式会社	徳島県	徳島営業所	199			
740	株式会社美作研磨工作所	大阪府	大阪東営業所	144	796	四国総合流通株式会社	愛媛県	北四国営業支社	200			
741	大阪北合同運送株式会社	大阪府	大阪東営業所	145	株式会社平野				愛媛県	今治営業所	200	
742	カネエム工業株式会社	大阪府	大阪東営業所	146	九州						P.	
743	日本ブラテック株式会社	大阪府	大阪東営業所	147	797	株式会社高口精密工業	福岡県	柳川営業所	201			
744	木田バルブ・ボール株式会社	大阪府	大阪東営業所	148	798	株式会社かねざん建設	福岡県	柳川営業所	202			
745	株式会社ミヨシテック	大阪府	大阪東営業所	149	799	筑後商工会議所	福岡県	柳川営業所	203			
746	株式会社吉建ウォール	大阪府	大阪東営業所	150	800	株式会社プロデュース	福岡県	北九州営業支社	204			
747	株式会社コア	大阪府	大阪東営業所	151	801	株式会社新長崎製作所	福岡県	北九州営業支社	205			
748	アサヒ産業株式会社	大阪府	大阪東営業所	152	802	株式会社富城物産	長崎県	諫早営業所	206			
749	株式会社YSK	大阪府	大阪東営業所	153	803	有限会社富城物産	長崎県	諫早営業所	207			
750	株式会社さくら	大阪府	大阪東営業所	154	804	株式会社新長崎製作所	大分県	大分営業所	208			
751	近畿刃物工業株式会社	大阪府	大阪東営業所	155	805	津久見商工会議所	大分県	大分営業所	209			
752	清水産業株式会社	大阪府	大阪東営業所	156	806	株式会社アキタ製作所	宮崎県	日向営業所	210			
753	株式会社アスライト	大阪府	大阪東営業所	157	807	株式会社MAC	宮崎県	都城営業所	211			
754	淡路T・P整備株式会社	兵庫県	神戸営業所	158	808	株式会社樹昇	宮崎県	都城営業所	212			
755	株式会社ソフトウエーブ	兵庫県	神戸営業所	159	株式会社クリーン・アクア・ビバレッジ					宮崎県	都城営業所	212
756	株式会社ジュビテック	兵庫県	神戸営業所	160	百井鋼機株式会社					宮崎県	都城営業所	212
757	有限会社脇水新聞舗	兵庫県	神戸営業所	161								
758	株式会社トモエシステム	兵庫県	神戸営業所	162								
759	株式会社エマーテック	兵庫県	神戸営業所	163								
760	株式会社神戸総研	兵庫県	神戸営業所	164								
761	株式会社シャーンティ	兵庫県	神戸営業所	165								
762	株式会社ライフ・クリエイト・パートナーズ	兵庫県	神戸営業所	166								

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営優良法人
2021 認定

ホワイト500

健康経営優良法人
2021 認定

大規模

健康経営優良法人2021 インタビュー

Voice Report



静岡県
三島営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
三井田 健氏

「健康は、なにものにも代え難い財産」という想いのもと、
組織的かつ戦略的な健康経営の実践を目指す

- 代表取締役社長 三井田 健氏
- 本 社 所 在 地 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
- 主 な 事 業 内 容 重電・産業用電気機器 機械
- 従 業 員 数 3,924名 (2020年3月31日現在)

健康経営優良法人 2021認定
ホワイト 500健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営の取り組みの背景

明電舎の創業は1897年(明治30年)ですが、従業員の健康管理や福利厚生については、時代の流れに遅れることなく、導入してきた経緯があります。健康保険組合は、1926年(大正15年)に設立され、創業者である重宗芳水の妻だけが初代の理事長を務めていました。それは元祖コラボヘルスと言ってよいと思います。昭和30年代に、従業員に対する福祉の一環として、品川工場(当時)に相談室が設置されたという記録があります。(産業カウンセリング読本 昭和36年発行)。ものづくりの会社ですが、ここに働く人をケアする姿勢は、古くから存在していました。本格的に健康経営にエントリーし始めたのは、2018年に行われた、健康経営度調査からです。2019年4月に明電グループ 健康経営宣言発表し、同年より準備期間を経てスマートチャレンジ明電5の取り組みを開始しました。

スマートチャレンジ明電5の展開

明電グループ 健康経営宣言では、『健康は、なにものにも代え難い財産』という想いを全員で共有し、従業員の自発的な健康活動に対する積極的な支援など、一人ひとりの健康を組織で支える活動の推進を宣言しています。宣言を踏まえ、現状最も喫緊の課題として取り組むべき五つの活動テーマを設定し、スマートチャレンジ明電5として展開しています。

スマートチャレンジ明電5

SMART CHALLENGE MEIDEN FIVE

- チャレンジ1 (受動喫煙対策&卒煙プログラム推進)
- チャレンジ2 (若年層生活習慣病対策)
- チャレンジ3 (シニア層生活習慣病対策)
- チャレンジ4 (がん対策)
- チャレンジ5 (心の健康づくり推進)

健康経営とマネジメントシステムの連携

スマートチャレンジ明電5で掲げた活動テーマに対し、具体的な実効性を確保するために、労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)と連携するように工夫しています。マネジメントシステムに繋げることで、外部評価も含めてPDCAサイクルによる継続的な改善がおこなわれます。これにより計画の実施やパフォーマンス指標のトレースなどが体系的、組織的に実施されることになります。

今後の展望

2020年6月に経済産業省により「健康投資管理会計ガイドライン」が発表されました。これにもとづいて健康経営を考えることで、投資、企画の実施、効果の検証がより一連のストーリーとして示せるようになります。健康経営を健康管理の強化にとどまらず、業績にインパクトを与えるような、戦略的な健康経営の展開を目指します。



健康経営に関わる、担当役員、部員、産業保健スタッフ

代表取締役社長
材木正己氏

「事業活動の原動力は人財と捉え、 従業員の健康管理を戦略的に取り組む」

- 代表取締役社長 材木正己氏
- 本 社 所 在 地 京都府綾部市井倉町
- 主 な 事 業 内 容 工業用ファスナー、自動組立機、計測・検査装置
- 従 業 員 数 1,856名(連結) 551名(単独)

健康経営優良法人 2021認定
ホワイト 500健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営銘柄

社員が健康でいきいきと働くことのできる 会社づくりを目指して

当社は社是に、健康を増進し、よい人づくりをすることをうたい、創業当初より健康で働きやすい職場環境づくりに努めてまいりました。2019年から始まった中期経営計画「NITTOSEIKO Mission“G”」の戦略テーマに「健康経営」の概念を盛り込み、社員のQOL(生活の質)向上に取り組んでいます。2020年からは経営トップを含めた健康経営推進委員会を組織化し、安全衛生委員会事務局や衛生管理者を中心に健康経営に関する課題に取り組んでいます。

Nicotto7の取り組みと 体力年齢チェックをスタート

生活習慣病対策、メンタルヘルス、ワークライフバランスの3領域を重要課題(KPI)に設定し、KPIを含む7つの取り組み項目「Nicotto7」のチャレンジを推進しています。

KPI結果分析より、他の項目に比べ運動習慣がある者の割合が低いことがわかり、そこで、体力年齢チェックを実施し、自分の運動機能を把握し、Nicotto7で継続実施ができるよう取り組みを開始しました。

メンタル不調対策や労働時間適正化においては、職場ぐるみで改善策実施に力を入れ、2020年の法定外労働3ヵ月連続月間45時間を超える長時間労働者、メンタルヘルス不調による新規の長期欠勤者はともにゼロを実現しました。効果検証としてアブセンティーズム、プレゼンティーズムをそれぞれ算出し、調査結果とともに広く開示しています。

スポーツイベントなどを通じて 社員同士が交流する機会を創出

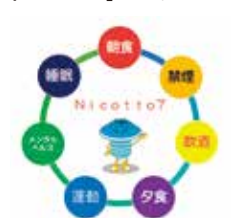
創業当初から、社内運動会や各種スポーツ大会など運動を通じた交流活動を積極的に行っています。全社厚生委員会を組織し、従業員だけでなく家族も参加できる一体型イベントを多数開催しています。こうした活動が企業文化として根付き、会社所有の体育館を活用して卓球、バドミントンなどの部活動も活発に行っています。

今後の展望

従業員及び家族の健康は、会社にとってかけがえのない「財産」であると考え、ひとりひとりの多様性に応じた、心と体の健康を自ら考えて行動できる人づくり、環境づくりを推進し、組織を活性化し生産性を高めることで、さらなる企業価値向上を図ってまいります。また、本社のみならず国内外の当社グループ企業に健康経営を展開していくとともに、健康企業のアンバサダーとして邁進してまいります。



職場厚生会行事(ソフトバレーボール)

KPIを含む
7つの取り組み項目
「Nicotto7」のチャレンジ

NITTOSEIKO



埼玉工場

「アナログの温かみを忘れない」企業を目指して

- 取締役社長執行役員 渡辺光康 氏
- 本 社 所 在 地 東京都品川区
- 主 な 事 業 内 容 電力計測・制御関連製品製造
- 従 業 員 数 562名(単体)

健康経営優良法人 2021認定
大規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

私たちの企業文化

私たちの会社では、健康経営という言葉が普及する前から、毎年決まった時期に検診カーがきて健康診断を受け、受診率100%がごく自然な私たちとしてありました。2017年頃から健康経営優良法人認定を目指そうという機運が高まり、2018年からチャレンジを始め、2020年度に初めて認定をいただき、2021年も連続で認定を取得しました。(梅原氏) 私が勤務する埼玉事業所には、各職場や現場に健康グッズ(足つぼマット、バランスボール、血圧計等)を置いてあります。私自身も事業所内を含め、一日8,000歩を歩くことを目標にしています。また、健康的な食事提供を目指して、毎年保健所に社員食堂で提供する定食の味噌汁の塩分濃度を測ってもらい“標準より少し下”とのご評価をいただいています。

禁煙デーの設置

今年初めての試みとして、5月31日の『世界禁煙デー』に合わせ、全社一斉に禁煙デーを実施しました。本社地区の喫煙所は他社との共用のため、入り口付近に張り紙をする程度に留まりましたが、埼玉事業所の喫煙所は全ての灰皿をカバーで覆い使用禁止とする等、社員協力のもと本格的に行いました。

(梅原氏) 喫煙者からは前日に迫っても「本当にやるのか？」と不満の声もありましたが強い気持ちで「やります」と宣言しました。実際に始まってしまえば皆さんとても協力的でした。(大平氏) この他、禁煙の取り組みとして『卒煙チャレンジプログラム』(禁煙外来治療費、補助剤の全額負担)を新たに設け、見事“卒煙”された社員には表彰金も贈呈しています。先日、栄えある第1号が誕生し、チャレンジ期間中の体験記を社内報に掲載することで、第2、3号とつなげていきたいと思っています。



アクサのアンケート・従業員セミナーで分かったこと

2020年11月に初めてアクサ生命さんの健康習慣アンケートを実施し、運動習慣、受動喫煙、睡眠不足、といった健康課題が明確になり、今後の取り組みのヒントにもなりました。また、コロナ禍ではありましたが、これらの課題を社員に周知するため、アクサ生命さんご協力のもとフィードバックセミナーを開催しました。参加者からは「毎年続けてほしい」との声が多く、健康情報の提供のみならず、自ら前向きで健康であるためには「仕事や人生に対する心構え」も大切であることを実感しました。今後は、事業所単位や経年比較による健康状況の把握により、事業所ごとの傾向に合わせたセミナー等も開催していけたらと思います。



大平さん(左) 川田さん(中央) 梅原さん(右)

これから目指すこと

昨秋に、本社地区の健康推進担当(山崎さん、大平さん)が、2階の打ち合わせスペースを、女性目線で健康コーナーに生まれ変わらせました。靴を履いたまま計れる体組成計、血圧計、バランスボール等を設置し、周りには緑とともに健康情報が目に入るよう工夫する等、休憩時間のみならず業務時間中でもリフレッシュできるようにしています。



(大平氏) 昨年から健康推進担当として、これまでお話ししたことのない方や年上の方に健康診断等のお知らせでお声をかける機会が増えました。こうしたコミュニケーションを通じてさらなる交流の輪が広がっていけば良いと思います。(川田氏) デジタルの時代になってもアナログの温かみを忘れず、社員一人ひとりが健康で末永く働き続けられるよう健康をサポートしていきたいと思っています。



CHO(健康管理最高責任者
兼人事担当取締役 グリーン・エリック幸太郎氏)

オーナー、ユーザー、社会をハッピーにする「ハッピートライアングル」

- 代表取締役社長 異 一久 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市北区小松原町2番4号
大阪富国生命ビル
- 主 な 事 業 内 容 駐車場総合コンサルティング業
- 従 業 員 数 385名(連結1,166名)

健康経営優良法人 2021認定
大規模

健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営に取り組むきっかけはヘルスケアの新事業スタートに合わせて社内での取り組みを開始

当社は駐車場の総合コンサルティング業を展開する会社として1991年に大阪から事業をスタートし、不動産、スポーツ、教育、環境など、様々な領域にビジネスを広げてきました。そんな中、東京駅直結の新丸の内ビルディングで健康増進施設「丸の内ヘルスケアラウンジ」の運営を開始し、社内外に健康経営を支援するサービスを開始。2017年に「日本からだ開発株式会社」を子会社として設立したのをきっかけに、自社としても健康経営への取り組みを開始しました。

社員の健康を管理、増進する目的で「カラダ改善コンテスト」を導入

日本からだ開発株式会社が提供する健康プログラム「カラダ改善コンテスト」を実施。従業員でチームを組み、2か月間で筋肉量、体脂肪量、歩数を競い合い、上位チームには豪華賞品を提供するインセンティブを用意するなど、参加者のモチベーションを維持しつつ楽しみながら健康増進に取り組める環境を整えることにより、参加者の健康リテラシーの向上と、チームビルディングの醸成にもつながりました。

参加者の80%のBMIが削減し、コロナ禍でも1日当たりの平均歩数は約1万歩を達成しました。

カラダ改善コンテストの他にも健康増進機会の創出に様々な施策を実施。新型コロナ対策も万全に

運動施設の補助として、日本からだ開発株式会社が運営する皇居ランナーステーション「MARUNOUCHI Bike&Run」の施設利用の社割制度を設け利用促進をするほか、新型コロナウイルス対策として、日本テーマパーク開発株式会社が運営する、栃木県那須ハイランドパークに隣接した宿泊施設「TOWAピュアコテージ」を活用してワーケーションを実施し働く場所を分散させました。

健康経営に取り組むことで社員の中でも様々な行動変容が起こり、コミュニケーションが活発になった

健康経営に取り組むことで、社員の中には運動や食事バランスに気を付けたり、「MARUNOUCHI Bike&Run」でのランニングトレーニングを継続し、マラソン大会に出場する社員が出たといった行動変容が起きたり、カラダ改善コンテストを通して、業務以外の話題で盛り上がることで従業員同士のコミュニケーションが活発になりました。また、グループ会社のサービスを体感することで、サービスへの理解が深まり、会社全体のグループシナジーが生まれました。

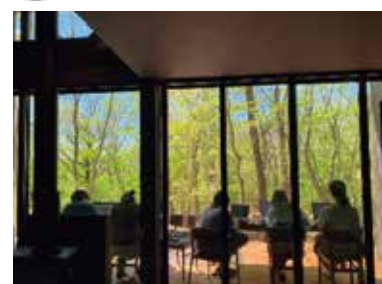
今後の展望

従業員一人ひとりが心身ともに健康で、個々の能力や個性が発揮されることこそが、企業が健全に成長し、社会貢献できる源であると考えます。関わるすべての人がハッピーになる「ハッピートライアングル」という経営理念のもと、コロナ禍においては従業員一人一人がゼロベースに立ち戻り、常にベストを再構築しながら、ハッピートライアングルが達成できているか、ステークホルダーにどのように貢献していけばいいか、それぞれの立場で改めて見つめ直し、常に時代のニーズに応える事業を展開していきます。

カラダ改善コンテスト 概要資料



カラダ改善コンテスト



那須ハイランドパーク「TOWAピュアコテージ」でのワーケーション風景



「社員が生き生きと仕事ができる」企業を実現するために
健康経営に取り組む

- 代表取締役社長 添田 英俊 氏
- 本 社 所 在 地 福岡県福岡市博多区東光
- 主 な 事 業 内 容 電気機械器具製造業
- 従業員数(連結) 989名(男性:795名・女性:194名)

健康経営優良法人 2021認定
大規模

健康経営優良法人
2018～2021 4年連続認定

健康経営に取り組んだきっかけ

2016年に三菱総合研究所の小宮山理事長が提唱している豊かさと環境保護と人間の幸福を同時に達成する「プラチナ社会の実現」に強い共感を受け、健康経営に取り組み始めました。「健康経営プロジェクト」(人事部・労働組合・保健師・各部選抜者計9名)を立上げ、定期的に健康経営に関するイベントや取り組みを計画・実行し、社員の健康増進と健康経営優良法人認定取得に向け動き出しました。

職場への効果

社内掲示板に健康に関するイベントや情報の掲示を行っています。関連会社「正興ITソリューション(株)」では企業や地域に向け健康経営サポートやヘルスケアサービスを提供しています。職場では、健康経営優良企業としての認識も高く、歩く競争等健康活動参加者も増加中です。企業イメージも上昇していると感じます。採用活動や人材の定着率上昇、生産性向上にも繋がることを期待しています。

健康経営の取り組み状況

全社員にスマホアプリ「歩KING」を導入し個人・チーム対抗で歩数競争を実施中です。上位者には賞品を贈呈していましたが、現在はさらに飛び賞を設けるなどしてインセンティブ効果を高めています。階段の利用や、ラジオ体操参加でのポイント効果もあり、社員の活動量は改善、脂質等健康診断のデータにも表れてきました。また、社員食堂では青汁やクロレラを無償提供、費用補助も行い、栄養バランスの取れた食堂の利用を促進中です。

今後の展望

社員の健康を重要な経営資源の一つと捉え、ご家族を含めた自発的な健康維持増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進を継続したいと考えています。その手段としてホワイト500認定に向けてこれまでの活動に加え、肥満率や喫煙率といった主要な数値に対して、保健師の意見を取り入れながら具体的な目標数値を設定したり、当社の取り組みを外部へ発信し実績を出していきたいと考えています。

従業員への効果

課題の一つの喫煙率は34.8%(2014年)→19.6%(2020年)と徐々に減っています。さらに2021年10月に創業100周年を迎えるにあたり“禁煙ロードマップ”を作成し、就業中禁煙から、敷地内の全面禁煙を段階的に進めています。禁煙者に対しても健保組合と協力して優遇制度の案内を行い、禁煙を助長する環境づくりを行っています。健康な職場環境の改善に努め、健康文化を育成し、社員が生き生きと仕事ができる環境づくりに取り組んでいます。



左上は、当社独自アプリ「歩KING」のトップ画面
右上は、社員食堂で無償提供の青汁

代表取締役社長
加藤 健氏

健康経営を知る前から行っていた取り組みが「健康経営」だった

- 代表取締役社長 加藤 健氏
- 本 社 所 在 地 大分県大分市東春日町17-57
- 主 な 事 業 内 容 ソフト受託開発
- 従 業 員 数 506名

健康経営優良法人 2021認定
大規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

「社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働くことができる環境づくり」に取り組む

大分県大分市にある創立55年のIT（情報処理）企業 「株式会社オーイーシー」

株式会社オーイーシーは、大分市と東京に本社を置き、福岡、関西方面など全国的な事業展開を進めています。IT業界は技術革新が激しく、お客様の多様なニーズにお応えするためには社員が心身ともに健康であることが第一とする同社は、働き方改革にも力を入れる中で社員の健康管理を重視し、「健康経営」の実現に向けた取り組みを推進してきました。その成果として2020年、2021年と「健康経営優良法人」に認定されました。さらに働くスペースの快適化、ドレスフリーなど「健康でいきいきと働くことができる環境づくり」を実現、今後も社員への積極的な支援と組織的な健康増進施策の推進により、社員の健康意識を高め、より一層の「健康経営」に取り組んでいきます。

一人ひとりの健康が活力ある会社へ

以前から、会社として健康の重要性を認識し、会社・社員会があらゆるスポーツにかかる費用に対して補助金を出す取り組みを行ってありました。そうした中、5年前に大きなプロジェクトを担当する部門がインフルエンザで閉鎖となりました。更に活力ある会社へと成長するためには、社員一人ひとりの、今まで以上の健康維持が欠かせないと考え、本格的に健康経営を取り組み始めました。

現在の主な取り組み内容

- ① 定期健康診断の受診勧奨、有所見者に対しての健康指導、再検査の勤務時間内受診承認
- ② 喫煙室の屋外設置による事業所内での分煙の徹底
- ③ スポーツクラブ・フィットネス利用費補助
- ④ インフルエンザ予防接種を社内で実施
- ⑤ コロナ感染拡大時の事業継続計画の策定とテレワークの実施
- ⑥ 全社員へのコロナ抗原検査キット配布と各拠点での検査キット備蓄
- ⑦ コロナワクチン接種の際の特別休暇付与

安全衛生委員会の活用

以前より全部門から委員を選出し毎月開催している「安全衛生委員会」は、社歴の浅い委員が多く、議題は交通安全に関する内容が大半でした。そこで2018年度より委員はマネージャー職以上と定め、議題についても衛生（健康経営）のウエイトを増やし、2021年度からは産業医にも安全衛生委員会へ参加して頂く事としました。

安全衛生委員会より毎月発行している社内報では、交通安全に関する情報だけではなく、アクサ生命様より頂いている健康経営ワンポイントアドバイスを活用させて頂いています。

今後も正副合わせ42名の安全衛生委員を中心に当社の健康経営を進めて参ります。

健康維持が生産性の向上に

会社補助によるインフルエンザの集団予防接種により社員の約90%が予防接種を行い、罹患者が大幅に減っています。また、部門内会議で健康維持に関する話題が出たり、取り組みが議題となることもあり、社員一人ひとりが健康維持を更に意識するようになりました。こうしたことにより病欠者が減り、生産性の向上に繋がってきています。



健康経営優良法人
2021 認定

ブライト 500

健康経営優良法人
2021 認定

中小規模

健康経営優良法人2021 インタビュー

Voice Report



宮城県
気仙沼営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
阿部吉博 氏

「地域に根ざし、愛される介護福祉施設」 になるために

- 代表取締役社長 阿部吉博 氏
- 本 社 所 在 地 宮城県気仙沼市本吉町宮内
- 主 な 事 業 内 容 総合介護サービス業
- 従 業 員 数 40名(男性:23名・女性:17名)

健康経営優良法人 2021認定
プライト500健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

人員の確保が難しい業界だからこそ、 健康意識を高めたい

介護施設の運営という業務から、夜勤の勤務形態になる職員も多く、健康や体調の管理が大切だと考えました。介護業界は人員の確保が難しい現状にあることから、健康で長く勤めていただけるよう、健康意識を高めたいと思いました。

「健康経営実践プログラム」の取り組みを 毎年増やしてゆく

従業員の健康習慣アンケートを行い、健康課題を把握し、対策を講じる取り組みを毎年行っています。昨年、感染症予防、食生活の改善、禁煙、運動機会の確保に取り組みました。多いと思われるかも知れませんが、これらは取り組み内容が毎年増えた結果です。新型コロナウイルス感染症予防が緊急の課題になったので、担当者を選任し、予防用品に不足が生じないよう常に管理を徹底するとともに、会社独自ルールを制定して勤務のシフト管理を徹底しました。

従業員ひとりひとりが自分の健康課題を 自覚できるように意識が変化

健康習慣アンケートのフィードバックや月に1度の健康情報の配布によって、徐々に従業員ひとりひとりが自分自身の健康に気をつけるようになり、何が必要かセルフチェックできるようになりました。煙草を止めたい希望がある従業員に対しては、禁煙外来の費用を会社で負担することにし、喫煙者が減少しました。その結果、健康診断結果のデータが前年よりも良くなる従業員が増えてきました。

大切な社員とその家族に運動機会を提供した ところ、家族同士のコミュニケーション向上も

会社が運営する飲食店の隣に体育館を増設し、バスケット等の運動ができるようにしました。従業員の家族も体育館を利用できるようにしたところ、家族同士のコミュニケーションが増え、風通しの良い職場になってきました。コミュニケーションは従業員と役員との間でも良化し、従業員から会社全体を良くしようと積極的な意見が出やすい環境が出来てきました。

今後の展望

離職が減少し、効率良いシフト勤務ができるよう会社の体質強化につながったことが、健康経営の最大の成果です。プライト500を獲得できましたが、これは小さくてもできることをこつこつと積み上げてきた結果だと思っています。健康課題は常にありますので、対策を立て、評価を行うPDCAにこれからも取り組んで行きたいと思っています。



従業員の家族も利用できる体育館を増設。家族同士のコミュニケーションが増え、風通しの良い職場になりました。



2021年3月、健康経営フォーラムで取組内容を発表しました。

健康経営の取り組み

～地域に根ざし、愛される介護福祉施設になるために～

地域を支える介護の総合事業会社 株式会社介援隊

代表取締役社長 阿部吉博
本社所在地 宮城県気仙沼市本吉町宮内
主な事業内容 総合介護サービス業
従業員数 40名

秋田県
横手営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
和賀幸雄 氏

「みんなで目指す顧客感動経営」実現のため健康経営に取り組む

- 代表取締役社長 和賀幸雄 氏
- 本 社 所 在 地 秋田県湯沢市柳町
- 主 な 事 業 内 容 総合建設業
- 従 業 員 数 70名(男性:63名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
プライト500健康経営優良法人
2018～2021 4年連続認定

「健康経営」に取り組むきっかけ

健康経営に取り組むきっかけとなったのは、2015年の定期健康診断を受診した社員にガンが見つかったことでした。翌2016年からは年1回の健康診断に加えて、二次検診の義務化、二次検診は有給休暇ではなく、特別休暇扱いとし、業務の一環として受診できるように就業規則を見直しました。建設業は職人技がものをいう世界で、重機の操作などは熟練の技が求められます。社員には元気で長く力を発揮してほしいと思っております。

「健康経営」を社内外に発信

2021年健康経営優良法人認定、プライト500を取得することができました。各種イベントでの講演活動等を通じ、健康経営を広めていく活動をしています。2021年6月19日には秋田県主催のイベント(ハーモニーフェスタ2021)のパネリストとしてゲスト出演し、当社の健康経営を紹介させていただきました。

また、社内においては毎月1回社長自ら執筆している「不易流行」を通じて従業員の健康づくりの大切さを周知しています。

今後の展望

企業の健康とは、適正な利益を出し、安定した経営をすることですが、これには社員とご家族が健康でなければ成り立ちません。そのために健康診断や精密検査の受診を人事考課と絡めて、厳しく進めていきます。コロナワクチンの接種に関してもいち早く「ワクチン接種支援企業宣言」をし、接種を受けたいときに受けられる環境づくりを宣言いたしました。

社長が毎月執筆している社内報「不易流行」
2021年5月号テーマ「ワークエンゲージメント」

令和3年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
生産性の向上で働き方改革の実現
～和賀組さんで良かったといわれよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

3月の号で紹介しましたが、今年度当社は「健康経営優良法人 2021」に認定され、さらに上の「プライト500」という冠を付加して頂きました。以前にも説明しているとおり健康経営とは経済産業省が所管している制度で、従業員の健康管理をコストではなく戦略的な経営投資として捉える考え方に基いた経営手法であり、社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目指しています。またプライト500とは中でも特に優良な健康経営を実現している企業・法人を顕彰する制度です。この制度に対する評価項目は10数項目に及び、その中にはメンタルヘルス対策として、「メンタルヘルス不調者への対応に関する取り組み」という項目があります。つまり社員の肉体的な健康だけでなく精神的な健康についても会社としてしっかりとケアをする体制になっているかという観点からの評価です。

先日あるセミナーに参加して「ワークエンゲージメント」という言葉を初めて知りました。ワークエンゲージメントとは、仕事に対してポジティブかつ充実しているという心理状態であり、活力・熱意・没頭力の3つの要素が兼ね備えられた状態とされています。具体的には、「①仕事に対して誇りややりがいを感じている(熱意) ②仕事に熱心に取り組んでいる(没頭) ③仕事から活力を得ている(活力)」という状態で、これらが満たされている状態のことをワークエンゲージメントが満たされている状態と定義します。「Engagement」という英語は通常エンゲージメントなどに使われるように契約というような意味を思いますが、仕事への没頭や熱意といった意味があります。

ワークエンゲージメントが高い社員が多い組織は、協力が自発的にあがりスキルも十分に発揮することから必ず生産性も向上します。また働き過ぎや働き過ぎによる疲労や後遺症によって非常に良い判断となり、連鎖反応のように職場から健康全体へと拡大、最終的な人材の育成や組織の向上につながります。さらに「ワークエンゲージメント向上によって得られるストレス軽減は予防効果が高まるため、全社員に対してワークエンゲージメント向上を図ること戦略的にストレスに強い組織を構築することが可能となり、不調者を未然に防止する企業のメンタルヘルス対策として極めて有効な取り組みと捉えます。今年も秋にはメンタルヘルスチェックを行う計画ですが、今年はこのワークエンゲージメント向上にも取り組んで参りたいと思います。



山形県
鶴岡営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
石井良行 氏

『環境と人と技術を大切に、建設を通じ社会に貢献します』

- 代表取締役社長 石井良行 氏
- 本 社 所 在 地 山形県鶴岡市八色木字西野337-3
- 主 な 事 業 内 容 シーリング・防水工事業
- 従 業 員 数 8名

健康経営優良法人 2021認定
プライト500健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

「最良の施工は最大の信用」 そのためには健康経営の取り組みを始めました

現在一緒に仕事をする仲間は、比較的年齢層が若く、将来の健康管理も会社の役目と思い取り組んでいます。

朝の生野菜ジュースから始めて、野菜中心の朝食提供を続けて早3年。アクサ生命担当者から「健康経営」という言葉を聞き、優良法人の認定を目指してみませんかご提案を受けました。人手不足の中、朝早くから仕事に従事している社員の健康状態も気がかりでしたし、何より少しでも会社としてサポートできることがあるのなら、真剣に取り組んでみようと思いました。

建設業界では毎年の健康診断は必須ですが、今まではそこで終了。この機会に診断結果のアフターケアを徹底し、再検査のための日程調整(出勤扱)、初診料補助等で社員の負担を軽く、尚且つ早急に診察を受けやすい状況としたことで大事に至らずにおります。

今年の健康診断では全員の数値が良くなっており、要治療、要再検査と指摘される人数が昨年より大幅に減りました。「健康に関して一人一人の意識が高まってきたのか」と、とても頼もしく思います。



みんなが利用できる『置き食』



ホームページ内インフォメーション

弊社ではこんな取り組みをしています！

弊社の仕事はチームで作業することが多いので、コミュニケーションを円滑にするために社員旅行やスポーツイベント等を行っております。法人契約のスポーツジムと一緒に汗を流したり、今年はゲートボールを通じて、楽しみながら連帯感、協力感を深めることが出来ました。

建設業は朝早く、朝食を摂らずに出社することがあるので、置き社食として冷蔵庫を備え、おにぎりや、サンドイッチ、野菜ジュース等を安価で提供しております。いつでも自由に利用できる朝に限らず、昼食用や夜食用にと利用する社員が増えました。それにより、社員を支えてくださるご家族の方の負担が少しでも軽くなればと考えております。

ご家族も参加できる社内イベント



今後の展望

健康経営はずっと継続していきます。今後は特に心の健康を強化出来ればと考えております。時代と共に働き方や社員の意識が変化していく中、前向きに意欲をもって仕事に取り組めるよう、メンタルヘルスケア対策により、より良い職場の環境作りを心掛けてまいります。

福島県
いわき中央営業所

Voice Report
80th
The Interview



代表取締役社長
西山和幸氏

健康経営こそ事業継続の要諦！

- 代表取締役社長 西山和幸氏
- 本 社 所 在 地 福島県双葉郡広野町下北迫字浜田55
- 主 な 事 業 内 容 火力発電所の燃料荷役、防災・警備、
清掃、消防設備点検、船舶代理店 他
- 従 業 員 数 106名(男性:99名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
プライト500

健康経営優良法人
2021 プライト500認定

中長期的な就労人口不足と健康経営

福島県の復興事業が着実に進捗し、広野火力発電所では福島復興電源として広野IGCC(石炭ガス化コンバインドサイクル)発電所の建設が進められています。その一方で、双葉郡は原発事故の避難指示解除後も帰還定住人口が回復せず、中長期的に就労人口不足が懸念されています。双葉郡に拠点を置く当社は、事業継続力強化に向けて人材の確保・定着・育成を経営の重要課題と位置づけ、健康経営を通じて社員ひとり一人が元気に末長く活躍するための施策に取り組んでいます。

「二次検診受診率100%」と「喫煙率低減・増健活動の推奨」の二本立て

当社の目標は「二次検診受診率100%」と「生活習慣病予防に向けた喫煙率低減と増健活動の推奨」の二本立て。特に、マイカー通勤社員が多い中、運動機会の第一歩としてウォーキング活動と呼びかけました。関心を高めるために「ふくしま健民アプリ」を推奨し、社員相互の取り組みも見える化しました。これがモチベーションとなり、一年で東海道五十三次と中山道六十次を制覇する社員も出現しました。アプリを通じて職場間に仲間が広がり、「ふくしま健康長寿フェスティバル2019事業所対抗歩数競争」に参加しました。

ふくしま健康長寿フェスティバル事業所対抗歩数競争大会で準優勝！



【写真:表彰される当社ウォーキング部員】

当社は事業所対抗歩数競争大会で準優勝を獲得、2019年10月会津若松市で開催された「ふくしま健康長寿フェスティバル」で表彰されました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

並行して全社的に職場環境の改善を進め、コミュニケーションを重視したオフィスレイアウトや休憩室の整備に取り組みました。

また、若手や単身社員の食のカイゼンの観点からケータリングを導入し、昼食時に温かいご飯とみそ汁を提供したり、Jビレッジなど2か所のジムと法人契約し、マシーンや水泳機会の提供を通じて増健環境も整備しました。

新型コロナウイルス感染症対策については、県内の感染状況に応じて方針や施策をきめ細かに見直しています。インフルエンザ予防接種は会社が全額負担し、社員接種率100%を達成しています。

今後の展望

健康経営の取り組みはまだ緒に就いたばかりですが、「早期発見・早期治療に向けて二次検診受診率を高める」「生活習慣病予防に向けて喫煙率の低減と増健活動の推奨」を早期に定着させること。

これらの取り組みを通じて会社を一層魅力あふれる企業に、社員ひとり一人が元気にいきいきと働ける職場としていくことで企業価値をさらに高め、地域社会の発展に貢献したいと考えています。



【写真:外部講師を招いてウォーキング講座を開催】



福島県
白河営業所

Voice Report

80th
The Anniversary代表取締役社長
石川格子氏 中央

「地域に明かりをとむす」100年企業を実現するために！

- 代表取締役社長 石川格子氏
- 本 社 所 在 地 福島県西白河郡西郷村
- 主 な 事 業 内 容 電気工事業
- 従 業 員 数 8名(男性:6名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
プライト500健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

せっかく入社をした社員に長く勤めてほしい！ そんな思いで、傷病休暇規定を取り入れた。

入社後離職する社員が、入社半年以内に休んでいることが気になり、傷病休暇を導入しました。入社時点で有給休暇5日と病気の場合は3日取得できるようにしました。入社直後、有給休暇が無い時期に休むことになるのと欠勤となり給与が減ってしまうため、自身のモチベーションを下げたり、家族との関係に影響したりするのではないか？という仮説に立って、取り入れました。もともと「(有給を消化して)休んでいいよ」言う体制はありました。

社員とその家族が安心して働けるように 気になったことはできるだけ実施しました。

健康経営は社員のため会社のため悪いことは何もないと思っています。特に、感染症対策では、社員や家族の方の不安がなくなると言うことは情報を訊くと同時に実行しました。マスクと消毒液の配布をしました。マスクは当初不足していたので、手縫いのマスクを500枚発注して、社員本人プラス家族分の枚数を配布。消毒液やついたてを各部屋に置くことや、前に立つだけで測れる体温計も早々に導入しました。

社員が、会社の取り組みを面白がり、楽しみ、 誇りに思ってくれている。

会社が8割負担して1メニュー100円で食べられる食事を提供しています。熱中症予防になる飲物は、会社で補助を出して低価格で提供をしている自動販売機も導入しました。飲物をそこで買うので、「コンビニでの無駄遣いが減った」と話しています。野菜ジュースのメーカーのセミナーを受講して、1か月間、1日に摂取する野菜の量を記録するのと同時に、手をかざすと野菜摂取量が分かる計測器を借りて、食生活の見直しに取り組みました。「TVのニュースで少人数の会社でもできる社員食堂の紹介がありましたよ」、など社員からアイデアが出てくる主体性も出てきました。

「長く健康でいて、培った技術を地域の人や 同業者に伝えていきたい」

現場のことは、話を聞いて会社に必要なことは取り入れていこうと考えています。社員が運転免許(普通免許・準中型免許)などの講習も勤務時間中に受講させています。希望する講習会など、業務に直接には関わらない内容でも出席を奨励しています。現場の仕事はチーム作業ですが、休暇や不在の人と仕事の融通は自然と行えるようになってきました。現場を離れて座業をすることも少しずつ受け入れられるようになり、学んだことを伝えたいという想いが芽生えてきています。

社員一人一人健康に取り組むことそのものが 会社の継続的繁栄につながる！

社員の多くは、自分自身が健康について取り組むことが、長く働けることにつながっているという理解はしています。取り組み始めた当初から比べると、多くの社員の理解が深まって、自ら考え行動するようになってきました。コミュニケーションがよくなり、ベテラン社員しか経験のないことを若い社員たちに伝えていける、技術伝承に役に立ちます。地域社会の役に立って初めて、会社が存在している。そのことと同じように健康経営が当たり前に仕事と一体となっていくことを期待しています。



RAIZAPセミナー

明和コンピュータシステム株式会社

代表取締役
金子康法 氏

元気いっぱい明るく和やかに『人にやさしいシステム開発』を！

- 代表取締役 金子康法 氏
- 本社所在地 栃木県小山市間々田792-8
- 主な事業内容 ソフト受託開発
- 従業員数 76名

健康経営優良法人 2021認定
ブライツ500健康経営優良法人
2021 ブライツ500認定

創業以来の経営理念は『明』・『和』

創業以来35年、基本理念である「明」と「和」のもと、全社員がいつも元気いっぱい、明るくなごやかに「人にやさしい情報システムの創造」へのチャレンジを続け、地域社会への貢献もはかってまいりました。この度、こうした取り組みが「ブライツ500」として評価されたことは、とても有りがたい限りです。

今後は、メンタルヘルスの重要性に配慮しつつ、楽しく健康に社員間の親睦を深められる場作りも検討してまいります。

「社内体育館」を建設、運動機会を提供

運動機会の確保を目的にMCSアリーナ(社内体育館)を建設し、いつでも誰でも気軽に活用できるようにしています。

また、健康と親睦増進のため、社内バドミントン・ソフトボール・ゴルフ・卓球・ボウリング大会等を広く開催しています。

毎朝の朝礼時には全員でラジオ体操を励行。健康への意識が高まり、運動習慣が自然と身についてきました。

コミュニケーションを深め、
地域貢献にも！

コミュニケーションの促進を目的としたイベントとして、毎月の食事会や社員旅行・バーベキュー大会・毎朝の社員スピーチ等を実施しています。

また、地域貢献の一環として「地域清掃活動」や「交通安全啓発活動」への積極的な参加を通して、近隣企業・地域の方々との交流もはかっています。



ワーク・ライフ・バランスの推進

「小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者」に認定され、誰もが働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。また、従業員の食生活から心身ともに健康をサポートできるような取り組みについて詳細を検討しているところです。



代表取締役
山本久一氏

「顧客第一、社員あつての会社」を実現するために！

- 代表取締役 山本久一氏
- 本社所在地 栃木県小山市大字外城157番地3
- 主な事業内容 ゴミ収集運搬業
- 従業員数 82名

健康経営優良法人 2021認定
プライト500健康経営優良法人
2021 プライト500認定

社長の理念が健康経営と一致して

まだ社長になる前の話になりますが、社員が立て続けに辞めてしまい事業が滞ってしまう時期がありました。社長になり、今働いている社員により長く、元気に働き続けてもらう為に、社員の働きやすさ、長期的なキャリア形成（健康で長く働き続けられる）について考えておりました。社長の理念と健康経営の理念が一致し健康経営に取り組むことにしました。

感染症予防対策の徹底

今一番力を入れていることが感染予防対策です。インフルエンザ予防接種の全額会社負担。コロナウイルスに対しては運転中においてもマスク着用での業務を始め、業種ごとのガイドラインに基づいての感染予防の徹底を実施しております。

社会インフラに関連する仕事をさせていただいているので、我々の業務が滞ることによって市民の生活に支障をきたしてしまうことになります。市民生活を支えるエッセンシャルワーカーとしての責任感をもって業務にあたっています。



社員の労をねぎらう場を設ける

従業員同士の部署を超えてのコミュニケーションの場として、6月に行っている表彰式、年末の忘年会があります。表彰式においては、永年勤続制度をはじめ、無事故表彰など直接仕事に関わるような各表彰を開催、年末の忘年会では従業員全員が参加し、和気あいあいとした中でコミュニケーションを図っております。お誕生月にクオカードを配布するなど社員の労をねぎらう場を多く設けるようにしております。

現在は表彰式や忘年会などの開催が厳しい状況のため、毎月にお誕生日のお祝いをしたり、表彰者のみを一人ずつ社長室で表彰をするなど、個別にそれぞれを称えるようにしています。

室長を中心に健康経営推進へ取り組み

社員の働き方については、長時間労働の削減のために、業務量と人材のバランスを図らなければなりません。

残業時間の削減のためには、ITの活用等も視野に入れながら取り組みを継続していかなければと思っています。管理簿を作成し、現場のスケジュールを余裕をもって組むなど、より工夫が必要といえます。

また有給についても個別面談にてスケジュールを作成し、計画的に取得するようにしています。

介護や育児等と仕事の両立に関しては、それを理由に社員が離職しなければならないような状況を打破し、長く働き続けられるような仕組みが構築できないかを現状の課題として更に取組んでいきたいと思っています。

代表取締役
倉澤俊郎 氏

お金では簡単に手に入らないものを得ることができる「健康経営」

- 代表取締役 倉澤俊郎 氏
- 本 社 所 在 地 神奈川県横浜市南区井土ヶ谷下町16-6
- 主 な 事 業 内 容 電気設備設計・施工・建設業
- 従 業 員 数 36 名(男性:23名・女性:13名)

健康経営優良法人 2021認定
プライト500

健康経営優良法人
2018・2019・2021 3年認定

全従業員が、定年まで健康に働き、その後も 生き生きと生活が送れるよう会社がサポート

一般的に建設業は、不健康な仕事で、女性が少ない職場というイメージを持たれている方が多いと思います。事実、若いうちは良いですが50代を過ぎた頃から身体を壊す人もいます。全従業員が、定年まで健康で働き、その後も生き生きとした生活を送れるよう会社としてサポートをすることができないかと考え以前から様々な取り組みをしてきました。国や横浜市で「健康経営」の認定制度がスタートしたことを聞き参加させていただきました。今までの考え方や取り組みが「健康経営」に通じることをあらためて実感しました。

働きやすい環境を会社が創るため試行錯誤

「未病」対策が重要と考え、9月の健康診断とは別に3月に希望する社員が人間ドックを全額会社負担で受診しています。また、以前からインフルエンザのワクチン接種を事務所で実施していた経験からコロナ感染症対策として、事務所で抗体検査・PCR検査を2～3週間に1回は実施しています。この取り組みは自社だけでなく下請け企業の皆さんも参加できます。ワクチンの職域接種や接種日の特別休暇の取得もできるようにしています。また、メンタル面にも配慮し伊豆にワーケーション施設を作りました。コロナ禍でも仕事をしながら温泉に入りリフレッシュと家族サービスと一緒にできると好評でした。また、食事が重要であると感じ昼食時に社長自身が、お手製のサラダバーを定期的に開設し従業員に野菜をたくさん食べてもらい、こちらも大変好評です。

10年以上前には、女性社員が1名だけでしたが現在は3分の1が女性です。生産年齢人口が減少する中で、建設業であっても女性と一緒に働いていただくことは益々重要となります。積極的に研修会を開催し技術の習得や資格取得を奨励してきました。女性が活躍することにより男性社員の意識も向上した結果、性別に関係なく全社員の意識や仕事の技術がレベルアップしました。働きやすい環境を整えるために何が必要かを会社として常に意識し試行錯誤を繰り返してきました。

従業員が身心ともに健康になることが 会社の成長につながる

「従業員の健康や環境にそんなに投資して大丈夫」と質問されることがあります。弊社では、健康経営・テレワーク・ワークライフバランス・SDGs等の取り組みにより業績も順調に推移しています。また、採用面においても優秀な人材の応募が増えています。応募した動機を聞くと弊社HPを見て様々な取り組みに興味を覚えたと回答する方がほとんどです。弊社の方針を理解して応募されますので人材のミスマッチも減り意識の高い優秀な人材の採用に繋がります。健康経営を実践することでお金では簡単に手に入らないものを得ることができます。従業員が身心ともに健康になることで会社の成長につながると確信しています。

健康経営は横の広がりが大切

「健康経営」の取り組みについて自社だけで実践するだけでなく、地域や全国の企業と情報交換ができるとありがたいと思います。横の広がりが大切であり、それを実現するためにも弊社は積極的に自社の情報を発信し続けたいと考えています。



事務所で実施する抗体検査・PCR検査の様子。



健康経営を支える
CHO広報部部長
横澤 昌典 氏
※CHOは健康管理最高責任者
(Chief Health、Human、
Happiness Officer
健康、人事、幸福追求の
3つの意味を持ちます。)

新潟県
長岡営業所Voice Report
80th
The Anniversary代表取締役社長
櫻井 馨氏

社員一人ひとりが「物心両面で豊かな人生」を送ってもらうために！

- 代表取締役社長 櫻井 馨氏
- 本 社 所 在 地 新潟県魚沼市
- 主 な 事 業 内 容 総合建設業
- 従 業 員 数 65名(男性:53名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
プライト500健康経営優良法人
2018～2021 4年連続認定

「健康経営」をきっかけに社内に健康文化を築く

日頃から社員の安全や健康を確保するための対策に積極的に取り組んでまいりました。ある時「健康経営優良法人認定制度」があることを知り、認定項目が会社が取り組んでいたことと一致する部分も多く、挑戦した結果、認定をいただくことができました。そこから継続的な認定を目指し、前年度の認定項目からチャレンジできそうなものを選び新しく挑戦をするようにしております。継続的に取り組むことで社内全体に健康を意識する文化を構築できるよう努めております。

現場の安全を意識共有する

毎年5月に「安全衛生大会」を開催しております。日頃、工事でお世話になっている協力会社様をお呼びし安全について当社社員と共に再確認をし気を引き締めております。その際、運動やコミュニケーションの取り方に関する事など、多彩なテーマの講演を受講いたします。その他に、不定期ですが、熱中症に関する事、インフルエンザの予防等、季節に合わせた健康コラムを発信する取り組みも行っています。

地域の安全を守る使命感

当社は全国有数の豪雪地帯である魚沼市にあります。そんな魚沼の地で、当社は除雪も業務とさせていただいております。2021年認定の冬は例年に比べ、積雪が多かったこともあり、除雪が止まってしまうと通常通りの生活を送ることもままなりません。魚沼の安心・安全の担い手として、出勤停止とならないよう、社員の感染症予防に向けた取り組みに努めました。会社より一部費用負担、予防接種時の出勤認定、予防接種実施場所の提供を行いました。結果、インフルエンザの感染を防止することが出来ました。

今後の展望

理想は全ての現場で、時間外労働・休日出勤をなくすことです。時間は各社員にとって有限であり、また平等に与えられたものです。仕事だけの人生にはしたくないと思っています。現実には、社員の努力では変わらない所も多々ございます。会社として社員のワークライフバランスをしっかりと意識し体制を整えていかなければなりません。現在、残業を減らすためにICTやドローン測量、建設ディレクター職の導入等を行っています。また、禁煙にも力を入れていきたいです。一人ひとりの社員のワーク・エンゲージメントを高め、健康で長生きをし結果定年なしで働けるような会社にしていきたいと思います。

コミュニケーションを通して会社という「チーム」をつくる

新型コロナウイルスの影響もあり、全員で集まる忘年会や歓送迎会といった行事が全くできなかったのが、コミュニケーションに関する取り組みに大変苦労しました。業種的に、日頃から社員がそれぞれの現場で働いていますので、直接顔を合わせてのコミュニケーションの機会がどうしても減ってしまいました。限られた時間の中で働きやすい環境をつくるため毎朝15分間の環境整備での会話など話しやすい雰囲気作りをすることで、会社という「チーム」を作り上げられるよう日々工夫をしています。

安全衛生大会で片足立ちをして
じゃんけんをし、負けた方が会場
を一周歩くというゲームの様子

除雪作業中



不定期コラム：けんこう通信

代表取締役社長
橋場浩之 氏

地域のリーディングカンパニーに！

- 代表取締役社長 橋場浩之 氏
- 本 社 所 在 地 長野県下伊那郡高森町
- 主 な 事 業 内 容 精密機械業 無励磁作動ブレーキ製造等
- 従 業 員 数 196名(男性:127名・女性:69名)

健康経営優良法人 2021認定
プライム500健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康診断の結果を見てビックリ！！ 会社として健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社は「海洋から地上そして宇宙まで」幅広い分野でものづくりを指向する製造業です。おかげ様で業績は堅調なのですが、毎年健康診断の全社員の結果が出るたびに、会長と顔を見合して「これはマズイ。何とかしなければ」とここ数年を過ごしていました。3年前に健康経営という言葉を知り、内容を調べて「これだ！」と感じ、即実行で取り組んでいます。実は、健康経営というものがあるので取り組んでみては？と提案した方はパート勤務をされている方です。

「ハッピープロジェクト」を始動 まずは女性陣主導で活動をけん引。

2019年2月より健康経営をスタートしましたが、まず、手始めに『ハッピープロジェクト』を立ち上げ、毎月第3金曜日に16:00から17:10まで専門トレーナー3名に来社してもらい、各社員それぞれの自主目標に合わせて、筋トレ・ストレッチ・座学等を指導いただいています。又、『ハッピープロジェクト』を推進してもらうリーダーを任命し、参画意識を高める為、全員女性にお願いしています。健康診断には体組成測定も取り入れ、健康の見える化にも取り組んでいます。

全社員に万歩計配布。総歩数と総消費カロリーを 毎月集計。上位者には月間賞を進呈。

別の取り組みとして、全社員に支給した万歩計からデイリーで集計結果が分かるようになりましたので、部署単位の歩数と一人当たりの歩数で対抗戦を行っています。月間上位入賞者には賞金を授与しています。これも前向きな盛り上がりがあり、役員も負けるわけにはいきません。以前より積極的に工場内を歩くようになりました。地域連携として地元の農家さんとの連携対面販売会を行ったり、休日出勤者用に地域の業者さんに頼んでヘルシー弁当の配達をお願いしたりしています。商工会や町の地域を元気にする企画には積極的に参加しています。

協和精工参観日。ご家族・友人・恋人OK。

ユニークな企画として弊社は企業参観日というものを実施しています。(下の写真がそのチラシです。)
社員のご家族・友人・恋人に実際に会社見学をしてもらい、どんな会社でどんな環境でどんな仕事をしているのかを体感してもらいます。2020年は32組101名の来社をいただきました。スタンプラリーや抽選をしています。非常に好評で感想を抽選券に書いてもらおうと、その内容に経営陣が鼓舞されるような書き込みがされています。

**第2回
協和精工参観日**

日時：2020年11月15日(日)
9:30 ~ 12:00 まで
受付場所：食堂1階(9:20受付開始)

ご家族・友人・恋人が思い思いの上にお気軽にご参加ください。お待ちしております。

工場内をスタンプラリーで回って
引換に来社プレゼントを受取って下さいね。

代表取締役社長 橋場浩之

代表取締役社長
民 理恵 氏

「ワークエンゲージメントで次々と新しいプロジェクトが立上げ！」

- 代表取締役社長 民 理恵 氏
- 本 社 所 在 地 京都府向日市森本町高田24番地
- 主 な 事 業 内 容 精密板金、架台・フレーム製作
ファイバーレーザー加工・大型五面加工
- 従 業 員 数 31名(男性:24名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライツ500健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営は「思いやりの心」から

きっかけはアクサの健康経営アドバイザーから……。その中でも、「心の健康」という言葉が響きました。というのは、私が経営者として一番大事にしてきたことが「思いやりの心」だったのでその言葉がとても心に響き、ぜひ取組みたいと考えたのが、始めるきっかけとなりました。

従業員が自発的にアクションを開始！

スタート当初は、健康診断の再検診を出勤扱いにしたり、自動販売機の飲み物をトクホ中心に変更したり……。ただ、すぐには健康経営を会社全体に浸透させることは難しかったのですが、担当者とアクサのアドバイザーが相談し、声掛けをする中で協力者が少しずつ増えて、社員一人一人が健康を意識するようになってきました。エレベーターを使わずに三階部分にある工場から事務所の移動を階段で意識的に移動する社員が増え始め、今では3時の休憩に工場内全スタッフで約5分程度のストレッチ体操を毎日取組むように自主的になりました。また、社員の発案で社員の子ども達に作ってもらった「啓発ポスター」を社内に掲示したところ、大きな話題となり、社員間のコミュニケーションもより活発になり、取組みが大きく前進していきました。こうして徐々にワークエンゲージメントが高まってきたように感じています。

従業員が自発的に始めた
ストレッチ体操の風景社員の子どもが画いた
ポスターを社内に掲示

ブライツ500を取得して新たな展開

ブライツ500に認定されてからは、取引先のお客様から「すごいですね！」と言って頂くようになり、改めて私を含め全社員がこのブライツ500がそれほど凄いことだと認識させられ、これまでの取組みに自信を持てるようになりました。社内では社員自らプロジェクトを立上げ、新しいアイデアが生まれるようになっていきます。また社外では、健康経営のセミナーで私が登壇をして当社の取組みを広くご紹介する活動も行っています。

更なるワークエンゲージメントの高まり！

そのようなプロジェクトチームから自社商品開発として、「車椅子用アルコールスタンド」の開発に成功し、「全国脊髄損傷者連合会総会」にもスタンドを設置させていただき、協賛会社としても紹介して頂きました。このプロジェクトはクラウドファウンドを社員発案で活用し、資金の一部としています。今後はここで出会えた方たちの力も借り、色々な方面に広めていきたいと考えています。また、SDGsのS認証も取得し「全ての人に健康と福祉を」の一部でもお手伝いが出来たらと思います。今年我社は35周年を迎えました。来年には工場も移転し大きく拡大します。そのすべては「思いやりの心」を持った働くスタッフのおかげでなしえることが出来たと考えています。そのためにも健康を一番に経営していけたらと考えています。

自社で開発した
車椅子用アルコールスタンド

代表取締役社長
初田俊哉 氏

「社員と家族の幸福を追求するために！」

- 代表取締役社長 初田俊哉 氏
- 本 社 所 在 地 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル
- 主 な 事 業 内 容 健康・医療・社会保障分野の情報通信業
- 従 業 員 数 31名(男性:19名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライツ500健康経営優良法人
2019~2021 3年連続認定出版健保大阪支部と
二人三脚で取組み

弊社は今年会社設立70周年を迎えます。これまで一貫して健康保険組合等の医療保険者が加入員に対して行う広報や保健事業のお手伝いをしてまいりました。

健康経営の取組みは、平成30年4月に『健康宣言』を加入している出版健康保険組合大阪支部に提出したことが始まりです。大阪支部の設立当初からのお付き合いで、現在も健保組合の保健師さんから、健診データや医療データをもとに会社へのアドバイスや社員への保健指導を行っていただくなどのコラボヘルスを行っています。また健保組合主催の運動会やウォーキング大会などに積極的に参加をしているほか、健保組合の健康管理支援サイト「マイヘルスウェブ」を社員にも活用させています。その結果3年連続で健康経営優良法人に認定され、今回はそのなかでも上位500の【ブライツ500】にも認定されました。これもひとえに出版健康保険組合様のご支援のおかげです。この場をお借りし感謝申し上げます。

出版健康保険組合



ご利用案内



ワークライフバランスの推進に効果大

弊社ではノー残業デーを週2回実施し、当日は全従業員にメールで内閣府の『ワークライフバランス実現に向けた3つの心構えと10の実践』を添付・配信しています。また、終業時には総務部長が各部署を見廻りし、残っている社員に声掛けを行っています。その結果、時間外労働は昨年比で18%削減され、有給休暇取得率は14%向上しました。

現状の課題と今後の展望

職場の衛生環境の見直しを図るためにアンケートで社員の意見を聞き、今年1月より受動喫煙対策として敷地内全面禁煙を実施しました。今後は禁煙サポートの取組みを実施したいと考えています。

また食生活改善、運動機会の増進、社内のコミュニケーションの活性化などの取組みが不十分でしたので、ヘルスリテラシーの向上を目的に、新たに採用した保健師さんや産業医の協力を得てWEB研修やストレスチェックを実施していきます。

今後は取組みが形骸化、マンネリ化しないよう心がけ、活力ある職場にするために、健康経営を進めていく所存です。

ブライツ500取得の取組みを事業に生かして

弊社が長年にわたって健保組合に提供してきた事業は、企業の健康経営の取組みに生かしていただけるものであることを改めて認識しました。弊社の営業部員は全員が健康経営アドバイザーの資格を取得しています。今後は健康経営に取組む企業への支援を事業の柱の一つに据えて、事業の新たな展開を進めていきたいと考えています。

代表取締役社長
堂上勝己氏

「会社を支えてくれている社員を大切にするために！」

- 代表取締役社長 堂上勝己氏
- 本 社 所 在 地 大阪市西成区南津守5-12-16
- 主 な 事 業 内 容 金属製品製造業
- 従 業 員 数 51人

健康経営優良法人 2021認定
プライト500健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

若い世代が多いからこそ健康経営を始めた

弊社の健康経営の取り組みは2018年からスタートしています。目的は新卒採用と定着率の向上です。その甲斐もあってか、弊社の社員の平均年齢は28.6歳と比較的若くなりました。しかし昼食を抜いたり、手軽に利用できるコンビニ食を多用する社員が増加してしまいました。このままでは成人病にまっしぐら…。会社としても何としても取り組む必要があると感じて健康経営に着手しました。

契約しているお弁当屋さんの利用料金に半額程度の補助を出すことで弁当の利用を促進し、栄養バランスを確保しつつコンビニ食利用により発生するごみの削減にもつながっています。

情熱と誠意をもって健康経営に取り組む！

今回は弊社として

- ・ウォーキングラリーの参加率の向上
- ・有休取得率90%以上
- ・ストレスチェック全員実施

の達成を目指して特に注力しました。

あくまで強制ではなく、自立して取り組んでほしいと考えています。社員同士での声掛けで意識しあえるようにと、インセンティブを設けたり工夫を行っています。

若い世代ならではの課題が…

健康経営の取り組みを行っている、若い世代が多いからこそ特有の課題に直面しています。それは取り組みへの意識づけです。年齢が若い間は生活習慣病への罹患率も低い、健康課題を自分事と捉えず、心の底から取り組みが出来ていない社員もいます。いかにそういった社員のモチベーションに働きかけていくかが今後の課題だと感じています。

全員が揃って笑顔になってこそ、本来の健康経営。一人も漏れることなく意識の共有を図って課題解決していきたいと考えています。

「健康づくり委員会」を設置

社員が取り組みたいと思えるような仕組みを作りたいという考えから、「健康づくり委員会」を設置しました。

経営者の考えだけでなく、社員の考えを多く取り入れてこそ健康経営の取り組みに繋がると考えていますので意見出しの場として活用しています。

健康情報を毎月更新して、掲示することで普段から社員全員が健康意識を持てるようにと試行錯誤しています。

今後の展望

弊社はSDGsへの取り組みについても重要視しています。

これからますます企業としても、社員としても変革が求められる時代が続くと予想されます。

女性だから、男性だから、という考え方をなくし、一人ひとりの能力が存分に発揮することが出来る環境を整えていくように引き続き取り組んでいく所存です。

プライト500を取得したことでますます磨きがかかった企業へと成長したいと思います。



代表取締役社長
中田 寛氏

「for the family」をモットーにした働きやすい環境づくり

- 代表取締役社長 中田 寛氏
- 本 社 所 在 地 大阪府八尾市上尾町5丁目1-15
- 主 な 事 業 内 容 アルミ精密部品の切削加工、
超微細加工技術の開発
- 従 業 員 数 36名(男性:24名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
プライト500健康経営優良法人
2019~2021 3年連続認定

健康経営に取り組むきっかけがありました。

当社の健康経営は一人の社員の退職から始まりました。社長の右腕ともいえる当時の工場長から突然の退職申し出があったのです。原因は社員に仕事の自主性を持たせるという面が欠けていたため、言われた通りにしかやらない組織になっていたために当該社員に負担がかかり過ぎてしまったことによります。社長以下全員大変大きなショックを受けました。この失敗を繰り返してはいけないと社内の改革を行いました。自主性を尊重し個性を発揮できる少数のチーム組織に改正しました。次に働きやすい環境づくりをし、誰一人つぶさない組織体制を築くことにしました。こういったいきさつから健康経営の取り組みも始まりました。当社ではこの思いをずっと忘れないために、退職日に撮影した元工場長が入った集合写真を社内に貼りだしていつも心に誓っています。

「休まずに長時間働くことが美德」を打破するために根本的な改革を断行しました。

当社では長い間の慣習により、5,6年前まで恒常的な残業が当たり前になって、有給休暇取得率も低い状況でした。そこで全社員にアンケートを実施したところ、勤続5年以内の社員はワークライフバランスを重視しているものの休暇を取ったり早帰りをしたいが、社内の風潮に休まずに長時間働くことが美德であると考え、雰囲気があるため言いにくいことが判明しました。そこでまずはこのベテランの意識変革が必要と考え勤続10年以上の社員は必ず月に1回以上有給休暇取得しないといけない「おやじ休暇制度」や5日間の公休と10万円の旅行補助金を支給する「昭和のおやじ休暇制度」を導入しました。浸透するにつれ若手社員が有給を取得し易くなり、休暇を取りにくい風潮はなくなりました。残業については、思い切って残業時間を減らした分に応じた手当を給与等にプラスすることにし、残業しなくても収入が減らないシステムにしました。また、男性社員には、夫が早く帰るようになると不安を覚える奥さんの気持ちに配慮して、社長が奥さんあてに働きやすい環境づくりへの家族の理解を求めた内容の手紙を賞与毎に書きました。男性社員は帰りやすくなったと喜んでいきます(笑)。このような取り組みを行い長年の社内の慣習を打破しました。

「親子参観」で家族の支えを引き出しています。

ストレス対策に家族の仕事に対する理解は欠かせません。当社では6年前から「親子参観」と称して新入社員の親を対象に会社の参観を実施しています。参観日当日は職場の見学案内、会社説明を新入社員が行います。その後社長から経営方針や期待することなどを話し会社への理解を深めていただきます。また、今後の業務指導や配慮すべきことの確認のためそれぞれの社員の長所など人物について親御さんと刷り合わせを行います。この取り組みによってご家族の理解が得られ、家庭とも太いパイプを築くことができました。また、新入社員も家族に仕事のことを話題にすることができ、精神的な支えを得られるようになっていきます。こういった取り組みも「離職率ゼロ」の達成につながっていると自負しています。

今後も良い職場をつくり、全員が活躍できる環境をつくっていきます。

コロナは世間に非常に大きなマイナスの影響を与えましたが、反面3密防止などの制限から不必要なミーティングや無駄な業務の存在に気付くことができました。もっと効率化をすすめて将来的に「週休3日制」の実現を目指していきたいと思います。今後、強い会社になるために大切なことは良い職場づくりです。仕事ですから、やるときはきびきびと効率的にすすめ困ったときは助け合いができるそんな「良い職場」を目指していきます。職場環境づくりを進めている結果、女性社員で2度目の産休・育休の取得者も出てきたり、男性社員で初の育休取得者も出てきました。今後も全員が働きやすい職場で、全員が活躍できる環境づくりを行っていきます。



2020年8月13日親子参観を実施しました

大阪府
大阪東営業所Voice Report
80th
The Interview取締役社長
西島大輔 氏

活き活きと働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。

- 取締役社長 西島大輔 氏
- 本社所在地 大阪府東大阪市足代北 1丁目18番26号
- 主な事業内容 自動車操縦装置製造業
- 従業員数 67名(男性:54名・女性:13名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライツ500健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

「ブライツ500」認定に驚きました。

当社はハイレベルな技術力を有する専門工場が集積する東大阪の地で、約70年にわたり高い切削加工技術による課題解決を提供しております。特にOJTを中心とした技術の伝承に加え「技能五輪指導者」を講師に招いての技術指導も受け止まない人材育成を続けております。その結果2007年に「明日の日本を支える元気なモノづくり中小企業300社」をはじめ数多くの受賞をいただいています。

しかしながら激動の時代、現状に踏みとどまることなくチャレンジ精神により、新しい価値を創造し成長し続けなければなりません。ワークエンゲージメントを高める健康経営は当社にとって当然取り組むべき課題でありました。そんな中、健康診断をお願いしている会社から「健康経営優良法人制度」のことを聞きました。たとえ認定を受けられなくともいいからできる限り挑戦をしようということになり全員で取り組みました。「ブライツ500」も狙ったわけではなかったのですが認定を聞き驚きました。

長時間労働対策に根本的な取り組みをしました。

かつて当社は時間外労働が月に60～80時間ほど当たり前のようでした。改善ではなく根本的な取り組みが必要でした。長い間の慣習により従業員にとっては、残業手当分にて収入計画が成り立っていましたので、単に「残業時間をなくしましょう」と言っても効果は上がりません。そこで、段階的に目標時間を設定し、その時間に見合う残業手当分の人件費を全員に人事考課も加味しながら、先行して基本給にプラスし配分しました。(従来から残業のなかった社員も含めて)こうした取り組みで、収入が減る不安を払拭し、残業時間の改善を図ることができました。現在、時間外労働は月30時間、年間360時間まで減少しています。

ウォーキングイベント
後の公園清掃活動

「ワールドウォーキングツアー」を開催しました。

昨年、運動増進の取り組みとして「ワールドウォーキングツアー」を開催しました。これは万歩計を全員に支給し8人一組のチームを作って3ヶ月間歩数を計測しチームの合計歩数を競いながら、全社員の歩数合計で世界一周をしようというイベントです。優勝チームには1人3000円の商品券を会社から支給する等上位チームへの表彰と、最下位チームには社会貢献活動としてラグビーで有名な花園ラグビー場のある花園中央公園の清掃をしなければならないという楽しい企画にしました。まず、各チームリーダー役の推進員9名が自分のメンバーを選ぶ「ドラフト会議」を行いました。会社内では歩く機会が少ない事務作業従事者より普段現場で歩く機会の多い作業室内の従事者に人気が集まり、どのチームに誰が行くかで「ドラフト会議」は大いに盛り上がりしました。イベントを始める前の注目度を上げる方策としては十分に効果がありました。イベントがスタートすると、毎週各チームの歩数を合計し、どの国まで歩いているのかを楽しみながら取り組んでおりました。3ヶ月間はあっという間に過ぎ、今回は日本から出発しグリーンランドまで到達いたしました。世界一周にはもうワンクール必要になりますので、今年改めて企画し世界一周を達成したいと考えております。個人のトップは70歳代の従業員でした。1日平均3万歩も歩いてましたので皆びっくりしました。このように今回は歩くことへの意識付けが楽しくでき大成功となりました。今後もこのような企画を盛り上げたいと思います。

活き活きと働く環境を作り健康を維持します。

現在当社ではOKR(Objectives and Key Results)による目標管理手法を推進しています。目標は達成しなくともいいワクワクするような高い目標を型に捕らわれずに3ヶ月サイクルでチャレンジしています。その成果でYouTubeを使ったじゃがいも洗浄機などBtoBtoCの開拓への新しい発想が生まれています。技術のグローバル化が進む社会において、特に従業員が仕事への活力をみなぎらせて働き甲斐、生きがいを見出せるようにすることが重要でありまさしく健康への取り組みになります。そのための環境づくりを進め今後も未来志向の会社を創り上げていきます。

／ 有限会社もものは

代表取締役
松浦久美子氏

従業員とご家族が健やかで幸せに過ごせるように

- 代表取締役 松浦久美子氏
- 本社所在地 兵庫県姫路市土山
- 主な事業内容 福祉・介護事業
- 従業員数 37名(男性:13名・女性:24名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500健康経営優良法人
2021 ブライト500認定健康であることは大前提！
健康経営で社員の健康づくりを昇華させる

社員が心身共に健康であることはもちろん、社員のご家族も健康であることで、はじめて仕事に邁進できると考えています。また、訪問看護をさせていただいている利用者様も、そのご家族が健康でないと、ご自宅での生活が難しくなり、施設看護を選択せざるを得なくなってしまう。私たちの仕事において『健康』は切っても切り離せないものであり、その健康に関する社員の意識を更に向上させたいとの思いから健康経営の取り組みを開始しました。

健康経営を通じて社員の健康づくりを見える化！

社員は毎朝『健康チェックシート』に自身の体調や体温、咳・頭痛の有無、家族の体調まで記入し、健康状態の見える化をしています。そして、朝礼においては、朝礼当番の社員が進行役となり、オリジナルの体操を実施したり、手洗い・うがい・安全運転の重要性を発表したりしています。これらの健康づくりの取り組みはコロナの蔓延前からもう10年以上続けています。当たり前のことを当たり前に継続することこそ、最も難しく、最も大切だと考えています。

社員の健康リテラシーを向上させるための
投資は惜しみません

年に数回、社員の健康リテラシーを向上させるための専門的な研修を実施しております。直近では、社員全員で『認知症サポーター養成講座』を受講し認知症サポーターとして認定されました。その他、個別の学びの場に参加したい社員には会社から補助金を支給しています。生涯学習と社員間のコミュニケーションの機会を創出できる環境を整えることで、社員が楽しい・働きやすい職場と感じてくれると考えています。

利用者様の声を基に
社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます

利用者様のお母様から「子どもは生まれてからずっと入院しているので、病院以外で写っている写真がない」という声をお聞きしました。そこで、重症心身障害児とそのご家族のための『ファミリー写真撮影会』を開催しました。21組のご家族にご参加いただき、大変盛況のうちに終了しました。今後も利用者様の声をお聞きしながら、社会貢献活動にも積極的に取り組んで参ります。

コロナ禍でもリモートを活用して
社員間のコミュニケーション不足を解消！

コロナ禍において、集団感染のリスクがあるため、社員全員が集まっての朝礼や夕礼を開催できていません。そのため、社員間のコミュニケーション不足を懸念しています。そこで、iPadを支給して、Zoomによる朝礼・夕礼を開催し、少しでも顔を見てコミュニケーションが取れる環境を整備しました。また、釣りやテニスといった余暇活動もコミュニケーションが取れる貴重な機会と考えて、費用の一部を負担しています。社員が楽しく働き続けられる職場を目指しています。

2019年12月14日
ファミリー写真撮影会を実施

代表取締役社長
松見哲也 氏

「会社と地域の融合を図る企業」を目指して

- 代表取締役社長 松見哲也 氏
- 本 社 所 在 地 北海道室蘭市御前水町
- 主 な 事 業 内 容 電気設備工事業
- 従 業 員 数 46名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むキッカケ

一言に「健康」といっても、その内容を「見える化」とすることが、非常に難しい項目として私自身、今まで捉えておりました。「自分は健康だ!」と自負していても、ここ最近において「健康診断」での『要観察・再検査』に伴う内容が役員・従業員問わず、散見しつつあり、今一度、健康へ対する取り組みを正面で向き合うきっかけとなればと思い「健康経営優良法人認定」制度を、アクサ生命保険の担当者よりお話を聞き、今回の「健康経営優良法人認定」への取り組みを開始しました。



社屋 正面

弊社ホームページ
URL: <http://taiden.jp>

注力した取り組み事項



屋外喫煙所



禁煙ポスターの掲示

令和元年12月に「健康経営宣言」に手を挙げ、真っ先に注力したのが『喫煙率低下』から始めていきました。現状数値をとらえ、外部より保健師を招き入れ、タバコに伴う「健康被害」ならびに「喫煙リスク」を役員含め全社員への周知を目的とした「健康講演」を実施致しました。また、初の試みで、自社独自の『禁煙手当』を給付する事により、喫煙率低下を図りました。

感染症予防や感染拡大防止に向けた取り組み

飛沫防止対策アクリル板を設置し、事務所内従業員間及び来客面談時の飛沫防止を図り、社内主要箇所に、消毒液・ペーパータオル等を設置し、来客者も含めた「感染対策」に努め、現在も継続中です。

従業員全員には、毎朝の検温を実施し、管理者がその数値を確認、その結果を社内共有ファイルへ入力後作業日報と一緒にメールにて報告する事を義務付けいたしました。



事務所入り口

事務所内飛沫防止
パーテーション

会社周辺町内全域の清掃活動

全社員の「健康増進」を目的とした、弊社社員（役員含む）一同参加による「地域清掃ボランティア」を毎年開催しております。特に、弊社の立地上、車の往来が多い所に沿って建っており、また、歩道部分が子供たちのスクールゾーンにも指定されている為、地域の子供たちの安全配慮も含め、ロードクリーニング活動を行っております。（3回/年）



2020年4月&7月&10月 3回/年 実施

代表取締役社長
渡部 厚氏

「社員全員の健康を考え、より良いモノづくり企業」を目指して！

- 代表取締役社長 渡部 厚氏
- 本 社 所 在 地 北海道室蘭市八丁平
- 主 な 事 業 内 容 精密金型・部品製造業
- 従 業 員 数 9名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

人材育成と健康経営

弊社は、Xプロファイルグラインダー、研削盤、NC工作機、超微細砥粒を使用した研磨機操作等による、公差がミクロン・オーダーの精密金型の加工・製作を行っており、多種多様なお客様のオーダーに信頼性の高い加工技術でお応えしています。

機械化が進む一方、最終工程では、一人一人の熟練された『技術力』が大きく、その中で、今後従業員への「人材育成」ならびに「安心して仕事ができる環境づくり」を考えていた所、アクサ生命保険の担当者より「健康経営優良法人認定」制度のお話を聞き、今回の「健康経営優良法人認定」への取り組みを開始しました。



社屋・工場 全景



認定証



弊社の手掛ける精密加工製品

まずは社員一人一人の健康への意識を確認



健康経営に取り組む際に、私自身「健康経営って？」からスタートし、経産省・厚労省・協会けんぽ等の情報収集を行い、まずは、

2020年4月の宣言後、全社員の健康意識の確認から始めて行きました。月一度の社員と経営者の個別面談を実施し、社員一人一人のモチベーションを「見える化」する事により「人材育成」及び「環境整備」へのツールとして活用いたしました。その結果、「風通しが良くなった」という社員の声を多く聴くことができるようになりました。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。



アクサ生命保険健康経営アドバイザーより毎月配信される「健康ツール」を社長自ら、社員全員へ配布し、健康課題を各自にて認識。以降の取り組み内容を全従業員で共有化を図りました。

感染症予防や感染拡大防止に向けた取り組み



社屋入口



工場入口前

社内主要箇所(工場入口含む)に、消毒液・ペーパータオル等を設置し、来客者も含めた「感染対策」に努め、現在も継続中です。

従業員全員には、毎朝の出社時に検温を実施し、設置した台帳へ日々記録を行い、管理者がその数値を確認し承認後、工場への入室許可を義務付けいたしました。

有限会社エイアンドワイヨシダ通信工業

代表取締役社長
吉田鉄矢氏

「社員・家族共に健康である会社」を実現するために！

- 代表取締役社長 吉田鉄矢氏
- 本 社 所 在 地 北海道室蘭市白鳥台
- 主 な 事 業 内 容 電気通信設備業
- 従 業 員 数 6名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

事業継承からの健康経営チャレンジ

一昨年1月、現会長の社長引退に伴い、社長という立場となり、その際、アクサ生命保険の担当者で、多岐に渡る事業継承のアドバイスを頂き、非常にスムーズな事業継承ができた経緯がありました。自分が会社の代表という責任がある職務となり、今まで培った会社の業績を崩すことなく社長職に就きましたが、就任当初は、右往左往の毎日で「このままでは・・・」という思いばかり先行した時期でもありました。その中で、事業継承時にお世話になったアクサ生命保険の担当者より「健康経営優良法人認定」制度についてお聞きし、今回の「健康経営優良法人認定」への取り組みを開始しました。



認定証



社屋 正面

「健康経営実践プログラム」から、取り組み内容



健康を維持するため、毎月配信される、アクサ生命保険の健康経営アドバイザーからの「健康資料」を壁に掲げ、社員全員が閲覧できるように展開いたしました。特に弊社の場合は、遠方での作業現場が多く、見る機会が確保ができない環境ですが、戻り次第、全員に見てもらい、日付を記入するように行いました。また、社屋内において、『全面禁煙』を促し、業務中での喫煙防止を図りました。

社長自ら率先し行動し社員全員へ

私自身「健康経営って？何だろう？」からスタートし、健康経営関連の情報収集を行い、2019年9月の宣言後、社長自ら健康経営と正面に向き合う行動を率先して行い、その結果に基づき、全社員へ展開して行きました。最初は、社員間でも「自分は健康だから…」といった意見も多く散見されていましたが、今ではその重要性を改めて認識し、多方面からの社員とのコミュニケーションの確立を図ることができました。

大切な社員とその家族の健康とともに
会社の成長を

社長交代を機に、今の会社を大きく成長させるという意気込みで就任しましたが、健康診断の結果を踏まえ、また社員の高齢化が進むに伴い、健康不安の部分が段階的に表面化しつつあります。また、会社を守る立場から社員自身さらには、その家族も守ることも大きな使命と考えており、その中で、如何に社員の健康状態を「見える化」するにはどうしたらいいのかと考えていた所、今回の「健康経営」の各指標を行動に移し、その結果こそが、会社の成長に直結するものと思っています。6人弱の会社ですが「Healthy with Family」を掲げ、今後も精力的に活動していきたいと思っています。

感染症予防や感染拡大防止に向けた取り組み



社屋入口カウンターへアルコール・除菌ティッシュを設置し、また、社屋内、4回/日(10:00 12:00 14:00 16:00)の換気の実施を行っています。



／ 有限会社木村宅建サービス

代表取締役社長
木村誠志 氏

「社員が健康であって、お客様との出会いを大切する
地域共栄の不動産会社」を実現するために！

- 代表取締役社長 木村誠志 氏
- 本 社 所 在 地 北海道室蘭市中島町
- 主 な 事 業 内 容 不動産業
- 従 業 員 数 4名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

多くの人との出会いに当社社員が健康でいることが大切だからこそ、健康経営へチャレンジ

弊社は、地元を中心とした不動産売買事業を手掛けており、多くのお客様との繋がりを大切にしております。土地や家など不動産売買は、とても大きなお金が動くこと、また人生の中で一番高い買い物といっても過言ではなく、ほとんどの方が不安だと思います。その不安をお持ちのお客様に対して、当社社員がいつも元気で、笑顔とともに話すのと、顔色が悪い状態でお話するのでは大きな違いがあります。その中で会議所共済で日頃よりお世話になっているアクサ生命保険の担当者より「健康経営優良法人認定」制度についてお聞きし、今回の「健康経営優良法人」への取り組みを開始しました。



応接室に掲示



本社全景

大切な社員とその家族の健康とともに

私自身「健康経営って？何だろう？」からスタートし、健康経営関連の情報収集を行い、2020年7月の宣言後、社長自ら健康経営と正面に向き合う行動を行いましたが、自身含め、今の年齢からの、健康不安の部分が人間ドック等で多く散見されてきております。「このままでは・・・」と考え、会社を守る立場から社員自身またその家族も守ることも大きな使命と考えており、今一度、自身含め全社員の健康状態の「見える化」を進めるべく今回の「健康経営」の各指標に行動を移しました。その結果、健康と正面から向き合う姿勢が確立し、大きな成果を得ることができました。

注力した取り組み事項

業種柄、どうしても土日稼働は外す事ができない所もあり、店休水曜日に設定はしていても、労働環境の改善が急務な課題としてありました。そこで、今回の「健康経営」を機に、労働環境改善を目的とした『有給取得』の積極的な取得を第一テーマとして掲げて展開してまいりました、まずは、社長以下、役員が率先して有給取得する事を推進し、なかなか取得が難しい従業員への取得するにはと考え、従業員へ「クオーターごと2日以上取得」のアドバイスを受け、実行に移した所、従業員での積極的取得へ図ることが事が出来ました。

感染症予防や感染拡大防止に向けた取り組み



今後の課題

弊社は上記にも記しておりますが従業員4人の会社です。その中の一人でも欠けてしまうと、大きく業務に支障を来してしまいます。その中で「働き方改革」+「健康経営」の両輪を潤滑に動かすことが、これからの大きな課題と捉えており、今回の認定に甘んじることなく、今後も継続できる環境作りを作ることが、自身の使命と考えております。

代表取締役
小山田亨誌 氏

鉄道電気工事のスペシャリストとして

- 代表取締役 小山田亨誌 氏
- 本 社 所 在 地 北海道室蘭市寿町3丁目9番6号
- 主 な 事 業 内 容 電気工事業(主に鉄道電気設備)
- 従 業 員 数 19名(男性:18名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

2019年に開催されたアクサ生命主催の健康経営セミナーを受講し、社員の心身の健康こそが会社にとって、社員にとってもメリットがあると思い、注力していかなければならないと感じた。

まずは取り組みそうな活動から

認定を受ける事によって社員の皆に会社が本気で健康経営に取り組んでいく姿勢を示すことが出来、まずは第一歩目でありまず喫煙率の低下及び更なる受動喫煙に対する意識向上を目指していきたい。また、ワークライフバランス、一人一人が自身の心と体の健康をさらに意識させる事も並行して取り組んでいます。

アクサの健康経営サポートパッケージの導入

毎日が楽しいと感じる事、それは何よりも心身ともに健康であることが基本、アクサ生命のサポートパッケージにより、メンタルサポート、24時間電話健康サービス等活用できるのも心強い。健康習慣アンケートも活用し、日頃聞こえてこない、目に見えない生活習慣の課題を社員と共有する事も出来る。

今後は健康経営に取り組む事に対する従業員の参画意識向上を目指したい。

選ばれる会社 未来にむけて

健康経営は人材確保の意味からも有効的で、長期にわたり選ばれる会社を目指すことが可能であると考えます。少子高齢化の今後を見据え今からの変化が重要。安心して働ける職場を整える事により、求職者に選ばれる会社、従業員の定着率も更に良くなると考えている。プログラム以外の事にもチャレンジをして、選ばれる会社になりたい。

今後の展望 社長の思い

仕事を完遂するにあたり様々な難しさというものがありますが、難しいから面白い、その難しさに挑戦し続ける強い気持ち自然と生まれてくるような職場環境作りに、心身共に健康を目指す健康経営に取り組んでいきたい。



社屋全景

代表取締役社長
中田孔幸氏

「社員全員および家族の健康を考え、
豊かな未来と自然・地域社会との共生」の企業を目指して！

- 代表取締役社長 中田孔幸氏
- 本 社 所 在 地 北海道室蘭市高砂町
- 主 な 事 業 内 容 建設業
- 従 業 員 数 36名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

人手不足だからこそ、 健康経営に取り組む必要を感じました。

昨今の建設業界は、団塊世代のリタイアに伴い、技術的ノウハウを継承する人材の確保・育成が急務という局面に接しています。少子高齢化の折、求人をして、人材確保が難しく、また、企業として育てていくという育成への注力を行いたくても難しい時代背景があり、どうすればいいのか悩んでいた時に、アクサ生命保険の担当者より「健康経営優良法人認定」制度のお話を聞き、今回の「健康経営優良法人」への取り組みを開始しました。

「定期健康診断」2次検診への取り組み

2019年10月に「健康宣言」で手を挙げ、まずは、健康診断において指摘された「2次検診」を受診するように努めていきました。業種柄、社員の現場作業が、遠方での作業が多く、今まで健康診断で指摘された項目の2次検診は社員の独自判断に委ねられており、全てにおいて100%検診に至らなかった現状を踏まえ、指摘された「2次検診」を受診し、その結果を会社に報告するよう義務付けいたしました。

健康経営への取り組みに伴うルーティン化



今回の「健康経営認定優良法人」の認定を受けるための必須項目でもある「2次検診受診勧奨」において上記取り組みを実施したが、全て徹底という所まで至らず、どうすればと悩んでいましたが、健康経営アドバイザーより、「健康経営組織図」を作成してみてもどうかとのアドバイスを頂き、自社において、取り組み内容等の発信拠点を明確とするため「健康経営認定組織図」を作成し、運用を開始しました。縦ラインからのダウンルーティン及びアップルーティンを確立し「健康経営組織図」に基づいた展開を実施し、現在、全て解消ができるようになりました。



本社全景



弊社HPより

URL: <http://tokai-k.jp/>

健康経営推進責任者 総務部長 外川聡美氏

社員の健康維持及び感染症予防や感染拡大防止に向けた取り組み

現在の「コロナ禍」において、弊社は遠隔地での工事が多く、現場での感染防止は必須項目として捉えており、感染対策として先に出された「新北海道スタイル」を遵守。又、各現場責任者からの、日常健康管理シート（検温含む）を退社時に本社総務部への報告を義務付けをいたしました。



「新型コロナウイルス感染防止」
※北海道の定める『新北海道スタイル』を入口扉及び玄関フロアに掲示2020年3月



社員健康増進のための「ラジオ体操」を本社含め全現場にて実施。

代表取締役社長
中田久美子 氏

「健康な社員として社会環境の改善に寄与」する企業を目指して！

- 代表取締役社長 中田久美子 氏
- 本 社 所 在 地 北海道室蘭市高砂町
- 主 な 事 業 内 容 建設資材卸売業
- 従 業 員 数 43名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むキッカケ

弊社は、公共の福祉、人々の暮らし、社会環境の改善に役立つ事業を目的とした会社で、設立当初は「仮設機材のリース」から事業が始まり、「福祉部門」「健食・化粧品部門」「在宅配食部門」と常にお客様が求めるニーズに応えるべく成長してきました。お客様に寄り添うという事は、常に私たちも健康でいることが必須な事であり、社員全員が「健康」である事を今一度「見える化」を実施するため、アクサ生命保険の担当者より「健康経営優良法人認定」制度のお話を聞き、今回の「健康経営優良法人」への取り組みを開始しました。

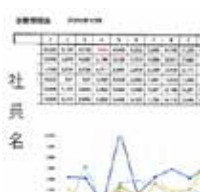
注力を注いだ重点取り組み事項

令和元年9月に「健康経営宣言」に手を挙げ、まず注力したのが『メンタルヘルス』です。現状の全社員の心身状態を個別面談を実施し、内容を把握した上で、外部より管理監督者向け労働衛生コンサルタント「メンタルサポート研修(2020年10月)」を実施致しました。その内容を全従業員へ展開し、「メンタルヘルスケア」の取り組みを実施、現在も継続しております。



社員全員の健康維持促進施策

今回の「健康経営宣言」に伴い、社員全員の健康を維持できる施策として、社員全員へ「歩数計」を支給し、日々歩数記録を報告し管理者へ提出するようにしました。管理者はその報告数値を入力し日々の管理を実施し、少しでも「歩く」ことを意識付け、健康維持・促進の一役を担っております。その結果を踏まえ、社員へのインセンティブ制度を導入し、社員の意識が向上、更には、その結果を「見える化」をする事により、社員全員のモチベーション向上につながりました。

健康経営推進責任者 総務部長
木元政弘 氏
健康づくり推進担当者
佐々木彩華さん健康に配慮した
仕出し弁当の利用促進(毎月更新中)

弊社では、先述にも記しましたが「在宅配食サービス」を手掛けており、その中で、「健康に配慮したお弁当メニュー」を促進しております。配膳先には非常に好評で、毎月の更新を実施しながら展開し、食事からの健康配慮の一助として位置づけされております。

感染症予防や感染拡大防止に向けた取り組み

昨今の、コロナ感染予防を含め、事務所及び商談室に飛沫防止対策アクリル板を設置し、事務所内従業員間及び来客面談時の感染防止を図りました。また、社内主要箇所に、消毒液・ペーパータオル等を設置し、来客者も含めた「感染対策」に努め、各従業員には各部署入室時に現在も検温を行い、その結果の記録に基づき、業務に就くことを義務付けいたしました。





「会社の健全な経営には社員の健康が第一」

- 代表取締役社長 伊藤尚宣 氏
- 本 社 所 在 地 北海道滝川市黄金町東1-11-14
- 主 な 事 業 内 容 一般貨物自動車運送
- 従 業 員 数 67名(男性:58名・女性:9名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

【健康経営】導入のきっかけ

2020年3月より取り組みをはじめました。少子高齢化が進み、将来的に従業員の年齢層があがることが想定されます。そんな中で今一緒に働いている従業員はもちろん、これから一緒に働くことになる従業員の健康を会社で守り、長く、元気に仕事をしてもらえる環境を作りたいと思い導入をしました。また、コロナの影響もあり、より一層、健康管理に力を入れたいと思ったこともきっかけの一つです。

健康経営への取り組みについてはできることから

健康経営の取り組みで特に注力したのは、運動や野菜を取る機会を多く設けたことと、健康診断 2 次健診受診の徹底と保健指導をしたことです。コロナの影響で運動不足や食生活の乱れによって健康を害してしまうのではないかと心配と健康診断の二次健診該当者には、自身の健康の現状にしっかりと向き合い早期改善に向け意識をより高くもってもらいたくて取り組むようにしました。



職場内 地域内コミュニケーションを高めていきたい

健康経営は従業員の健康状態良化推進が取り組みの一つですが、この健康経営の取り組みを社内外へ発信していくことで社員間のコミュニケーションを高め、さらに企業のイメージアップにもつなげていきたいと思っています。企業の人材確保や今いる従業員の健康の改善を実施していき、そして、我が社だけでなく、地域の企業全体で、連絡、連携をしながら健康経営の取り組みが実践できたらと考えています。

今後の取り組みと展望

弊社は今年の 6 月で現在の栄冠運輸株式会社となって創業 45 年目を迎えます。実は私と同年なんです。いつも元気に楽しく仕事をしてきている従業員、これからも皆で月日を重ねながらより成長していきたいと思っています。会社が健全な経営を行っていくためにも社員の身体の健康と、こころの健康、そして社会的健康の 3 つの健康が重要ととらえています。今後も笑顔と元気が漲る企業として健康経営を引き続き実践してまいりたいと思います。



代表取締役
奈良康弘氏

「会社の健全な経営には社員の健康が第一」

- 代表取締役 奈良康弘氏
- 本社所在地 北海道士別市大通西13丁目
- 主な事業内容 電気工事業、電気通信工事業
- 従業員数 31名(男性:28名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

【健康経営】導入のきっかけ

弊社は1950年に電気工事業を営む企業として創立し、お陰様で昨年2020年に創業70周年を迎えました。事業内容としては屋内外の電気配線及び照明設備等、屋外の水銀灯設置工事の他、テレビアンテナ設置等の電気通信工事や火災報知器等の設置や点検等、地元根付いた事業経営をしております。また営業エリア拡大を目指し、社員の知識と技術を磨きお客さまの信頼を得られる様、企業努力をしております。

その一環として【社員の健康増進に投資し業績向上につなげる】という健康経営の取り組みについて、アクサ生命の担当者の方からご提案頂いた事がきっかけで導入しました。

健康経営を通して従業員や取引先企業への
イメージアップ向上へ

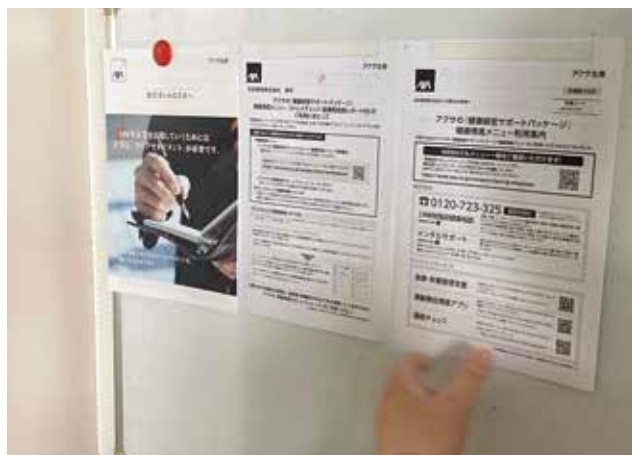
弊社は健康経営の取り組みの他に、働き方改革にも積極的に取り組んでまして、週1回のノー残業デーや、社員に一斉有給を取得するよう、会社の環境整備につきましても力を入れているところです。

そうした中で、地元の行事に参加し地域貢献する事や街の美化活動及び公共施設の窓拭き、水銀灯清掃や構内の樹木伐採作業等の奉仕活動にも力を入れて毎年継続しております。こうした活動を継続することで、社員教育・コミュニケーションを重視することが社員の成長に繋がると考えており、この会社勤めてよかった、また取引業者には一緒に仕事をしてよかったと思われるような企業のイメージアップ向上を目指しています。

健康経営への取り組みについて

アクサ生命の健康経営アドバイザーによるWEBアンケートセミナーを実施しました。

社員の健康状態や健康に関する意識の数値表を出して頂きました。そこで明確になったこれからの課題について「健康ワンポイントアドバイス」という何種類かのチラシを提供して頂き、朝礼時に紹介・回覧をし社員一人一人が健康意識向上を目指して健康経営に取り組んでいます。



今後の取り組みと展望

社員一人一人の健康が会社として大切な活力であり、財産であります。取引業者や顧客の要望に対して満足した技術提供をできる様、努めていきたいと思っております。又、これからも社員が健康で働き易い環境作りの為、健康経営に関する情報収集を徹底して、より良い笑顔の絶えない職場を目指し、今後も取り組んでいく所存です。



株式会社カーオート・ジーエム



社屋外観

「顧客サービスの向上は社員の健康から」

- 代表取締役社長 中川照彦 氏
- 本 社 所 在 地 北海道帯広市西15条南1-7
- 主 な 事 業 内 容 自動車一般整備
- 従 業 員 数 18名(男性:14名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

仕事上取引のある保険会社から健康宣言を勧められたことで宣言を行いました。

具体的な健康経営の取り組みはまだ出来ていませんでしたがアクサ生命の健康経営アドバイザーからアドバイスをもらうようになり、大事な従業員の健康に関して会社がサポートすることは当然と考え、少しずつ取り組みを始めることに。

結果として2021年に「健康経営優良法人認定」を取得することが出来ました。

計画的な有給休暇取得

従業員が年間少なくとも6日以上の有給休暇取得するように毎年、年始に有給休暇取得の計画表を提出してもらっています。家族と過ごす時間、趣味の時間をしっかり取ってリフレッシュし、生き生きと仕事に取り組むことが出来ればと考え行っていることです。

休暇を増やし、残業を減らすことで勤務時間が少なくなりましたが会社の業績は上向き傾向にありますので有給休暇をしっかりと、残業を減らすことが仕事の効率UPになっていると実感しており、それがお客様へのサービス向上につながると考えています。

従業員の健康課題を把握

健康経営の取り組みとして、まずは従業員の健康課題を把握することから始めました。

従業員の生活習慣についてアンケートを取り、明確になった課題について朝礼などで話をしたり、情報を回覧で回したりしています。

自身の健康に関して意識を高めてもらい、定期的に行う生活習慣アンケートで改善を検証していきたいと思っています。

今後の展望

従業員の健康とともに会社も成長出来るよう、アクサ生命の健康経営アドバイザーをはじめ、各方面から情報を集め従業員に「この会社で仕事が出来て良かった」と思ってもらえるよう健康経営の取り組みを継続していきたいと思っています。

病気と治療の両立支援

年齢の高い従業員も多いことから病気の重症化を防ぐため、有所見者の再検査は就業時間内で出勤認定をしています。また、すでに治療をしている従業員も重症化を防ぐことが出来るよう就業時間内での通院を認め、治療のための通院がしやすい環境を作っています。

もし病気になったとしてもしっかりと治療に専念して復帰してもらい、この会社でずっと一緒に仕事をしてほしいという思いから給付の受け取りを従業員にした保険に加入しました。



代表取締役社長
野呂佳代子 氏

「従業員の健康が財産」社員あつての会社を実現するために！

- 代表取締役社長 野呂佳代子 氏
- 本 社 所 在 地 青森県つがる市
- 主 な 事 業 内 容 建設業
- 従 業 員 数 14名(男性:12名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

従業員の健康のため健康経営に取り組む事に

従業員、従業員のご家族の健康が財産であり、会社にとって一番大事だと思っていた中で、市から健康経営認定のお話を受けた事をきっかけに取り組むことにいたしました。その後協会けんぽ・青森県健康経営事業所認定・経産省の認定も受ける事ができました。また働き方改革に、適切に対応するには現状の勤務状況を的確に把握し一つ一つ見直す事により従業員は今まで以上に健康に関心を持つ事ができたと思います。

「健康は食から」を意識して

健康診断の受診率100%実施し、35歳以上はガン検診も行っております。「食べる」事は健康にも大きく影響し、美味しい・楽しいといった充足感、あるいは食事を介して家族や社会とのつながりにより自分自身を大切にできていると思っています。その中でも朝食は一日の働く活力でもありますから、従業員に朝食を食べたのか朝食アンケートを実施し、栄養面や食事方法などアドバイスを実施しております。また、毎月の給料日には給与明細と合わせて『健康レシピ献立』を同封しております。疲労回復レシピや高血圧改善レシピを参考に従業員も食事を作っており、食事の面からも健康へ気を付けるようになってきています。今後は『健康レシピ献立』の他にも色々な情報を配信していきたいと思っています。

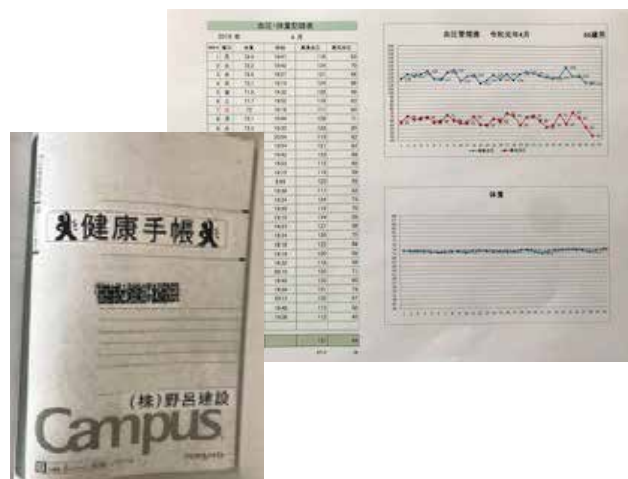


禁煙と健康にむけて

従業員に、健康手帳を配布し、毎日血圧数値や体重を記入していただき、「年間優秀社員」を表彰しております。事務所と現場に血圧測定器を設置いつでも気軽に測れるようにしました。建物内を全部禁煙としたお陰で、喫煙の本数が減ったり禁煙をした方もおります。それだけ従業員自身の健康に対する意識が高まりました。また社長と従業員一人一人の個別面談を実施し、ストレスや悩み相談等できる機会を設けています。

今後の展望

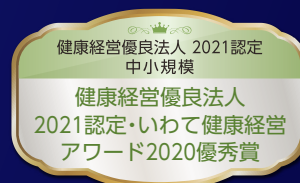
今後も優良法人認定の連続取得を目指し現在の取り組みを実践していきたいと思っています。従業員には今以上に安心して有給休暇を取得し、心身ともにリフレッシュできるようにしたいと思います。従業員が長く勤めてもらう為の快適な職場環境をつくり、安全と健康に配慮し健全な経営を目指していきたいと考えています。



代表取締役社長
望月光雄 氏

健康あつての社員満足 すべての社員が健康で働き続けられる会社をつくる

- 代表取締役社長 望月光雄 氏
- 本 社 所 在 地 盛岡市本宮5丁目5番5号
- 主 な 事 業 内 容 一般土木建築工事業
- 従 業 員 数 234名(男性:184名・女性:50名)



健康経営に取り組んだきっかけ

2020年に創業90年の節目を迎えました。健康を害し、仕事を離れざるを得なくなった従業員がいたことをきっかけに、健康診断の受診率の向上と社内禁煙などに取り組んできました。健康経営への取り組みは経営理念にも掲げているように従業員が健康であることが社員満足につながるという考えのもと会社をあげて取り組んでいます。

主な取り組みとして

一昨年から本社の昼食スペースに、野菜サラダやスムージーなどを低価格で提供するサービスを導入しました。コンビニやスーパーの弁当ばかりで偏りがちな食生活にプラス1品で従業員の食生活の改善に取り組んでいます。また、禁煙の推進策として禁煙手当を支給。喫煙者が大幅に減少しました。最近では、わかりやすい健康づくりのために健康に関する雑誌を会社で定期購読し、社員向けに配信しています。



健康経営に取り組む効果について

健康増進の取り組みが自主的なものになってきました。健康経営に取り組む前は、マラソン大会などイベント事には、やらされ感がありましたが、最近では、従業員が自身の健康を考えて、自主的に参加してくれるようになりました。土健保の歩数アプリもゲーム感覚で利用者が増えていきます。部署内にチームを作って競い合ったりすることで楽しみながら健康増進に取り組んでいます。また、近年は毎年10名程度の新卒者を採用していますが、福利厚生制度の充実が企業選択の大きな要素となり健康経営の取り組みもその一環として新卒者には好評を得ています。

今後の展望

4年連続で認証を頂いていますが、続けることでより一層やりたいことが増えていきます。今後は、従業員がいろいろなことに自主的に取り組むため、健康に関する社員教育をより一層深めていきたいと思っています。また、健康診断や再検査の受診率は100%になっていますが、再検査を受けたその後のフォローまで会社でしっかり行うことと、それ以前に従業員が病気にならないための取り組みを今後もいろいろと考え実施していきたいと思っています。従業員が健康で長く働ける会社を作っていきたいと思っています。



岩手県
盛岡営業所

Voice Report
80th
The Interview



代表取締役社長
館澤信義 氏

社員と家族の笑顔が続きますよう健康経営に取り組みます

- 代表取締役社長 館澤信義 氏
- 本 社 所 在 地 盛岡市稲荷町1番18号
- 主 な 事 業 内 容 一般電気工事業
- 従 業 員 数 21名(男性:20名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組んだきっかけ

従来から、従業員の健康と安全には気を配ってきました。その中で、一昨年、協会けんぽから健康宣言の案内をいただいたのと同時期に、アクサ生命の担当者から、健康経営の話をお聞きし、健康経営優良法人認定の取得に向け取り組みを開始しました。

主な取り組みとして

以前から、従業員全員に健康診断を実施していましたが、昨年から、再検査等の社員には必ず受診を受けさせるよう勧奨しています。少しずつ、再検査の人数が減ることを期待しています。また、昨年の事務所移転を機に、室内完全禁煙化を実施したことで、職場環境の良化に繋がっています。HPもリニューアルし会社のイメージアップに取り組んでいます。

月に一回の安全教育に活用

毎月、従業員の安全管理を目的に安全教育を実施していますが、昨年から健康経営の話題も議題にすることにしました。従業員の健康に関する意識が上がってくことで、仕事に対する効率も向上してきたと思います。また、アクサ生命から健康増進のワンポイントチラシを定期的に頂き熱中症対策なども社員に啓蒙しています。



健康経営に取り組む効果について

アクサ生命から「健康経営Webアンケート」を実施してもらったことで、従業員の意識が理解できるようになり、会社で取り組む課題が明確になってきました。今後は毎年Webアンケートを実施していくことで改善点と課題の見える化ができると思います。その意味でも長い目で健康経営に取り組んでいきたいと思っています。昨年から20代、30代の新入社員が入社してくれたので平均年齢も45歳と若返りました。これからはより一層健康を意識した取り組みを実施して、働きやすい環境を作っていきたいと思っています。

今後の展望

健康経営の本来の目的である、従業員の健康増進を通じて生産性を向上させ、会社の発展につなげていけるよう継続的に健康経営に取り組んでいきたいと思っています。地域の活性化と会社の発展のためにも若い従業員が生き生きと働ける職場環境を作っていくために、健康経営をより一層社内外に広めていきたいと思っています。



登山のレクリエーション



昨年移転した新事務所

取締役社長
金今俊政 氏

「顧客第一、社員あつての会社」をモットーに！



- 取締役社長 金今俊政 氏
- 本社所在地 岩手県盛岡市みたけ6丁目1-4
- 主な事業内容 冷暖房設備工事業
- 従業員数 13名(男性:11名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康宣言＞いわて健康経営事業所認定 ＞健康経営優良法人認定のステップを踏んで

2019年度、2020年度と岩手県健康経営事業所認定を頂いており、認定に向け取り組む中で、心身の健康の大切さを感じていました。

2021年度の岩手県への申請にあたり、アクサ生命さんより経産省の健康経営優良法人へステップアップしてみても、とアドバイスを受け、評価項目に取り組み、申請しました。また、コロナ禍で社員一丸となって取り組むものを設定することで、健康への意識向上を図りたいと考えました。

具体的な取り組み

岩手県の事業である「2020岩手県企業対抗チャレンジマッチ」に参加し、特殊な歩数計を装着し、参加企業同士で歩数、歩行速度、消費カロリー等を競うことで、「意識して動く」ことに取り組みました。

- ・受動喫煙対策として、社内禁煙を導入しました。
- ・社内レクの実施(2020年度は新型コロナウイルス感染対策のため行わず)
- ・アクサ生命の従業員健康習慣アンケートの実施

社内のコミュニケーション向上！

チャレンジマッチ参加により、社員の歩数等の情報を共有化し相互の状況を把握することで、健康に関する会話が増え、以前に増して円滑なコミュニケーションが図れるようになりました。その流れで、受動喫煙への取り組みもスムーズに進み、一人一人の意識が高まりました。

岩手県主催の「2020企業対抗チャレンジマッチ」 3位入賞

社員一人一人の小さな取り組みが実を結び、「2020企業対抗チャレンジマッチ」終了時には、3位に入賞し、岩手県より表彰状をいただきました。

健康は仕事やプライベートにおいて、自信につながり、良い影響をもたらすものと考えています。

今後の展望

健康経営優良法人認定をゴールととらえるのではなく、今後も時代や社員のニーズにそった健康経営を模索していこうと思います。

SDGsを見据えた新たな取り組みを取り入れるなどして、ステップアップしていきたいです。



2020岩手県企業対抗チャレンジマッチ第3位



社員の還暦を祝う会

代表取締役常務
伊藤拓帆 氏

「社員一人一人の健康が、全社の健全経営につながる」

- 代表取締役常務 伊藤拓帆 氏
- 本 社 所 在 地 岩手県花巻市山の神797番地1
- 主 な 事 業 内 容 一般土木建築工事業
- 従 業 員 数 125名(男性:114名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「社員の幸福」を達成するために

わが社は経営理念の一節に、「一 顧客の利益、二 社員の幸福、三 会社の発展」を掲げております。数字は順位を表しているものではなく、同時に達成することを目標として参りました。そのうちの「社員の幸福」を達成するためには心身の健康は必須なものとしてとらえております。創業102年を迎え、法人化してからも還暦を迎えようとしておりますわが社は、その間ずっと建設業に携わって参りました。建設業では実際に現場で身体を使って汗を流す作業が必須です。それには健康な身体が要求されます。そのための取り組みとしての第一弾は、始業前のラジオ体操でした。今から仕事だという意識づけ、からだをほぐすことにより事故防止と健康維持を目的としております。最古参社員が入社時には既に実施されていたので、半世紀以上も継続していることとなります。



取り組みについて

定期健康診断率もここ10年以上100%を達成しております。要再検査判定者には再検査と、受診したことの報告を義務付けており、早期発見早期治療となるよう心がけています。また、従業員のみならず地域の皆様がいざというときに使用できるようAED(自動体外式除細動器)を本社玄関に設置しました。使用方法については消防署に講師を派遣して頂き、本社会議室で心肺蘇生法の講習会も開催しております。各事業所には普通救命講習修了者や応急手当普及員の認定を受けた社員を配置しており、講習会の時には講師の補助者として活躍しております。社員が健康への関心を高めるために、月1回開催される安全大会には衛生管理者が、年間計画で定めたテーマにより衛生講話を実施しております。毎月の給与明細には「健康経営ワンポイントアドバイス」を添付し、家族の方の目にも触れるよう家庭に持ち帰ってもらっております。

改正健康増進法施行以前より受動喫煙対策は実施しておりましたが、さらに遵法となるよう整備を進めてきました。委嘱している産業医にも、定期的に現場衛生パトロール、ストレスチェックによるメンタルヘルスサポートを実施して頂いております。



株式会社建築のフジサワ

代表取締役
藤澤和也氏

地元交流イベント「フジサワ大感謝祭」を毎年開催して地域貢献！

- 代表取締役 藤澤和也氏
- 本社所在地 岩手県大船渡市末崎町石浜39-1
- 主な事業内容 木造建築工事業
- 従業員数 20名(男性:17名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021 認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

いわて健康経営事業所認定

岩手県の健康経営事業所認定を目指してみようと思い、健康経営に本格的に取り組みはじめました。やるなら、基準に対して形式的ではなく、各項目にそってやってみようとはじめました。会社を少しずつ良くしていこうという想いからでした。

結果として、県の認定項目を満たし、次は健康経営優良法人2021年認定を目指そうと自然な流れが出来ました。

自発的な社員が増えてきた。

元々、社員同士の親睦の場も多く、コミュニケーションが良くなるよう取り組んできました。その上で、人を育てる為に、やりがいと責任あるポジションに立たせて経験を積ませるよう意識してきました。その結果、成功体験、喜び、達成感、が全体の成長につながってきました。「大感謝祭」も従業員の自発的な声から実現出来たことでした。今まで、受け身だった姿勢が、年々自発的になっていくのが感じられます。

新社屋移転で地域貢献を考えた。

まず分煙は、早くから取り組んでおりました。当社では環境に配慮した住み心地が良く、省エネ、断熱などの住宅を建てております。お客様の健康を守る家造りをする為、分煙は早くから自然に出来ていました。特に、2016年の新社屋移転は大きな後押しになりました。

また、移転を機に地域住民への感謝の気持ちを込めて交流イベント「フジサワ大感謝祭」を毎年開催するようになりました。継続的な地域との交流に注力し、皆様とコミュニケーションを深める活動に取り組んでおります。

今後の展望

課題が無い会社は無いと思います。良くなる過程であり、そこから組織の成長、サービス・商品の向上につながります。単に今だけ良ければいいではなく、使命感、社会貢献、長く継続すること、やりがい、生きがい等バランスを大事にしていきたいと考えております。業界では技術者が不足している時代に入り、人材流出させずに長く定着させる為にも健康経営やSDGsの取り組みは、益々重要になっていきます。当社では、今若い人材が育ち引っ張っています。これからは、若い人が若い人を育てるようになります。楽しみです。



新社屋



施工中



2019年感謝祭

代表取締役
志田宏美 氏

「安全運転」と「健康運転」の両輪で長く働けて幸せに生きられる！

- 代表取締役 志田宏美 氏
- 本 社 所 在 地 岩手県大船渡市赤崎町字石橋前4-3
- 主 な 事 業 内 容 一般貨物自動車運送
- 従 業 員 数 95名(男性:87名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

健康診断の再診率が高く、なかでも「高血圧」のドライバーが多い傾向にありました。運送業界では脳・心臓疾患が問題視されていたことを踏まえ生活習慣の改善が必要と感じました。そこでまず自身の平均値を把握してもらい本人の意識付けをすることからスタートしようと考え、アクサ生命担当者様の協力を得て血圧手帳を全社員に配布、血圧計を設置し点呼前に測定し記録するようにしました。

毎日のデーター管理で意識が変化してきた！

新たに、アルコールチェッカーとの連動型血圧計(高数値時にアラーム機能付き)をトラック協会の助成金を活用し導入しました。データーを活用し数値を見える化することで社員同士の意見交換やアドバイスをするなど、改善を試みる光景が見受けられるようになりました。会社全体で取り組むことで社員が自身の体に関心をもつようになり、改善に向けて、通院・治療の為に早退や休暇を取得しやすい環境になったと思います。

定期的に健康情報提供と教育の機会を設置

月1回の全体会議を活用し、医師や保健士等の専門家による健康講座を開催。管理栄養士の資格保有ドライバーによる栄養素に関する勉強会や食事(コンビニ食など)に関するアドバイスをを行い、アクサ生命様から提供される健康アドバイスを配布し、生活習慣の改善を促しています。

今後の展望

健康な体で働くことは会社の為、家族の為、なによりも本人の為です。長年の知識や技術、経験を若い世代に伝えながら共に長く「安全運転」「健康運転」を続けるために健康経営を推進していきたいと思います。



実際に血圧測定中です♪



勉強会の様子



社屋全景

代表取締役社長
菅田正徳 氏

女子力と若さで健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長 菅田正徳 氏
- 本 社 所 在 地 岩手県宮古市藤原3-4-11
- 主 な 事 業 内 容 菓子製造卸業
- 従 業 員 数 16名(男性:0名・女性:16名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

女性が多い職場だからこそはじめました。

女性が多い職場で健康経営に取り組む必要性を感じました。特に、女性同士のコミュニケーション、女性特有のメンタルや体調に配慮してサポートしていく為には、どうしたらいいのかわからず悩んでいました。また、体を動かす仕事をしているのに、健康診断結果でBMIが高い課題を改善したい想いからも健康経営をはじめました。

楽しく体を動かして健康になろう。

女性が楽しく体を動かしながら、健康につながるような仕組みを構築したいと考えていました。ただ一方的に運動をするよう指示をする事も出来ず、そこで工場の壁のペンキ塗りや周辺の草むしりをする事にしました。実際に、体を動かして作業をすることは、一石二鳥で良かったです。ただ、ペンキ塗りは楽しくて好評でしたが、草むしりは、疲れてやや不評でした。何事も経験して発見することがあり、取り組みとしては良かったかと考えております。今後も、皆がメリハリつけて働いて、結果として、接客や生産性の向上につながっていけるよう工夫してまいります。



工場外観

大切な社員と向き合う時間が大事

女性のメンタルサポートについても課題となっております。女性が多い職場なので、気を配るようにしています。メンタル面や、健康の良い情報があれば、それを職場で情報共有するなど、こつこつ取り組んでおります。また、全員で健康情報を見ることが出来る掲示板の設置も考えております。現在は、社員1人1人と個人面談の時間を設けることに特に力を入れています。個別にコミュニケーションをとることで気持ちも楽になるようです。今後も、一緒にランチの時間を設けたり工夫していきます。

今後の展望

女子力と若さをアピールしていきたいと考えています。そして皆が健康で明るく元気に働けるように、今後も健康経営の取り組みを継続します。次回の健康診断結果でBMI値の改善が楽しみです。



店舗外観

宮城県
古川営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
大友勝則 氏

働き方改革に本気で取り組むには健康経営が必要

- 代表取締役社長 大友勝則 氏
- 本 社 所 在 地 宮城県大崎市松山
- 主 な 事 業 内 容 電子部品製造業
- 従 業 員 数 25名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

働き方改革に取り組む中で、生産性の向上が不可欠だという課題が見えた。そして、解決方法の一つが健康経営だった。

働き方改革がスタートするにあたり、残業時間の制限や有給休暇の計画取得などの仕組みは整えてきましたが、これには業務効率化と生産性の向上があって初めて成り立つものだと実際に取り組んでみて感じました。外部の情報提供により、健康経営に取り組むことで、生産性の向上が図れることを知り、手探りでスタートを切りました。もちろん取り組むからには、優良法人の認定も目指していたので、今回の認定は当社としても喜ばしいです。

保健師を交えた面談を定期的に実施。食生活を変えようと意識する人が増えてきました。

取り組みの中で、保健師を交えた面談機会を設定したところ、食生活の見直しや運動習慣の改善など、健康の大切さを意識する人が増えたことが実感できました。中には10Kgも痩せることが出来た従業員もいて、それが周りにも波及していい効果を得られました。

マスクの配布も追加で実施。コロナ禍より前から、アルコール消毒など、感染症の予防にも力を注ぐ。

事業所入口にアルコール消毒液を設置したり、換気などは以前から実施していましたが、新たにパーテーションを用意したり、マスクを確保して、従業員全員へ配布するなど追加で行ってきました。その他、感染症予防への情報提供も都度行うことで、予防に対する意識向上を図ってきました。

禁煙達成者にインセンティブを設定した結果、喫煙率を下げることに成功！

健康経営の取り組みの一つとして禁煙達成者にインセンティブを設定しました。生産性が向上したことによって健康に関するインセンティブを出すことが出来るようになったので、従業員のモチベーションにも繋がっています。禁煙以外のインセンティブについても今後考えていきます。

今後の展望

昨年、中止にした懇親会や社員旅行といったコミュニケーションの場だったものを今年は再開させたいですが、懇親会が出来ないとしても、工夫をしてより、風通しのよい職場にしていきたいです。また、健康に意識が向いていない層へも外部のアドバイザーを通じてスモールチェンジを重ねて、意識改善を図っていきたいと考えています。

定期的に行っている保健師
による面談とアドバイスの
様子

代表取締役
野口雅弘氏

「自らが元気であることで、地域社会の元気の源となろう！」

- 代表取締役 野口雅弘氏
- 本社所在地 山形県天童市石鳥居一丁目1番28号
- 主な事業内容 一般貨物自動車運送事業
- 従業員数 90名(男性:84名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

晃永運輸の社名を分解すると日の光を永くという意味し、太陽のような存在になれるように願いを込めた社名です。『日はまた昇る』
くらしの中で自然に当たり前のような会社として永くいれることを願い、社会の原動力としてお役に立ち、太陽のように社会を元気にしたいという想いを、社員ひとりひとりが自らの力になるように行動していきます。
社員一人ひとりが、社会のお役に立ち、社会を元気にするためには、まず会社が元気であること、社員一人ひとりが元気で健康であることが必要です。
そのような経営戦略を立てている際、天童商工会議所後援の「健康経営セミナー」に参加したことがきっかけとなり、健康経営に本腰を入れて取り組むこととなりました。

健康診断受診率100%

以前より健康診断受診率は高いベースが出来ており、社長自ら従業員に直接声掛けをして健康診断受診率100%を目指すというよりは当たり前の事とし取り組んでいます。6か月ごとの健康診断に加え、要再検査の検査受診率100%へ、受診勧奨を総務担当者からだけではなく、担当役員そして社長からも声がけしております。
2次健診・再検査の費用補助を4年前から行っており、再検査の受診・領収書提出による費用補助の流れで、管理が行き届くようになりました。(昨年再検査受診率100%)
せっかく受診した健康診断です。何か異常がある場合、病気を早く見つけ、早く治療をはじめ早く治すことが、プライベートはもちろん長く勤めていただくためにも、大切な体制と考えております。

企業理念「運ぶことは、生きること。」

私たちは「運ぶ」という仕事で生きています。ただ単に運ぶということではなく、人の役立つ、社会に貢献する「運ぶ」を実践し、追求していきます。そこには、自己実現を可能にする人生設計があり、互いにしあわせになる生き方があります。人生において、一人ひとりが主役であります。その目的や目標を互いに認め合い、人として成長していける職場であり、時には学び合う仲間がいる職場環境の実現です。さらに、仕事(使命)を遂行する厳しい職場であり、最後には笑顔の絶えない誇れる職場となる企業にしていきます。そこには、何事にも真摯な気持ちで仕事と向き合い、すべての方々と全ての物事に感謝の気持ちで行動します。
運ぶことは、生きる事。その実現のためには、従業員の健康が土台であり、企業としての健康が重要なファクターであり、健康経営への取り組みは、企業理念そのものであります。従業員の健康のため、毎月健康に関するセミナーを産業医講師のもと継続しております。

今後の展望

社内においては従業員の高齢化に伴い、更なる従業員の健康管理、そしてベテラン社員から次の世代への業務や技術の承継をすすめて参ります。健康経営を通じて情報発信をすることで、産業界、そして地域に貢献出来る会社を目指してまいりたいと考えております。

晃永運輸株式会社
企業理念
「運ぶことは、生きること。」
企業指針
一、「運ぶ」を追求し、次代に挑戦しよう。
一、安全を第一に考え、共に成長しよう。
一、真摯な気持ちで、すべてに感謝しよう。



代表取締役
本多作之助 氏

地域でキラリと光る会社を目指し「人が輝く」会社をつくる！

- 代表取締役 本多作之助 氏
- 本社所在地 米沢市徳町7-52
- 主な事業内容 建設業
- 従業員数 24名(男性:16名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営に取り組むきっかけ

15年前に入社し、徐々に地域の皆様と関わる機会が増えてきた時に、地域の皆様に笑顔を提供していく会社になりたい、そう思うようになりました。そして、その基本は社員の心の健康が大切であり、活き活きした職場を作る必要があると感じ、健康経営を意識するようになりました。

従業員の運動機会の取り組み

コロナ禍ですので現在は見合わせておりますが、2か月に1度、ホットヨガ教室に通う取り組みをしました。その日は就業時間を1時間早く切り上げて参加します。若者・女性・シニアの3つのグループに分け、1年半継続し、会社が全て費用負担し、大変好評でした。



好評だったホットヨガ教室

健康チェックを兼ね、献血を実施

毎年4月にマルシェを開催しています。昨年2020年はコロナ禍ではありましたが、献血＆骨髄バンクドナー登録会を実施しました。健康診断の間の血液状態の確認にもなる為、実施前は全員で参加できるような健康状態を意識した健康管理をしました。社員だけでなく、協力業者や地域のみなさん合わせて60名ほどご協力頂きました。



コミュニケーション活性化の取り組み

毎年8月に地域感謝祭を開催しています。社員が様々なイベント企画し運営をします。社員の中で教えあったりし、社員同士のコミュニケーションの促進も大きな目的となっています。昨年の企画として「おうちぱこ」フォトコンテストを開催し、入賞者をHPで発表しました。応募者は200名を超え、無事におうちで住宅に関するイベントを開催することができました。社員も新しい取り組みとしてSNSの活用などを行い、成長することができました。今後も色々なイベントを実施していきます。



HPの入賞者発表



昨年8月に実施したおうちで地域感謝祭の案内チラシ

今後の展望

日々の仕事にプラスして、ワクワクできる取り組みをすることで、なんらかの発散になると思います。体と心の健康を意識してこれからも社員全員を巻き込んだ取り組みにチャレンジしていきます。



「社員あつての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長 富樫哲男 氏
- 本 社 所 在 地 福島県いわき市平下神谷
- 主 な 事 業 内 容 鉄骨工事業
- 従 業 員 数 9名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

病気の怖さを感じたからこそ、 健康経営に取り組む。

会長が体調を崩したことがあり社内で健康に対する意識が強くなっていました。
その頃協会けんぽから「健康事業所宣言」の案内が届き取り組みのきっかけとなりました。
また、アクサ生命の健康経営アドバイザーが月に1回ワンポイントアドバイスを届けてくれることもあり、継続して健康を意識することができるようになりました。

「健康経営実践プログラム」から、 まずは取り組みそうな活動を。

注力したのは高血圧対策、禁煙対策です。そして、体調不良の者がいれば早めの休暇取得を促しました。
特に、禁煙対策では、当社は喫煙者が約半数おり、喫煙者0を目指してインセンティブ制度を導入いたしました。これにより禁煙に成功したものも出てきており、また、健康を意識するものも増えてきて、取り組みは健康増進のきっかけになったと感じています。

ひとつひとつ丁寧な説明をして課題を克服へ

高血圧対策では、血圧計を常設し、いつでも測ることができるようになりました。また、職場に青汁なども常備し、飲み物の糖分の摂取が少なくなるよう工夫しました。
当社は職種柄、勤務中は体を動かしているため、そのほかでの運動習慣を作ることが難しい状況です。
運動習慣をどう作っていくかもこれからの課題の一つです。

大切な社員とその家族の健康とともに 会社も成長していきたい

アクサ生命の健康習慣アンケートのフィードバックレポートからも明らかになったように、健康を害するとわかっていてもなかなか生活習慣を変えられない従業員も中にはいます。
この取り組みを続けていくことで、健康への意識を継続してもらい、無関心者が関心を持つよう取り組んでいくことが必要と考えています。
従業員だけではなくその家族にも関心を持ってもらい会社も成長していきたいと思っています。

今後の展望

今は退職してしまいましたが、昔働いていた従業員が体調を崩し、「健康はお金で買えない、健康な体を買えるならばいくらでも支払って手に入りたい」と話したことが頭から離れません。遊ぶため・仕事をするための健康。健康が財産、社員の健康が会社の財産だと思っています。この意識を従業員全員で共有していきたいと思っています。



福島県
会津若松営業所

Voice Report
80th
The Interview



左からアクサ川崎、小島信弥
社長、小島泰子取締役

頑張ってくれている従業員とこれからもたのしく元気に働きたい!

- 代表取締役 小島信弥氏
- 本社所在地 福島県会津若松市真宮新町北1丁目26
- 主な事業内容 総合建設業
- 従業員数 13名(男性:11名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組み意義に共感

平均年齢38.6歳と比較的若い従業員のため、今までは従業員の健康について深く考えたことがありませんでした。協会けんぽさんからの定期便の案内にあった健康事業所宣言に興味を持ったときに、アクサ生命の担当者から健康経営の案内があり、取り組み意義に共感しスタートしました。

健康習慣健康アンケートで健康課題を把握

まずアクサ生命の健康習慣アンケートを活用し、どんな生活習慣が原因で従業員の体調に影響が出ているか調査し、課題を把握しました。喫煙と運動について特に改善が必要と分かったため、早速従業員セミナーを開催し課題を共有しました。毎月の健康情報を給与明細に同封し、ご家族の目にも止まるよう工夫しています。

血圧の高い社員もいるため、日ごろから自身の数値を把握できるよう血圧計を設置しました。また、社内一丸となって取組めるよう目標を掲示、月一回の会議時には、社長の健康スピーチタイムを設けています。

健診後は、各々の注意点をお伝えし、メンテナンスの促進をしています。

従業員の健康意識が高まってきました

健康セミナーを開催するにつれ、従業員の意識が高まっており、電子タバコや加熱式たばこに変えた社員が7割を占め周囲への配慮もより深まりました。

社長は、働きやすい職場環境を意識しており、年に数回の慰労会では仕事の話はせず、その場を楽しむようにしています。また、年一回の社内アンケートでは、社長の評価と自己評価をしてもらい、「社長の改善点」「従業員個々の良い点」を全体会で発表して、会社力、人間力の強化に努めています。

地域とともに会社も成長していきたい

会津若松市で2009年に創業、公共・民間工事ともに請け負い、地域取引先に支えられ成長させていただいております。会津地方は、福島県の西部に位置しており、磐梯山や猪苗代湖など豊かな自然に囲まれた、自然景観に恵まれたまちです。未来を担う子供たちのためにも、地域で必要とされる企業になれるよう歩みつづけたいと考えています。

今後の展望

外部から「質がいい社員が多いね、礼儀正しいね。」と社員を褒められるとうれしいです。

今後も今いる従業員とずっとたのしく元気に働いていきたいので、からだどころ、社会的健康をサポートしながら、元気な時も不調な時も傍で寄り添い支えていきたいです。健康を維持し、心身ともに生き活きと過ごしながら、やりがいを持って仕事をしてもらうことが目標です。



2021年4月10日健康習慣アンケートのフィードバックセミナー実施した際の集合写真

代表取締役
青田 純氏

社員の健康から企業発展を実現するために！

- 代表取締役 青田 純氏
- 本社所在地 福島県南相馬市原町区上北高平字上北沢
- 主な事業内容 電気工事業
- 従業員数 14名(男性:11名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定社員の高齢化問題に対し健康経営を
取り組む必要を感じました。

社員の高齢化に対し何か対策をしなければならないと思ったことがキッカケです。

はじめは協会けんぽから健康事業所宣言の案内を受け宣言をしました。2019年には福島県の健康事業所認定に申請し認定を受けました。その後アクサ生命の担当から国の認定について説明を受け、チャレンジをしようと思いました。

健康プログラムから健康意識向上を
目指しています。

これまで、協会けんぽからカゴメや花王から提供される健康食品を活用し従業員の栄養面をサポートする取り組みを行って参りました。カゴメからは1か月間野菜摂取量が測定できる機器を借りて野菜を食べることを意識してもらいました。また、花王の「スマート和食」プログラムに参加し、内臓脂肪に着目した食事改善について全員で取り組みました。

野菜不足が改善しました。

野菜不足への意識が改善されてきていると思います。それぞれの取り組みのあとアンケートを実施したところ、健康への意識が強くなったという結果が出ました。

缶コーヒーから野菜ジュースを飲む従業員が目立つようになったことも健康経営を始めた効果だと思います。

健康改善だけではなく社内改善にも繋がりました。

市で行っている「サンサンチャレンジ」も行っています。3か月で体重3キログラム減らす取り組みで、毎日体重を測り記録するというものです。当社では加えて血圧と検温も同時に測定しています。はじめは嫌がる社員もいましたが、最近では習慣となり全員が自発的に取り組んでくれています。特に変化があったことは社員同士の会話が増えたことです。お互いの健康状態について話す様子が見られるようになり、社内の雰囲気明るくなったと感じます。

今後の展望

これからも健康経営を継続し、会社の宝である社員の健康維持をサポートしてまいります。ベテラン社員から若手までが活躍できる体制を作っていきたいと思います。



2020年10月3日オンライン健康セミナー実施



「自然環境との共生」「生活環境の向上」を 実現するための健康経営です

- 代表取締役社長 小野寺美樹 氏
- 本 社 所 在 地 福島県須賀川市八幡山153
- 主 な 事 業 内 容 建設業
- 従 業 員 数 70名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

従業員が、いつまでも健康でいきいきと働ける職場環境を整えるため、健康経営の取り組みが必要だと感じました。ワークライフバランスの向上と身体のいたわりとして、毎週金曜日は、ノー残業デーを実施し、定時退社を会社方針としております。



お客様、地域の皆様、従業員そして従業員の家族が健康であるために会社も貢献したい

次代へ、やさしく安全な環境を引き継ぎ、安心して自然と共生できる未来を実現したいです。

今後の展望

未来に向けてよりよい自然環境と優しい生活環境を残していく為、社員一同業務に努めております。健康経営を社員と共にコツコツと続けていくことで、永年勤続そして健康勤続を実現し魅力ある故郷を次の世代へ繋げていけるよう邁進して参ります。

徹底して喫煙率を減少させていきたい

当社の喫煙率が64%と非常に高く健康安全管理面では課題であります。取り組みとして、5月31日は世界禁煙デーであり、5月31日から6月6日まで禁煙週間と意識付けして取り組みを実施します。保健所と連携して禁煙についてのセミナーを検討しております。



社長自ら、丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました

全体会議を通して、健康経営宣言後、健康経営推進について社長から全員に説明を実施。

会社事務所壁には、「元気」のタペストリー
被災時の写真にて、字を描きあの時を忘れず、元気に社員とコミュニケーションを図っております。



【社内掲示版にて従業員の意識アップ】

- ・筋活 ちょちょいのちょいトレ
- ・ふくしま健民アプリ
- ・しっかり禁煙! きちんと分煙!

株式会社伊藤鑄造鉄工所

代表取締役
伊藤幸司氏

「顧客第一、社員あつての会社」を実現するために！

- 代表取締役 伊藤幸司氏
- 本社所在地 茨城県那珂郡東海村村松3129番地43
- 主な事業内容 鋳物製造・機械加工・鋳造技術サービス
- 従業員数 111名(男性96名・女性15名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

社員が倒れたことから

昔、今の社屋が出来る前の出来事ですが、夏の暑い日に工場で作業をしていた社員が倒れたことがありました。脱水症状もあったかも知れませんが、慢性疾患を抱えていたのがこたえ倒れて救急搬送されました。早期の手当てが功を奏したのか命に別状はありませんでした。健康診断はもちろん毎年実施していましたが、それまでは社員の健康状態をさほど気にとめることもありませんでした。

健康診断をおろそかにしない

このような出来事があってからは、社員自身はもちろんのこと、社員の家族のことまで気を遣うようになりました。もし、倒れた社員の健康診断結果をもう少し気遣うことが事前に出来ていれば、未然に防ぐことが出来たかもしれません。現在では健康診断受診率100%、要精密検査受診率も100%となりました。40歳以上節目を迎える社員には会社が全額負担で付加検診実施、インフルエンザ予防接種は産業医による社内接種を全額会社負担で行うことにより、罹患率が毎年減少し、昨年は0%となりました。

原点は社員を大切にすること

認定を受けるためにいろいろなことに取り組んできたわけではありません。社員や社員を支えてくれる家族がいないと会社は回っていきません。家族同様の従業員がいるから今の会社があるのです。

震災の翌日早朝から、工場が心配になって多くの従業員が出社してきました。自分の家や家族も心配であるはずなのに。そんな社員を私は改めて誇りに思うし大切にしたい。これが原点です。朝礼や行事の際に社員の安全・健康の大切さについてメッセージを発信することも本気で取り組む姿勢を社員にも伝えたいと考えているからです。

運動の機会・コミュニケーションの促進

社員有志でソフトボールチームを結成。勝田全国マラソンに毎年40名ほど参加し応援ブースも設置。社内ゴルフコンペの年2回の開催など、楽しく運動の機会をもうけております。また熱中症予防のための「かき氷」の実施やクリスマスケーキ、恵方巻など家族同様のコミュニケーションを日頃からとることにより、社員同士がお互いに認め合える関係づくりを推進しております。そして海外工場も含めた情報共有を目的として「社内報」や「保健だより」などの季刊誌を発行しております。

さらにステップアップさせるために

今のスタイルを、私をサポートしてくれる社員と共に、さらに進化させていくことが出来るように若い力とベテランの技術力を活用し、I(アイデア) T(テクニック) O(オピニオン)を基本理念に常に情熱を持って取り組んでいきます。海外工場も含め、ストレスチェックの実施はもちろん定期健康調査として年2回アンケートを実施。社員の心身身体の疲労度の把握や作業環境の問題の早期発見や疾病の未然防止につなげております。

*グループ会社である株式会社アイ・エム・エス様も同時に健康経営優良法人認定を取得されております。



我社の夏の風物詩



代表取締役社長
大曽根理一郎 氏

「健康リスク＝経営リスク」の危機感が取り組むきっかけでした

- 代表取締役社長 大曽根理一郎 氏
- 本 社 所 在 地 茨城県ひたちなか市足崎1474-46
- 主 な 事 業 内 容 総合建設業
- 従 業 員 数 52名(男性:49名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

人手不足だからこそ、 健康経営に取り組む必要を感じました。

建設業は業界全体が常に人手不足であることをずっと感じておりました。建設用ロボットやITがいくら発展しても最後は人の手や眼が不可欠です。少子高齢化で若い人材が欲しいと思っていても人材確保は難しい問題です。企業は人が全てです。今、一緒に働いてくれている社員にも、安心して、働いてもらいたい。それには、健康が重要だということに気がつきました。

「健康経営実践プログラム」から、 まずは取り組みそうな活動を。

社員の健康管理は健康診断からということですが、40歳以上の社員には、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳と節目の年に毎年実施する健康診断の他に人間ドックを実施。脳ドックも実施しています。このおかげで肺がんが見つかった社員もありました。女性には乳がん検診を実施しており、早期発見につながり職場復帰を果たしました。このほかにインフルエンザや風疹・はしかの予防接種も会社全額負担で実施しております。検診受診は出勤扱いとし、自身の健康に関心を寄せる社員が増えてきたと感じております。

社員の健康リスクは経営リスクに直結する

健康診断後、再検査の判定が出てなかなか受診してもらえないということはよくお話を伺いますが当社では健康管理も仕事であるという位置づけのもと、健康管理最優先としております。なぜなら自分の健康管理は事故未然防止にもつながり、安全第一の精神にもつながる重要項目だからです。健康管理に投資することは、社員の健康リスクを回避することにつながり、イコール、経営リスクを回避することにつながると確信しております。

大切な社員とその家族の健康とともに 会社も成長していきたい

夏場の熱中症対策は業界内でも従業員を守る大きな問題。始業時の健康チェックはもちろんのこと、「熱中症対策キット」を全員に配布して予防に努めています。さらに近年では作業着も進化し、小型扇風機が内蔵されたものも開発され社員に配布しましたが、社員からの反響が高く、これからも良いものはどんどん取り入れていこうと考えております。

今後の展望

どうしても建設業ですと納期が天候に左右されることが多く、完全週休2日制の実現が困難であったのですが、近年徐々に体制を整えてきているので、この実現と社内でも喫煙率が50%くらいあるため、禁煙への支援も実施していきたいと考えております。



加藤鉄工株式会社



『社会の一助となるものづくり』それが会社のモットー

- 代表取締役社長 加藤 貢 氏
- 本 社 所 在 地 群馬県桐生市広沢町1-2835
- 主 な 事 業 内 容 鋁金加工業
- 従 業 員 数 107名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

人を守り育むことが会社の成長

当社は、鋁金加工業として昭和41年の創業以来、一貫して鉄の加工に注力し、創業当時から生産の中心でもありました高速道路の料金徴収ボックスの製作技術を核として「ものづくり」を行って参りました。プレハブ住宅用鉄骨部材、バス用金属フレーム、建設機械用金属部材など、あらゆる鉄加工に挑戦し、さまざまな製品をつくりだして参りました。そして、54年の「ものづくり」の歴史の中で、会社を育てていくために一番重要なのは『人』なのだと結論に至りました。また、その大切な『人』を守り、育むためには『健康』でなければならないと考えています。

永く働いてくれる社員は会社の財産

当社では、以前より社員の健康維持のため、就業前に全員で「ラジオ体操」を行っており、地元で開催される「堀マラソン大会」に、十数年前より会社の行事として参加もしております。また、当社は、シニア／グランドシニア制度を設け、永く自社で働いてくれた社員を会社の財産と捉えて、本人が希望する限り働く場所をつくっております。働き盛りの社員が、先輩の指導を受け、互いに高めあう環境を整えることを目標とし、その環境を創成するには、社員が健康で、働きがいを感じることが重要だと考えています。

健康習慣アンケートで課題が明確に

2020年にアクサ生命の健康習慣アンケートを全社員が回答することで、当社の特性と課題がはっきりしました。「ものづくり」に働きがいを感じている従業員が、想像以上に多かったこと。ストレスを感じている従業員が少数だったこと。自分の健康に気を使っている従業員が、非常に少なかったこと。定期的な運動習慣を持っている従業員が少なかったことなど、アンケート結果をもとに、従業員の健康管理について、より積極的なアプローチの必要性を感じました。

具体的な取り組み

健康習慣アンケートをきっかけとして、①定期健康診断結果を精査し、フィジカルリスクの高い従業員には産業医の先生、保健師さんの協力で個別指導を行いました。②心身の健康度向上のため、「ハラスメント講習」と「腰痛予防セミナー」を開催しました。また、昨年度は「社内からコロナ感染者を出さない」を目標として、周知徹底と手指消毒の徹底を指導し、パーティションの設置等、感染予防を積極的に行いました。

今後の展望

当社では創業時より、『社会の一助となるものづくり』をモットーとしてきました。感染予防の視点と社会奉仕の両面から、『足踏み式消毒ペダル』を自社で製作し、桐生市内の幼稚園や病院に寄付いたしました。今後も、社員の心と体の健康づくりを目指して、社会のためになる「ものづくり」の会社として歩んでいきたいと思ひます。



群馬県
桐生営業所Voice Report
80th
The Interview

どの年代の従業員も元気に活躍できる明るい職場環境

- 理事長 奥野 薫氏
- 所在地 群馬県みどり市大間々町桐原1570-498
- 主な事業内容 医療・介護・福祉事業
- 従業員数 88名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

多職種協働で地域貢献

当法人は、みどり市内で二か所のクリニックと介護老人保健施設、グループホーム、ヘルパーステーション、ケアマネ事業所、通所リハビリテーションの運営を行っています。医師、理学療法士、管理栄養士、看護師、介護士、歯科衛生士、介護支援専門員など多くの職種が協力して勤務しています。培った経験、技術を更に活かしていただくため、定年年齢を60歳から70歳に引き上げました。そこで、全てのスタッフが60歳を過ぎても、更に元気に、充実した仕事をしていただくための対策が必要だと感じていました。

具体的な取り組み

今までは敷地内に喫煙スペースを設けていたのを撤去したり、喫煙者の肺機能悪化の研修会を実施することで、スタッフの禁煙意識を高めたところ、喫煙本数を減らしたり、禁煙に取り組み実現できたスタッフも出てきました。また、事業所内の筋力トレーニング機器をスタッフが利用できるように周知したところ、休憩時間に定期的に機器にて運動習慣を身につけ実行するスタッフも増えてきました。生活習慣アンケートの実施により、労働生産性の定量化が図れ、認定証を掲示することでスタッフの健康への意識づけができました。

明るく元気に入所者様と寄り添うために

介護老人保健施設『プランタンおおま』は、看護及び医学的管理の下での介護や機能訓練、その必要な医療と日常生活上のお世話などの介護保険施設サービスを提供することで、入所者様の能力と日常生活を営むことが出来るようにし、一日でも早く家庭での生活に戻ることが出来るように支援することを目的とした施設です。健康経営への取り組みにより、スタッフが明るく元気に入所者様と寄り添う事で、リハビリ、自立支援などがより効果を発揮出来ると考えます。

今後の展望

健康経営を通じて、若い方も60代の方も全ての年代の方でも元気に活躍できる、明るい職場環境を維持し、そのスタッフ達のエネルギーを基にして、ご利用者様やご家族様そして地域の社会福祉全体に貢献していける医療法人として、地域に無くてはならない存在になりたいと考えています。

喫煙習慣、運動機会の改善へ

アクサ生命の生活習慣アンケートにより、法人内のスタッフの状況を把握することができ、喫煙率、運動機会の少ない方の割合が思ったより多いことが判明しました。健康経営への取り組みを始めるにあたり、この2点についてスタッフと話し合う機会が持て、スタッフから改善案が出るなどコミュニケーションも図れました。



筋力トレーニング



車イスバレーボール

株式会社ビルメン

代表取締役
林 康晴 氏

顧客第一、感謝の気持ちを従業員と共有できる会社へ

- 代表取締役 林 康晴 氏
- 本社所在地 埼玉県さいたま市浦和区
- 主な事業内容 総合ビル管理業
- 従業員数 688名(男性:364名・女性:324名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

お客様から信頼されるパートナーとして

一口に総合ビル管理業といっても、清掃・設備・警備・電話交換等多岐にわたります。建物・設備管理の手法は複雑化しており、私共ビルメンは、単に管理としてのみではなく、人々の安全・安心そしてより快適な環境維持のために、各所への最適な人材の配置、専門的な人事の教育にも力を入れ、お客様の満足度の向上に努めています。

最近では、感染病棟の清掃に力を入れており、医療施設・ダイヤモンドプリンセス号の除菌等、時代に即したお客様のニーズにも対応しております。

『健康経営』への意識と取り組み

会社と従業員のより良い関係性を作り上げるうえで、健康でなければいい仕事、いいサービスの提供ができないという考えがあります。弊社の場合、業務の性質上、高齢の従業員も多く、また、現場作業が主であることから、社員の健康には特に留意する必要性が高く、健康管理・健康診断受診率の向上は、長年の課題ではありました。そんな中、アクサ生命の担当者から健康経営への取り組み提案があり、弊社の理念に合致する為、また従業員の健康への意識を向上させられると考え、取り組むことになりました。

『健康経営』の実績

昨年は、健康診断の受診率の向上に努めました。従業員個別の声かけ、健康診断の必要性を説く等、結果として数名の受診が間にあいませんでしたが、受診率は前年を上回ることができました。

また、本社従業員全員で『さつき・ラン&ウォーク2021企業対抗戦』へ参加し、従業員同士がコミュニケーションを取り合うことで、楽しみながら運動不足解消に取り組むこともできました。

さらに健康への意識の向上を狙い、毎月給料明細に『健康のワンポイントアドバイス』を同封しています。

今後の展望

親会社（株）トーカイの今年度のグループ目標にSDGsに取り組むというものがあり、弊社ビルメンでは開発目標の

『3.すべての人に健康と福祉を』

『8.働きがいも経済成長も』

この二つを健康経営を通して実現していきます。

昨今のコロナ禍により、弊社としても事業の変革を求められ、多種多様な業務に乗り出さなくてはならなくなりました。そのためには、従業員が心身共に健康であることが不可欠であり、最も重要なことであると考えております。

また、従業員が自分の人生に目標・目的を持ち、かつ仕事に対して自信と誇りを持てる環境を作ることが、企業に求められていると考えております。弊社は、高齢の従業員が多く、いつまでも健康で長く働いて欲しいという願いと、それを目標にして健康に過ごして欲しいという願いから、健康経営の取り組みをはじめました。

顧客第一、感謝される会社作りを健康経営を通して考えられるそんな会社でありたいと考えております。



代表取締役
平林宏之 氏

「地域貢献をモットーに、社員が家族に誇れる会社」を実現する

- 代表取締役 平林宏之 氏
- 本社所在地 千葉県浦安市猫実3-16-9
- 主な事業内容 一般区域貨物自動車運送事業/産業廃棄物収集運搬業/一般廃棄物処理業/一般労働者派遣業
- 従業員数 39名(男性:37名・女性2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

社員あつての会社 高齢化社会を迎えるにあたり健康経営に取り組む必要を感じました。

1964年の創業です。江戸時代に漁師町であった浦安の海産物を運んだ船「清五郎丸」がルーツになる会社であり、現在では「生鮮品」「家電」「学校給食」の配送や「粗大ごみ収集」といった事業を通じて地域への貢献度を高めています。健康経営については、商工会議所の専務からのお声かけによりスタート。自社の特徴として、高齢な社員も非常に会社に貢献頂いている事や、一部偏った食生活を送っている従業員がいることもあり、あらためて必要性を感じ、本格的に優良法人認定の取得を目指し取り組みを開始しました。

アンケートを活用し、まずは課題の把握から工夫してスタート

「健康習慣アンケート」を従業員向けに実施をしました。社長自らが、その主旨、目的を説明することによって、完了することができました。そのアンケートの結果、不規則な生活習慣をしている従業員がいたことと、禁煙、お酒も含む飲み物に関し改善の余地がある結果がでたことで、健康習慣における課題の把握ができました。

社長自ら、丁寧な説明をすることで社員全員と理解を深めていきました。

- ① 社長自らの従業員に対しての個人面談を実施しております。その際に、ストレスの原因となるような悩みなども共有しながら対応に努めています。
- ② 会社として、従業員に対しての福利厚生制度型の生命保険加入することで、病気の治療と仕事の両立の促進に向けた取り組みが促進され、従業員のワークエンゲージメント向上にも繋がっています。

若いメンバーも働きやすい環境へ

作業着(制服)のリニューアルを行いました。衣類メーカーとのコラボで、機能性に優れ、かつカジュアルなユニフォームを導入し若いメンバーにも好評です。

また企業のイメージキャラクター(*下記参照)を打ち出し、ホームページも開設する等、より多くのお客様への浸透を図っていきます。



今後の展望

2020年の3月からは、ごみを自分で運び出せない一人暮らしの高齢者等への支援事業を請け負う事もスタートしました。今後も、会社のモットーである地域貢献をより一層深めていきたいと考えています。女性社員も積極的に採用し、様々な生活環境の方に適用できる街の御用聞きとして、これからも従業員と力を合わせ、きめ細やかなサービスを実施していきます。



代表取締役
関 泰之 氏

～電気のように「明るい」未来を社員に届ける～

- 代表取締役 関 泰之 氏
- 本 社 所 在 地 千葉県千葉市中央区松波
- 主 な 事 業 内 容 電気設備工事
- 従 業 員 数 48名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

協会けんぽさんからの情報が 優良法人認定取得へのキッカケでした

当社は、1960年創業の千葉県内を中心に幕張メッセを始めとする様々な施設の電気工事の施工をしている会社です。健康経営への取り組みのキッカケは、2017年に協会けんぽから健康な職場づくり宣言(健康宣言)の説明を受けた際に、優良法人認定の話も聞いたところ、既に取り組んでいることが多々あり、取り組みの内容をさらに充実させて、申請にチャレンジしようということになりました。

具体的な取り組み項目です

社員数は50名未満ですが、元々の取り組みとして、「安全衛生委員会」を設置、開催しています。その委員会とも関連しますが、

- ・健康診断の受診率は100%。再受診等の対象者には、衛生管理者等からも、いつ受診するのか？等の確認を続け、受診せずにはいられない体制となっています。
- ・ストレスチェックについては、加入している商工会議所の休業補償制度の付帯サービスを活用しています。
- ・社員向け研修については社内ネットワーク上の「掲示板」に健康に関するテーマのウェビナーの案内をアップし、視た感想も提出してもらうようにしています。
- ・感染症対策としては、以前よりインフルエンザの予防接種費用の会社全額負担を行っているほか、コロナ関連では、ZOOMの導入で在宅勤務を可能にした他、時差出勤、また、通勤時の密を回避するために、社有車の通勤使用を認め、帰社時の自宅近くの駐車料金を会社負担としています。
- ・喫煙関係では、喫煙室の設置の他、以前より、喫煙者と非喫煙者として勤務時間自体に差をつけています。喫煙者の喫煙に要する時間を非喫煙者の定時時間に加えています。

取り組みと効果

適切な働き方では、有給休暇の取得推奨を行っています。例えば、飛び石連休の間の平日や、以前は休日であった会社の創立記念日での取得推奨等です。まとまった休暇を取得することで、従業員のリフレッシュにつながり、運動面でもメンタル面でもプラスになっているようです。最近の若手社員は総じて健康意識が高いように感じます。元々、健康に気を使って育てられたのかもしれません。入社応募の志望動機の中にも数名ほど、優良法人認定取得済みの企業であるということが触れられていました。そういった時代の趨勢にも合致した取り組みを今後も行っていきます。

今後の展望と取り組み

「SDG s」2030年まで残り10年を切っています。来期の事業計画に「SDG s」を盛り込む予定です。環境を意識しつつ更なる健康作りにも取り組んでいきます。また、社員の皆のおかげでお客様からの信頼を得て事業を拡大できていますので、だからこそ、社員には明るい将来を想像できるような環境を提供したいと思い、様々な取り組みを進めています。



2年連続認定証



千葉市にある本社

代表取締役会長兼社長
佐々木勝彦氏

～企業は人とその和なり～

- 代表取締役会長兼社長 佐々木勝彦氏
- 本 社 所 在 地 東京都港区六本木、千葉県茂原市東郷
- 主 な 事 業 内 容 建設業
- 従 業 員 数 120名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むことになったきっかけ

当社は、1968年創立の化学プラントの設計・施工やオペレーション、メンテナンス等を行っている会社です。千葉県茂原市を中心に、千葉県内や水戸に拠点を置く会社です。健康経営および優良法人認定取得への取り組みのきっかけは昨年、アクサ生命の担当社員の方からのお勧めもあって、アクサ生命本社で開催された健康経営セミナーに参加し、是非、導入したいと思ったことがきっかけです。

まずは導入、推進体制の整備、社員への周知

2020年は導入の年度であり、まず、「健康宣言」を行うとともに「健康経営推進体制」を整え、「2020年度 ロードマップ」を作成しました。社員がまだ、「健康経営」のことをよく理解していなかった段階なので、周知教育を行うとともに、アクサ生命の協力を得て「健康習慣アンケート」を全社員対象に実施しました。

そのロードマップではSTEP 1 からSTEP 4 までの計画を立てました。

STEP 1: 健康づくりの基礎作り＝健康宣言、健康習慣アンケート

STEP 2: 健康づくりの環境整備＝健康の重要性の周知と社員の健康意識アップ、健康課題の共有

STEP 3: 健康づくりの具体的取り組み＝スモールチェンジ『各自が目標を掲げ、できることに取り組む』

STEP 4: 取り組みの振り返り&改善＝社員の参加状況・実施状況の調査・把握・健康づくりによる反応と効果の確認(*参加者の満足度*生活習慣、健康状況の改善*仕事のモチベーションアップ)

コロナの関係もあって、必ずしも予定通り進んでいるわけではありませんが、引き続き取り組んでいきます。

健康経営取り組みの効果

取り組み始めてまだ間もないので、効果を求めるのは時期尚早かもしれませんが、インフル感染者、コロナ感染者ともゼロ人であること等は、健康意識の高まりによるものかと考えられます。また、前述のアンケート結果から、喫煙率の高さや受動喫煙があることも知ることができ、その後の対策につながっています。

今後の展望

昨年度は、社員に健康経営を知ってもらう年でしたが今年度は、会社及び全社員が健康経営の活動をする年であると考えています。会社、個人、共に具体的で有効な活動を考え、実行する必要があります。

「2021年度健康経営活動計画」のもと、メンタルヘルス、(受動)喫煙・禁煙関係対策等を重点項目として取り組んでいきます。



左から常務、専務、会長、室長

社長名での社員向けの
健康宣言文書

社訓です

千葉県
千葉営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
小門口 匡氏

～社員が安心して働ける千葉倉庫～

- 代表取締役社長 小門口 匡氏
- 本 社 所 在 地 千葉市中央区出洲港
- 主 な 事 業 内 容 倉庫業、不動産賃貸業
- 従 業 員 数 15名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019・2021 認定

健康経営に取り組むことになったきっかけ

当社は、IHIのグループ会社であり、1949年に設立された営業倉庫ならびに不動産賃貸を事業とする会社です。営業倉庫では、その保管物の90%はお米で、政府米が主となります。IHIグループの健康経営宣言に則り、「人材こそが最大かつ唯一の財産である」との経営理念のもと、千葉市の「千葉市健康づくり推進事業所」の認定取得を受けたり、以前より従業員の健康のために様々な取り組みを行っていました。

グループ全体としての取り組みのもとでの具体策

基本的な考えとして、この優良法人認定についてはインセンティブ取得ありきではなく、従業員の健康のために、何を行えばいいのだろうかという観点で知ることとなり、要件項目が、その道しるべになるという捉え方をしました。実際にはすでに対応している項目が多数あり、申請をする運びになったものです。具体的な取り組みとしてはIHIグループの健康経営宣言である

- ①個人と組織の健康リスク低減
 - ・ 健診結果に基づく就業管理の徹底
 - ・ 働きすぎに伴う健康への影響の防止
 - ・ ディフェンスメンタルヘルス対策の徹底
 - ・ 禁煙、受動喫煙防止への取り組み
- ②個人と組織の健康度向上による職場活性化
 - ・ 一人ひとりの主体的な自己健康管理に対する支援
 - ・ オフェンスメンタルヘルス対策の推進
- ③家族を含めた健康保持増進
 - ・ 「健康チャレンジキャンペーン」の家族を含めた展開
 - ・ 家族の健康診断受診率の更なる向上

以上の点に則り、例えば

- ・ 保健師と契約し、研修や個別指導など、従業員の健康意識の向上を図っています。

従業員の積極的な健康づくりを支援

- ・ インフルエンザの予防接種は従来から全額会社負担で就業時間中に接種。新型コロナワクチンの接種についても接種日および副反応の時は会社認定の休日としています。
- ・ “健康通信”の毎月発行
- ・ PepUpアプリの活用
- ・ 親会社の実施する1ヶ月間にわたる歩数競技会への参加
- ・ 毎朝のラジオ体操といった取り組みを従業員が健康に働いてもらうという観点で実施しています。

従業員が主体的に自身の健康づくりに努め、いきいきと働くことができる職場づくりに

経営層も“健康”が大事であることは身にしみてわかっていて、従業員の皆が健康でいてくれるために会社として何を実行すればいいのかという観点で、今後もこの優良法人認定制度を活用して従業員の更なる健康増進を図っていきます。



健康経営関連の各認定証



本社受付の感染防止策

千葉市にある本社

代表取締役社長
吉田亜紀 氏

社員の心身が健やかで、安心快適に長く働くことができるように

- 代表取締役社長 吉田亜紀 氏
- 本 社 所 在 地 東京都練馬区田柄
- 主 な 事 業 内 容 運送業
- 従 業 員 数 43名(男性:42名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

若手人材採用の為、高齢社員も長く働ける為にも健康経営に取り組む必要を感じました

地方自治体からの委託による地域内の輸送業務が多くの割合を占める中で、ドライバーの平均年齢が60歳を超える当社では、若手人材の採用が経営課題となっています。会社の評価を得るには健康経営優良法人認定制度を取得することが重要なことであり、社員が健康であること、働きやすい職場であることはすなわち会社の為、社員の為に必要な取り組みであると考えました。

社員とのコミュニケーションを円滑に自販機にはトクホのお茶を設置

普段ドライバーさんたちが飲めるように飲料水を常備したり、設置している自動販売機にはトクホのお茶をセットし、併せてドリンクごとのカロリー表を設置しました。毎月一回、休憩所や事務所に健康増進情報を掲示。安全衛生委員会では運行管理者を指名してドライバーの健康チェックを実施。そこでは社長と社員、社員同士のコミュニケーションも図りました。

相乗効果で労働基準監督署長から表彰

「安全管理はもとより、健康経営も含めて積極的に安全衛生管理活動に取り組んでいること」が評価されて、池袋労働基準監督署長から表彰をうけることとなりました。

社員の意見を積極的に取り入れながら安全・安心な職場環境の構築を進める中で、相乗効果が出てきていることを感じています。



社員の心身が健やかで、安心快適に、「共生」ができる職場づくりを

当社は「社員の心身が健やかで、安心快適に長く働くことができる職場づくり」に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

1. 働く仲間との共生
 2. 荷主様、取引先様との共生
 3. 地域との共生
- を実現していきたいです。

今後の展望

毎年健康経営優良認定を取得できるように今回評価いただいたことを継続していきます。併せて健康や働き方改革にまつわる、厚労省や国交省の認定も取得を目指して取り組んで参ります。

特に今後は、専門家のご指導やコミュニケーションの機会は増やしていきたいです。トレーナーのストレッチ指導、管理栄養士から食事のアドバイスを頂く企画をすでに実施しています。

またアクサ生命健康経営アドバイザーによる「社会的健康」に関する従業員セミナーにも期待をしております。



多摩中央葬祭株式会社

代表取締役
森山泰文 氏

地域密着の葬儀社として、社会や環境に貢献します。

- 代表取締役 森山泰文氏
- 本社所在地 東京都立川市錦町4-8-3
- 主な事業内容 葬儀業
- 従業員数 11名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

『健康経営』取組のきっかけ

「健康経営」を知ったのは、一昨年の異業種交流で健康経営優良法人認定を受けた企業からの刺激を受けたことに起因しています。もともと、社員の働き方改革に着手していた森山社長は、すぐさま行動を起こし、健康経営アドバイザーであった社会保険労務士とタッグを組んで、社員の行動変容を起こす取組を実施してまいりました。そうした一連の取組の中で、就業の偏りによる労働環境の悪化を防止するべく、PDCAの導入や従業員のモチベーションアップにつながる各種取組をして参りました。そして、健康優良企業銀の認定に続き健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)に認定を獲得することができました。

TOKYO働き方改革宣言企業

TOKYO働き方改革宣言企業に承認されました。宣言書のデザインは、都知事直筆モデルか標準モデルを選択できるということで、都知事直筆モデルを選択しました。働き方の改善・休み方の改善を進めて魅力ある職場にしていきたいです。宣言企業番号も「02N5151」魅力ある職場で働きたい方どんどん・コイコイって感じです。

慣習を見直し働きやすさも実現

森山社長は、長年他業界で働いてきた経験により、葬儀業界特有の課題を分析し、社員の働き方改革に力を注いできました。例えば休日。人の死は時間を選ばないため、いつ何時、葬儀の依頼が入るか分らず、予定通りの休日が取りにくいのが常識でした。それで、タブレット端末を全員に支給することで、希望の休日を申告してもらうことで、ムラのない情報共有を行い、社員が休みやすい環境を作り出しています。「誰かが『ここは子供の運動会なので休みたい』と言えば、その人が心置きなく休めるようにする。事前の引継ぎなども丁寧に行って、お客様にご不便を掛けないように取り計らっています。とても休みの取りやすい職場だと思いますね」(入社5年目 葬祭部 社員)

また、社員の健康にも気遣い、健康経営にも力を注いでいます。社内には血圧計や体重計が置かれ、塩分や脂肪分が少な

いお弁当の選び方のアドバイスをしています。

近年ご要望が高まっている、規模は小さくとも遺族が故人を偲べるような、家庭の温かみを感じさせる「こじんまり葬」というプランをリリース致しました。ご家族の意向にしっかりと耳を傾け、十分に満足していただけるサービスの提供を目指してまいります。ご家族の気持ちにしっかりと寄り添い、ご遺体搬送から会場準備、式の司会まで同じ担当者が責任を持って行う一貫施行体制を採用しています。お客様からは「顔が見える」サービスだと高い評価をいただいております。

今後の展望

創業から40年以上、お付き合いいただいた数多くのお客様に今後も信頼していただけるよう、また時代の動向にいち早く対応できるよう、日々さまざまな情報収集を行っております。地域社会や住民の皆様と密にコミュニケーションを取り、しっかりと地域に根付いた継続的な企業活動を心がけてまいります。



株式会社ウォールナット

代表取締役
齋藤 豊氏

その調査、私たちが解決します。確かな技術でみなさまの声に応えます。
“不可能”“できない”を可能にする技術で日々、調査、点検を行っております。
みなさまの当たり前の生活を守ります。

- 代表取締役 齋藤 豊氏
- 本社所在地 東京都立川市幸町1丁目19番13号
- 主な事業内容 ドローンなどロボットを用いたインフラ構造物の調査点検、調査機器の開発
- 従業員数 34名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」をはじめた切っ掛け

健康経営の取組のきっかけは、立川商工会議所から紹介で、社会保険労務士の先生を紹介していただいたことです。仕事の性質上、全国各地の現場に飛び回ることの多い社員の健康は、会社にとって最重要事項です。車で現場に行く社員が多いことから、以前は腰痛に苦しんでいる社員が見受けられました。そこで専属トレーナーが週1回来社して、会社が半額負担するマッサージを提供する取組をしたところ、以前よりは軽減されたように思われます。従業員からも好評で、社内の「福利厚生についてのアンケート」で続けてほしいサービスの上位になっています。

立川市ワーク・ライフ・バランス・推進事業所

少子高齢化の影響で、中長期に見ると若年労働者が不足し、労働人口が確実に減少していきな、有効な企業戦略としてワーク・ライフ・バランスを基本に据えています。そうした中、当社が立川市のワーク・ライフ・バランス推進事業所に認定され、清水立川市長から表彰を受けることができました。

「常に新しいアイデアを取り入れニューノーマルな働き方をリードする会社へ」

コロナの影響でテレワークが加速していますが、当社では15年以上前からテレワークの考え方を取り入れていました。地方の人を積極採用し、遠方にいながら業務に取り組める体制を構築しています。会社の経営理念として「斬新な発想と創意工夫の機動力で社会生活の安全を守り貢献する」を掲げており、ワークライフバランスに対しても様々な工夫をし、既存のやり方にとられない方法を常に模索、進化し続けています。女性が増えたことで、職場の雰囲気が明るくなり、また、仕事の面でも男性社員に的確な指示を出すことで、残業が減り、お互いに好影響が出ています。自由度の高い働き方を取り入れた当初は、不公平感を持つ従業員もいましたが、会社として大々的に発表・説明をし、トップダウンで取り組みを進めていった結果、皆が理解をし、柔軟な働き方をするようになりました。もちろん公共事

業のため、緊急で呼ばれることもあります振替休日などを使って上手にワークライフバランスを取っています。

(取り組みや制度)・・・一部抜粋

- ★在宅勤務、モバイル勤務が可能なテレワーク制度
- ★コロナ抗体検査を月に一度、全員受診(会社全額負担)
- ★旅行クラブ・・・毎年国内外へ旅行(会社全額負担)
- ★授乳室・ベビーベッド完備など

「道路調査で地域貢献」

道路の陥没や、トンネルの崩落事故を未然に防ぐため、地中の空洞などを見つけるための調査を全国で行っております。これまで地方での道路調査には東京から5～6人の社員を派遣し、移動や宿泊などで大きなコストがかかっていました。そこで現地の人を雇用し、東京から送った機材で調査してもらい、データの解析を東京本社の技術者が行う仕組みを取り入れました。地方での雇用を創出するとともに約5割のコスト削減に繋がりました。さらに現在、AI(人工知能)を活用してデータを解析する研究も進められています。AIにより処理するデータの数が増えれば、調査をする数を増やすことができ、さらに地方での雇用促進に繋がるといいます。この取り組みは中小企業の革新的な事例として「東京都経営革新 優秀賞」を受賞しています。



抗体検査



代表取締役社長
井上 毅氏

健康経営は一番大切な家族のためにも必要

- 代表取締役社長 井上 毅氏
- 本 社 所 在 地 神奈川県相模原市緑区鳥屋750
- 主 な 事 業 内 容 ゴムひも・手芸用組みひも製造販売
- 従 業 員 数 46名(男性:15名・女性:31名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

楽しく稼ぐために、常に考えよう！

弊社のロゴである四葉のクローバーには、イノウエの80有余年のモノづくりに込めた歴史と、ものづくりをする人のすべての「想い」が込められています。世界中の人に愛され心に残る商品づくりを行っていきたくと社員とともに一丸となって日々取り組んでいます。弊社の credo には「楽しく稼ぐために！常に考えよう～残業・休日出勤を可能な限り削減し、定時で終えて売り上げ・利益を伸ばします。提案を出し合って、仕事を効率よく進めましょう。～」と会社方針を記載しています。この前提には社員の健康が必要であり健康経営の考えと一致していると感じその取り組みを開始しました。

身体健康からスタート

身体健康が大切と考え朝のラジオ体操を実施しています。また、ランニングをやる人が増えてきたためユニフォームを作成し私も含めマラソン大会に参加するなど会社としてクラブ活動を支援してきました。スポーツをすることは身体健康増進に加えコミュニケーションを通じて心の健康増進にもつながります。全社員が月に1回健康づくりの目標を申告し気軽に健康づくりに取り組めるよう会社として支援をしています。また福利厚生面の充実のため相模原市勤労者福祉サービスセンター(愛称:あじさいメイツ)に加盟し従業員が健康や旅行等の福利厚生サービスを受けられるようにしています。

健康経営は発信の仕方が大切

健康経営を会社がやるからだけではうまくいきません。健康であることの重要性の理解や働く環境づくりを会社が整えていくことが大切になります。弊社では有休取得を奨励しています。自分のためだけではなく介護やお子様の病気など家族のため休暇を取得される方が多いようです。誰にとっても家族が一番大切です。日頃から提案を出し合い仕事の効率化に取り組んでいるからこそ安心して休暇を取得することができます。健康経営に取り組むことは社員の健康を守り会社のためにもなりますが、一番大切な家族のた

めにもなることを繰り返し伝えていきます。家族に何かあれば会社にも相談して欲しいといつも言っています。時短勤務や休暇制度をうまく活用することで雇用を守ることできます。

今後の展望

企業としてなにをすれば従業員のためになるのか、どこまでやるべきなのか、健康経営を実践することにより一般的な判断基準を理解しながら取り組めることが大切であると感じています。社内だけでなく外部の支援を受けることも重要です。これからも健康経営を通じて社員とともに成長をしていきたいと考えています。



本社内屋内のランニングクラブ展示コーナー



会社ロゴマーク

株式会社テクニカルスチール

代表取締役
折居義弘氏

50年後も地域社会になくはない存在であるため、
健康経営に取り組む！

- 代表取締役 折居義弘氏
- 本社所在地 山梨県南アルプス市荊沢596
- 主な事業内容 精密板金加工
- 従業員数 82名(男性:56名・女性:26名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康経営を始めたきっかけ

健康経営を最初に知ったのはアクサ生命の担当者からの情報でした。従業員たちが健康でないと皆、仕事に集中できません。もともと当社の定着率はとても高いのですが、これからは安心して働ける会社であり続けるためには必要な取り組みだと感じました。またすでにおこなっているいろいろな健康増進策が国の優良認定項目に合致していることがわかりましたので、認定に向けてチャレンジしてみることにしたのです。

従業員たちへの効果

アクサからの健康習慣のワンポイントアドバイスツールはタイムカード付近に置いてありましたが、以前は見えていないようでした。でも途中から給与明細の封筒に入れるようにして以降、家族も一緒に情報を共有するようになり、意識が高まってきています。もともと当社には先輩が後輩に声掛けして優しくサポートする風土がありますが、インドネシアからの実習生も含め、さらに風通しがよくなってきたと感じています。

全従業員に毎朝 声掛け

私は毎朝、80数名の従業員1人ひとりに「今日も頼むよ！」と声を掛けています。みんなの健康状態が感じ取れるし、体調の悪そうな人には無理しないよう勧めています。何気ないリラックスした会話が弾むことも多く、嬉しく感じています。私自身は若い頃にモトクロスの全国大会で優勝した経験もあるのですが、64歳の時に復帰し今は息子と一緒に楽しんでいます。こうして自分の健康も維持しながら、従業員たちのこれからの健康を見守っていきたいと考えています。

今後のこと

アクサの健康経営フォーラムに参加して聞いた他企業の取り組み事例を参考に、スポーツジムの活用等も検討していきます。当社の夢はこの先50年後も地域社会になくはない存在であることです。そのために従業員たちが健康で長く働ける環境を作っていきたいと考えています。彼らの幸せが一番です。

健康増進のためにやっていること

健康習慣アンケートで生活習慣上の課題を把握しました。全従業員を対象にしたフィードバックはコロナ禍であることを考慮し、社内放送でおこないました。また喫煙者を集めての「禁煙セミナー」も実施しました。現在喫煙場所は屋外に1カ所、設置しています。定期健診は100%受診し、女性特有のがん検診も希望に応じて受診できる体制を整えています。他には「会社カレンダー」を作成し、稼働日の祭日を有給休暇を使って休みやすくしています。有給休暇の消化は順調で、残業もほとんどなく、定時で退社できています。



会社外観

モトクロス1971年
ランキングチャンピオン会社
カレンダー

社内放送でのセミナー



禁煙セミナー

株式会社中村建設

代表取締役社長
中村国男 氏

会社と従業員たちが大きく成長していく手段として、
「健康経営」に取り組む！

- 代表取締役社長 中村国男 氏
- 本 社 所 在 地 山梨県甲斐市万才300
- 主 な 事 業 内 容 総合建設業
- 従 業 員 数 30名(男性:27名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

ある時、交換した相手の名刺に「健康経営優良法人」のロゴマークがありました。初めて見るもので、興味を抱き調べてみました。従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に実践することで、まさに自分たちの会社にも必要不可欠な内容であると感じました。従業員の健康増進で会社の活力がアップし、彼らもその家族も幸せを実感できるはずだと判断し、健康経営に取り組んでいくことにしました。

コミュニケーションを大切に

私はなるべく多く現場に足を運び、顔を見て、元気のない従業員にはタイミングを見ながら声掛けしています。メンタル面のサポートはとても重要ですので、悩みを聞き、抱えたものを軽くしてあげるように心がけています。彼らが健康で持てるパフォーマンスをしっかりと発揮できることが大切であり、それが健全な会社、果ては健全な世の中になることにつながると思うのです。こうした声掛けはこれからも継続していきます。

各種研修、受動喫煙対策など

会社として健康経営に取り組む旨を会議や朝礼の場で発信しました。健康への受け留め方はいろいろですが、社長として出来るだけのことをやってあげたいと考えています。健康習慣アンケートを実施して生活習慣の課題を把握し、フィードバックのセミナーで共有しました。また喫煙者を集めての禁煙セミナーも実施しました。受動喫煙対策として、喫煙場所は敷地外の駐車場に移動しました。禁煙への意識が高まっていくよう期待しています。

高まる健康意識

従業員の健康への意識が高まってきて、健康を損なうことにつながるような生活習慣は見直そうとの雰囲気醸成されつつあると感じています。自分の仕事への満足度は高いほうですが、仕事上の問題に対して新しい解決策を考え、自分で工夫し、アイデアを出そうとする従業員が増えています。この点も健康意識の高まりの効果と言えると思います。

今後のこと

今後は健康経営を我が社の文化の1つとして定着させたいと考えています。彼らが仕事を通じてメンタルを含めすべての面で人として大きく成長していけるよう、さらには世の中に貢献できる事が増える人になり、健康経営がその手段となるように、より一層積極的に取り組んで付加価値をつけていきたいと思っています。



本社外観



受付にある各種証明書



健康セミナー風景



感染症対策

株式会社たけまる

代表取締役会長
長谷部 理 氏

お客様・地域・社会へ積極的に社業を通して貢献していくため
健康経営に取り組む！

- 代表取締役会長 長谷部 理 氏
- 本 社 所 在 地 山梨県甲斐市下今井3539
- 主 な 事 業 内 容 プリンティング総合事業
- 従 業 員 数 18名(男性:15名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

お客様の満足度を追求して

私たちは昭和23年の創業以来、主に商業印刷分野のプロフェッショナルとして、お客様の「思い」を「かたち」にと誠実に努力を続けてまいりました。お客様の満足度を追求し、積極的な提案を行うプランニング営業に始まり、デザイン・製造・施工・物流・納品までの一貫したフローを構築することで、お客様の期待を超える付加価値の高い品質・対応・アフターフォロー、コストパフォーマンスを実現してまいります。

さらに高まる健康意識

これまでは体調が悪くなったことをきっかけに健康について意識し始める従業員が多かったのですが、最近は平素の生活習慣から気をつけていこうという雰囲気が出来つつあると感じています。
有給休暇の取得については以前からもスムーズに進んでおりましたが、より一層コミュニケーションが円滑に図られるようになり、お互いの連携ができることでより取得しやすくなっております。

健康経営のきっかけ

健康経営のことはアクサ生命の担当者から聞きました。以前から従業員の健康意識は高く、健康増進やコミュニケーションは積極的におこなっていました。グループ会社の中に医療法人があり、定期健診やその後の精密検査等が受診しやすい環境にあります。コロナ禍となる以前にはボウリング大会等の機会も設けておりました。健康経営はさらなる健康増進には必要なことと考え、会社として取り組むことにしました。

今後の展望

従業員たちに健康で長く働いてもらうために、健康はとても大切です。ワークエンゲージメントを高めていくことが生産性向上につながっていきます。これからも会社として健康増進に積極的に関わり、従業員にはそれぞれの夢・目標・生き甲斐を実現してほしいと願っています。

健康習慣アンケート～フィードバックセミナー実施

従業員の生活習慣の課題を把握するため、健康習慣アンケートを実施しました。フィードバックレポートからは、将来の目標を実現するために生活習慣に気をつけ、健康を損なうような暴飲暴食や夜更かしなどはしないよう留意している従業員が多いなど、健康意識の高いことがわかりました。その後フィードバックセミナーでさらにその意識を高めることができましたと感じています。このアンケートとセミナーは毎年継続して健康経営の効果検証をおこなっていきます。



認定証



会社外観



屋外の喫煙所

株式会社清里給油所

代表取締役社長
奥水順彦 氏

大切な従業員たちに健康で長く働いてもらうために
「健康経営」に取り組む！

- 代表取締役社長 奥水順彦 氏
- 本 社 所 在 地 山梨県北杜市高根町清里3545
- 主 な 事 業 内 容 ガソリンスタンド経営
- 従 業 員 数 8名(男性:5名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

私自身はフルマラソンをやっており、ニューヨークやホノルルなど海外を含め、この20年で30回ほど経験してきました。当然健康維持のため、質のよい睡眠や水分補給等を平素から心掛けています。従業員たちにも健康の大事さを伝えていました。そんな時にアクサの担当者から「健康経営」のことを聞き、これは従業員のため、今後の会社のためにととても大切なことだと考え、皆で取り組むことにしました。

福利厚生の充実に向けて

アクサ生命の保険を活用して退職金の準備もしています。福利厚生を順次充実し、みんなには安心して仕事に励んでもらえたらと思っています。従業員の健康意識は徐々に高まってきているようです。中には保健師さんからの指導をきっかけに食事療法を始めて減量するとともに、高かった血圧も下がってきた等、生活習慣の改善で効果を実感する人も出てきています。

健康習慣アンケート&セミナーを実施

従業員たちの生活習慣の課題を確認するため健康習慣アンケートを実施したところ、仕事への満足度が高く、誇りを感じながら仕事をしてきている一方で、ストレスを感じている、不健康行動をとっている等の課題も見えてきました。このアンケートの集計結果をもとにフィードバックセミナーを実施し、現状を共有しました。健康意識を高めるために効果があったと感じています。

今後のこと

当社の従業員たちは皆、長く働いてくれています。当然年齢も次第に上がってきています。これからさらに健康で長く働いてもらうために、皆の幸せの実現のために、この「健康経営」はなくてはならないものです。今後も健康習慣アンケートやセミナーを含め、健康増進につながる施策をおこなっていきたいと考えております。

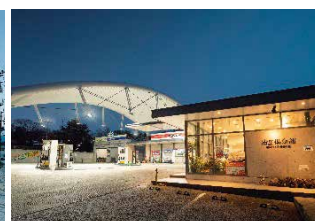
生活習慣病などの重症化予防

インフルエンザの予防接種は町の診療所からマイクロバスで来てもらい、当社敷地内で全員が受けました。特定保健指導については毎回対象になっている従業員もいますが、勤務シフトを調整し個々に保健師さんの指導を受ける体制を作っています。

喫煙者は複数おり、「禁煙したら全員に手当を支給するよ！」と伝えていますが(笑)、なかなかやめられないようです。地道に健康への影響を伝える等、禁煙への取組みを継続していきます。



会社外観



会社外観



セミナー・ミーティング風景

山梨県
山梨北営業所

Voice Report
80th
The Interview



代表取締役
齋藤文彦氏

さらに風通しのいい会社となるよう、健康経営に取り組んでいます！

- 代表取締役 齋藤文彦氏
- 本社所在地 山梨県甲斐市竜王1278-1
- 主な事業内容 土木一式 他
- 従業員数 12名(男性:10名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康経営を始めたきっかけ

最初にアクサ生命の担当者から健康経営という言葉を知った時は「健全経営?」「また保険の勧め?」くらいに捉えていました。そのうちアクサの健康経営のテレビCMを何度も目にするようになり、「これなんだ」と認識しました。改めて担当者から詳しく説明を聞いてみると、ふだん自分たちが従業員に向けてやってきていること、目指していることと同じだとわかり、あらためて取り組んでいくことにしました。

コミュニケーションを重視

当社の従業員たちは皆、長く働いてくれています。彼らの職場環境は少しでもよくしていきたいと考えています。大事にしていることの1つがコミュニケーションです。現在はコロナ禍で充分なことは出来ていませんが、夏の納涼会、ボウリング大会、親睦旅行、家族を呼んでのバーベキュー大会など、すべて費用は会社負担とし、多くの行事を企画しています。コロナ感染が落ち着いたらまた再開したいですね。

健康習慣アンケート、健診等

従業員たちの課題を把握するための健康習慣アンケートを実施し、多くがふだんから生活習慣に気をつけていることもわかりました。健康診断はもちろん100%受診しています。再検査等も勤務時間中に行けるよう配慮し、かかる費用は会社負担としていますが、おかげさまで該当者がおりません。長時間労働にならないように配慮し、また年次有給休暇も個々人の希望どおり取得できるようになっています。健康習慣アンケートは毎年実施し、経年で課題が改善していけるようにと考えております。

暑さ対策

特に夏場、従業員たちは厳しい暑さの中で仕事をこなしていかなければなりません。熱中症対策は重要です。こまめに休憩を取り、またスポーツドリンクや経口補水液、塩飴などは欠かさぬよう準備しています。さらに今年は全従業員分、ファン付きの空調服を発注しました。いろいろなメーカーでたくさんの種類が作られていますが、少しでも快適な環境で仕事をしてもらえたらと思い、機能性に優れ評判のよいものを選びました。

今後のこと

今後もコミュニケーションを心掛けて、健康面を含め困っていることがあれば気軽に相談しあえる、風通しのいい会社にしていきたいと考えています。従業員たちには仕事もプライベートもより一層充実したものになるよう、積極的に健康増進など職場環境づくりに取り組んでまいります。



会社外観



会社外観



社員旅行のひとコマ



ファン付きの空調服

マルマツビューロー株式会社

代表取締役
松井 均氏

マルマツビューローは人の目に見えない「光」さえも
測定出来る自信があります

- 代表取締役 松井 均氏
- 本社所在地 静岡県静岡市清水区御門台5-2
- 主な事業内容 光測定機器、光学測定機構装置の
開発・販売・保守
- 従業員数 16名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

当社方針に健康経営が合致

マルマツビューローのキーワードは「光」です。業務では長年培ってきた光学技術に磨きをかけ、あらゆる照明器具の測定装置を開発してきました。家庭や職場などで使われる照明はもちろん、自動車、船舶、航空機、街路灯、信号機、反射素材など、光に関する測定は、ほぼ全て対応できると言って過言ではありません。

一方、社内では一人々の社員に「光」を当て、また社員が公私共に一段と輝く「光」を放ってくれる事を目的に、次の『行動指針』を定めております。

- ・健康であり、正直であり、初心を忘れない
- ・チームワークよく、力を同じ方向に傾注し
- ・思いやりの精神で、良い人間関係と働きやすい職場づくりに努めます

これからどんどん加速化するIT社会。RPAやAIなど単純作業はどんどん機械に成り代わっていくからこそ、人でしかできない作業を丁寧に誠実に取り組む心を受け継いでいき、それとともに人を大事にする会社で居続ける信念をもち、「これからも、自分の仕事に誇りをもってみんなに思いやりの精神」のマルマツの風土をはぐくむ。このような当社の方針、取り組みに健康経営の取り組みは、必要不可欠と感じました。

健康経営の取り組み

健康経営の取り組みの中でも、アクサ生命のサポートでつぎの取り組みに注力しております。

- ・「健康習慣アンケート」、及び「健康セミナー」の実施。
 - ・「アクサ生命の健康経営ワンポイントアドバイス」の全社員への毎月配布で健康情報提供。
 - ・メンタルサポート。
- 心のケア重視の観点から特に、これは重要と考えます。

その他、外部講師を招いての研修会も実施しております。



コミュニケーション重視の組織体制づくり

全ての仕事がチームで回っていて、プロジェクトメンバー全員が情報を共有し職務遂行にあたっております。それゆえに、健康経営の指標の一つでもあります、コミュニケーションの促進を重視して下記のような取り組みを実践しております。



ミーティング

全員参加で毎朝ミーティングを実施。

レクリエーション

従業員同士の年が離れていることもあり、より皆の親睦を深めてもらいたく毎年5月に会社負担の社員旅行を実施。



ワークライフバランス

当社に残業はありません。休日と合わせて、各自、自分の時間も確保して貰い、家族とのコミュニケーションも大切であると考え、ワークライフバランスを推奨しております。

目指している未来の会社の姿

【1】働き手の皆が自分の力を存分に発揮できる環境を整え維持改善すること。

【2】達成感を存分に体験してもらうこと。

この、2点が目指している未来の会社の姿です。

自己実現とチームでやり遂げる達成感は、きっとその人を幸せな気持ちにさせてくれるでしょう。そして、そういう気持ちで作り上げた製品はきっとお客様の元にも幸せを運んでくれると思うのです。昔の方がよく言った「三方よし」、まさにそうだと共感します。会社も従業員もステークホルダーの皆様も。

そして生産活動を通じて、世の中の発展に役立つための商品を提供し社会から信頼される企業を、そして「人財育成」を目指してまいります。

静岡県
静岡営業所

 Voice Report
80th
The Anniversary

 代表取締役社長
望月元一 氏

確かな技術と熱い心で地域の発展に貢献します。

- 代表取締役社長 望月元一 氏
- 本 社 所 在 地 静岡県静岡市駿河区泉町3-15
- 主 な 事 業 内 容 総合建設業
- 従 業 員 数 70名

 健康経営優良法人 2021認定
中小規模

 健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

信頼される企業を支える「人材育成」に健康経営

私どもが手掛けるのは「街づくり」「環境づくり」といった公共事業を主体とする建設業です。



私どもは創業以来社会性の高い業務に携わることで、総合建設業者として堅実に歩んでまいりました。

「広く地域社会に貢献し、より豊かで快適な環境の創造と生活文化の向上を目指すこと」これが弊社の使命です。

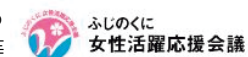
災害時支援や福祉活動などを通じて行う「社会貢献」、地域との調和や環境に配慮した「技術・製品の提供」、”より良いものを・安全に”を信条とする「顧客ニーズに合わせた製品づくり」、信頼される企業を支える「人材育成」という4つの方針のもと、時代の要請に合した技術をお届けしています。その中で、「人材育成」という観点で「健康経営」の取り組みは重要なアイテムの一つであると認識し、その取り組みをスタートさせました。

女性の活躍出来る職場の創出

女性の活躍をより一層加速化させ、活躍できる社会を形成するため、平成28年3月に発足した静岡県の官民一体のネットワーク型組織「ふじのくに女性活躍応援会議」のメンバー企業となりました。弊社では女性社員が就業継続し、活躍できる雇用環境の整備に注力しております。

主な取り組みは

- ・女性からの応募喚起を図るため、当社HPや会社説明用資料の見直し
 - ・新たに女性を配置しようとする現場へ、女性専用トイレ・更衣室等
 - ・管理職を対象に女性を部下に持つマネジメントスキルの勉強会や研修の実施
 - ・育休取得者が復帰しやすい環境の整備
- このような取り組みの一環で静岡県次世代育成支援企業（こうのとりのカンパニー）の認証も取得いたしました。



社会貢献活動

今後とも「健康経営」を軸として、信頼される企業を支える「人材育成」。そして社会貢献に寄与できる企業を目指してまいります。

防災啓発活動

令和元年9月に京都大学教授をお招きして「富士山噴火と南海トラフ」と題する講演会を開催。官公庁、法人、一般、合わせて約350名の皆様にご参加を頂きました。



その他、河川美化清掃活動や年2回行っている大浜海岸清掃活動。また、静岡市道路サポーター制度に登録して、毎月1回、会社周辺の道路清掃を行っています。



健康経営の取り組み

健康経営の取り組みをいくつか紹介致します。

1. 運動不足解消の一助になればと、朝と午後3時の一日2回ラジオ体操を実践。
2. コロナ感染症対策の意識付けも視野に、インフルエンザ予防接種費用の会社負担を実施。
3. コミュニケーション促進策として、忘年会や社員旅行を実施。



忘年会

全社員参加で社内随時表彰や毎年恒例の福引大会等で一年間の労をねぎらいます。

株式会社丸橋運送

代表取締役社長
橋本武彦 氏

安全第一 そのための健康

- 代表取締役社長 橋本武彦 氏
- 本 社 所 在 地 静岡県焼津市田尻2235-9
- 主 な 事 業 内 容 運送業
- 従 業 員 数 88名(男性:78名・女性:10名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定事故を起こさないためには健康であることが
不可欠であることを痛感

運送会社としてまずは安全第一、事故を起こすことがないよう以前より安全教育・労働時間の管理・労働環境の整備などには気を配っておりました。そのようななかドライバーの健康面の理由から一歩間違えたら大事故になりかねない事案が発生してしまいました。社長である私自身も加齢とともに健康面に不安を感じていたこともあり、従業員にも健康面での意識づけが必要だと感じたことが、健康経営を取り組もうと思った一番の理由でした。

生活習慣の把握からスタート

運転には睡眠の管理が大事であるため、睡眠と運転に関するアンケートを実施し、眠くならないためには？眠くなった場合の対処は？など従業員からアイデアを募集し社内に掲示しておりました。合わせて日頃の生活習慣に関するアンケートも実施し、職場の課題を見つけるところから取り組みをスタートいたしました。感じてはいましたが、喫煙者が多く禁煙の意思のある従業員も少ないこと、食事や飲み物も日ごろから気を付けて生活をしていないことなどに気づくことが出来ました。

安全講習を健康をテーマに全従業員に実施
二次検査対象者とは社長自ら面談も

毎月安全衛生講習を全従業員対象に実施しておりましたが、今回は初めて健康をテーマに、2020年9月3日間計12回にわたって全従業員に参加してもらい、講習を行いました。生活習慣の課題を全員で確認しながら、安全第一・事故を起こさないようにするためにも健康が不可欠であることを伝え、高血圧症・糖尿病などドライバーにとっても怖い病気とその予防法などを全員で学ぶことができました。また年1回(ドライバーは年2回)の健康診断で二次検査が必要となった社員には検診結果に直筆のメッセージを付けて渡したり、直接面談をし二次検診受診を促すなど私自らが社員の健康に関心を持って接するよう意識をしております。

早くも効果を実感！

まだ取り組みをスタートしたばかりですが、その効果を実感しております。
禁煙を始めた社員が私に報告に来てくれました。またダイエットを始めた社員も出てきました。
そして今回の健康診断結果を昨年と比べてみたところ、
血圧⇒有所見者20%減少！
血糖値⇒有所見者35%減少！
職場のコミュニケーションも良くなったように感じています。

リクルートにも大いに活用

ドライバーを希望する人口は今後も減少していくことが予想されており、どのように10代・20代の若い人材を確保するかは運送会社にとって死活問題です。ほとんどがWEBでの応募となるので、HPをリニューアルし、より健康経営を前面に出し、本人だけではなくご家族の方も安心していただける会社を目指していきたいと考えています。



2020年9月

安全衛生講習で「健康」をテーマに講習を開催



「働くを自由に。楽しく。かっこよく。」をテーマに健康経営を実践

- 代表取締役社長 村松良隆 氏
- 本 社 所 在 地 静岡県藤枝市緑町2-2-8
- 主 な 事 業 内 容 オフィスデザイン
- 従 業 員 数 21名(男性:10名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

魅力的な会社になりたい！ そんな想いで健康経営を取り組みました

求人を出しても応募も少なく採用が難しい状況が続いており、どうしても魅力のある会社に出るだろうと考えていたところ、健康経営の話聞く機会がありました。説明のなかで「働きやすい職場環境づくり」を行うことで従業員のワークエンゲージメント向上が実現できる！今の会社の課題を解決できるかもしれないと考え取り組みを開始しました。

働く社員の健康を第一に考える職場環境を整備

オフィスデザインを提供する会社ですから、自らの職場環境を整備することから始めました。具体的には

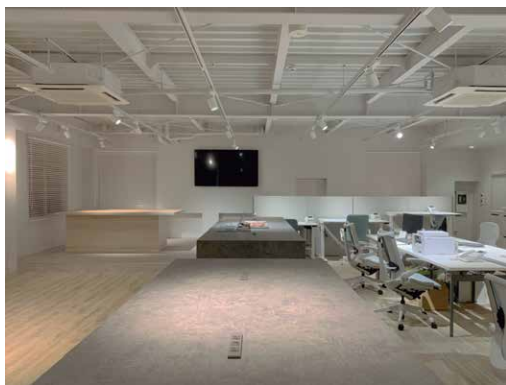
【オフィス3Fをキッチン付の多目的スペースにリニューアル】

- ・炊飯器を置き、自炊で健康的な昼食を作れる環境
- ・コーヒーマシンを設置、自由に飲みリフレッシュできる環境
- ・デザイン、設計など集中して仕事の出来る環境
- ・営業の社員がつかれた時などに休憩に使える環境

【オフィス1Fの全面リニューアル】

- ・ABW(アクティビティ・ベースド・ワーキング)の考え方に基いて社員の業務に合わせて効率的に仕事のできる環境整備を行い、今年度完成をいたしました。

明るい職場となり、以前よりも活気あふれる環境整備ができました。



今年度完成しました弊社1Fオフィス

コミュニケーションが向上

運動機会を増やす取り組みも行いました。

【ウォーキングの実施】

週2回から3回程度、残業のない時に有志社員が約1時間ほど近くの池のある公園までウォーキングを行っております。

【階段上り下り】

休憩時間には3Fまで階段を上り下りをし、健康管理を行っている社員も増えております。

前述した多目的スペースで自炊・食事をとりながら、またウォーキングをしながらなど、会話を楽しむ機会が増え職場のコミュニケーションが向上したことにより雰囲気も良くなったと感じています。

ますます魅力のある会社！

今後も弊社のテーマであります「働くを自由に。楽しく。かっこよく。」を実践し、さらに「働く社員の健康を第一に考える職場環境」を整備し、オフィスデザインを提供する会社として、魅力のある会社創りをしていきたいと思っております。



お昼ごはんを食べたり休憩ができる
弊社3F「キッチン付多目的スペース」

株式会社マルハチ村松

代表取締役社長
村松善八氏

～マルハチ村松に関わるすべての皆様に幸せを分かち合う～

- 代表取締役社長 村松善八氏
- 本 社 所 在 地 静岡県焼津市城之腰65-1
- 主 な 事 業 内 容 天然調味料・機能性食品素材の製造販売
- 従 業 員 数 406名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

信頼を積み重ね、皆で幸せを分かち合しましょう！

ひとりでも多くのお客様にお喜びいただくこと、その喜びを、さらに大きく豊かにしていくこと。

それがマルハチ村松の挑戦です。

お客様の喜びを私たち自身の喜びとし、信頼を日々積み重ねていくことが、マルハチ村松に関わるすべての皆様の幸せにつながると、私たちは固く信じています。

これを実現するために私たちは、伝統を大切に育てながらカツオを中心とする天然素材の調達力・技術力・活用力に磨きをかけ、安全でおいしいダシ、健康に寄与するダシを、世界へ未来へと、お届けします。



健康経営の取り組みで苦勞したことや良かったこと

会社の体制が再確認でき、弱い所が見えるようになりました。また、昨今の人間関係やハラスメントにおけるメンタルヘルス不調等が社会的な問題にもなっているため当社としても不調者の早期ケア、相談窓口（社内・社外）の設置など支援体制の重要性を感じています。

健康経営の認定証の
社内掲示板

健康経営に取り組んだきっかけは

2018年にCSR推進室が立ち上がったことで従業員の健康について改めて考える様になりました。従業員の平均年齢が上がっていく中で従業員が健康でなければ、仕事への生産性や効率を落としてしまうリスクを考え、取り組むことになりました。そして健康経営への取り組みに注力した結果、「健康経営優良法人」の認定を受けることが出来ました。

今後の展望

各職場の管理職や安全衛生委員への健康についての情報発信、研修などを行い、また、産業医の先生の指導も積極的に取り入れ従業員が健康で楽しく働ける職場づくり、従業員にとって環境の良い職場、働きがいのある職場を目指して参ります。

健康経営の取り組み内容

働きやすい環境づくりとして

- ①少人数の工場、営業所などの事業所でも全従業員にストレスチェックを実施
- ②年次有給休暇の取得促進
- ③育児のための短時間勤務の取得期間を小学校3年生まで延長
- ④過去に失効した有給休暇を積立て使えるようにした失効有給積立制度を設立
- ⑤新型コロナウイルス感染症対策でのフレキシブルな出勤体制の実施



静岡工場事務所のストレッチ運動

代表取締役社長
河田亮一 氏

まちづくりの会社だからこそ、よく働き、よく暮らしてほしい

- 代表取締役社長 河田亮一 氏
- 本 社 所 在 地 静岡県三島市文教町1-5-15
- 主 な 事 業 内 容 総合建設業
- 従 業 員 数 332名



進化し続ける福利厚生制度

加和太の社員は、私たちの会社の一員であると同時に、このまちに暮らす地域の一員です。だから、会社をよくしようと思う気持ちと同じくらい、自分たちの暮らしや地域をよくしようと思って毎日を過ごしてほしい。自然と地域の現状や魅力に目が向くような働き方、暮らし方になればと考えています。

福利厚生の制度や仕組みに関しては、正直、充実させている進化の途中です。大手企業とは異なり、全員で力を合わせて乗り越えなければならない時もある一方、社員一人ひとりの事情や相談に対応できる柔軟さを意識しています。

主な健康経営の取り組み

- ・朝のラジオ体操の実施
- ・自転車通勤手当と自転車購入補助金支給
- ・健康情報掲示板「健活のススメ」の月1配信
- ・本社にてインフルエンザ予防接種の実施(会社負担)
- ・本社駐車場にて献血の実施(年2回)
- ・定期健康診断・人間ドックの実施
- ・ストレスチェックの実施
- ・メンタルヘルスケア面談の実施(希望制)
- ・社内設置自販機へのカロリー表示
- ・社内サークル活動の実施と補助制度の導入

社員の声に応える仕組みに

他業界と比べたら、建設業界の働き方は遅れている部分も多いのかもしれません。また、マネジメント層に男性が圧倒的に多いのも事実です。そこで、私たちは社内に「働き方改革チーム」を発足。女性社員もメンバーに加え、働き方に関する社内の様々な声を拾う機会を整えています。こうした社内の声から生まれた社内の福利厚生制度がいくつ もあります。



ライフステージの変化に合わせて働き方も変えていく

ここ数年、結婚や出産を経て、仕事を続ける女性社員が増えました。育児休暇を取得する男性社員も現れました。彼ら彼女らがライフステージの変化に合わせて、働き方も変えていくことができるように各種制度や取り組みも柔軟に変えていきたいと思えます。他社に遅れて整える制度もあると思えますが、後発だからこそ、より良いものにしたい。他社を上回るものにしたいと考えています。

今後の展望

目まぐるしく社会環境が変化する時代、加和太で働くことを選んでくれた仲間に対し、私たちは責任を果たす必要があります。いつの時代、どのような場所でも、自分で自分の人生を決められる人材に育てること。そのための成長の機会を可能な限り提供することに注力致します。併せて、前述の福利厚生をベースに、更なる「健康経営」推進で社会に、まちに貢献できる会社、そして人材を育成してまいります。

現在、新社屋の建て替えに向けて、いろいろな検討をしています。新社屋の設計は、「金沢21世紀美術館」や「ルーヴル美術館ランス別館」などの設計を手掛けた、西沢立衛建築設計事務所が手掛けます。新社屋のコンセプトは「生命感」です。いきいきと働き、仕事以外の時間も過ごしたくなるような社屋を目指しています。



代表取締役社長
古山雅都 氏

常に基幹産業から必要とされる企業を目指して！

- 代表取締役社長 古山雅都 氏
- 本 社 所 在 地 静岡県磐田市宇兵衛新田37
- 主 な 事 業 内 容 四輪・二輪他、輸送用機器向部品製造業
- 従 業 員 数 163名(男性:149名・女性:14名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営の取り組みが経営理念に合致

当社は創業以来、材料の仕入れから部品の完成までできる「一貫生産体制の確立」を方針に定め、四輪・二輪・四輪バギー・船舶エンジン・新幹線・ゴルフカー部品など、最高水準の品質を備えた製品を提供しております。国内外合わせて5拠点を展開しているグローバルな会社です。

当社は、経営理念の『従業員の幸福基盤を培う』とあるように、特に従業員が快適に働けるよう、職場環境の整備に力を入れています。そんな中、アクサ生命の担当者から健康経営のお話を伺い、これは当社経営理念に合致する取り組みと判断し、健康経営の取り組みをスタート致しました。

長く働ける職場環境
風通しの良い職場環境への取り組み

当社は、従業員が快適に働けるように5つの特徴があります。

1. やりがいのある仕事…適性にあった部署
2. 仕事と家庭の両立…有給休暇が取得しやすい
3. 公平な人事考課制度…やる気と実力次第で昇進可能
4. 将来性…積極的な技術開発と世界シェア1位のお客さま
5. 性別、人種、学歴に関わらず働きやすい社風
…従業員同士の仲も良く、差別がない

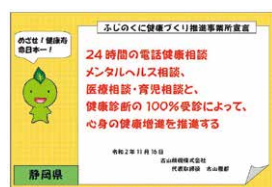
この会社の取り組みが従業員への職場環境アンケートの集計結果からも理解されていることが分かりました。この環境維持に健康経営は必要不可欠であります。今般、「健康経営優良法人2021の認定」を取得し、また浜松市のホームページにもこの取り組みを中心に「SDG's 取り組み企業」として登録されました。これを機会に更に自他ともに認める「よい職場作り」を目指していきます。

健康経営の具体的な取り組み
(一部コロナ感染回避で直近は自粛)

1. 定期健康診断の受診率同様、二次健診の受診率も100%実現に向け勧奨と受診までの後追いを徹底。
2. コミュニケーション促進策としての社員主導での新年会、歓送迎会等の開催。
3. 健康無関心層の改善に向け、アクサ生命の情報提供『健康経営ワンポイントアドバイス』を毎月従業員へ開示。
4. アクサ生命のサポートパッケージによるメンタルサポートの活用。

今後の展望

当社の社訓は『技術・信頼・幸福・発展』です。それを支えるのはやはり「人財」であり、従業員の健康＝従業員とその家族の幸福。それが活力となり、会社の健康、そして生産性の向上に繋がると考えます。その実現に向け、今後も健康経営に注力し、企業活動の積極的な推進を通じて社会の発展にも貢献してまいります。



代表取締役
山本哲也 氏

明日は今日よりいいものを
モノづくりを通じてお客様と社会の幸福に貢献する

- 代表取締役 山本哲也 氏
- 本社所在地 静岡県湖西市新居町中之郷4077
- 主な事業内容 管楽器部品加工
- 従業員数 55名



健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康経営が経営理念実践の一助に

弊社のメインである管楽器部品加工は工程が多岐にわたり、特に弊社はその全工程を引受けており、1人前になるには弛まぬ努力の積み重ねが必要です。失敗を次のステップに出来る根気強さを持ち、長きに渡って技術を磨き会社の力になってくれる人材を育成して行かなければなりません。どこの企業でもそうでしょうが、そうしたスキルを持った従業員は一人でも欠けたら、会社の生産性に大きく影響がでます。

そんな背景の中、弊社の経営理念に「わたしたちは、仕事を通じて全従業員の物心両面の幸福を追求します」とあるようにいわゆる「居心地のよい職場」づくりを心掛けております。昨年スタートした「働き方改革」ですが、それ以前に弊社では年間休日125日(平成30年度実績)、土日祝日、年末年始、G.W、夏季休暇。ほぼカレンダー通りの休みで「ワークライフバランス」を重視。また、有給休暇は申請等の必要なく休めば自動的に適用しているので、平日に用事ができたり、学校のイベントがあったときも適時、休暇取得が可能です。そして、後述しますが、社員間同士のコミュニケーションも重視し、心身ともに従業員の健康第一が優先課題であります。以上のことから「健康経営」の取り組みは、必要不可欠な取り組みとして、日々、実践をしているところです。

健康経営の取り組み

心身ともに健康追及の代表的な取り組みを記載します。

1. ストレスチェックを実施した後の、メンタル不調者への産業医のカウンセリング面談を重視。
(幸いなことに、まだ顕著な該当事例はありません)
2. 仕事柄、座ったままでの長時間労働を強いられるのでストレッチ運動を取り入れました。一部の社員の出勤時間帯がフレキシブルにて全員が参加出来、業務時間帯の中間で効果的でもあることから13時15分から実施。



コミュニケーション重視の職場づくり

弊社では健康経営の指標の一つでもあります“コミュニケーションの促進”は、前述の通り、業務面で多岐にわたる各工程間の連携が不可欠にて、特に重視して各種施策を実施しております。

・社員旅行(2年に一回)

全員参加を原則に、宿泊出来ない社員もいるので、日帰りでも楽しめる企画で実施。(写真は中華街ランチを挟んだ、横浜～鎌倉～横須賀旅行)



・歓送迎会、忘年会、慰労会

これらの施策は企画の段階から社員に参画してもらうことで、更なるコミュニケーション促進に繋がっていると考えます。その他、夏はBBQ大会を、お子さんが小さい社員も多いので、家族参加歓迎でお子さんの喜ぶ企画を多数用意して実施しております。



今後の展望

弊社はここ数年で社員がほぼ倍増となりました。その社員たちを誰一人欠くことが無いように

- ・従業員全員が安心して働く事のできる職場環境づくり
 - ・常に物事を前向きにとらえ、仲間や家族、自分を大切にすること
 - ・明るい笑顔、元気な挨拶、礼節ある態度
 - ・いい仕事をするために自分のやっている仕事を好きになる
- これらを行動指針に、健康経営の更なる取り組みに注力し、生産活動を通じて世の中の発展、文化の振興に役立つための商品を提供し、社会への貢献、そして、それを担う「人材育成」を目指してまいります。

株式会社藤本組

代表取締役社長
鈴木教郎 氏

自然環境との調和と社会への貢献を考える「地球の彫刻家」



- 代表取締役社長 鈴木教郎 氏
- 本 社 所 在 地 静岡県掛川市高田149-1
- 主 な 事 業 内 容 土木建築工事全般 測量業
- 従 業 員 数 35名(男性:30名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019・2021 認定

健康経営推進で社内外に的確にコミュニケーション！

地域に根ざした企業として、地域の人々に愛される企業づくりを進め、藤本組らしさを社内外に的確にコミュニケーションするために、スローガンやシンボルマーク、コーポレートイメージをしっかりと定めています。

CHARACTER



社内のコミュニケーションの源は勿論「健康経営」です。建設業の力強さを象徴する「象」をモチーフとして男女協働参画や家族の絆、協調性、人と人のふれあい、縁(えん)の大切さを、雄雌の二匹の象に託してキャラクターも造りました。愛称はオスの象は「けんぞう」、メスの象は「せつこ」、二匹そろって「けんせつ」です。

With コロナの「健康経営」

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響がありましたが、手洗い、消毒、密を避けるなどの対応をとりながら、健康講話や運動プログラムは実施致しました。コミュニケーション促進イベントである、会社主催の「ごくろうさん会」や「新人歓迎会」は止む無く中止とし、その予算でせめて美味しいものを家族で食べて元気を出していただきたい！『社員もご家族の皆さんも本当にご苦労さまでした！！』の想いを込めて全員にわずかではありますが、2万円を支給致しました。

健康経営『ヨガ教室』開催

8月より月1回の「ヨガ教室」(全5回)を実施しました。「日頃の疲れがヨガのリラックスポーズと共にとれた」。また、「自分の呼吸だけが聞こえる、こういうゆったりした時間っていいですね」と、参加した社員からは好評です。



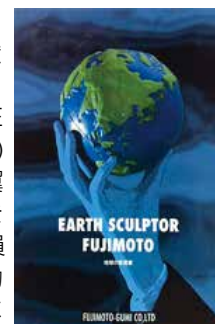
健康経営『腰痛・膝痛予防教室』開催

「ふじもとぐみ幸せづくり健康教室」と題して理学療法士の先生を迎えて痛みの種類や事例紹介などの講義、ストレッチポールなどを用いての軽い運動で①筋肉を緩める②呼吸を鍛える③背骨を鍛えるを(全7回)実施致しました。「健康意識の増進が病気にならない一番の予防」と講師であるお医者様のお話で、無関心層の社員への啓蒙に大いに効果があがってまいりました。



今後の展望

あらゆる生命の源、地球。私達はこの掛け替えのない地球の上に道路を造り、橋を架けるなど、幾度となくその表面を傷つけてきました。しかし、こうした活動の本意は、地球を破壊することではなく、地球環境を守るとともに人々の生活環境を改善・向上することにあります。私たちはこれからも地球の彫刻家として、自然環境と調和し、社会に貢献する作品を創造してまいります。その想いを込めて社名ロゴにSCULPTOR(スクールトラー=イタリア語で彫刻家)の文字を入れました。併せて、その一翼を担う従業員個人個人の健康意識を高める取り組みに力を入れ、今後も従業員にとって働きやすい会社づくりの一助となるよう、更に健康経営の取り組みに注力し、社内外に積極的に情報発信をしていきたいと考えます。



静岡県
遠州営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役
西島正浩 氏

次の世代へと繋がる豊かな街を創造する

- 代表取締役 西島正浩 氏
- 本社所在地 静岡県御前崎市新野811-1
- 主な事業内容 土木建設業
- 従業員数 22名(男性:18名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

人材育成と企業の活性化に、健康経営に取り組む

私たち西島土木は、お客様や地元関係者、各協力企業の方々に支えられ、より良い仕事を、安全に完遂することをモットーに、「人づくり」をテーマに未来に向かう活気あふれた企業づくりにつとめています。泥臭いイメージの強い建設業ですが、西島土木は仕事も現場もオフィスも業界トップクラスの清潔感を追求し、何よりも『人財』である社員の安全、健康が重要であるという観点と風通しのよい職場づくりを目指し健康経営の取り組みを開始しました。

健康無関心層の社員の意識改革に

アクサ生命のサポートを受け、まずは従業員の生活習慣を把握する「健康習慣アンケート」を実施いたしました。そして、社内Mtgの時間帯を活用して従業員全員にアクサ生命から結果のフィードバックを兼ねて健康情報提供のセミナーを実施しております。これにより従業員の健康関連のデータを把握出来ただけでなく、その後、従業員の間で健康の話題が出るようになりました。



このことは健康に対して無関心であった社員の意識改善にも少なからずつながったと思います。セミナー効果として、大変意味深いことだと考えます。また、同じく毎月提供される「健康経営ワンポイントアドバイス」も朝礼等で毎月紹介し、従業員に回覧しており、こういう日々の積み重ねが、さらに健康への社員の関心を高めて行くことに繋がっていると思います。併せて、昨今のコロナ感染禍の中で、健康経営の取り組みはタイムリーであり、従業員一人々が健康の重要性を認識し、感染症対策の徹底にも大いに役立ち、これがお取引先を中心に社内外への安心、安全につながっていると確信いたします。

社会的健康での健康経営の取り組み

弊社では社員はファミリーであるとの観点で日々接しています。その中で、絆を深めるためにも、会社主催の納会や社員旅行を、参画意識を高めるために、社員の持ちまわりで企画・実施しております。

<社員旅行>

若年層の気持ちを考慮し、「旅行参加は強制はしない」がコンセプトですが、風通しのよい職場づくりが奏功してか、ほぼ全員が参加してのイベントとなってまいりました。



今後の展望

巷では昨今、メンタル面のトラブルの話題もよく耳にします。『社会的な健康』という観点では、会社としてはコミュニケーションを重視し、万一の時にはアクサ生命のメンタルサポートも活用の選択肢である事も安心材料です。そして、現場でもプライベートでも支え助けてくれる仲間が居て歓喜も苦悩も分かち合える、そんな企業づくりに注力したいと考えます。それこそが仲間。仲間がいるからこそ、お互いの想像力が刺激され、新しい何かが生まれます。これが所謂『ワークエンゲージメント』の高い組織であり、これこそが『健康経営』の大きな効用の一つであると考えます。



取締役常務
山崎健太郎 氏

従業員とともに、お客様に健康をお届けする企業でありたい！

- 取締役常務 山崎健太郎 氏
- 本社所在地 新潟県妙高市東陽町2-20
- 主な事業内容 総合建設業
- 従業員数 58名(うち女性9名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019~2021 3年連続認定

新潟県の施策と同時進行でスタート

新潟県の推奨する「にいがた健康経営推進企業」の登録を検討していたところ、「健康経営優良法人認定制度」の存在を知りました。どちらも目的が同じであったため、全社員でより実効性のある取り組みとするため双方の認証登録を目指すこととしました。

具体的な取り組み

健康に対する意識向上を図ることにより良い会社環境を目指し、社員のモチベーション向上に繋げていくために、以下の取り組みを行っています。

- ◇毎朝のラジオ体操実施
- ◇個人健康目標の設定による生活習慣の見直し
- ◇社内健康チェックコーナーの常設
- ◇社内自動販売機への健康志向飲料の導入
- ◇インフルエンザ予防接種の費用補助
- ◇第2第4土曜日の工事現場完全休業

「健康経営」に取り組んでみて

取り組み始めた当初は社員も受動的で、いわゆる「やらされている」雰囲気が少なからずありました。しかし、取り組みを続けていくに連れ、徐々に目的を理解し内容が浸透していき、今では能動的に健康について考え行動するようになりました。本年度は、安全委員会から健康診断の再検査100%達成を目指す意見が出たり、総務部から休憩時間に栄養機能食品を支給する等、社員が自ら考え提案するアクションフェーズに入った実感が湧いています。

設立60周年を契機に・・・

会社設立60周年を迎え「社会循環型企業」をめざし、2019年から、SDGsにも取り組んでいます。本年に入り、SDGsの取材を受ける機会が増えたことでこれまで推進してきた様々な取り組みの棚卸しを行いました。これによって、それら取り組みが一本に繋がり、山崎建設の企業イメージとして形になってきたように感じています。

今後の展望

今回の取り組みによって、企業の在り方について改めて考えさせられました。会社経営において肝要なことは、環境整備と社会貢献であると捉えています。充実した会社環境の中で、当社に関わる人間が最高のパフォーマンスを発揮し、同時に自身の人生も豊かになる。そして事業の成果が社会の役に立ち、持続可能な地域社会に繋がっていくという考え方です。持続可能な社会に貢献することが企業の出口(ゴール)であるならば、会社環境の充実化は企業の入り口(スタート)ということになります。企業とは詰まるところ人であり、人は第一に身も心も健康でなければなりません。持続可能な企業づくりの根幹は社員の健康です。これを所信に今後も健康経営に邁進してまいります。



個人健康目標シート



朝のラジオ体操風景



設立60周年感謝祭

株式会社聖籠第一設備

代表取締役
関川 健氏経営理念である「ライフラインと心をつなぐ」の実現に向け
健康経営に取り組む

- 代表取締役 関川 健氏
- 本 社 所 在 地 新潟県北蒲原郡聖籠町大字網代浜919-3
- 主 な 事 業 内 容 総合設備、建設業
- 従 業 員 数 20名(男性:18名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

お客様と社員と会社のつながりを大切にした取り組み

経営理念である【ライフラインと心をつなぐ】をモットーに、昭和53年設立以来、地域を中心にライフライン事業に取り組んできました。

地域を愛する社員がよりよい生活、環境づくりに取り組む中で、地域の皆様から信頼を頂き、良い関係が築けている事に感謝し事業に取り組んでいます。

「健康経営」を取組んだきっかけは

ありがたい事に社員が定着して働いてくれております。勤続年数の長い社員も増えてきており、創業当時から働いてくれている社員も年齢を重ねてきており、いつまでも健康でいて欲しいとの思いが強くなりました。

そんな折、アクサ生命の担当者から健康習慣アンケート実施を提案頂き、社員の健康状態を把握する事が出来ました。当社の健康課題として①喫煙者が多い②定期健康診断の再検査受診率が低いなどがあり、課題改善に向け健康経営の取り組みを始めました。

受動喫煙対策と定期健診再検査受診率100%
に向けた取り組み

受動喫煙対策の取り組みとしては

- ①受動喫煙対策として屋内の喫煙所の撤去
- ②喫煙者を減らす目的として、禁煙外来治療費補助する事にしました。

また定期健診再検査受診率100%に向け、

- ①再検査、精密検査が必要な場合の費用補助
- ②ガン検診の費用補助をする事とし、社員の健康意識向上を目的とした「健康経営セミナー」を開催しました。

社員の意識向上が健康につながる

健康経営を取組んだ事で、社員が健康を意識するようになり、健康診断再検査受診率が100%になりました。

また喫煙対策の取り組みにより、屋外喫煙所での喫煙もほとんどみられなくなり、社員が会社の目指す方向へ共感、共有してくれていると感じています。

今後の展望 選ばれる会社の実現

今後は社員がより安心して働くことができる環境づくりに向け、①メンタルヘルスに関する相談窓口の設置②定期的なストレスチェックの実施を導入します。

「選ばれる会社」への実現に向け、健康経営の取り組みにより、大切な社員一人一人の体の健康、心の健康をサポートし、社員がいきいきと働ける環境づくりを継続実施する事が良い仕事につながり、地域貢献へとつながると思っております。

今後とも、社員・地域・お客様とつながりながら成長していける会社を目指していきます。



代表取締役社長
磯岡 洋氏

「素朴な人の心を大切にする電気のお医者さん」を実現するために！

- 代表取締役社長 磯岡 洋氏
- 本 社 所 在 地 新潟県新発田市城北町2-9-29
- 主 な 事 業 内 容 電気工事
- 従 業 員 数 10名(男性:8名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

新発田市で1番の電気屋さんを目指して

社長になって10年余り、社長を引き継いだ時会社は本当に厳しい状況で当初は苦労が続きました。

先代の社長からは「人間味」こそが全ての根本との思いを教わり、素朴な人の心を大切にする、電気のお医者さんになりたいとの思いを常に持ち続け社長業に取り組んできました。

今では社員にも先代の「人間味」こそが全ての根本との思いは引き継がれ、新発田市で「一番」の電気屋さんになる事を目指しています。

「健康経営」に取り組んだきっかけ

健康経営に取り組む以前から、従業員の健康づくりは大切だと感じていました。

そんな折、アクサ生命の担当者から、健康経営の取り組みについて話を聞いたところ共感する点がたくさんあり、従業員の健康づくりの取り組みを加速させる為にも、まずは社内で行えることから始めてみようと思い、アクサ生命の担当者からもサポートを受けながら健康経営の取り組みをスタートしました。

定期健診 受診勧奨への取り組み

定期健診は従業員が健康経営保持のための基本的な取り組みであると社長自らが訴える事により、定期健診の受診率は100%になりました。

また再検査・精密検査に関しても受診勧奨しており、業務中(出勤扱い)での再検査・精密検査受診を推奨しています。現在では対象者の100%が再検査・精密検査を受診するようになりました。

感染症対策の取り組み

コロナの感染が広がるなか、従業員とお客様の健康確保を第一に考え、新型コロナウイルス対応(マスク常備 出社前の検温 消毒液の配置)についていち早く取り組みを実施しました。

現在については、感染予防対策としてPCRキットによる検査体制の構築を計画しており、従業員とお客様の健康確保を第一優先とし毎日の業務に当たっています。

今後の展望

社長の思いを実現するためには、従業員が元気に長く勤められる会社である事が第一と考えています。

その為には、健康経営の継続的な取り組みと、従業員とのコミュニケーションを大切にし、課題や問題点を共有し、従業員個々が仕事の進め方を考え取り組める体制構築により、従業員と共に成長できる会社にしていきたいと考えています。



代表取締役社長
加藤善典 氏

「全社員の物心両面の幸福」を実現するために！

- 代表取締役社長 加藤善典 氏
- 本 社 所 在 地 新潟県村上市久保多町
- 主 な 事 業 内 容 建設業
- 従 業 員 数 88名(男性:79名・女性:9名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

現在頑張っている従業員の皆様が健康で長く働けることが大切です。会社を退職した後の人生は長いので、まずは在職中に健康を害さないような取り組みが大切。また、少子化の加速により新たな従業員の確保も大きな課題です。健康経営の取り組みがこの両方の問題解決に繋がると考えたためです。

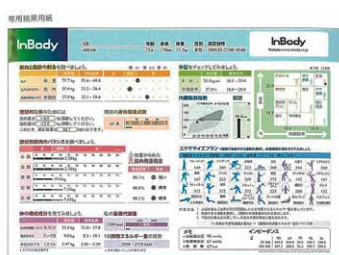
働き方改革 完全週休二日制に向けて

建設業は他業種に比較して労働時間が長く、業界を挙げて長時間労働の是正を進めています。当社でも働き方改革に対して建設的に取り組み、休日を増やしています。会社が休みでも工事現場が動いていることが「あたりまえ」だった建設業ですが、休日には「休む」ことを会社の「あたりまえ」にして、仕事とプライベートの両方が充実するよう、全社員で取り組んでいます。

自分の体を良く知ること

従業員の健康は会社にとって最重要項目です。会社の健康診断と合わせて体成分分析装置「InBody」計測を実施しています。これは1分間装置に乗るだけでおよそ20項目が測定できる装置です。

測定後は健康運動指導士が検査結果を説明し、自分の体を良く知ることができます。これによって生活習慣見直しや運動を始めるきっかけになればと考えています。



スポーツ大会にてコミュニケーション促進



運動不足の解消、コミュニケーションの促進を目指して毎年、スポーツ大会を開催しています。

ポッチャ(写真上)

ドッジビー(写真下)



など、あまり馴染みは無いですが、やってみると楽しいというスポーツに取り組んでいます。

皆さん家族連れで毎年おおいに盛り上がっています。

今後の展望

健康経営は、社員の心身両面の健康増進はもちろんですが、会社自体が健康で末永く元気に存続していくために会社の魅力をアップし、新しい社員を迎えるためにも大切であると考えています。将来に希望を持ち、社内が活き活きとして、後輩が毎年入社してくる。そんな健康的な会社づくりに健康経営の考え方は不可欠。更に従業員の健康意識を高め、サポートする体制を整えていきたいと考えています。

株式会社平本組

代表取締役社長
平本健治 氏

道をつなぐ、未来をつなぐ
10年先、100年先の未来への道を築いてゆく！

- 代表取締役社長 平本健治 氏
- 本 社 所 在 地 石川県金沢市笠舞本町
- 主 な 事 業 内 容 土木工事・管工事業
- 従 業 員 数 13名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 初認定

私たちが作った道が 誰かと誰かを結び付けている

私たちの仕事は道路をつくったり、修繕することです。道が広がると、気持ちよく走れたり、少し早く家に帰れたり、誰かの大切なひとへの道をつくっています。

業界や会社のイメージを変えたい！ 健康経営に取り組む

弊社は社員の高齢化を迎え、常に新たな人材を募集しています。しかし、土木業界に対する悪いイメージもあり難しいのが現状です。

今の若い人は収入もですが、それよりも福利厚生を含めた会社自体を見てくる人が多いです。それで、手厚く共済に加入したり、がん検診や婦人科検診の受診に補助をしています。また、イメージを変えたいと思いホームページの内容を工夫したりフェイスブックの更新や地元のサッカーチームの活動に協力もしています。

そのなかで、協会けんぽからの案内をみて「健康経営」を知り、少しでも弊社の良さを知ってもらいたくて健康経営優良法人を目指して取り組みはじめました。

健康経営優良法人を目指して

健康診断の結果などで、社員のメタボリック症候群の比率や喫煙率が高かったため、なんとか改善したくて、まず、事務所内を禁煙にし、チラシを配布して健康に関して注意喚起を行い、協会けんぽの「ここからダイアリー」というアプリをみんなにいてもらい、それによって各自の歩数や体重を管理、チェックをするようにしました。

また、弊社は定期的にいろいろな形のミニテストを実施しており、そのなかに、ストレスチェックシートも取り入れるようにしました。

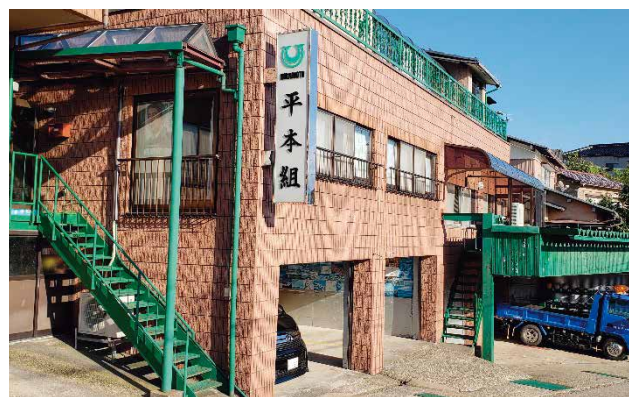
夏の暑い時期には、現場にスポーツドリンクや塩飴、冬の除雪の現場には温かい飲み物を差し入れするなど、家族的な雰囲気働きやすい環境に心がけています。

取り組んだ結果

その結果、たばこの喫煙率が下がりました。また、一人ひとりの健康をチェックするようになったことで、「血圧が上がってるよ」とか「体重がふえてるよ」という風に細かな声掛けが出来るようになりました。現場に出る仕事ですのでストレスや疲れをためたりして、何かあったら大変ですので、工期を余裕を持って計画したり、ストレスチェックの結果が悪くなかった社員には休んでもらって、リフレッシュするようにしてもらっています。しかし、年齢の高い社員が多いので血圧の管理が難しく、これからの課題です。

今後の展望

道路はこの先もずっと変わらずにあり続けます。弊社も100年後も変わらずに成長していく企業を目指しています。次はブライツ500に認定されるのを目標に健康経営に取り組んでいきます。



会社の全景



社員が財産、社員の健康こそが最重要！

- 代表取締役社長 東崎一弘 氏
- 本 社 所 在 地 石川県小松市佐美町225-2
- 主 な 事 業 内 容 貨物運送業
- 従 業 員 数 29名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

兼ねてより生産性向上という言葉に違和感を感じていました。自分たち運送業には合わない言葉だと。そんな頃、東京都と名古屋に研修に行った際に、「健康経営」で生産性の向上という話を聞きました。どの運送会社もそうだと思うのですが、ドライバーが休んだら、その穴埋めを他のドライバーがしなくてははいけないし、お客様の荷物を滞らせる訳にはいかない。ただ、予備人員でドライバーを置いておくほど余裕もないのが現状であります。そこで我が社も、この「健康経営」を実践しようと考えました。社員が『健康になれる・いられる、そして生産性が向上する』を掲げ、ご縁があったアクサ生命様にもお話ししたところ、サポートしていただける事を聞き、やるしかないと思いました。

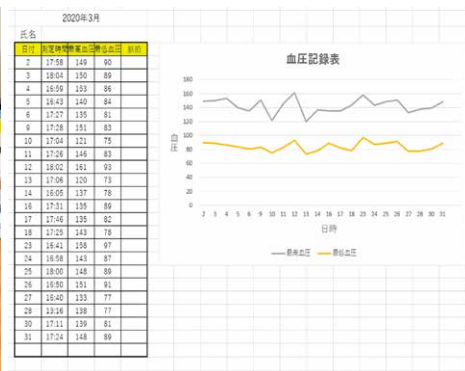
社員の健康意識向上に努める

トラックドライバーという職業は決まった時間に食事や睡眠をする事が、非常に難しい現状であります。一度、会社を出てしまえば何時に何を食べるかまでは管理できませんが、アクサ生命様の健康経営ワンポイントアドバイスを掲示する事により、少しでも食べ物に対する意識を変え、カロリーを気にしたり、減塩に心掛け、少しでも健康志向につながればと考えます。また、ドライバーの高齢化や求人募集しても、なかなか問い合わせが来ないのも現状であります。当社としては社員が何よりもの財産であり、その社員の健康こそが最重要項目だと考えます。今居る社員に如何に長く健康に勤めていただける事が未来を見据えた課題であります。



感染症・熱中症対策、脳ドック実施、血圧も管理

感染症対策として、ドライバー一人一人に毎朝の検温とマスクを配布し、常日頃の着用義務を行っています。インフルエンザの予防接種も会社負担で実施しています。熱中症対策としては、全ドライバーに空調服を配布し、熱中症を未然に防ぐよう伝えています。ドライバーは1年に1回もしくは2回の健康診断を受診しています。その受診結果を数値化し、リスクの最も高いドライバーに脳ドックの受診を会社負担で実施させています。毎日の血圧測定もしてもらい、それをグラフ化し毎月ごとに管理しています。病院に行くことがあれば、直近3カ月程度を持たせ医者の参考にしていただいています。



今後の展望

健康経営優良法人とともに、働きやすい職場認証制度というものも認定を受けました。社員一人一人が健康で活き活きと働けるよう、また働きやすい職場環境づくりに努め、生産性向上にも繋がるよう邁進してまいります。社員の家族が『お父さんの会社って良い会社だね。』と言われる事を目指し今後も努力していきます。

飯島建設株式会社

代表取締役社長
飯島泰臣 氏

「建設業はサービス業」を実践するため健康経営に取り組みます！

- 代表取締役社長 飯島泰臣 氏
- 本 社 所 在 地 長野県長野市若里6-3-22
- 主 な 事 業 内 容 総合建設業
- 従 業 員 数 72名(男性:65名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

「健康経営」の取り組みのきっかけ

「建設業はサービス業である」という経営理念の下、お客様に心から感動して頂くためには従業員が心身ともに健康で活き活きと働く「人材マネジメント」の必要性和、従業員の健康づくりを通じて生産性向上を目指し、「健康経営」を取り組み始めました。優良法人の認定取得については、今までの取り組みでも適合している取り組みもあり、スムーズに認定を頂くことができました。今後は課題をしっかりと把握し、改善に向けてのアクションプランを立てて取り組んでいきたいと考えております。

ヘルスリテラシー向上の取り組み

従業員の健康意識向上のため、健康情報提供につきましては、長野市保健所や協会けんぽ長野支部よりご提供いただいた健康情報コンテンツをメール配信しております。また、協会けんぽ長野支部からは集合研修や保健指導、申請書類のチェックのサポートなどをいただいております。ストレスチェックやメンタルヘルス対策、特定保健指導などは産業医・保健師と連携し、いつでも相談できる体制を作って、従業員をサポートしております。

健康の基本は健康診断

当社では健康経営に取り組む中で、「健康診断」を重視しました。健康診断の受診は予防・発見・早期対応において非常に重要です。従業員の100%受診の徹底だけでなく、二次検診対象者は一覧で管理し、二次検診を受診した際には受診結果の報告書提出を義務付けています。それでも受診をしていない従業員に対しては再通知を出すなど100%二次検診を受診できるよう取り組んでおります。おかげさまで大きな病気に罹患された従業員はここ数年おらず、健康意識も高まっていると感じられます。

今後の展望

これまで取り組んできたことに加え、運動機会や食生活改善など従業員へ健康意識を更に高められるようにしていき、長野市でも「ブライツ500」を取得している企業もおられますので、当社でも「ブライツ500」取得に向け健康経営を進化させていきたいと考えております。

課題への取り組み

現状認識している課題として、まず受動喫煙対策です。業界全体でも高水準ですが、当社では41%となっておりますので、社内では1カ所に集約し、分煙を徹底しました。現場も同様ですが、喫煙率自体を下げることも重要と認識しております。運動に関しても従業員が一同に会する機会もないため、どうしても運動不足の傾向にあり、会社でできることを検討しております。また、食生活改善やコミュニケーションの促進など課題も多くありますので、スモールチェンジを重ねていきたいと考えております。



協会けんぽ長野支部の講習会風景

長野県
長野営業所Voice Report
80th代表取締役社長
小嶋小百合 氏

「職員が気持ちよく働ける環境」＝「入所者が気持ちよい環境」
を実現するために健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長 小嶋小百合 氏
- 本 社 所 在 地 長野県長野市西尾張部1089-8
- 主 な 事 業 内 容 介護付きホーム・保育事業
- 従 業 員 数 20名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

職員が心身共に健康で生き生きと働ける職場だから、 入所者の方々を幸せにできる。

従来より、介護の現場は過酷である為に、身体・メンタル共に壊してしまう方が多いという社会認識を抱かせてしまっています。とりわけ、真面目で志が高い人ほど「燃え尽き症候群」になって離職してしまうなど課題が多い職場であり、その様な方を私も多く見てきました。私自身も以前勤務した介護施設での過労が原因で身体を壊した事があります。そんな自身の経験から利用者の方の幸せには、まず職員自身が心身共に健康でいる事が、他の何よりも大切だと感じています。

元々取り組んでいた健康増進の取り組みを、 「健康経営」をきっかけに更にブラッシュアップ。

前職での経験から、「介護する側が疲弊していたのでは利用者の方に満足いくサービスは出来ない」ことを痛感していましたので、より良い職場環境を目指して自身の法人を立ち上げました。夢を持って入社してきた職員が心身を壊したのでは設立の意味がないので、当初から健康診断はパート職員も含めた全員に受けてもらいストレスチェック等も行っていました。「健康経営」という概念があることを知り、以前から取り組んでいることを更に促進、地域・社会にも公式に認めてもらえる制度にする良い機会と捉え認定を申請致しました。

職員全員に万歩計。ゲーム感覚の健康づくり！ 地域の皆様との心の交流。

職員全員に万歩計を渡し毎月2回測定。休日に、特別に、ではなく日頃の仕事の中で運動、生活習慣病予防に努めています。法人全体では1日8,000歩を目指し、職員も個々に目標をもって取り組んでいます。ゲーム感覚で楽しみながら負担なく行い、1日1万歩も自然に歩けている事に気づく職員もいます。年度末には、「健康努力賞」の表彰も出来ればと思っています。また、福祉は究極のサービス業です。地域の方にも「感謝祭」で施設を開放・交流を通して職員の遣り甲斐作りにも繋がりたいと思い取り組んでいます。

健康経営優良法人認定による 職員の意識・行動の変化。

優良法人認定によって、元々独自で弊社が行ってきた事に対して職員が誇りを持って、その意義を自覚するようになってきました。

自分の健康が仕事の質に影響するという認識が一層強くなり、毎日の仕事への目的意識も変わってきていると感じます。心身共に健康であることで明るく前向きに仕事ができ、働くモチベーションも上がり、サービスの質の向上、利用者の笑顔に繋がることを確信しております。

今後の展望

健康経営を通じて、持続可能な法人・職員の成長ができると考えます。弊社に入社することによって心身共に益々健康になれる組織作りを今後も職員と共に目指します。過去には、メンタルの不調で働けなくなっていた方が弊社入社後に、少しずつ自分の働き方を回復・確立された方もいます。様々な事が複雑に絡み一人一人抱えている問題も違いますが、今後も「お互い様」の精神で「老若男女、誰もがその人らしく」「健康で働ける職場」作りに努めて行きたいと思っています。



毎年地域の皆様を招き、日頃の感謝の気持ちを込めて
「銀乃扇感謝祭」を開催しています。(写真は2019年)

株式会社喜久屋商会



「お客様に喜ばれ、地域に貢献し、社員一人一人が豊かになる会社」を
目指し健康経営に取り組みます！

- 代表取締役社長 原山大輔 氏
- 本 社 所 在 地 長野県長野市鬼無里10367
- 主 な 事 業 内 容 土木、水道、設備業
- 従 業 員 数 22名(男性19名・女性3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

事業において求められる要素が多いので 健康経営に取り組み始めました

2年半程前からアクサ生命担当者より「健康経営」について紹介され、当社の事業内容(土木・建設)において求められることが多く、健康経営優良法人認定の取得に向けて取り組みをスタートさせました。

従業員の健康については、当日の仕事の段取り確認も兼ね毎朝健康チェックシートへの記入を義務付け、コミュニケーションを図っておりある程度はできているという認識もありましたが、様々な角度から従業員の健康について考えていくようになりました。

協会けんぽの「チャレンジ宣言」とアクサ生命の Web健康習慣アンケートをまず実施

健康経営をスタートさせるため、まず行ったのは協会けんぽの「チャレンジ宣言」です。健康経営優良法人認定の項目を確認し、当社で重視すべき点をピックアップし、

■健康診断の結果、医療機関への受診が必要な方へ受診を促します

■ポスターや季節の健康情報を社員へ提供していきます
この2つを掲げ、更にアクサ生命のWeb健康習慣アンケートを実施し、生活習慣の中で何を優先して改善アクションをしていくかを策定しました。

7つの生活習慣から「食べ物」について意識を 持ってもらう取り組みも実施

Web健康習慣ではこれまで気づかなかった「食べ物」に関して無関心な従業員が多いことがわかり、自然体でできているかも知れませんが、協会けんぽの「健康応援レシピ」などを従業員に配布したりして、食事に対して意識も少し高まってきたと思います。もともと仕事は朝早く、お昼はしっかり休憩を取り、夕方は早く帰る健康習慣ができて、健康診断で二次検診が必要な従業員もほとんどいないのですが、生活習慣病を未然に防ぐため、できることはやっていきたいです。

分煙なども率先して行うようになり、 従業員全体の健康意識も高まっています

分煙についても、たばこを吸わない人への配慮がよりできるようになってきたと感じます。会社としても分煙対策は行ってきましたが、より実効性があるものになりつつあります。

運動習慣についても、体を動かすことが多いので、それほど運動不足であるとは言えませんが、従業員全体で運動習慣を意識して休憩時間にストレッチを実施したり、軽い運動を毎日できるような仕組み、万歩計で歩数計算をするなど、運動への取り組みも強化していきたいです。

今後の展望

これまでも従業員あつての会社ですので、健康については注意を払ってきました。ヘルスリテラシー向上への取り組みを通じて、仕事へのモチベーションをアップできるようにし、優良技術者表彰を受賞できる従業員を増やしていきたいと考えております。インフルエンザ予防接種も全額会社負担で実施したり、これからも従業員の健康維持のためできる手はどんどん打ってまいります。



長野県
長野営業所代表取締役社長
鶴田真央氏

社会に貢献する明るい企業を目指し健康経営に取り組みます！

- 代表取締役社長 鶴田真央氏
- 本 社 所 在 地 長野県長野市若穂綿内407-1
- 主 な 事 業 内 容 板ガラス卸
- 従 業 員 数 45名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

従業員の病氣退職が健康経営に取り組むきっかけに

5年程前に、50歳前半の従業員が脳梗塞になり、車椅子生活となって、退職されました。健康診断は受診しており、2次検診も必要な状況でしたが、ご家族にも知らされず、2次検診は未実施で、もしその時点で精密検査をしていれば、という思いがあり、健康経営の話をアクサ生命担当者からお聞きした際、すぐに実施してみようと思いました。2018年9月から協会けんぽの健康経営チャレンジ宣言を行い、健康経営優良法人認定を目指すべく、様々な取り組みを行いました。

できることからまず実行する

健康経営チャレンジ宣言では、
 ■ 血圧計を設置し、健康意識を高める。
 ■ インフルエンザの予防接種の費用を補助する。
 を掲げ、従業員の健康意識向上をまず行いました。
 次に行ったことが労働時間の適正化です。営業職に多くみられますが、残業が多いこと及び有給休暇の取得がなかなか進まないことから、水曜日はノー残業デーとして18:00帰宅を実践し、3連休などを含め1週間近く休暇がとれるようにするなど、社員が心身ともリフレッシュできる環境を整備しました。

従業員の意識改革に苦労しました

制度としてはいろいろな枠組みを作り、強制的といっても過言ではありませんが、労働時間の適正化を実行していききました。
 肝心なのは従業員自身の意識改革ですので、部署やチーム毎にいろいろな意見交換するようにしていき、従業員が自発的に早く帰宅する、適正な休暇を取得することができてきました。また、運動不足の従業員も多くいるので、汗をかく運動を週1回以上できるよう、「歩く大会」にもチャレンジしていきたいです。現状では大人数での懇親会は難しいので、社内での結束を高められる運動習慣をつけていければと思います。

大切な社員とその家族の健康と、
会社の成長をともに発展させたい

従業員の健康を維持するために、最も重視していることが、健康診断の実施と、その結果を本人とそのご家族に直送して、ご家族で情報を共有いただき、必要な対策を考えて行動してほしいと思っています。また協会けんぽの「健康レシピ」やアクサ生命の「健康経営ワンポイントアドバイス」を活用させていただき、運動・食事・睡眠・適正飲酒・心の健康など幅広く従業員に継続的に情報提供を行って、健康意識を維持できるよう工夫していき、本業の発展にもつなげたいです。

今後の展望

弊社の企業理念
 「私たちは小さなできた！をつみあげて社会に貢献する明るい企業を目指します。」
 を実現するため、健康経営においても少しずつ、小さな「できた！」を積み上げて社会にも貢献できる企業を目指してまいります。

6月 予定表																																
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
会	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
定	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議

ノー残業DAYを月間スケジュールで記載。
 心身ともリフレッシュできるよう配慮しています。

長野県
北信営業所Voice Report
80th
The Interview健康委員
齋藤直登 氏

「事務所とお客様双方の発展」を実現するために！

- 代 表 社 員 青木 怜司 氏
- 本 社 所 在 地 長野県長野市稲里町下氷鉦
- 主 な 事 業 内 容 社会保険労務士業
- 従 業 員 数 9名(男性:3名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

労働集約型の業種だからこそ、 健康経営に取り組む必要を感じました。

私たちの社会保険労務士という仕事は製品があるわけではなく、労務に係る様々なサービスをお客様に提供しています。なので、「人」の力がとても重要になります。それぞれのスタッフが担当を持っているため、1人が病気で長期休業となってしまうと、お客様にご迷惑をお掛けしてしまうこともあります。実は、毎年の健康診断の結果をみると、ほとんどのスタッフがなんらかの所見がありました。スタッフ一人ひとりが健康であることが、より良いサービスをご提供することにつながると考えて、健康経営に取り組むことにしました。

「ショールーム社労士」で貢献したい。

スタッフ一人ひとりの健康がより良いサービスにつながるというのとは別に、私たちの事務所では、「ショールーム社労士」という考え方を経営に取り入れています。私たちが実際に取り組んでみたことで成功した事例や失敗した経験をお客様に、ご提供することで、お客様の発展につなげるというものです。健康経営に取り組んだ結果得られた、良い効果をどんどんお客様にも伝えて、健康経営を広げていければと思います。私たちの事務所でもお客様の所でも健康問題がなく生産性の向上につながれば最高ですね。

メンタルヘルスへの取り組み

昨年は初めてメンタルヘルスの研修を所内で行いました。近年では社会的にもメンタルヘルスが注目されていますし、お客様も非常に興味をもっている分野です。まずはセルフケアで、ストレスを感じる仕組みや、ストレスとの付き合い方等を学びました。ストレスマネジメント検定®の取得を目指しているスタッフもいます。

どんな取り組みをしているのか。

健康経営の取り組みを紹介します。まず毎日の朝礼です。ラジオ体操で身体をほぐしてから、声出しをして喉を開くとともにストレスも発散。曜日ごとにストレッチや筋トレ、脳トレをしています。事務作業では座りっぱなしになることも多いので1時間半ごとに健活☆タイムを設けています。健活☆タイムの合図が鳴ったら作業を中断して立ち上がりストレッチ等で固まった身体をほぐしています。気分転換にもなって集中力の回復を図れます。「COCORO寝」という名称で昼休みに昼寝の推奨をしています。食後は血糖値が上昇して眠気が襲ってくるので、仮眠をとってスッキリです。毎月1回事務所周辺のごみ拾いをしています。普段、車での移動が多くて歩く機会が少ないので、ごみ拾いをしながらのウォーキングです。健康にもなるし、地域もきれいになって一石二鳥です。

今後の展望

健康経営に取り組んだことでスタッフの中でも健康への意識が大きくなってきたと思います。事務所としては定期的に健康に関する研修等を開催して情報提供していこうと考えています。また、自発的な取り組みに対してポイントを付けて表彰とか商品がもらえとかできたら面白いかなと思っています。



健活☆タイムの風景

長野県
佐久営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
堀越光一氏

確かな技実力を以って、より高品質の製品を提供し、
健全な地域社会の発展に貢献する

- 代表取締役社長 堀越光一氏
- 本 社 所 在 地 長野県小諸市御影新田
- 主 な 事 業 内 容 建築土木業
- 従 業 員 数 29名(男性:26名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営のきっかけ

5年ほど前、当社役員の不幸があり、その時に残されたご家族は大変な苦労をされました。その際に、社員もその家族も健康でなければならないと再認識いたしました。さらに、業界的にも慢性的な人手不足。「健康で長く働くことのできる会社になければならない」そんな思いで、健康経営の取り組みを始めました。社員みんなが健康であり続けることは生産性の向上につながる。また、ベテラン社員にも安心して仕事を任せていられると考えております。

健康診断再検査受診率も100%

毎年、健康診断の時期は会社へ健診バスをよんで従業員だけでなく、いつもお世話になっている下請け企業の社員の皆様にも健康診断の機会を用意しております。

また、健康診断の結果で再検査になってしまった社員には、必ず再検査の受診をしてもらうようにしております。健診結果を放置させないことで、病気を早いうちに見つけ、早期の治療を促しています。これも社員の皆さんの健康維持のための重要なことのひとつととらえています。

従業員全員加入の医療保険

当社では、従業員全員加入の医療保険を準備しております。万が一、病気で手術が必要となってしまった際にも社員のみんなに治療費が負担にならないよう加入いたしました。当然、休日や業務以外も対応しています。このような、安心が社員の皆さんのやりがいに繋がり、ひいては、ご家族にもご安心いただけたと考えております。

健康経営の具体的な取り組み

当社の健康経営の具体的な取り組みは下記の通りです。

- ・毎朝のラジオ体操の実施
- ・夏場の水分補給のサポート
業務用製氷機を自由に使えるよう準備、麦茶・塩飴の配布、建築現場には自動販売機を設置など。
- ・ゴルフ練習場を設置
社内ですべての人が自由に使えるゴルフ練習場を設置しています。ゴルフの練習により体を動かすことだけではなく、先輩社員が後輩にゴルフのレッスンをしたりと、コミュニケーションの場ともなっております。

今後の展望

長寿社会を見据えて、健康・安心・安全・保証のある会社づくりに取り組み、年齢に関係なく働ける会社として熟練工の良さを活かせることを強みとする会社を目指す。また、体調や年齢に合わせたポジショニングを確立して、当社のキャッチフレーズである「技実力」の有る社員の育成に邁進したい。



社内ゴルフ練習スペース



各種認定証

代表取締役社長
原田清人 氏

人材は、「人財！」・・・だからこそ健康経営

- 代表取締役社長 原田清人 氏
- 本 社 所 在 地 長野県松本市笹賀7085
- 主 な 事 業 内 容 管工事業
- 従 業 員 数 33名(男性:26名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

人材は、「人財」・・・

「人財は企業の生命線」という原田社長の考えのもと、従業員の健康に配慮した取り組みを探していました。そんな時、松本商工会議所様を通じアクサ生命様から、健康経営優良法人認定についてのご案内を受けました。それが2019年6月、健康経営優良法人認定に取り組むきっかけでした。

1年目は手探りでしたが、健康宣言をし、アクサ生命の健康習慣アンケートを受け、社員の現状を把握し問題点を焙り出すことから始めました。

「人財の健康」を大切にする取り組みを鑑み、今、我が社で出来る取り組みから実行していきました。

社員の健康 ⇒ 家族の幸せ ⇒ 企業の成長

健康経営優良法人認定を2年連続認定を受けたことで、社員の健康を経営戦略として捉え、従業員の健康に投資することは、企業の目先の成果だけではなく、企業の未来に繋がる取り組みであると、役員・各部の管理職の意識が変わってきています。

社員が心身ともに健康でいることは、社員を支えてくれている家族の幸せに繋がり、さらには「企業の成長」に繋がっていく。と少しずつですが関心が高まっています。

これからも、現状を把握し、改善しながら取り組んでいきたいと思っています。

我が社の取り組み ⇒ 人財への効果

- ①毎週水曜日はノー残業デイの実施
⇒プレゼンティーズムの減少
- ②毎年の定期健康診断の受診率100%
⇒病気の早期発見・早期治療
- ③3ヵ月毎の松本市健康づくり課による健康講座開催
⇒健康への意識向上
- ④毎月1回アクサ生命「健康ワンポイントアドバイス」配布
⇒健康に関する情報提供から各自の取り組みへ
- ⑤屋外に喫煙室を新たに設置
⇒受動喫煙回避と禁煙へのきっかけづくり
- ⑥血圧測定器を配置し従業員が自主的に計測
⇒日々の体調に気を配り、ケガや事故防止
- ⑦出入口に非接触型自動手指消毒器、自動検温器設置
⇒感染症予防

社長から「社員への想い」

大切な仲間である社員とその家族が心身共に健康であることが、会社の健全な発展の礎であると信じています。

その為にも、今後は長期的な視野で、運動・食事・睡眠・メンタル等、具体的なテーマを発信し、社員が自分流の健康スタイルを見つけてくれるのをサポートしていきたいと思っています。

社員ひとりひとりが「健康でいること」を自己選択し、稔り豊かな人生をおくって欲しいと願っています。



長野県
松本営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
宮沢 昇 氏

「社員の健康があつてこそ」!!

- 代表取締役社長 宮沢 昇 氏
- 本 社 所 在 地 長野県松本市平田東1-19-26
- 主 な 事 業 内 容 電気工事業
- 従 業 員 数 11名(男性:10名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019~2021 3年連続認定

いち早く取り組んだ健康経営優良法人

2018年の秋に、松本商工会議所主催の健康経営優良法人認定セミナーをアクサ生命様からご案内を頂きました。当時は、健康経営優良法人というフレーズはあまり知られていませんでしたが、まずは聞いてみよう!という気持ちでした。セミナーを受け、これからの企業には必要であると感じ、学びながら取り組んできました。結果、3年連続認定を受けることが出来ました。

「社員が健康でなければ」・・・

「日々、仕事に追われ、健康について後回しにしがちな社員が、健康診断の受診により再検査の指摘を受けることが多くなってきたことが気になっていた」と、宮沢社長。

“社員が健康でなければ経営が成り立たない”
“仕事出来るは社員の健康があつてこそそのもの”

社長の、社員には健康でいて欲しいという思いを健康経営優良法人認定という形にしてきました。

会社で出来ることから♪

認定を受ける為に、何をしたらいいかわからずにいましたが、「今、出来ることから始めましょう♪」とアクサ生命様からアドバイスをもらい、以下に取り組んできました。

- ① 毎年の定期健康診断を、全員が受診する。
- ② 社内に血圧計を設置し、毎朝、全員が自ら計測し、今日1日の体調を把握し現場に行く。
- ③ インフルエンザ予防接種の費用を会社で負担し、全員が受ける。
- ④ 喫煙場所を社外に設置し、喫煙による体への影響等を案内し禁煙啓発。

健康は、毎日の生活習慣

新型コロナウイルス感染が流行した事で、今まで感じてきた以上に、毎日の生活習慣が大切であると感じ、健康経営優良法人認定にいち早く取り組んでできてよかったと実感しています。

生活習慣は、生活スタイルにより様々ですが、仕事をしている時間は一日のうちで一番長い時間です。

その空間で、健康を意識し生活習慣を考えることができれば、現在の身体も、未来の身体も、心身ともに健康でいられるはずです。その為に、これからも会社として出来ることは取り入れ+アクサ生命様からのサポートパッケージを使い、社員の身体と、こころの生活習慣を守っていきたいです。

弊社の課題と今後の取り組みについて

健康経営に取り組み始めてから、早3年が過ぎました。微々たるものですが社員個々に仕事をしていくうえで、健康がいかに大切かが浸透してきたように感じております。弊社の課題は、喫煙者が多いことです。今後は喫煙者が減少することを目指すと同時に、いまだ収束に至らない新型コロナウイルス感染症に対して社員全員の意識を高め、【うつらない、うつさない】を合言葉とし、私は、常に社員を支える脇役であり、社員一人ひとりが主役であることをモットーに健康経営に取り組んでいきたいと思ひます。



代表取締役社長
檀山光司 氏

「健康快適空間」を創造する企業

- 代表取締役社長 檀山光司 氏
- 本 社 所 在 地 長野県松本市筑摩1-15-1
- 主 な 事 業 内 容 リースキン・介護用品のレンタル販売・ビルメンテナンス業
- 従 業 員 数 233名(男性:77名・女性:156名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

清潔・安心・安全な「健康快適空間」を

「健康快適空間を考える」というテーマを掲げている当社では、社内でも従業員の健康に配慮した取り組みを模索していました。そんな時に、松本商工会議所様を通じ、アクサ生命様より健康経営優良法人認定のお話を伺いました。それまでも従業員の健康に対して、独自で様々な取り組みを行っていましたが、アクサ生命様の健康習慣アンケートの実施や、アドバイザーの方からお話をお聞きすることで、より充実した健康ケアを考えられるようになりました。

我が社の5つの取り組み!!

①毎月1回健康に関する案内を配布・掲示

ストレッチ方法や最新の健康情報を全従業員で共有し、健康への意識を高めています。

②無糖飲料の提供

コーヒーやお茶など無糖飲料の提供、自動販売機に機能性表示食品を設置し、まずは飲み物から健康を意識してもらっています。

③感染症対策の徹底

手指消毒用アルコールの全事業所への設置、小分けアルコールスプレーを、外回り社員へ配布、マスク・手袋の配布など、新型コロナウイルスへの感染対策を徹底しています。また、インフルエンザ予防接種の費用を会社で負担し、感染予防に努めています。



④働き方を考える

感染症対策も含めたWeb会議の導入で、対面会議での移動時間を短縮することで、労働時間の改善と効率化を図っています。

⑤アクサ生命様の支援・提案

24時間電話健康相談やメンタルサポートにて、日常的に従業員の健康をサポートしています。年に1回健康経営習慣アンケートを実施し、従業員の健康に対する意識の現況把握と対策を行っています。

社内での健康への意識の高まり

健康経営に取り組んだことで、飲食や体づくりに対する意識は年々向上しています。従業員同士の健康についての雑談なども増え、健康を維持していく意識が定着してきたと感じています。

当社では従業員同士の繋がりを大切にしています。定期的な食事会やごみ拾いなどを行い、楽しくコミュニケーションを取ることで快適な職場環境づくりに努めています。健康についての話題を従業員同士で共有することで、さらなるコミュニケーション増加にも繋がってきました。そういった社員間での意識改善の中で、会社としても、従業員に安心して働いてもらえる土台の重要性を認識し、様々な取り組みの推進に努めています。

特に管理職を対象とした健康に関する講習によって、従業員へのサポートや対応をより良いものにするという意識の向上を感じています。従業員の働き方を把握し、面談などを定期的に行うことで、問題の把握をし、素早いサポートが行える体制を構築しています。今後も、健康で安心して働ける環境づくりや、従業員へ充実したサポートができるよう取り組んでいきたいと思っています。



檀山社長の想いは・・・

「時代のニーズに合わせたサポート」

「健康快適空間」のためのサービスを提供している当社では、その意識を社内に向けて、従業員やその家族が健康快適に、働き生活できる環境の提供に努めていきたいと思っています。当社がテーマとして掲げる「健康快適空間」の在り方は時代が進むにつれて変化していきます。

時代の変化や環境の変化に合わせて、その時々で最適な環境の提供に努めながら従業員ひとりひとりが心身共に健康に生活できるようサポートしていきたいと思っています。

代表取締役
西坂柳哉 氏

茅野から世界へ～情報発信源たる企業をめざして～

- 代表取締役 西坂柳哉 氏
- 本社所在地 長野県茅野市ちの314-6
- 主な事業内容 総合建設業、美容事業、地域ブランド開発機構
- 従業員数 46名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

きっかけ:社員を守る意識改革

弊社の建設部門における社員構成は独身男性が多く、その大半は喫煙者である。また食生活も外食やコンビニ弁当が多く、各自の健康管理に対する意識は決して高いとは言えませんでした。そのため、現場作業中に日頃の体調管理不足が原因で思わぬミスが生じてしまい、大きな怪我や事故に繋がりがねませんので、常々、社員の健康に対する意識改革をしたいと考えておりました。

会社全体の効果:個の変化がうねりとなる

健康を意識することから、それが自身の体調管理に繋がり、結果体調不良による欠勤が減り稼働率が向上した。同時に、安全意識も高まり現場作業での事故や怪我が減った。

取り組み内容:スピード感と徹底力

<令和2年8月>

- ・アクサ生命様の協力の下、食に関する健康セミナーを全社員を対象に実施(右下:写真参照)。
- ・社内分煙化のため、社屋の外に喫煙所を設置。

<令和2年11月>

- ・全社員健康診断の実施。
- ・コロナ対策の一環として、社内に消毒液の設置と社員にマスクを配布した。また定期的な換気を実施。
- ・3密を避けるべく大人数での集まり(会議やレクリエーション)を縮小化し自粛に徹した。

今後の展望(社長が考える会社の未来)

現在、日本そして世界が抱えている問題に正面から向き合い、最初は例え小さな事でもそれらを改善してゆく為の活動を地元茅野市から発信させていきたいと思っております。弊社は2019年から長野県SDGs推進企業にいち早く登録し、国内における外国人雇用促進や女性の社会進出の手助けに注力して参りました。また、海外においては安全な水とトイレの普及事業を手掛けて参りました。地元の小中学校からSDGsの取り組み企業として関心を持って頂き、その学生達に職場体験をして頂いております。今後それらの活動の中に「健康意識」というテーマを盛り込み地元から世界に向けて情報発信源となっていきたいと思っております。

効果:変化していく社員の日常

健康習慣アンケートの結果やはり社員の食生活のバランスの悪さが浮き彫りとなった。早速、食生活の改善と社員の意識改革をはかるべく、食に関する健康セミナーを実施したところ、昼食は弁当を持参する社員も増えた。また日頃から塩分やカロリー表記を気にするようになり社員一人一人の食に関する健康意識の向上が見られた。

令和2年8月に実施した健康セミナー風景
テーマ:「バランスの良い食生活」
講師:室山セールスマネージャー

株式会社大野ナイフ製作所

代表取締役社長
大野武志 氏

健康経営に取り組むことで「元気で明るい職場の雰囲気築く！」

- 代表取締役社長 大野武志 氏
- 本 社 所 在 地 岐阜県関市下有知4164-1
- 主 な 事 業 内 容 製造業(家庭用・業務用刃物、各種ナイフ)
- 従 業 員 数 126名(男性:78名・女性:48名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

高級包丁製造により『食』を通じて世界へ貢献

今年で創業105年目を迎え、世界で販売される高級包丁の製造をしております。

一般家庭からプロの料理家まで愛用される包丁です。弊社が製造した包丁を使用し、料理をすることで『食』を通じて世界の健康に貢献していると全従業員が感じております。

IoT導入による働き方改革の成功

生産性向上・業務効率化の観点より、IoTを導入しました。具体的に生産計画や作業の進捗状況を『見える化』し、従業員全体に共有することが可能となりました。その結果、計画の『見える化』による効率的な生産が可能となり、作業時間の『見える化』により、作業時間の短縮に成功しました。こうして積極的にIoTを取組むことにより残業時間が前年比80%削減することができ、働き方改革に成功しました。

給食をヘルシー弁当に

もともと弊社では地元給食センターで給食費を会社が半額補助して利用しております。給食センターでは新しい趣向として、栄養士監修のもと数量限定にて「減塩ヘルシー弁当」の提供をはじめました。ヘルシー弁当は費用が少し高くなる為、導入を見送る地元企業が多い中、従業員の健康の為、いち早く導入を決めました。また、元々の従業員が負担する給食費は変わらず、会社が多く給食費補助を出すことにより従業員からは「給食費が変わらず健康な昼食が取れる」と喜びの声が出ています。

全従業員がインフルエンザ予防接種の対象

希望する全従業員に費用全額会社負担にて「インフルエンザ予防接種」を実施しています。

その結果、毎年感染者も少なく、生産に大きな影響はでておりません。従業員の健康を予防接種により、事前に防止することに努めています。

運動部発足し健康づくりを促進

社内で「マラソン部を作りたい」という声が上がリ、マラソン部を結成しました。

地元の駅伝大会には弊社から5チーム、30人が参加しました。会社がエントリー費を負担し、ユニフォームを作るなどして会社全体で応援しています。

マラソン部立ち上げをきっかけに部活動に参加していない従業員も個人で大会にエントリーしたり、プライベートでマラソンをして体力づくりをしたりと従業員全体で体力強化への意識が高まり、スポーツを通じた健康づくりができています。スポーツと健康は密接な関係にあると考え、その後ゴルフ部も会社のバックアップにより発足。その他新しい部活動の要望があれば、健康促進の為、会社として全力でサポートしていきます。

今後の展望

会社の連絡用ツールLINE WORKSの掲示板機能や食堂内に設置してある掲示板を利用し、アクサ生命様からの健康経営ワンポイントアドバイスを全従業員に共有しています。今年は創業から105年ですが、次の200年を目指して新型コロナウイルスにも負けない健康優良法人を目指していきます。





本社外観

社員の「夢と未来」を実現するために！！

- 代表取締役社長 山田 博氏
- 本 社 所 在 地 岐阜県海津市平田町
- 主 な 事 業 内 容 仮設資材等製造業
- 従 業 員 数 161名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営へのきっかけ

従前より少子化の流れや地方採用の難しさを感じ、健康宣言事業には参画しておりました。その中で、健康経営優良法人認定制度を知り、内容を確認したところ既に取り組んでいることが多く、さらなるレベルアップが目指せると感じ、取り組みをスタートしました。

せっかくご縁があった社員には健康でいきいきと長く働いていただきたいと思っておりますので、これからも継続していきます。

コロナ禍において

未知のコロナウイルスにより、社員の健康に今まで以上に向き合うきっかけになりました。内勤業務が主体となっている社員には在宅ワークを率先して勧め、出勤率の大幅な削減を実現しました。そんな中でもコミュニケーションは非常に大事だと考えておりますので、ノートPCを貸与し、Teamsの導入や、WEB会議等でしっかりとコミュニケーションが取れるようにしました。定期的に意見が言える風通しの良い風土になっており、コロナ禍でもできるだけ円滑に仕事をしていけるよう社員から意見をもらい、できることから実践しております。

働き方改革にてプライベートの時間を確保

残業時間は全体的に多く、また社員ごとのばらつきもありましたので改善を取り組みました。

まずは今まで紙ベースで残業管理していましたが、システムを導入し、上司が常に全員の残業を把握できるようにしました。

製造現場では、JOBローテーションを実施し、社員が幅広く活躍できる場を用意しました。その結果、多能工化が進み、専門的な特定の社員しかできない仕事を他の社員がカバーできる体制を構築し、残業時間の削減ができました。

そして、社員自身もワークライフバランスを重視し、プライベートの時間確保にも繋がりました。

産業医と連携し、安心できる職場へ

産業医は毎月本社へ来訪し、健康に関する情報提供を行っております。コロナ禍においても感染症対策の情報提供の他に、専門分野のアドバイスをいただき、コロナにおけるガイドラインの作成や対策を作りました。また産業医が近くにいるので、インフルエンザの予防接種や社員の体調不良時は即座に受診できる環境になっております。他には二次検診の受診を義務付けたり、女性の追加検診は勤務中に受診できたりと早期発見、早期治療ができる環境を作っております。

今後の展望

以前は社員旅行で海外旅行や部署単位で飲み会やボウリング大会等を実施しておりました。コロナ感染リスクがある中ではコミュニケーションや運動の機会の提供がなかなかできていない状況です。従業員が健康寿命を伸ばし、長く働ける職場環境を作っていくため、今後取り組みをしていきます。

環境の変化に対応しつつ、これからも社員が誇りとやりがいを持って仕事に臨み、成果を分かち合い、成長していくことを支え、「夢と未来」を実現できる環境作りを続けていきます。



市場シェア第1位・くさび緊結式足場「シンワキャッチャー」
「Fun to Job」をキーワードにこれから社員一同で成長し、
進化し続けます。

株式会社伊藤精密製作所

代表取締役社長
伊藤康裕氏

「Top Smiling」最高の笑顔がいつもあふれる会社に！！

- 代表取締役社長 伊藤康裕氏
- 本 社 所 在 地 岐阜県海津市平田町
- 主 な 事 業 内 容 部品製造業
- 従 業 員 数 93名(男性:75名・女性:18名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

社員の健康・プライベート充実のための手段として健康経営に取り組みました。

社長自身、プライベートと仕事の充実が生産向上に繋がると考えており、休日の使い方を大切にしてきました。そのため、社員が有給休暇を取得する際、家族との時間や趣味のために使ってほしいと思っておりますが、現状は病欠で休まれる方がほとんどでした。そんな中、健康経営という言葉聞き、調べていくうちに社長の想いと合致する部分が多く、手段として健康経営に取り組んでいこうと決めました。社員と会社の健康は両立していくべきものと思っており取り組んでいます。

健康寿命を延ばす取り組みを。

健康経営に取り組むにあたり、社員自身が健康に関する意識を持ってもらうことが必要と考え、全員に健康目標を設定してもらうことにしました。3か月に1回、健康に関する目標を数値化して上長に提出することで宣言し、立てた目標に対して意識して行動しております。まだまだ目標を立てるだけの人もいますが、毎回達成する人、楽しんで参加している人も増えてきており、健康意識が少しずつ高まってきている印象です。今後も健康寿命を延ばしていけるよう継続していきます。

メンタルヘルスに関する取り組み強化と風通しの良い職場づくりを。

約10年前にメンタル不調になった社員がいました。社員のメンタル面は非常に重要だと考え、ストレスチェックを実施して社員のメンタル状況の把握に努めております。内部では総務部、外部では産業医、どちらでも相談できる窓口を設け、安心して働ける職場づくりを意識しております。また、風通しの良い職場づくりも大事にしており、まずはマラソン好きの社員が数名いますので、みんなで大会に出る際に着用するTシャツを会社で作りました。マラソンをしない方でも希望者にはTシャツを配ることで一体感が生まれるよう工夫しております。

禁煙者を増やすため、報奨金制度を作りました。

業種から喫煙者は少なくなく、分煙は以前から取り組んでおりました。健康経営に取り組んでいくにあたり、禁煙の後押しができればと3～6カ月で禁煙できた人に報奨金を渡す制度を作りました。その結果、数人の方が禁煙に成功しました。また、元々たばこを吸わない方にも平等になるようにと、禁煙者に健康支援金を渡しました。喫煙者が自らやめるきっかけを作り、禁煙の後押しになることを今後も継続して、実施していきます。

今後の展望

病気にかかっても早期発見、早期治療をすることで、職場復帰をしていただきたいと思います。そのため、今後はがん検診を含むオプション検査を会社負担で実施できるよう社内で検討中です。がん等病気になった場合でも、職場復帰ができるよう環境づくりを続けていきます。社員の健康が会社の業績アップに繋がるとあって、健康経営に取り組んでおります。「Top Smiling」創業当初からのスローガン通り、これからも、会社にいつも笑顔があふれ、お客様を最高の笑顔にし続ける会社作りをしていきます。



チーム「TOP SMILING」のオリジナルTシャツ

愛知県
名古屋営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
森 栄一 氏

真剣に仕事に取り組むことで、「ホンモノ」の製品を創り上げる

- 代表取締役社長 森 栄一 氏
- 本 社 所 在 地 愛知県名古屋市中東区一社1-74
- 主 な 事 業 内 容 紳士服・婦人服製造卸
- 従 業 員 数 66名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019~2021 3年連続認定

「健康経営」への取り組みのきっかけ

当社は、「メンズアパレルメーカー」として1950年に創設された会社です。その後、中国、インドネシアへの生産拠点のシフト、レディース分野への進出を行う等、浮き沈みの激しいアパレル業界ですが70年に亘り業績を伸ばすことができています。その最大の要因は、優れた組織力と企画力、そして機敏な行動力によるものと自負しております。服飾に関しては妥協しないプロフェッショナル集団であり、社員一人一人が貴重な人材です。

健康経営の取り組みは、ナオリ健康保険組合から勧められたのがきっかけでした。最初は手探りで取り組みでしたが、健康保険組合からの助言等を頂き、3年連続で健康経営優良法人認定を取得することができました。

＜コミュニケーションの機会を作る＞

当社は退職者が少ないことから、新規採用はごく少数です。その為、ベテラン社員と新人社員とのコミュニケーション、本社と配送センター等の他部署とのコミュニケーションの機会を作ることが重要だと考えています。取り組み例として、オフィスグリコを設置しています。休憩時間等に利用をしてもらうことで、会話のきっかけになればと思い導入をしました。また、配送センターでは、バーベキュー大会を行うなど、仕事を離れてコミュニケーションを取る機会を増やしています。

具体的な取り組み事例

＜人間ドックの費用補助＞

病気の予防の観点から人間ドック受診を推進。ナオリ健康保険組合からの補助(約2~3万円)を活用しています。この取り組みは、健康経営を始める前から行っていますが、当時の利用率は2割位でした。それが、健康経営を通じた健康への啓蒙活動が続けたことで、現在では約6割の社員が利用をしています。

＜職場の環境整備＞

職場環境の改善に向けて、社員からアンケートを取っています。本社ビルは築50年程になりますが、出来る範囲の中で「働きやすい職場環境」を整えることを目指しています。最近では、女性社員の割合が高くなっていることから、トイレをウォッシュレットにしました。トイレが綺麗だと、利用をするにも気持ちが良いですね！とても喜んでもらっています。

今後、取り組んでみたいこと

健康経営優良法人は3年連続で受賞することができましたが、健康経営促進に向けた社内セミナーの積極開催や社内環境改善などまだできることはたくさんあります。今後はぜひ「ブライツ500」取得を目標に活動を継続していきます。



ナオリ健康保険組合の『健保便り』で、当社の取り組みが紹介されました。

代表取締役
酒井信彰 氏

「感謝」の気持ちを忘れずに、安心して働ける職場環境を作ります

- 代表取締役 酒井信彰 氏
- 本社所在地 愛知県名古屋市中区丸の内3-16-19
- 主な事業内容 不動産管理
- 従業員数 14名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」への取り組みのきっかけ

きっかけは、アクサ生命の担当者から提案を受けたのが始まりでした。

7年前に当社30代の社員が癌で若くして亡くなり、とても辛い経験をしました。そのような事から社員の健康が何よりも大切であると考え、また当社の経営理念でもある「安心して働ける職場環境作り」にも合致することから健康経営を導入することにしました。

社員の意見を聞き、楽しく出来ることを実践

当社は女性10名、男性4名の社員構成になっており、日頃からコミュニケーションを意識した働き方を工夫しています。例えば、仕事時間中であっても私語を認めています。勿論メリハリは必要ですが、チームワークを高める為にも有効だと考えているからです。

また、毎週水曜日は店舗を閉め、全社員が集り意見交換が出来る場を作っています。顧客への電話対応が無くなるので、集中して会議を行うことが出来ます。そして、会議の時間は事前に決めて超過をしない。結論が出なかったら翌週に繰り越すようにしています。短い時間で効果的な会議を運営するように工夫をしています。

そのような取り組みを行うことで、今ではプライベートの時間でも社員同士が自発的に集まり、コミュニケーションを深めているようです。

健康への取り組みとして、週1回のヨガを導入しました。社員からの意見を聞いて始め、インストラクターに会社へ来てもらい希望者が参加をしています。トレーナーと事前に打合せをしてヨガの内容を決めていますが、特に女性社員には好評で参加率はとても高いです。

今後はパーソナルトレーニングも講師を呼んで導入しようと計画をしています。

四柱推命で自分や相手を知る機会に

希望者がいれば、四柱推命の出張鑑定も行っています。健康経営とは関係ないのでは？と思われる方もいると思いますが、コミュニケーションの面でとても効果的です。知らなかった自分の側面を知るきっかけになり、また相手のことを知るきっかけにもなります。ある社員からは、「心の人間ドック」と表現されていました。健康には、まず自分の状態を知ることは大事ですからね。

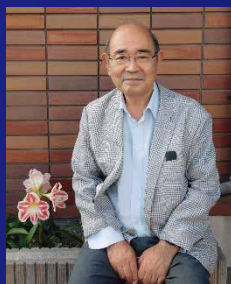
今後の課題と目標

健康習慣アンケートを行ったところ、飲酒や喫煙に対する意識が薄いという結果が出たことから勉強会を実施しました。しかし、研修を行ったから直ぐに改善が出来るということでは無いので継続して取り組んでいこうと思っています。健康器具を設置したり、健康に関する情報を掲示したり、長期計画で無理なく、そして楽しく健康経営を推進していこうと考えています。



社内でのヨガ体験の様子

東海ホイスト工業株式会社

代表取締役
弓場忠道 氏

「顧客第一、社員あつての会社」を実現するために！

- 代表取締役 弓場忠道 氏
- 本 社 所 在 地 愛知県大府市一屋町
- 主 な 事 業 内 容 各種クレーン設計・製造・点検修理業
- 従 業 員 数 36名(男性:30名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

取り組みのきっかけ

「健康経営」という言葉を知る以前より、当社は従業員の「健康」そのものを意識した取り組みには注力して参りました。そんな中、2019年にアクサ生命の健康経営アドバイザーを通して「健康経営」を知ったことがきっかけで、時代の流れもあり、「やっぱり取り組まないと！」と思い、取り組みを本格化しました。

「健康への意識」を重視！

当社はこれまで「健康意識の醸成」に最も重視して、様々な取り組みをしてきました。特に2019年秋に開催した健康管理研修会では、至学館大学健康科学部栄養科学科の先生をお招きし、食生活の重要性を啓発いただきました。セミナー前後を比較すると、昼食時の従業員同士の会話において栄養や水分に関する話が頻繁に出てくるようになった等、目に見えて意識に変化が生じており、真に「取り組んでよかった」と実感しました。



Team【はつらつ】ミーティング中

従業員の健康や労働環境に配慮した取り組み

夏場の製造現場は非常に暑い中での作業となるため、熱中症キットや凍らせたスポーツドリンクを欠かさず支給しています。実は凍らせたドリンクというのがポイントで、熱中症対策においては一度に大量の水分をとってもうまく吸収されないため、こまめに溶けた分だけ飲むように工夫しています。また当社では10年程前から生活習慣病検診に係る費用を15,000円を上限に負担しておりますが、こちらは高齢の従業員の健康への課題意識から実施した取り組みです。

今後の展望

健康経営はまさに経営そのものだと考えております。様々な取り組みを通じて、従業員がより長く健康に働くことのできる環境を実現し、地域に根差す企業になりたいと考えております。昨今の新型コロナ禍において感染症対策を実施する中で、以前より人と人との距離が発生してしまいます。従業員が心理的に「安心」して働けるよう、メンタルヘルス対策の強化にも着手していきたいです。



【はつらつ】メンバー

愛知県
知多営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
小栗康義 氏

「強い会社」「明るい職場」創りを実現するために！

- 代表取締役社長 小栗康義 氏
- 本 社 所 在 地 愛知県半田市
- 主 な 事 業 内 容 一般貨物自動車運送
- 従 業 員 数 19名(男性:16名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

取り組みのきっかけ

トラック協会主催の健康経営セミナーに参加し、理事としての立場から取り組みを始めました。その後、アクサ生命の担当者より、案内を受け、スタートしました。昭和28年創業以来、「強い会社創り」、「明るい職場創り」を目標に業務に取り込んできましたが、健康経営を取り込む事は不可欠と感じました。

「誰もが気分よく、働ける職場」を重視！

健康経営優良法人認定に向けて、まずは、生活習慣アンケートの結果を元に、従業員の健康管理に対する社長の熱意を伝え、具体的な取り組みがスタートしました。

仕事先から帰店した社員が汗びっしょりで、社員が、すっきりとした気分で業務が遂行できるように、シャワー室とトイレを新たに増築し、いつでも利用できるようにした。喫煙についても、喫煙場所を撤去し、倉庫の空地に無農薬の小さな菜園を作り、楽しんでいます。



トイレ＆シャワー室



喫煙場所から家庭菜園へ

従業員の意識の変化

健康経営をしたことで、社員の健康への意識及び、健康診断後の再検査受診について改善が図れてきました。毎月月末に訪問してくれる、アクサ生命の担当者を通じ、健康経営ワンポイントアドバイスを頂き、掲示することで、少しでもカロリーや糖質を気にして、飲み物、食べ物を気にかけていることが散見され、少しでも健康志向に繋がり、健康診断結果良化に繋がっております。

今後の展望

健康経営はまさに経営そのものだと考えております。様々な取り組みを通じて、従業員がより長く健康で明るく働くことのできる環境を取組していきます。今後も、トラック協会等を通じて仲間にも健康経営の取組を推奨していきます。



小栗社長 武豊営業所にて

愛知県
岡崎営業所

オルック 工場

「社員あつての会社」を実現するために健康経営を実践！

- 代表取締役 大見知子氏
- 本社所在地 愛知県岡崎市富永町
- 主な事業内容 金属製建具製造業
- 従業員数 16名(男性:12名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定Voice Report
80th

創業当時より職場環境と従業員の健康を意識

弊社はアルミサッシのプロフェッショナルとして、清潔感をモットーに金属製建具を製造しています。企業は人なりといわれますが、昭和30年の創業以来、自然と社員の健康づくりも含め社員に配慮した経営をおこなっていました。事務所や工場の働きやすい環境づくりや美化に力を入れ、特にお手洗いにこだわっています。アットホームな雰囲気のなか女性が活躍できる場も提供し、慢性的な人材不足のなか雇用の安定化を意識し経営してまいりました。

コミュニケーションを重視

社員同士のコミュニケーションも社風づくりとして重視しています。社員食堂で親睦を兼ねて年2回豪華ランチを提供し、和気あいあいとした雰囲気のなか、新入社員も参加し食事会が盛り上がっています。社員旅行も日帰り・宿泊とさまざまなパターンを実施してきました。その甲斐もあって部署により繁閑の差が発生した場合サポートし合うなど会社業務にも大きく寄与しています。

働きやすい環境づくりに注力

働きやすい環境づくりとして、事務所や工場のスペースの確保やカラーコーディネートなどにも配慮したり、耐震対策も対応、工場に早い段階からエアコンを完備して最近の猛暑の夏を乗り切っています。社員からはありがたいという感謝の言葉が出て、モチベーションアップにつながっています。長時間労働については残業はほとんど無い状況で、有給休暇以外にお誕生日休暇を設けて就業規則化し、ワークライフバランスにも気を配り、社員の健康に配慮した勤務体制をしいています。

今後の展望

このような状況のなか、健康経営のことを知り、いままで実施してきたことでスムーズに健康経営優良法人も認定を受けることができました。今後も健康経営の取り組みを継続して、さらにブラッシュアップして全体的に明るい雰囲気の職場、皆一致団結しより活力のある職場を作り上げ長く勤められる会社にしていきたいと考えています。商工会議所からも健康経営の取り組みについて取材を受けたりしており、今後とも励みにしてまいります。

ラジオ体操も長年継続

創業当時より身体をほぐしストレッチして事故防止につなげるためラジオ体操を実施してきました。過去に日本郵政のラジオ体操優良団体等で表彰をうけたことがあります。健康診断も全員の受診は当然で、協会けんぽとも連携し、保健師に来ていただいて特定保健指導もおこなってきました。またインフルエンザに社員が複数罹患したことがあり、業務に支障が出たので、予防接種の費用を補助しています。またコロナ対策としてマスクの配布や消毒液を設置し、感染症対策を行っています。



ラジオ体操 風景

代表取締役社長
山崎秀克 氏

「社員あつての会社」を実現するために健康経営を実践！

- 代表取締役社長 山崎秀克 氏
- 本 社 所 在 地 愛知県岡崎市国正町
- 主 な 事 業 内 容 一般貨物自動車運送
- 従 業 員 数 31名(男性:27名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

創業当時より健康起因事故の撲滅を目指して

弊社は一般貨物自動車運送事業を営んでおり、社是に「我が社が社会に果たす役割に自信をもち、誇りをもって仕事をする」を掲げています。企業は人なりといわれますが、業種から安全安心が大変重要なことで、安全運行はもとより社員の健康づくりも含め社員に配慮した経営をこころがけてきました。業界でも健康起因事故の撲滅が課題で、日ごろからの健康管理が最も重要なことです。弊社も北は青森から南は九州鹿児島まで運行するので特に健康づくりに力をいれています。

まずは社員の健康意識の向上

日頃の健康管理への意識づくりには、社員のリテラシーの向上が必要になります。そこで、外部コンサルタントを講師として社員を対象に年4回、安全運行の意識向上とあわせて、健康管理のセミナーを開催しています。直近では喫煙率の低下や食生活の改善などをテーマに実施しました。社員特にドライバーは食事が不規則になりがちで、できるだけ決まった時間に食事をとることの重要性、積極的に野菜を摂取することの大切さなどをレクチャーしていただきました。

運行計画も緻密に管理

長距離運行が多いため、国土交通省の法令に則り、運行時間、休憩、休息期間など時間管理に十分配慮した運行計画を立て、余裕をもった運行をしてもらっています。運行中意識を失ったりすることがないよう、睡眠時無呼吸症候群や糖尿病、高血圧などの基礎疾患の症状がないか、年間2回の健康診断等でしっかりチェック・管理するとともに、運行開始前と後には法令で定められた対面点呼を必ず実施し、顔をあわせて健康状態の確認をおこなっています。お陰さまで今までにこうした健康起因の事故もなく、今後もしっかりと取り組みを続けていきます。

運動不足も解消

社員特にドライバーは、運動不足になりがちです。社屋を新築移転したのを機に、それを解消する目的で自由に利用できるスペースの多目的ルームを確保しました。ストレッチなどをやってもらっていますが、近々運動器具を設置し本格的に運動不足の解消に取り組む予定です。またコロナ禍での感染症対策は当然で、感染症対策マニュアルの更新、間仕切り板の設置、検温、消毒液とマスクの配布等を実施しています。

今後の展望

「皆が楽しく笑顔で仕事ができる会社」を今後も目指してまいります。はじめての人でも女性でもチャレンジし定着できる会社にしていくために健康経営の取り組みを知り、健康経営優良法人の認定を受けることができました。今後も健康経営の取り組みを継続して、さらにブラッシュアップして全体的に明るい雰囲気職場、活力のある職場を作り上げていきたいと考えています。商工会議所から健康経営の取り組みについて取材を受けたりしており、今後も励みにしてまいります。

外部コンサルタントによる健康セミナーを実施
(2021年6月12日)

愛知県
安城営業所Voice Report
80th
The Anniversary代表取締役
梶川光宏氏

「健康経営で200年企業」を実現するために！

- 代表取締役 梶川光宏氏
- 本社所在地 愛知県碧南市天神町2-8
- 主な事業内容 一般土木建築工事業
- 従業員数 98名(男性:78名・女性:20名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

フォア・ザ・チームで健康第一を意識

弊社は土木基礎工事(パイラー事業)を主業として、「100年企業の誇りをもって工事を遂行し、快適で安全・安心なまちづくりに貢献する」を経営理念に、全国に営業展開をしています。基本は社員4人をチームとして全国に出張しており、チーム単位で工事現場を抱え、1名でも欠けると業務遂行が困難になります。大型機材や重量物を扱い連携プレーで業務をこなしていくので、安全への配慮や日々健康を維持することが非常に重要です。会社の業績にも直結するもので、まさに社員の健康維持・増進が、必要不可欠なもので、ごく自然と健康経営を実践していました。

まずは健康づくりの重要性を意識させることから

とはいうものの、若い社員には健康づくりは優先順位が低く、無茶をしがちです。そこでヘルスリテラシーを高め健康を意識してもらうため、毎月1回発行している社内報で1ページを使い梶川健康ワンポイントアドバイスを掲載しています。見やすく興味深いテーマを選んでいくので、日常会話で健康ネタの話題が盛んとなっています。また産業医によるオンライン健康セミナーを社内ではじめて実施しました。高血圧やタバコ、マスクなどをテーマに話してもらい、健康意識の高まりの一助になりました。

STAY・HOME手当/オンライン懇親会

コロナ禍のなか、ステイホームを促進するため「ステイホーム手当」を支給しています。家族皆でステイホームを楽しむことでワークライフバランスの推進にもなり、その様子を社内報に掲載しています。喜びの声やお子様からの手紙・写真などもいただき、風通しの良い職場づくりにも役立ちました。またオンライン懇親会も定期的で開催しており、コミュニケーションの増進に役立っています。今回、新入社員(内定者)とも実施し、同じお弁当を届けて食べ、社長と会話しながら会社にとけこんでもらっています。

様々な健康経営の取り組みを実施

そのほか健康診断100%受診は当然のこと、全額会社負担でインフルエンザの予防接種や、毎月マスク50枚配布などの取り組みを継続しています。またメンタルヘルス対策も重要で産業医に関わってもらってのストレスチェックや面接を実施しています。オンライン懇親会は、普段交流のない他部署とも触れ合えるのでメンタルにも有効です。長時間労働の削減にも留意しており、適切な休暇取得が見込めないと判断した工事はあえて受注しないなどの経営上の判断も行っています。

今後の展望 「健康経営で200年企業へ」

「この会社に勤めてよかった」と社員に思ってもらうことが会社存続の究極の目標と考えています。健康経営はそれを実現するための一つの手法です。社員の皆とともに、その家族が喜び、皆と健康づくりを意識しながら、社員の定着率をさらに引き上げ100名超の規模を達成する、そして200年企業を目指してまいりたいと考えています。



代表取締役
小林弘和氏

楽しく輝やいて愛がいっぱいの言葉が飛び交う
元氣なありがとうカンパニー！

- 代表取締役 小林弘和氏
- 本社所在地 滋賀県東近江市幸町2-28
- 主な事業内容 卸売業
- 従業員数 46名(男性:31名・女性:15名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

事業ポリシーと共鳴する健康経営の実践を決意

1924(大正13)年に小林紙店として創業。滋賀県全域に販売網を広げ、地域に根ざした「ありがとうカンパニー」として社会貢献をはじめ、環境ISOやSDGs・健康経営などに取り組んでいます。

企業理念 吾が信条(ありがとうOur Credo)事業活動・第2の目的に掲げる「全社員-共に働く仲間-に対して、私たちは、ありがとうの心で感謝・感動・感激を発振・共有し、社員みんなの幸せ創りに貢献します」に基づき、我が社の宝である社員が心身ともに元気に働ける職場を目指して、健康経営を実践しています。

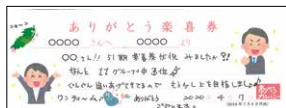
健康経営の取り組み (活気あふれる「コミュ・オフィス」)

活気あふれる「コミュ・オフィス」の実践

～KBMオリジナルThanksCardありがとう楽喜券～

当社では、嬉しかったこと・良かったこと・パワーをもらえたことなど様々なプラスの情報交換を目的としたThanksCard「ありがとう楽喜券」の交換を長年継続してきました。

チーム対抗で発券枚数を競う年やA4サイズの特大笑喜券を互いに贈り合う年、その年その年の楽喜券委員が考案したルールに則って、部署・役職・職種・年齢・勤務地など関係なく楽喜券が行き交っています。最近はデジタル楽喜券も発行が捗り、紙とデジタル両方で活動しています。



活気あふれる「コミュ・オフィス」の実践

～社員旅行・ありがとう表彰大会・グランドゴルフ大会・望年大納会～

就業時間を利用して社員旅行、ありがとう表彰大会、グランドゴルフ大会、望年大納会などの社員同士のコミュニケーションを促進する機会を設けています。



健康経営の取り組み

教育機会の設定: 全国保険協会滋賀支部 健康教室

- ◆2019年7月 「考えてみよう禁煙後の豊かな生活」
- ◆2019年8月 「ストレスマネジメントの実践」
- ◆2020年9月 「職場における感染症対策セミナー」

教育機会の設定: アクサ生命 サポートプログラム

- ◆2021年3月 「健康習慣アンケート」を実施
- ※教育の機会は経営計画ミーティングの時間を利用して、全社員を対象に実施しています。

受動喫煙防止への取り組み

- ◆2019年に禁煙セミナーを開催
(上記の通り)
- ◆2020年4月より敷地内全面禁煙



2020年4月1日より
敷地内全面禁煙

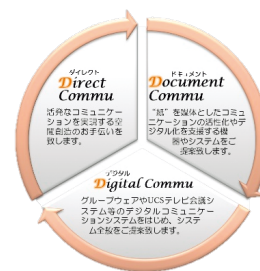
さらなる企業価値の創造をめざして

コロナ禍への対応を通して、なお一層、社員ひとりひとりの健康が会社の基盤として事業の継続・発展のために不可欠であることを感じています。社員自身の人生のため、家族のため、会社のため、社会のためにひとりひとりが健康でいられるように会社として全力でサポートして参ります。

健康経営も、オフィスでの人と人とのつながりがキーワード
【活気あふれる「コミュ・オフィス」】

①オフィスレイアウトの工夫による触れ合い、②紙に書かれた情報交流、③デジタル化による情報伝達、3つの交流が働き方改革と組織の活性化を推進します。

健康経営もまたその中の一環です。お客様へのご提案も、自社での実践をもとにお届けしていきます。



代表取締役
前出博幸氏

会社づくりは人づくり 人が育てば事業が育つ

- 代表取締役 前出博幸氏
- 本社所在地 滋賀県近江八幡市上田町1288-18
- 主な事業内容 電子部品製造業
- 従業員数 125名(男性:40名・女性:85名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営は、会社の経営理念に合致

1974年豊床の製造販売から設立し、現在では電子部品製造・金属加工・医療機器製造などの事業をおこない、社会に貢献できる付加価値創造提供企業を目指しています。「会社づくりは人づくり」をモットーに、モノづくりにはヒトが大事で、ヒトは健康が大事と考えてきました。健康経営の提案をアクサ生命から受けた際に、会社の経営理念に合致するものであり、従業員の成長と幸福に繋がると思い取り組みを決定しました。

従業員の健康管理・健康維持は、健康診断から

従業員の健康問題には特に高い関心を持ってきています。社長就任(1995年)以降、ガンで亡くなった社員が2名、勤務中に脳梗塞で倒れた者、ガンに罹患した者もいます。定期健康診断は100%受診を徹底しています。家族の被扶養者になっている短時間労働の従業員についても、健康診断の受診報告を求め未受診者を無くすようにしています。近年、健康診断の結果から再検査・要精密検査等の有所見者が多くなってきたように見受けられ、健康診断後の取り組み(個人ごとへの受診勧奨等)に力を入れています。

健康あつての仕事

有所見者には協会けんぽにサポートいただいての特定保健指導の実施、産業医による個人面談の実施、ストレスチェックからの面談など洩れの無いように着実に実施しています。女性の多い職場でもあることから、婦人科検診(乳がん・子宮頸がん)は費用を全額会社負担として勧奨しています。健康あつての仕事です。予防と早期発見で従業員の健康を維持・増進させたいと強く思い取り組んでいます。



『エコアクション21』の活動に、健康経営をミックス

当社では環境事業もおこなっており、食品リサイクルループの構築や蓄熱式薪ストーブの製造・販売も手掛けていることもあり、環境省の『エコアクション21』に参画し取り組んでいます。その社外活動の一環として、毎月の会社周辺と年5~6回のびわ湖湖岸周辺のゴミ拾い活動をおこなっています。健康経営のコミュニケーション促進に向けた取り組みを、このゴミ拾いとマッチさせ、ゴミ拾いには従業員の家族も参加いただき多くの子供たちと一緒にレクリエーション感覚で実施しています。



従業員の健康づくりが、社会に貢献できる会社を

従業員全員が、心身ともに健康を維持し増進していくことで、製造業のプロとしてお客様に満足いただける製品・サービスを提供できる会社を目指していきます。そして、『新しい価値を創造・提供し 豊かな環境・文化創造に貢献する』とした経営理念を実現いたします。



株式会社アダムスセキュリティ

代表取締役
澤井敬輔氏

社員の健康こそが、会社の発展に繋がる！！

- 代表取締役 澤井敬輔氏
- 本社所在地 滋賀県草津市草津3-13-47
- 主な事業内容 警備業
- 従業員数 60名(男性:49名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定従業員の健康と生活水準の向上こそが、
質の良いサービスを提供する原動力となると考えた

事業自体が請負主体である為、福利厚生、待遇改善を含めた健康経営の取組みには、お取引いただいている顧客の皆様のご理解とご協力が必要不可欠でした。継続した取組みを社内外へ発信することにより、さらに健康経営に取組む効果を出し、より良いサービスの提供をし続けたいです。2号警備主体の警備業で、健康経営に取組む事に、非常に重要な意義があると考えています。

まずは、意識改革！

しんどい、きつい、生活が苦しい、シルバーの仕事などのマイナスイメージを払拭し、これからの時代は、やりがいがある警備業が絶対に必要になるとの思いで、社内の意識改革から取組みました。

福利厚生へのこだわり

「禁煙手当」を、禁煙に成功した従業員だけでなく、非喫煙者の従業員にも支給し、健康に対する意識付けを行いました。また、従業員の健康に対する取組みを推進するために、「健康促進手当」を新設し、スポーツジムの会費や、鍼治療などの費用の半額を手当てとして支給しています。

毎月「アダムス通信」発行！
社内外へ発信！

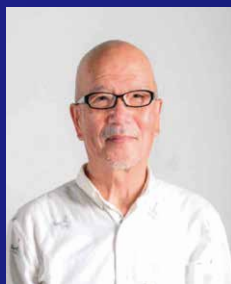
会社の戦略・思いのベクトルを共有

警備業界は、福利厚生・待遇改善や健康に対する取組みが、まだまだ不足している業界だと感じます。だからこそ、持続可能な経営には、従業員の健康に対する意識を変える事が必要不可欠と考えました。従業員の健康こそが、会社の利益へもつながると考えています。

家族を持てる警備業へ

2号警備の警備員という職種は、収入面や福利厚生面、そして社会的待遇の低さから、結婚して家族を持つなど出来ないと思われています。現に、現場従事の40代までの従業員の未婚率は非常に高くなっています。この状況を改善しないことには、人手不足、人材不足を改善すること、ましてや資質の向上を求めるなど不可能だと考えています。異常に低い平均年収の改善から始め、少しずつでも待遇改善を推進していくことが、会社のみならず、顧客の安全・安心へ繋がると考えています。長年にわたって浸透してしまったイメージ、マインドを変えていくひとつの手段として、健康経営を社内一体となって取組み、さらに加速していきたいと思っています。



京都府
京都営業所Voice Report
80th
The Anniversary代表取締役
松原俊雄 氏

健全な経営には、経営者と従業員の健康な身体が不可欠

- 代表取締役 松原俊雄 氏
- 本社所在地 京都府京都市上京区北町644
- 主な事業内容 電気機器製造および組立業
- 従業員数 18名(男性:10名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「100歳まで働こう」を会社のスローガンに

1924年10月の創業で、2年後には100周年を迎えます。長い歴史の中でもこれまで社員の健康に関しては、せいぜい年に一度の定期健康診断と、鉛や有機溶剤の特殊検診で済ませてきました。少数精鋭の元にもものづくりに励むためには、健康な身体作りをする必要があります。

100周年を迎えるにあたり、「100歳まで働こう」を当社のスローガンに定め、社員それぞれが心身の健康を増進させ維持し、仕事に励んでくれるような体制を整えていきます。

健康経営は未来への投資

アクサ生命から健康経営を紹介いただき、「企業の持続的な発展のための必要不可欠な未来への投資」という言葉が組織の後押しとなりました。

すぐに協会けんぽに「健康宣言」をおこない、社内で「健康アドバイザー」と「健康保険委員」を選任し組織体制を整えました。そしてアクサ生命の健康経営アドバイザーにサポートいただきながら各種の取り組みを始めました。

畑を借りて、社員とその家族みんなで野菜作り

社員間のコミュニケーションを高める目的で、亀岡市内に畑を借りて野菜を作っています。当社は何ごととも社員とその家族の参加を基本としていますので、毎回の畑作業では子どもたちの声が響きわたります。都会にいては土に触れることが少なく、また野菜を育てる機会もほとんどありません。

自分たちで育てた野菜を自分たちで収穫し、そして自分たちで調理し和気あいあいと食するイベントを、年に数回行っています。



新型コロナウイルス感染症対策

当社は製造業ですのでテレワークやリモートでの作業は出来ません、また少数精鋭であることから、感染症対策は万全を期してやらねばなりません。

政府の宣言の前に、当社独自の緊急事態宣言を出して対策を徹底しています。人流をいかに少なくするのが課題で、営業や納品、資材の引き取り等を最小限にできるよう工夫しています。ワクチンが全国民に行き渡るまでの間、自己防御を徹底します。

働き方改革と健康経営を一体とした体制作り

当社での健康経営は「100歳まで働こう」のスローガンに合致し、感染症対策の必然性や従来からの野菜作りによるコミュニケーションも奏功し、比較的スムーズに展開できています。今後は、働き方改革関連の規定等の整備とともに、健康経営による環境整備を一層進めていき、「ブライツ500」にチャレンジできる体制作りを目指します。

3E ブロン電機株式会社



上:本社社屋

左:社員とその家族での畑仕事

京都府
京都営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
藤本泰義 氏

社員の安全と健康が最重要課題

- 代表取締役社長 藤本泰義 氏
- 本 社 所 在 地 京都府京都市伏見区竹田藁屋町101
- 主 な 事 業 内 容 半導体・その他電子業界向け機械製造
- 従 業 員 数 73名(男性:52名・女性:21名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

仕事には健康状態が良好であることが必須

1997年設立、産業機械(半導体製造装置など)の緻密な組み立て、調整・検査・オーバーホール改造・アフターサービスなどの業務を提供しています。特に進化のスピードが速まる先端技術や多様化するニーズに新しい体制やアイデアを提供することを得意としています。

緻密性・確実性が絶対的な仕事内容ですので、社員には慎重な注意力と集中力が強く求められます。つまり仕事をするためには健康状態が良好であることが必須となります。

海外での健康の重要性と安全配慮義務

当社の特徴として海外への長期出張があります。世界10カ国以上の国に、10人以上の社員がそれぞれ3ヶ月程度の出張をしています。その間「病気に罹らないこと」に一番腐心しています。言葉や医療環境の課題もあることから、海外においては、まさに「安全と健康が最優先」となります。健康経営の取り組みをしている中で、海外での安全配慮義務や体制整備の必要性を再認識することができ、その対策のひとつとして日本商工会議所の「海外危機対策プラン」を活用することとしました。

安全と健康が最優先 《KOM 10訓》

当社の行動指針である《KOM 10訓》で、健康の大切さを第一に謳っております。しかし重要課題と定義していても具体的に何をやるのが漠然としておりました。健康経営により、アクサ生命からのサポートを受けながら一緒に考えて、まず何をやっていくのかを決め・スケジュール化することができました。

《KOM 10訓》

- ① 安全と健康が最優先!
- ② 貴方の動きはコスト!
- ③ 挨拶からのコミュニケーション!
- ④ どうすれば出来るのか?
- ⑤ 今始めれば勝てる!
- ⑥ 出来るまでねばれ!
- ⑦ 易しく繰り返し!
- ⑧ 隠さず見せろ!
- ⑨ 改善! 改善!! 改善!!!
- ⑩ みんなの知恵で勝負!



働きやすい環境で生き活きと働ける会社

社員が心身ともに健康で生き活きと働ける会社にすることが目標です。求職者に選ばれる会社、社員に長く働きたいと思われる会社、健康経営はその実現に向けた手段として社員と一緒に考えて推し進めていきます。社員の健康度と満足度を高めることで、「高品質をベースに顧客満足を実現し、グローバルに展開できる」会社ビジョンを実現します。



komInnovation

健康の大切さを社員と一緒に考える

課題を上から落とし込むだけでなく、社員も一緒に考えて進めることを理想と考えています。一緒に課題を定義し、実施事項を共有化して健康の大切さを浸透させようと考えています。社員はトップに課題案を直接提案できるようにしています。



会頭
塩田展康 氏

健康経営は、活力ある商工会議所への第一歩！

- 会 頭 塩田展康 氏
- 所 在 地 京都府綾部市西町1-50-1
- 主 な 事 業 内 容 地域総合経済団体
- 従 業 員 数 20名(男性:8名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康管理から戦略的に取り組む健康経営へ

近年、職員の健康管理を行うことで、業務の効率を上げることにより社会の関心が高まってきたこともあり、当所では、平成30年に「協会けんぽ」が推進する健康事業所宣言を行いました。宣言後、健康を推進する取り組みを実践しましたが、職員の健康に対する意識を高めるには至らず、取り組みを普及させることはできませんでした。

そこで、職員の健康管理について、戦略的に取り組む経営手法としての健康経営を取り入れることで、取り組みが定着するのではないかと考え、健康経営のフォーマットに沿いながら各種取り組みを企画し実践していくことにいたしました。

お互い励まし合いながら切磋琢磨することで次第に体力もついてきて、個人的にも山登りやランニングを始めたという声を聞くようになりました。メンタル面にも良い影響があったようで、自身の健康について前向きに考える職員が増えたのが印象的でした。



左：階段利用でエベレスト登頂を目指す進捗グラフ
右：歩数で近畿2府4県一周を目指す進捗図

健康経営の実践取り組み事項

- ・火曜日の朝礼は、当番制による担当者が「健康について」の内容でスピーチを行い、各個人が保有している「健康について」の知識を職員間で共有
- ・水曜日の朝礼は、全員でラジオ体操を実施
- ・入居しているビル4階の事務所までの階段利用の推進
- ・歩数計により日々の歩数を測定
- ・職員のコミュニケーション向上と業務の効率化を図る為、グループウェアを導入
- ・感染症の予防接種に係る費用について一部を支援

職員一人ひとりの健康が、組織を活性化

組織の活性化は、健康で活力のある職員によってもたらされるものと考えていますので、心身共に健康な職員が増えることで、今後、商工会議所の組織的価値が向上していくことを期待しています。

全員参加、ゲーム性を取り入れ見える化

階段利用の推進と歩数管理については、どちらもゲーム性を取り入れて実施しました。階段利用では、エベレスト(標高8848m)の登頂を目指す設定として、ビル4階までの高さを20mとし、1年間で443回の階段利用を目標としました。歩数管理については、1年間で近畿2府4県一周(1000キロ)するという設定で、1日の目標を8300歩としました。どちらも、現在の進捗状況が職員間で見える化することにより、お互いのモチベーションを高める効果を生み出しました。

地域の模範となり地域経済の活性化に寄与

健康を追求することに終わりはないので、今後も健康経営の取り組みを継続していきます。また、商工会議所が率先して健康経営に取り組むことにより、地元企業の模範となり、健康経営のすそ野を広げ地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。

代表取締役社長
澤井 健氏

健康経営の原点は、社は「我らの信条」に基づく

- 代表取締役社長 澤井 健氏
- 本 社 所 在 地 京都府綾部市城山町1
- 主 な 事 業 内 容 製造業
- 従 業 員 数 64名(男性:54名・女性:10名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

創業時からの健康を大切にしたい経営を実践

1948年日東精工の関連会社として設立され、計数機・包装機、基板検査装置の設計・製造販売及び産業用ねじ締め機の製造をしています。

社是の中に「健康を増進し、品性を養い、明るい職場をつくる」という文言を掲げ、創業当時から従業員の健康を大切にしたい経営を実践してきました。少子高齢化社会を迎え、より一層の従業員の健康促進と企業の継続的な成長を図るため、2020年6月に健康宣言を行い、本格的に健康経営の取り組みをスタートしました。

意識の向上と取り組みの効果

ストレスチェックの受検率においては、2019年の67.5%から2021年には96.8%と上昇し、高ストレス者率は、6.5%から5%と減少に転じました。メンタルヘルスによる休職者は0人で推移しており、ラインケア研修やセルフケアの効果が現れています。

体力年齢チェックの参加者は81.7%、実施後のアンケートでは多くの方が「役立った」と回答されており、運動に対する意識向上につながっています。

健康経営の具体的な取り組み事項

- ・健康診断：
100%受診、要精密検査推奨、ハイリスク者には産業医面談実施
 - ・特定保健指導：
就業時間内に社内で実施
 - ・ストレスチェック：
受検勧奨、高ストレス者には看護師・産業医が面談実施
 - ・職場環境改善：
集団分析を利用しラインケア研修実施
各部署で職場環境改善実施
 - ・禁煙活動：
禁煙週間・禁煙時間の導入、禁煙・受動喫煙教育実施
 - ・インフルエンザ予防接種：
就業時間内に社内で実施
 - ・体力年齢チェック
 - ・Nicotto 7
(朝食・夕食・運動・睡眠・メンタルヘルス・喫煙・飲酒)
 - ・仕事と治療の両立支援：
休暇制度・リハビリ出勤制度
 - ・ワークライフバランス：
時間有休の導入、有給休暇取得推進、管理システムの導入
- など、活き活きと働ける人づくり職場づくりに積極的に取り組んでいます。

活き活きと働き続けられる会社づくり

これまでの活動を通じ、当社の課題も明確化してきています。今後も種々の取り組みを継続、発展させ、従業員一人ひとりが活き活きと働き続けられる会社づくりを目指します。また健康経営の外部認定最上級のブライツ500取得に向け、グループ企業と連携しながら推進してまいります。

右上:健康セミナー
実施風景
右下:社屋

株式会社ホンダ西京都

代表取締役社長
伴仲弘行 氏

私達は皆さまの笑顔の為に仕事をします

- 代表取締役社長 伴仲弘行 氏
- 本 社 所 在 地 京都府綾部市高津町
- 主 な 事 業 内 容 自動車販売修理業
- 従 業 員 数 63名(男性:51名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

安全意識を高めるために健康経営を

以前より弊社は、経営理念及び経営目標の実現へ向けて信頼・生産・効率の基本活動をレベルアップするため、5意識(お客様意識・原価意識・チーム意識・改善意識・安全意識)を高めるよう日々の活動を実践して参りました。その中で、5意識のうちの安全意識、「丁寧・慎重、安全と健康があって仕事に全力投球できる」を実践するためにも、健康経営に取り組もうと考えました。

少しずつ禁煙意識の向上へ

昨今、世の中の禁煙意識の高まりがあるなかで、従業員の喫煙率が高い傾向にあり、禁煙への取り組みに対する改善に苦勞していました。そこで、喫煙所を屋外の少し離れた場所に移動設置したところ、従業員からは喫煙本数が減少した等の声が聞かれました。引き続き、従業員の禁煙意識を向上できるような新たな取り組みを取り入れ実施していきます。

健康経営の取り組み事項

- ・インフルエンザ予防接種の全額会社負担
- ・給料明細へ健康ワンポイントアドバイスの同封
- ・熱中症対策の一環で、食堂に麦茶を常備、自動販売機へのミネラルウォーター等のラインナップを拡充
- ・喫煙所の屋外設置

社員の健康があつてこそ

社員の健康があつてこそ、健全な会社経営が出来ると考えています。その為にも、健康経営を実践し続け、経営理念のうちにある「永続繁栄の会社を全員で創る」を実現させたいと考えています。



代表取締役社長
野口裕介 氏

社員と家族そして会社の健康のために日々進化！

- 代表取締役社長 野口裕介 氏
- 本 社 所 在 地 京都府綾部市岡安町大日蔭4
- 主 な 事 業 内 容 精密機械部品製造業
- 従 業 員 数 9名(男性:7名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

2020年1月から健康経営を取り組み開始

公栄精密株式会社は1984年設立の精密機械部品製造会社です。弊社は現在、40代の社員が大半を占めており、生活習慣病等に一層気遣わなければならないと感じております。また、労働生産性の向上や企業イメージ向上を図り、社員とその家族、そして会社の健康のために、2020年1月から健康経営を取り組むこととなりました。

健康経営の具体的な取り組み

健康増進を図るため以下について取り組んでおります。

1. 健康診断の100%受診
2. 2次検診・特定保健指導の受診を促す
3. 始業前のラジオ体操実施
4. 就業時間中の敷地内全面禁煙
5. 従業員への健康情報の毎月発信
6. 熱中症対策の一環としてウォーターサーバーの設置

感染症対策の徹底と従業員の変化

昨今の、新型コロナウイルス禍の社会情勢も相まって、健康改善以外にも、感染予防対策等身近なことから感染予防に努め、意識をもった行動が感じ取れました。体温測定、消毒液やマスク着用を推進し、テレワークが推進しにくい職場環境ではありますが、感染拡大予防ガイドライン推進宣言事業所として、今後も、社員やそのご家族が健康を意識しやすい職場環境と感じ取っていただければ幸いです。

社員の健康・行動変容について

始業前のラジオ体操、就業中の全面禁煙等、社員の意識が徐々に向上し、健康改善に取り組む様子が窺えます。健康管理を重要な経営課題の1つとして捉え、今後も実践していくことを目指します。社員の健康づくりは、今後企業が生き残るためにも必要不可欠と捉えております。

社長の想いと今後の展望

2022年度の健康経営優良法人の継続認定に向けて、健康管理を重要な経営課題の1つとしています。健康経営を実践し、社内外に発信することで、社員の健康に関する意識の向上を図っていくとともに、社員の健康維持はもちろん、健康増進を目的として今後も積極的に取り組み、将来へ向けての投資とします。社員が興味を持ち参加しやすい取り組みを日々模索し、今後も継続的に改善して参ります。健康経営に取り組むメリットを生かし、大切な社員が健康でより長く仕事に取り組める、環境づくりに力を入れていきたいと考えております。



事務所入り口に感染症対策として消毒液・検温器を設置

代表取締役社長
村上和也 氏

ONE TEAMとして、より大きく成長し続ける企業を目指して！

- 代表取締役社長 村上和也 氏
- 本 社 所 在 地 京都府綾部市里町
- 主 な 事 業 内 容 運送業
- 従 業 員 数 40名(男性:38名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「ホワイト経営」に、渡りに船の「健康経営」

国土交通省の自動車運送事業の「ホワイト経営」(運転者職場環境良好度認証制度)の取り組みを始めましたが、具体的に何をどう進めていったら良いのかが分からず二の足を踏んでいたところに、アクサ生命から「健康経営」の提案を受けました。説明を聞いてみると、労働環境の改善や働き方改革など取り組み事項が重なっており、また取り組みの進め方などサポートしてくれると言うので、まさに渡りに船だと思い「健康経営」を始めることといたしました。

コミュニケーションを大事にし、従業員が大事

従業員同士が顔を合わせる機会は少なく、ドライバーは孤独になりがちですので、コミュニケーションを大事に考えています。
従業員の有志が参加する親睦ゴルフ大会の実施や、家族ぐるみのバーベキュー大会を通して、風通しの良い会社を作りたいと考えています。
従業員は家族同然、その家族も含めみんなの健康度を高めていければ幸いです。

健康経営で従業員の健康への口出しをさらに多く

まずは「健康習慣アンケート」を実施することで、従業員に健康経営を周知し、健康だけでなく職場環境の改善等にも取り組んでいくことを宣言しました。
安全運転には健康が第一で、ドライバーあつての会社であることから従業員の健康には関心を持っていましたが、健康経営を知ったことで、従業員の健康に関しては気遣いを強化して、口出しも一層多くしていくことを決意しました。

ONE TEAM 風通しの良い会社をめざして

健康経営をサポートいただきながら具体的に進めることが出来たお陰で、無事「健康経営優良法人2021」の認定を取得することができました。
同時に「働きやすい職場認証制度」にも登録を受けることができました。これは健康経営に取り組んだ成果のひとつです。
今後は取り組みを深化させていき、働きやすい職場で、従業員とその家族の健康の維持・向上を目指します。
そして、企業＝ONE TEAMと捉え、社員ひとり一人が意見や要望を出しやすい、またその意見を出来る限り日々の業務に活かせるような、風通しの良い会社を目指し、実践し続けます。

健康経営を意識して取り組んだ事項

健康診断の100%受診は出来ましたので、有所見者に対しての再検査等の勧奨を個別に口うるさくするようにしました。
仕事柄食事の時間や内容が不規則になりがちですので、情報を毎月提供し、食べ物や飲み物に関するワンポイントアドバイスをこなうようにしました。
コロナ禍の感染症対策については、マスクが入手困難な時期に会社で大量購入して、家族分も含め従業員に毎月配布するようにし現在も続けています。
50台の全車両に抗菌光触媒加工を施し、消毒用アルコールを配備し、感染予防の指導も徹底しておこなっています。



2021年4月に登録を受けた、
国土交通省指定の「働きやすい
職場認証制度」の登録証書

代表取締役
松下可奈氏

「健康経営」で社員のやりがいと成長を！

- 代表取締役 松下可奈氏
- 本社所在地 京都府綾部市井倉町樋ノ元14-1
- 主な事業内容 LPガス小売業・建設業
- 従業員数 12名(男性:9名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

会社の姿勢

社員の健康が会社の経営を大きく左右するその大切さはよくわかっていても、それを明示することは、かつてはありませんでした。しかし、経営理念に「ツバメガスは社員のやりがいと成長が得られる職場を作ります」と明記しているので、健康についても会社の姿勢をきちんと示すべきだとの思いはありました。

そこで平成28年から協会けんぽ 京都支部の「京から取り組む健康事業所宣言」に登録し、会社として社員の健康に対して積極的に取り組んでいくことを明確にしました。

社員のやる気 ～楽しく和やかに～

会社の健康診断の結果が出ると、社員皆がお互いの数値を見せ合って、自分がいかに頑張っているか、この1年どんなことに気を付けてきたか、など自分の健康についての話をしている姿は、会社が「健康経営に取り組む」と明確に方針を打ち出しているからだと思います。健康セミナーを開催すると、積極的に参加し、これもお互いの状態や成果を話合っています。

また、会社が法人契約しているスポーツジムも活用され、会社全体が健康について高い意識を持つようになりました。

健康経営優良法人へのステップアップ

社内健康保険委員会を中心に生活改善の促進、健康セミナーの開催、BMIが改善した社員の表彰など、「京から取り組む健康事業所」として出来る限りの事を実施していました。そんな中、アクサ生命保険の健康経営アドバイザーの方から「健康経営優良法人に取り組みませんか」とお声がけいただきました。なんとなくハードルが高いイメージがあったのですが、アドバイザーさんの熱意と、健康保険委員の取り組んでみたい、との声に押され、挑戦することになりました。

社内の意識改革

挑戦の中で一番の問題は喫煙でした。20年以上前から分煙(屋外喫煙所)は出来ていたのですが、非喫煙者が行き来する場所の喫煙所では認められないと聞き、大変悩みました。非喫煙者から「ずっと煙草の匂いが嫌だった」などの声も聞かれ、これは絶対になんとかしなくてはと考えました。弊社は建設業(設計・施工管理)です。そこで協力業者の大山さんに頼んで、駐車場の端に喫煙用の小屋を建ててもらいました。喫煙する目的が無ければ通らない位置です。そして喫煙可能な時間も明確に決めましたが、思ったよりすんなりと喫煙者に受け入れられ、無事申請が出来ました。

まとめ

病気や怪我は、誰しも人生で避けて通れないことですが、そのリスクを減らすことは出来ます。個々に気を付けるのはもちろんですが、会社全体で取り組むことによって仲間意識、連帯意識によって、より頑張れることもあります。弊社のような小さな会社はお互いに目が届きやすいというメリットもありますし、今後も全社一丸となって健康経営に取り組めます。そして毎年メタボと診断される社員が数人いますので、それをゼロにするのが当面の目標です。

2020年9月11日
健康セミナー実施
テーマ『体幹を鍛えて
理想の
ボディメイク』2021年3月4日
健康経営優良法人2021認定

代表取締役社長
上原久明氏

健康・家庭・経済(仕事)を調和させ、持続的発展をめざす

- 代表取締役社長 上原久明氏
- 本 社 所 在 地 京都府綾部市位田町
- 主 な 事 業 内 容 住宅資材販売・
福祉用具レンタル及び販売業
- 従 業 員 数 78名(男性:52名・女性:26名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

経営理念は「SDG s」と「健康経営」に通じる

1960年、解体した家の梁や柱を製材しなおして再利用するという「賃加工」で創業し、現在では住宅資材・住宅設備機器などの販売ならびに介護用品のレンタルと販売もしています。経営理念を『自然界の恵みと営みの結晶である樹(木材)に感謝し、永遠の財産として、社会のあらゆる人々の成長と幸福に尽くそう。そして、健康・家庭・経済(仕事)を調和させ、感謝の気持ちを持ち、志に向かって持続的発展をめざそう。』と定めております。

この理念は、ひとつは「SDG s」に通ずるものであり、もうひとつは「健康経営」に通じ、社員の健康が大切であるという理念を具現化するものとして健康経営の取り組みを始めました。

「健康習慣アンケート」で従業員の健康課題を特定

取り組みは、アクサ生命の担当者の薦めにより「健康習慣アンケート」から始めました。その結果「運動」と「禁煙」を課題と特定し、改善に向けた取り組みを実施しました。まずは意識改革でありヘルスリテラシー向上のために、毎月全社員参加の「全体会合」で情報提供と研修を実施しました。

運動不足と受動喫煙防止の対策

社員の通勤手段は殆どが自家用車であり、日常の動線上では運動不足の傾向が強くなっています。

そこで、アプリを使って全社員で歩数チャレンジを実施しました。また、綾部市が実施している「あやちゃん健康ポイント」という健康長寿を目指した取り組みに協賛企業として参加いたし、同時に社員に対して健康づくりのための本取り組みへの参加を奨励し意識を高めるようにしております。

喫煙に関しては、健康習慣アンケートの結果、喫煙率は39%と高く、無関心が19%もいることが分かりました。

禁煙対策は、社屋内の全面禁煙のほか社用車の全車禁煙・自家用車内であっても会社敷地内は禁煙としました。

受動喫煙対策では、元々屋外にあった喫煙所をさらに会社敷地内の離れた不便な場所へ移動させ、喫煙しづらくすると同時に受動喫煙を減少・無くすようにしました。

意識改革と行動変容

健康課題に1年間取り組んだ結果、運動の無関心者は26%から21%に減少しました。喫煙者は39%から31%に減少し、無関心者も19%から13%に減少しました。

取り組みにより改善が少し進んだことは喜ばしく思いますが、一方で取り組みの難しさも実感できました。

一番必要な事は意識改革で、この健康経営の取り組みは、会社のためではなく、自分自身ならびに家族のためという理解と、それによる行動変容の重要性に気付くことです。

社員の幸せな人生が実現できる企業を目指す

「木材」は、地球環境を守る循環資源です。当社は創業の原点とも言える樹(木材)を大切に、樹と共に歩んでまいります。そして、今以上にお客様から一番に指名を受ける企業、地域に貢献できる企業、社員の幸せな人生が実現できる企業を目指していきます。

そのためにも健康経営を積極的に推進してまいります。

住まいを未来する
株式会社ウエハラ

前橋工業株式会社

代表取締役社長
前橋新士 氏

社会から頼りにされる物作り集団として、目指すべき姿
「健康で明るい会社へ」

- 代表取締役社長 前橋新士 氏
- 本 社 所 在 地 京都府福知山市上小田473-1
- 主 な 事 業 内 容 製缶業、製造その他
- 従 業 員 数 23名(男性:21名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

元気で21世紀社会に参画を！

昭和38年の創業当時から社員の健康は財産と捉え、心身の健康には気を付けていたが社員間でも認識の差があり、健康意識向上のアクションに取り組むことが出来ていなかった。2019年8月代表交代を機に一層の元気な人財のために出来ることを考えていた。そんな中アクサ生命より健康経営を紹介していただき、意識の向上と福利厚生の充実、両方を担えるこの取り組みをスタートしました。



人間らしく生きよう

この健康経営は社員自身のそれぞれの長い人生の豊かさのため、また福利厚生の延長線上の一つと捉えています。求人についても優良法人認定取得と掲載し、面談時にもそのことはしっかり伝えます。残業時間も減るなど、目に見えての成果もでてきています。将来的には社員からも健康経営の取り組みの話が出たり、取引会社にも我が社の取り組みが伝えられるように見える化を進めていきたいです。

未来は創造できる

まずは健康経営を進めることを社員に伝え、健康についての会報を食堂に掲載したりしました。最初はなぜ自分たちの健康について色々と言われるのか？等の疑問が出てきましたが、個別面談を増やし社長自身の想いを伝え、少しずつ意識が変わってきました。また、健康情報を掲載するだけでなく毎月ワンポイントアドバイスを一人ひとりに渡すことでさらに健康について触れる機会を増やしました。また、コミュニケーションを図る目的で朝礼時、週の初めは先週起きた社員間での良かったことを感謝の報告として、週末には今週起こったヒヤリハット報告を全員で行うようにしました。

向上心から生まれる価値

少しずつ意識の変化があるように感じています。年に一度行っている健康習慣アンケートでも、健康意識が高まっていることがよくわかります。食堂にいるときも健康についての話題が以前より出ていると思います。また、朝礼時の感謝の報告とヒヤリハット報告は初めこそ難しかったのですが短い時間でも色々と話せるようになってきました。健康診断についても、二次検査の推進、特定保健指導の実施など、健康を前向きに捉え個々が活動してくれるようになりました。

経営理念への挑戦

“地球にやさしく、人にやさしく”を基本に生きがいのある社会づくりに挑戦しています。この健康経営を通して社員の一層の明るい未来に貢献できればと考えています。会社の顔は文字通り社員の表情だと考えています。皆が生き生きと働ける会社づくりをこのまま進めていきます。



毎朝の朝礼風景



会社全景

中央にある工場では大型重量機も製造・組立可能

大阪府
大阪営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役
東 二郎 氏

「あらゆる人の共生」を実現するために！

- 代表取締役 東 二郎 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市西区立売堀1-11-17
スギタビル6F
- 主 な 事 業 内 容 プログラマー養成・アプリ開発
- 従 業 員 数 11名(男性:7名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

就労継続支援事業所だからこそ、 健康経営に取り組む必要を感じました。

関連企業である介護施設の経営者より、健康経営についての情報提供を受け、支援があれば働くことができる人に働く場所を提供する弊社の本業には必要不可欠と捉え、取り組みました。

従来より実施していた事が、そのまま健康経営の施策にはまり、スムーズに社内に浸透しました。

健康は姿勢を良くすることからスタート まずは取り組みそうな活動をしていきます。

一日中デスクワークの仕事のため運動不足から、姿勢が悪く腰痛を何とかしてほしい！という社員の要望に応えるために腰痛体操のビデオを取り入れスケジュールを決めて、全員で実施することで少しずつ改善が見られるようになりました。

また、柔道整復師に来てもらい、マッサージを受ける時間を就業中に組み入れることで、社員の姿勢が良くなり、癒される時間も増え仕事のアイデアや生産性がアップしました。

会社全体で取り組み、可能性を広げる！ 社員全員の夢を叶える！

手が不自由な社員は足の可能性を広げる！身体全体が不自由な社員は目で可能性を広げる！健康経営の取り組みは、それぞれの個性を伸ばし、社員全員の夢を実現するための具体的な施策を考えるきっかけになりました。

メンタルヘルスも重要な対策と捉え、主治医に相談しながら問題の解決を仕事に活かしつつ、社員全員の夢を叶える為の施策にしていきます。

システム開発とeスポーツ

就労継続支援事業所【ロジックラボ】ではシステム開発をするシステムエンジニアとeスポーツを通してプログラマー・プロゲーマーの育成に取り組んでいます。介護施設のシステム化はこれからの分野であり、eスポーツは全ての人が同じ条件でスタートできる分野です。社員全員で今までにないシステムエンジニア・プログラマー・プロゲーマーを育成していきたいと思います。

今後の展望

関西発の障がい者eスポーツ大会の開催を目指します！
弊社の起業の目的は健康な人、病気を抱えた人、男・女若者・老人全ての枠を超えた全ての人々がお互いの良い部分を発揮しつつ、弱点を補いながら共生をする社会を創ることが企業理念です。その為にeスポーツを通してプロゲーマーの育成に取り組めます。

柔道整復師によるマッサージ(2020.9.3)
腰痛予防体操の掲示(2020.4.1～)

大阪府
大阪営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長CEO
吉原秀輔氏

スタートアップ企業だからこそ、従業員の「幸福度」を高めたい！

- 代表取締役社長CEO 吉原秀輔氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市中央区南船場1-3-14
ストークビル南船場8F
- 主 な 事 業 内 容 ITソリューション業
- 従 業 員 数 25名(男性:19名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

スタートアップ企業だからこそ、 従業員のパフォーマンスを最大化したい

自分自身が以前から生活習慣を気をつけることで、パフォーマンスの向上を常に実感しており、従業員にも食生活改善や運動に取り組んでもらい、仕事もプライベートもパフォーマンスを最大化させたい。なお、従業員とのコミュニケーションの際にも、心身の体調面の気遣いから入るように心掛けている。

従業員の健康増進が企業の生産性アップに繋がる健康経営は、持続的成長を目指すスタートアップ企業だからこそ取り組むべき経営スタイルである。

心理的安全性への好影響

健康経営優良法人として認定や、健康習慣WEBアンケートのフィードバックが、従業員の安心感につながり、採用の面でも良い影響が見受けられた。

従来からホームページ等を通して、会社を各種数値で見える化しており、今後は従業員のワークエンゲージメントや心理的安全性といった健康経営の効果も数値化して、広く社会に対して公表していきたい。

予防医療とヘルスリテラシーの向上

アメリカで生活していた際に、周囲にランニングしている人やオーガニック食品しか食べない人が多かったが、アメリカ人は日本人のような公的医療保険がないため、疾病予防に対する意識が高くヘルスリテラシーも高い。

コロナ禍での運動不足が課題にもなっているが、健康経営の一環として疾病予防をはじめとしたヘルスリテラシーを従業員にはもっと高めて欲しい。

従業員の「幸福度」を高めたい

今後は健康増進だけでなく、従業員一人ひとりの「幸福度」を高めていきたい。

ヘルスリテラシーを高め、ワークライフバランスを大切にすることで人生100年時代を楽しむことができ、そのような幸福な従業員こそが顧客や社会の課題解決に貢献でき、スタートアップ企業の持続的成長を可能にする。

まさに、株式会社Growshipの存在意義でもある。

モチベーションアップと福利厚生

仕事における従業員のモチベーションアップのために、従来から福利厚生の充実に注力している。

例えば、「勉強会手当」を設けており、社内の従業員向けに勉強会を実施した従業員に対して手当を支給している。

これは1人の従業員のリテラシーを会社全体で共有することで、会社の成長とともに実施した従業員自身の成長機会にもなり、仕事のモチベーションアップに役立っている。



大阪府
大阪営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役
中坊崇嗣 氏

お客さまと一緒に健康と笑顔を広げたい！

- 代表取締役社長 中坊崇嗣 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市淀川区西中島6-4-15
NMRビル
- 主 な 事 業 内 容 経営コンサルタント
- 従 業 員 数 4名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

社員の満足度が上がる組織体系を目指して！

弊社は創業以来40年以上にわたり、時代の波をとらえながら、さまざまな業界の企業課題を解決に導いてまいりました。これからは運営しているヒト(社員)や会社組織の活性化を図っていくことがとても重要になっていると考えています。当社が、SDGs研究協会を運営している中で、既に健康経営に取り組んでいる企業の社長からお話を聞いたのがきっかけとなり健康経営の導入を決めました。

社員満足度が高まる企業を増やしたい

弊社が健康経営に取り組んでみると、社員から嬉しい声が挙がってきたことから、健康経営の認知をもっと広げたいと考えるようになりました。そこで、弊社のお客さまにお知らせする活動を始めました。すると、こころと体の健康維持・増進についてもコンサルティングしてほしいという要望を多くいただきました。そこで、弊社としても、企業向けの福利厚生制度の充実支援をサービスとして開始することにしました。

新たな取り組みを始めるというよりも再確認

弊社としては、ヒト(社員)が仕事にやりがいを感じられる等級制度や人事評価制度の構築・運営支援、そして、安心して仕事ができる就業環境や制度整備の支援、教育活動などを通じて組織のパフォーマンス向上を図るための組織活性化コンサルティングを推進しています。これは自社でも同様に組織体系として作り上げております。健康経営においても、組織として一丸となり取り組むことが出来ました。

社内外へ健康と笑顔を広げる！

今では、弊社は、①こころと体の健康維持・増進に向けた健康経営の啓蒙普及活動と、②こころと体の健康維持・増進に向けた福利厚生制度の充実支援を推進しています。これからも、健康経営の支援を通じて、社員が笑顔で元気に仕事ができ、生産性向上につながる企業を増やしていけるよう積極的に活動を進めていきます！

取り組みを通じて出てきた社員の声

健康経営の取り組みで注力する点として「こころの健康」を目標設定しました。弊社は「体の健康」には取り組んでいましたが、「こころの健康」については弱いという実感があったため、大阪産業保健総合支援センターなどからメンタルヘルスの支援を受け、相談窓口の開設などを行いました。「自分では気づかなかった心のストレスと、その予防対策を教えてもらえて良かった」という嬉しい声が社員から挙がっております。



お客さまとの定期会合後に、ご担当の皆さんと一緒に！
笑顔あふれる企業風土づくりを支援しています！

代表取締役
杉田文彦氏

「従業員第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役 杉田文彦氏
- 本社所在地 大阪府大阪市北区西天満5-8-15
- 主な事業内容 ITアプリケーションシステムの開発
- 従業員数 19名(男性:16名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

会社経営での最優先課題は社員の健康と考え 健康経営に取り組む必要を感じました。

客先に直行直帰の社員が多いため社員の健康状況を瞬時に把握できる環境ではないため、社員の健康面への配慮ができる方法を考えていたところ、ある保険会社から健康経営の情報提供を受け、会社経営での最優先課題は社員の健康であると改めて認識をし、社長自らが担当者となり取り組むことを決めました。

まずは業界的にメンタルヘルス問題に取り組む

社員の健康課題は、業界的にメンタルヘルスが一番の問題になっており、社員全員に会社として健康経営に取り組むことを伝え、健康経営宣言したことを発表しました。最初の取り組みとしてWEBでストレスチェックを全員に実施。もし、問題がある場合にはメンタルヘルスケアサービスを受けることができる相談窓口を社外に設置した旨を全社員に発信しています。特にメンタル面でのケアは時間との勝負と考え、会社としての姿勢を社員に理解をしてもらえるようにしました。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで 社員全員に理解してもらえました。

健康宣言の発表後、会社全体での健康に対する意識は向上しました。この行動変容を目に見える形でイベント化していく案を社員全員で考え、これから取り組んでいきます。

今年から、新卒採用活動を初めて行います。

起業17年間、採用は随時、中途採用を中心に19名が業務に従事しております。特筆すべきは、退職者が一人も出ておりません。社員の事を考えた福利厚生を充実し働きやすい環境がくれた結果だと思います。その中、今年から初めて新卒採用を始めます。この健康経営の取り組みで、社員のワークエンゲージメントを高めることで新入社員も安心して仕事に取り組める環境づくりに注力していきます。

今後の展望

社員一人一人が安心して働ける環境を継続することが大前提で、仕事を通じて充実した人生を送ることができるよう将来の会社の仕組みを考え、当社のDNAを受け継いで次世代を担う人材を育て、5～10年後に会社の中核となってもらえる社員と後継者を創っていきます。



大阪府
大阪営業所Voice Report
80th代表取締役社長
松島慎治 氏

一生「改善」を提案できる企業でありたい！

- 代表取締役社長 松島慎治 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市淀川区宮原5-1-18
- 主 な 事 業 内 容 省エネ・防犯に関するコンサルティング
- 従 業 員 数 45名(男性:37名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

日頃から取り組んでいる健康経営を強化し、 優良法人認定取得でより働きやすい環境を

コロナ禍において、社員の健康やメンタルヘルスへの意識が高まる中、健康経営の経産省の施策を知り、優良法人認定を取得することで社員の健康管理をさらに強化し、より働きやすい環境を作っていきたいと考え取り組みました。

社員やその家族・取引先の皆様にも安心頂ける会社づくりを目指しています。

社員同士のコミュニケーションを促進し、 健康とモチベーション・仕事満足度を高めていきたい

創業より社員同士のコミュニケーション促進には力を入れており、毎年社員旅行やスポーツ大会を実施する他、4半期毎には全社員が大阪本社に集まって、成績の良かった社員の表彰式や懇親会、チームワークを醸成するための研修等を実施しています。

また、メンタルヘルスには特に注視し、職場改善アンケートやメンタルヘルスチェックを活用して、その改善に向けての体制作りを行っています。今後、健康経営の活動を通じて社員の仕事満足度を高めていきます。

「社員一人一人を大切に」 社員全員のお誕生日を毎年お祝いしています

社員全員の誕生日に、社長自らプレゼントを購入し、日頃の感謝の気持ちを込めて手渡ししています。また、同僚メンバー全員からもプレゼントを準備し、サプライズの演出でお祝いします。

そのお返しに、毎年年度末の社長のお誕生日には、社員全員からお礼の気持ちを込めて、時間をかけて撮影したお祝い動画とオリジナルグッズのプレゼントを企画。社長を驚かせると共に、準備を通して社員間の一体感も育てています。

大切な社員の健康と共に、会社も成長していきます

今期より、社員の健康増進・コミュニケーション強化につながる新しい取り組み、「インテッククラブ制度」を創設します。社員同士がスポーツや趣味の会・懇親会・勉強会等を企画し実施する際に、会社からその費用をサポートします。

社員同士のコミュニケーション強化の場の創出を会社が後押しし、チームワークの強化と心身共の健康の促進をサポートします。

今後の展望「一生付き合いたい」会社に

これからも省エネ・防犯コンサルティングを通じ、お客様企業の経費の削減や安全性の向上をサポートしていきます。

社会の変化に応じて、新しいことに挑戦し、お客様の求めるものを提供し続け、お客様にとっても社員にとっても「一生付き合いたい」と思ってもらえる会社を目指します。



代表取締役
下津喜彦氏

従業員・お客様のご家族にも幸せを届けることができるように！

- 代表取締役 下津喜彦氏
- 本社所在地 大阪府大阪市住之江区南港南6-1-33
丸三冷蔵内
- 主な事業内容 食品卸問屋
- 従業員数 5名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営の必要性

当社は、食品の卸問屋です。「食を通じて常にお客様のことを考え夢と感動を与える商品・サービスを提供し社会へ貢献します。」を企業理念としています。全国に足を運び「これは美味しい！」という商品を、どうすれば多くの方に知って頂けるのか、食べて頂けるのか…色んなアイディアを出し、企画を組んでいきます。アイディアを出す発想力、熱意は心身の健康が無ければ出てきません。毎日の多くの時間を過ごす会社が、従業員の健康に投資する【健康経営】は企業存続の土台となる取り組みだと感じ、まずは第一歩として健康経営優良法人を目指すことを決めました。

食を通じて夢と感動を

美味しいものを食べる喜び・その喜びを運ぶ仕事をしていること、従業員に体感してもらうことができるよう、お薦めの食材を配布したり、試食会を実施したり、と企画しています。みんなで「あれが美味しかった！」等、話をするときは自然に笑顔になります。忙しい毎日の中ですが、そんな時間を持つことを意識しています。

健康経営の第一歩

健康経営に向けて何から取り組みればよいのか、と考えた時に「健康経営優良法人」の認定基準が取組指針になっていると感じました。「健康診断100%」「再検査、精密検査の受診勧奨」などは以前から取り組んでいたところですが、改めて周知徹底することからスタートしました。「年1回の定例」として事務的に実施するのではなく、「健康は大事だ」という事に気付きを与えるキッカケにできるよう情報発信しています。

心の健康づくりに向けた計画作り

コロナ禍で「心の健康」への取り組みの必要性がより注目されています。従業員が自分自身の心を整えるためのセルフケア教育が今後重要になってくると考えています。昨年は大阪産業保健センター様のお力を借り、心の健康づくりに向けた計画づくりを策定致しました。

従業員への想い

健康管理は自分自身の為だけではなく、家族にも繋がる重要なことです。従業員が健康でイキイキと仕事に取り組めば、会社・お客様だけではなくご家族にも幸せを届けることができます。そんな健康経営とできるよう、本年度も取り組みを続けていきます。



業務内容一覧

株式会社公園マネジメント研究所

代表取締役
小野 隆氏

社員は人財、小さい企業の利点を活かし、働きやすい環境と健康リテラシー向上に会社全体でスピーディーに取り組む

- 代表取締役 小野 隆氏
- 本社所在地 大阪府大阪市中央区谷町2-2-22
- 主な事業内容 公園総合コンサルティング事業
- 従業員数 10名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

健康経営には、業務の延長として取り組みました

弊社は、2007年の創業以来、公共施設の調査、研究を行ってきました。特に、公園緑地の総合コンサルティングに力を入れています。誰もが安心して生活できる社会、暮らしの質を向上し持続可能な社会の構築に、公園を活用する仕組みを提案・実践することが仕事です。これらにかかわる私たち自身がまず健康であろうと、健康経営に取り組むようになりました。

「心と体の健康」を推進する健康経営は、当社事業の「公園マネジメント」と親和性が高いと感じた

公園を活用し「自然に健康になれる環境」を整え、生活の中で身体活動を増やすことで、心血管疾患、糖尿病、がんなどの非感染性疾患の予防や、加齢に伴う生活機能低下（フレイルや認知症など）のリスクを下げるすることができます。このことを知っているといないでは健康に差が出ます。「健康リテラシーの向上」を重視する健康経営の考え方は、私たちの仕事と親和性が高いと感じています。

実践していく上での課題の克服

健康づくりの講習を行っても、社員が行動に移すところに壁がありました。そこで、ひとり一人に声がけし、健康に限らず様々な話しを聞きながら『自分で続けられる生活習慣』を見つけ出す助けに取り組んでいます。自社で開発したスマホアプリを活用して、生活変化の見える化もその一環です。

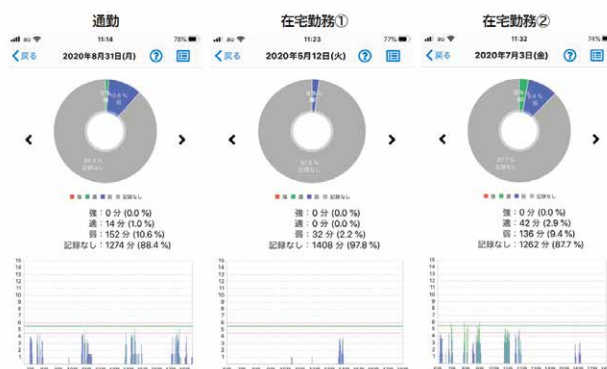
在宅勤務では極端に身体活動量が少なくなります。そこで作業の合間に積極的に散歩などの外出を奨励しました。以前よりも適度な運動が増え、リフレッシュ効果もあり作業の効率も上がりました。

社員全員で労働環境の整備、ライフスタイルの変化に応じたルール作りを実施

労働環境の改善点やワークライフバランスを考慮した働き方の社内調査を実施し、働きやすい環境づくりとライフスタイルの変化に応じた社内ルールの策定も進めました。リモートワークを積極的に取り入れ、子育てや家族の介護などライフステージの変化にも対応できる働き方改革も進めています。ニューノーマルの普及で社外の理解も得られました。

今後の展望

今回で健康経営優良法人の認定も3度目となり、ワークライフバランスを考えた働き方も充実しつつあり家庭環境にも良い影響を与えていると考えています。当社で働くことで社員とその家族が“豊かさ”を感じ、楽しくいられる会社を目指して社員とその家族の健康と共に会社自体も成長していきたいと考えています。



iPhoneアプリ「公園処方箋」

円グラフ：運動強度別割合(時間) 赤：強 緑：中 青：弱

棒グラフ：縦軸 運動強度Mets 横軸 時間経過 常時測定2分平均
アプリで体力に合った運動強度を推定

VO2max50付近を中強度と設定

株式会社福沢ビデオプランニング

代表取締役
福澤伸雄 氏

「お客様に選ばれるために」全社で健康経営に取り組む

- 代表取締役 福澤伸雄 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市東成区
- 主 な 事 業 内 容 映像・動画コンテンツの制作
- 従 業 員 数 4名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定お客様に「選ばれる会社」になるためにも
健康経営に取り組む

日頃からアドバイスを受けている経営コンサルタントより、健康経営優良法人の情報提供を受けたことがキッカケでした。映像制作業は他社との競争が激しく、お客様に選んでいただける会社になるために、社員と共に健康経営に取り組むことを決めました。

社員のメンタル面のサポートが最優先課題

健康経営の取り組みを始め、社員の平均年齢が50歳と高齢であることに気がつき、社員の健康に対する意識が高くなりました。
今の時代背景から社員のメンタル面のサポートが最優先課題と考え、アンケート形式の外部資料を活用し、悪い状態が判明した場合は、サポートしてくれるクリニックと連携し、対策を取ることにしました。

お客様からの評価に繋がる

効果はすぐには分かりませんでしたが、お客様から社員がイキイキしているのご感想を伺い、このコロナ禍においても、徐々に取り組みが浸透していると感じました。

お客様に接するのは社員の皆さんです。社員の皆さんが健康で健全であることにより、お客様へより良いサービスをご提供できると考えます。目先の利益を目的とするのではなく、お客様に「喜び」をご提供する。そんな経営を目指しています。

健康経営は【三方よし】の施策

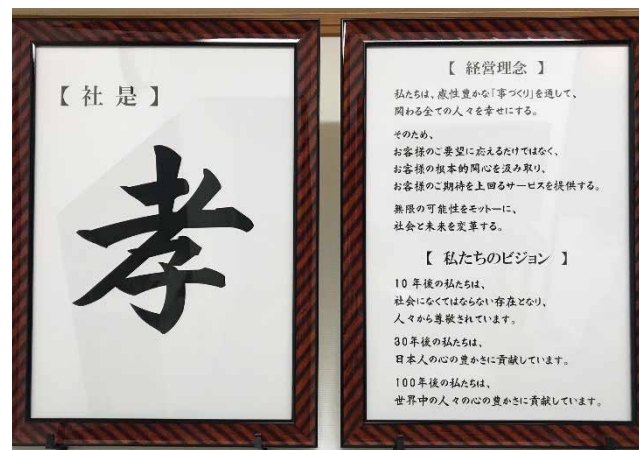
健康経営の取り組みは、お客様・会社・社員にとって、まさに【三方よし】であると、社員皆で認識・確認することができました。お客様にも喜んでいただければ、社員のモチベーションアップにもつながり、会社全体が活気づいて来ました。

今後の展望

社是・経営理念を、浸透・実現する一助として健康経営を継続して取り組んでいきます。

【経営理念】

私たちは、感性豊かな「事づくり」を通して、関わるすべての人々を幸せにする。
そのため、
お客様のご要望に応えるだけでなく、
お客様の根本的関心を汲み取り、
お客様のご期待を上回るサービスを提供する。
無限の可能性をモットーに、
社会と未来を変革する。



代表取締役社長
森下雄司 氏

従業員及び家族の健康を守るために！

- 代表取締役社長 森下雄司 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市中央区玉造1-2-40
- 主 な 事 業 内 容 医薬品製剤製造業
- 従 業 員 数 318名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

大正15年から培われてきた家族主義が健康経営へ

「社会への奉仕」を信念とし、1893年の創業以来、人々の健康や豊かな暮らしの一助となる製品をご提供して参りました。大正15年に健康保険組合を設立し、従業員はもちろんのこと、家族も含めて、充実した健康的な人生が実現できる環境づくりにも努めてきました。しかし、現代社会においては様々な環境変化から、従業員の生活習慣病の罹患率の上昇や、医療費の上昇といった課題も少しずつ明らかになってきており、弊社としても、財産である従業員とその家族を守るためにも、2019年から本格的に健康経営に取り組むことに決めました。

受動喫煙の改善に全力投球！

受動喫煙防止法の施行を機に従業員の喫煙率を調査したところ、受動喫煙の問題が浮き彫りとなりました。喫煙者に対してのアプローチとして、分煙の徹底・禁煙外来への奨励・ポスター掲示・健康経営担当者からの声掛けを行っています。禁煙外来に関しては、健保から実費全額の補助を出しており※1実際に利用して、卒煙へのステップを歩んでいる従業員から、頑張っている声も届いています。

※12021年9月30日まで

全従業員の意識への働きかけが課題

健康経営の取り組みは、会社と全従業員が問題意識を共有して取り組んでこそ効果があると考えています。また、一つのテーマにおいても男性と女性とで意識の乖離があったりします。健康経営の取り組みが「大きなお世話」とならないためにも、従業員からの意見を多く聞き、それぞれの人生が充実したものになるように、今後は一歩踏み込んだ活動をしていきたいと考えています。最近では新入社員の頃から健康意識を持ってもらうために、管理栄養士による研修機会を設け、目標を決めてフィードバックを行うといった、栄養教育の環境も整えています。

食の課題解決のために…ガーデン部発足に注目！

弊社は、同好会活動にも力を注いできた歴史があり、野球や茶道など、多くの従業員が参加してきました。同好会への参加は、従業員自身の健康への一助となると考えています。しかし、昨今は参加者も減少し下火に。そこで、規程を改定し、参加、継続しやすい環境を整え、2020年度にリスタートを切りました。園芸の経験があるメンバーが中心となりガーデン部が新たに発足、自社ビル8階の空きスペースがガーデニングフロアへと変わりました。今では様々な作物が栽培されており、開放感もあり従業員の憩いの空間となっています。健康的な食事を自社で従業員に提供できればと日々考えておりますが、収穫した作物を従業員で楽しみながら食事をとるというようなサイクルが出来たら良いなと思いますし、これからが楽しみです。

今後の展望

今後ますます多様に変化していく社会の一員として、弊社が存続していくためにも、従業員全員の力が必要不可欠です。病気になってから、メタボになってから、ではなく、森下仁丹に入社したその時から、健康への様々な取り組みが必要と考えています。そのためにできることは何なのか、常に自問自答しながら、会社と全従業員が一丸となって、これからも健康経営の取り組みを続けていきたいと思っています。

綺麗な
ガーデニング健康経営担当者
郡司かおる様ガーデン部の
みなさま

／ ケーツーエンジニアリング株式会社

代表取締役
秀平健二氏

社員と共に進化し続ける企業であるために身体も心も健康作りを！

- 代表取締役 秀平健二氏
- 本社所在地 大阪府大阪市平野区長吉六反
- 主な事業内容 電気工事業、電気通信工事業
- 従業員数 21名(男性:14名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

働く上で、“体は資本である”と実感

職人という立場で考えると、身体を壊した時点で職を失う将来的な不安を抱いていました。しかし健康な期間を維持することの大切さは理解しながらも、仕事を優先する日々が続きました。その中で、会社設立から共に歩んできた従業員が、健康診断で生死にかかわる病気を発見し、九死に一生を得ました。今まで健康診断は最低限の項目だけで良いと考えていましたが、その経験から本当の意味で健康の大切さに気付き、経営者として一つ一つ取り組みを進めるようになりました。

若手でも実践が積める環境づくりを目指して

自分たちの時代は先輩の技術を見て覚え、自分のものにしていく世界でしたが、非効率な面もあり、何より安全面の配慮がありませんでした。社員全体の技術が向上すれば大きな利益に繋がります。そのことから職人の経験を若手に伝える場として電気基本講習会を開いています。わからないところや難しいところは気軽に先輩に聞ける雰囲気を作りたいと、本番に近い仮想店舗を作り、仕事をしながらも社員が積極的に学べる環境を作っています。

会社敷地内にジムを作り、体作りとストレス発散

管理職として管理スキルを磨くことは、体が資本である職人が職を失わない為の対応策と思う部分もありました。しかし、現場で汗を流している社員の方が身体的に健康だと気付き、私自身も汗を流そうとジムに通った時期もありますが、移動時間を要し結果的に続きませんでした。それならばと、社内にトレーニングジムを作りました。今では多くの社員が週に1・2回は利用しています。女性向けの器具もそろえ、シャワールームも完備し、心身ともにリフレッシュできる場となっています。社員全員が健康で生き生きしていることを願っています。

目先の利益より、10年後にプラスになる会社を…

あくまでビジネスなので、綺麗ごとだけではなく、利益の追求は至上命令です。ですが、利益だけの追求は少しちがうのではと考えます。目先の利益が出たとしても、10年スパンで勘定したときにその行動はマイナスに転じることもあり得ます。私たちは現場に出て仕事をする職人の会社であり、いくら工具が進化してもそれを使うのは人間で、人間が主役となる商売です。その人間こそが財産であり、より良い環境で仕事を続けられることが主役を支え育てることとなり、その結果、利益につながる会社でありたいと思います。

喫煙ルームも作り、
しっかりと分煙しています

会社と社員の関係は“5分と5分”を買いっていく

会社は利益を求め、社員は給与を求めるのは当然です。会社は社員のために環境を整え働きやすい場を作り、社員は自分の立場でできること・求められることを果たしていくという、互いの使命を全うすれば5分と5分の関係は成り立つでしょうし、良い人間関係なども作れると確信しています。ただ口で一方向的に説明するのは簡単ですが、社員の心に本当に伝える事はとても難しいものです。一番意識していることは『自分が変わる・自分が動く』こと。そうすれば説得力も出て、必ず伝わります。今、社員は行動で応えてくれています。健康経営もそうした思いを伝えられる取り組みであると思っています。

社内に創設したトレーニングジム
“レッドブル”

代表取締役
山路晃誉 氏

「私たちに関わる全ての人の幸せを探究していく」を実現するために！

- 代表取締役 山路晃誉 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市中央区日本橋2-13-13
- 主 な 事 業 内 容 業務用寿司海苔、関連副材料の販売
- 従 業 員 数 35名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

社員の高齢化が進む中、社員の健康維持のため健康経営に取り組む必要を感じました。

社員の高齢化が進む中、自社で長く、元気に働き続けてもらうために社員全員の健康を維持していくための取り組みの一環として健康経営に取り組みました。

経済的な要素だけでなく、会社が社員に向けて働きやすい環境を提供することを優先的に考え、メンタルヘルスケア分野における福利厚生メニューの拡充に積極的に取り組みました。

「福利厚生メニューの拡充」に積極的に取り組みました。

- ①高度医療機器を活用した自律神経＆心身の健康相談
カウンセラーによる個別カウンセリングの実施、
高度医療機器を活用した自律神経の測定を実施。
- ②除菌効果のある消毒液をオフィスに設置し、手指消毒、
設備の消毒の徹底、様々な原因物資の予防対策を実施
事務所内、社員自席間に飛沫感染防止のボードを設置
- ③従業員向け【保健師による健康相談窓口】の設置
- ④健康診断の受診率100%の促進

福利厚生メニューの充実で健康経営の取り組みを社員全員に理解してもらえました。

福利厚生メニューの充実で社員全員の健康意識が高まりカウンセリングにより社員個別の疲労度が見える化ができ客観的な事実を基に現状を知り、自身の健康状態を意識してケアをしてもらうきっかけを作ることができました。感染対策の徹底で新型コロナの感染者0名を継続中です。健康経営の取り組みが従業員だけではなく社内外に良い影響を与え会社のイメージアップにつながっています。

【新事業】水耕栽培が主体の農園事業を開始！

本業の海苔卸売業に加え、昨年より水耕栽培を主体とした農園事業を開始しています。事業として取り組むだけでなく、営業及び事務社員のグリーンセラピーを兼ねた研修の一環として、日常のデスクワークなどの仕事内容とは違い、緑に囲まれた中で作業することで、収穫などの作業を楽しみながら精神や身体が癒されます！その結果、社員のストレスが軽減され生活の質の維持・向上などいろいろな健康上の効果が期待できるように取り組んでいます。

今後の展望

これから数十年後先も継続的に地域貢献できる企業として存続していきます。経営理念である【私たちに関わる全ての人の幸せを探究していく】その為に全ての社員の体と心の健康を保てる職場環境を創っていきます。社員の幸福感がすべてに影響すると考え、一人ひとりの満足安心感をこれからも最優先で考えていきます。



水耕栽培の様子

代表取締役社長
有本靖男 氏

「一度持った人と人との繋がりを大切に、社員を大切にする会社」
を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長 有本靖男 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市中央区南本町4-3-16-1002
- 主 な 事 業 内 容 ソフト受託開発
- 従 業 員 数 45名(男性:39名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営とHNSとの繋がり」

様々な人と関わる仕事が多く、人と人が接し合うことが多いからこそ、コミュニケーションの一環でメンタルケアを日々行っておりまして。その時、健康経営という取り組みを知り、まさに日頃から、弊社の取り組んでいる内容と経営方針が合致し、プラスになる要素が多くありましたので、取り組む必要を感じました。

まずは「メンタルヘルス」から取り組みを

弊社はメンタルヘルスに特に注力しています。悩みごとや日々の精神的変化に気づき情報を出すようにしています。個別相談もしています。話す機会を設けるだけでなく、何かに気づき、話しをするようにしています。それでも、まとまらない場合は個別にクリニックに同行して対処しています。今後はテレワークでどのようにコミュニケーションを取り、メンタルヘルスケアを行っていくのか工夫が求められると思います。

社員が永く働ける会社作りのために

弊社は社員との繋がりを大切にしておりますので、この先も安心して勤めていけることができる会社になればと思い、様々な取り組みをしております。特定保健指導と会社負担での予防接種は特に力を入れております。病気と治療と仕事の両立のために、これからも取り組んで行きたいと思っています。

社員の声はきちんと反映する！

当社は過去に社員の意見を聞いて、就業規則を変更したことがあります。健康経営は会社と社員が一丸となって取り組んでこそ、意味がある取り組みです。決して身構えることなく、全員が意見を出せる環境を用意していきたいと考えています。これからも社員の意見と取り組みを聞いて、社員が辞めない働きやすい会社を目指して行きます。

今後の展望と課題

- ① コロナ化で働き方が激変し、在宅ワークと出社型と分けているので、特に目の届かない在宅ワークの社員のメンタルサポートを強化したい。
- ② 健康課題へチャレンジし続けるよう、セミナーや情報共有などで環境の整備をしていきたいと思っています。
- ③ 人と人との繋がりを大切にし、お客様の満足と社員の幸せを両立する企業を目指します。



2021年5月18日健康セミナー実施
講師は協会けんぽ、
テーマはメンタルヘルスのリラックス上手になろう
(体操、ストレッチ)

大阪ウェルディング工業株式会社

代表取締役社長
魚谷徹生 氏

信頼の和を広げ豊かな職場をつくろう。

- 代表取締役社長 魚谷徹生 氏
- 本 社 工 場 大阪府茨木市安威2-20-11
- 滋 賀 工 場 滋賀県甲賀市水口町宇川1426-10
- 主 な 事 業 内 容 耐摩耗・耐腐食・耐熱・
その他金属表面改質及び精密機械加工
- 従 業 員 数 60名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

30年前から続く「健康体操」、そして健康経営へ

弊社では健康増進を目的に、就業前に会長が考案した「健康体操」を30年前から実施しています。毎日体操をすることにより、「健康寿命の延伸」という概念を従業員に意識してもらいたいという思いでずっと続けています。

人生100年時代、毎日頑張っている社員がこの先も豊かな人生が送っていただけるように会社として支えていきたいと考えています。そんな時に健康経営と出会い、更に健康へ意識を向けるべく取り組みを開始しました。

健康診断の徹底、各人の課題を明確化！

健康診断を毎年1月の中旬に実施しています。年の始まりである1月に実施することが大事で、健康管理を重視しているという意識づけができます。

協力会社の人も含めて、関係する従業員全てが受けて各自の健康管理についての課題を明確にする大事な機会です。心身ともに健康的な社員を育成して、新しい時代に備えていきたいですね。

健康管理士の会長が従業員の健康指導を行う！

今年86歳になる取締役会長が3度目の挑戦で健康管理士1級指導員の資格を取得しました。

メタボリックや食生活に関わる項目でD判定があった社員に会長自ら面接して、食生活改善について適切なアドバイスしています。

外部機関に任せるのではなく適切な指導、ヒアリングまでを一貫して自社内で行うことにより、従業員からも相談しやすい環境になると嬉しいですね。

86歳で健康管理士
1級を取得された、
取締役会長
魚谷禮保 氏令和元年度 滋賀県健康寿命延伸プロジェクト
表彰事業 企業・事業者部門(健康づくり分野)
最優秀賞受賞

衛生委員会を組織して本来の仕事とは別に自主的に活動を行っています。適宜、衛生委員が社内を巡回して改善すべきところなどをチェックして委員会に持ち帰り、迅速に対応出来るように努めています。

QC活動も活発に行っています。

標語のコンテストでは定年退職後の社員も参加して年1回開催しています。

改善コンテストも開催するなど、総合的な活動により生産性が向上したことに見合う独自の報奨金制度を取り入れることにより、結果的に収入が増えて残業時間が減少しました。これらの取り組みが認められて最優秀賞の受賞となりました。

今後の展望

まず初めに社員やその関係者が経済的にも肉体的にも精神的にも健康を維持して将来にわたり長く持続可能な経営をめざしていきます。

そのためには、会社組織のコアである人材の一人一人があらゆる面での健康の改革改善を常に意識して新し時代に適応できる形に進化していかなければならないと考えています。

したがって、これからSDGsの目標をめざして、ほんのわずかな1部でもいいから世界に役に立つ会社を目指します。



代表取締役
平見 剛氏

健康な送りを創造するグローバルな企業として発展するために

- 代表取締役 平見 剛氏
- 本社所在地 大阪府大阪市平野区平野北
- 主な事業内容 プラスチック製品の製造販売、搬送装置及び
定量供給機製造販売業
- 従業員数 15名(男性:11名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

求められる企業になるために、 健康経営に取り組む必要を感じました

昨年求人を考えていた際に、インターンシップの大学生の皆様と交流する中で、若い世代の求める会社像と健康経営に取り組む会社のイメージがマッチしていることが分かり、今後求められる企業となるには必要な取り組みであると感じました。取り組みによりしっかりと長く働いてもらえる方が増えると、優秀な人材の将来的な確保につながり、財産にもなると思いました。また、今いる社員の会社への意識を向上するきっかけにもなり、自分たちの健康面のことも考えてくれる会社だと思ってもらえると、社内の雰囲気もより良くなると考えました。

社員の体にも心にも改めて目を向けることから

まず、社員全員にカウンセラーと面談の機会を設け、悩みなどを吐き出してもらい、少しでも心の負担の軽減ができるような取り組みを行いました。また、整体師を呼び、身体の傾きを測定したり、歩き方から身体の状態をチェックし、さらにその診断に合わせてマッサージを受けてもらいました。私自身全ての業務を経験し、部署によって身体への負担が違うということを知っていましたが、それに合わせた身体のメンテナンスに気を配ることにもつながりました。

現状や効果の分かりやすい取り組みで、 社員一人一人の意識も高めて健康習慣を継続していく

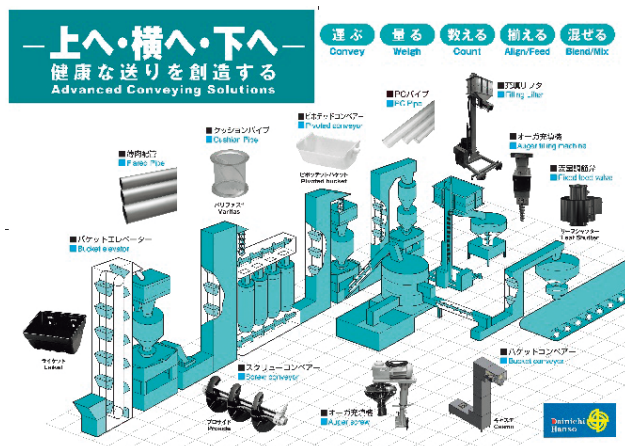
外部のサービスで、野菜の摂取量を知る機器を社員全員で体験しました。手を置くだけで分かりますし、社員の反応も良かったです。それから社員全員に野菜ジュースを配布し、食事面でも健康面に気を配るよう働きかけました。ある人は以前にこの機器を一度受けたことがあり、数値の変化が少なかったため、今後改善しようと思ったようです。次回も来てもらい、数か月後に数値がどのように変わるかが目で見て分かるので、自分の健康状態や今後の健康意識を改善しやすい取り組みだなと感じました。

海外のスタイルを自社にも積極的に取り入れる

外国籍の社員の採用にも力を入れており、現在10か国語に対応しています。留学生インターンシップも多く受け入れ、海外への発信力の基盤を作っています。また、今の日本では何かを作る際に、各々の企業が自社の担当のもののみ担当し、どこもリーダーシップをとってまとまって動くということがなかなかできていません。しかし欧州などではリーダーとなる企業が各所に声をかけ、スピード感一体感のある対応ができる体制作りをしており評価されています。自社もそうした仕組みを取り入れ、今後は広い分野で仕事をとっていきたいと考えています。

海外へ日本の新たなモノづくりのシステムを発信し、 グローバルな会社に向けて

世界各地に出向いていますが、“ものづくり”は日本と海外では方向性の違いもあり、すでに海外に遅れをとっていると考えています。性能やスピード、コスト面でも世界で勝つために、幅広い知識と技術、システムで仕事を取る柔軟性など、世界で渡り合える力を育んでいきたいと考えています。そのためにも、健康経営を通して、社員が生き生きと存分に力を発揮できる体制をしっかりと築き、社員も会社と共に長く成長していくことができるようにしたいと思います。



大阪府
大阪営業所Voice Report
80th代表取締役社長
南 仁 氏

全従業員が元気になれる会社を目指して！

- 代表取締役社長 南 仁 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府大阪市港区弁天6-4-31
- 主 な 事 業 内 容 製造業
- 従 業 員 数 12名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

近畿経済産業局から話を聞き健康経営を知りました

弊社で健康経営の取り組みがスタートしたのは3年ほど前からです。近畿経済産業局から健康経営の話を聞いて、これは自社でも取り組むべきものだと感じました。多様化していく現代の環境の中、昨年からコロナが蔓延しており、日本の工業の元気もなくなっているように感じます。働いている従業員も同様です。従業員が元気に働き、将来に明るい未来を掲げてこそ会社も元気になると思います。その思いから健康経営の取り組みを進め、リビングラボ大正・港のサポートのおかげもあり、今回優良法人認定を頂くに至りました。

禁煙に向けて注力しています

『女性活躍リーディングカンパニー』を取得しており、今後は女性の登用を増やしていきたいという思いが強くあります。そこで問題となったのが喫煙率の高さです。社長自身タバコを吸っていましたが、今後の体の健康のことを考えて止めたので従業員との個人面談の際には自身の経験を踏まえて相談に乗るようにしています。社内ルールの強化として社内禁煙を開始し、協力してくれている従業員に感謝しています。そのような取り組みを続けていて、各個人が吸っている本数・時間が減っており、会社が綺麗になっていると実感しています。

従業員との意見交換は大切

健康経営を続けていく上では、従業員にも積極的に取り組んでもらい意見を出してもらう必要があると考えています。なるべく個人の意見が出しやすいように、面談の機会を多く設けています。言いにくい人もいると思うので、『みんなの意見を聞くことが会社が良くなるために必要なこと』と伝えて忌憚ない意見を言ってもらえる環境づくりを行っています。各個人から出た意見を社長が責任をもって、他の従業員に共有することで全員が声を出し合いながら会社を良くしようという環境が出来てきていると思います。

運動機会の創出のために全員で趣味づくり！

運動不足の従業員が多い事も弊社の今後の課題だと認識しています。『太らないように運動していこう』と社長から声掛けを行い、みんなで趣味をつくっていこうと動いています。過去には山登りを有志で行い、コミュニケーションの場としても盛り上がりました。今後も様々な運動を全員で取り組んでいくことで、楽しんで継続していきたいと思っています。

今後の展望

弊社は昭和23年より歯切一筋で技術と知識を培ってまいりました。小さな町工場ながら、500社近いお客様に支えられ、現在に至っております。社外だけでなく、社内の従業員にも大きく支えてもらっているのがあります。他社に出来ない弊社独自の長尺歯切り加工技術に誇りをもち、この先も弊社で長く働きたいと思ってもらえるように、健康経営の取り組みを進めながら元気な会社として在り続けたいと思っています。従業員一丸となってい会社を目指します。



登山の写真



個人面談の様子

代表取締役社長
葛村安弘 氏

「従業員が家族、友人・知人に誇れる会社」を実現するために！

- 代表取締役社長 葛村安弘 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府堺市美原区今井348-1
- 主 な 事 業 内 容 金属熱処理加工業
- 従 業 員 数 96名(男性:85名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営の目指すところが、 弊社の目指す取り組みと合致していると判断。

従業員が元気に生き活きと働けるように永年にわたり職場環境・労働環境の整備に取り組んできましたが、アクサ生命保険の担当者から【健康経営】のことを聞き、【健康経営】への取り組みが、まさに弊社の目指すところに合致していると判断して、優良法人認定の取得を目指しました。従来からの取り組みをさらに充実したものに、ワークエンゲイジメントの向上を図ります。

従業員の健康を維持するために まずは取り組みそうな課題を検討することに。

従業員が持てる能力を100%発揮して、やりがい・働きがいを感じて仕事をやり遂げ、プライベートの時間も充実したものにするためには【健康であること】が大前提です。従業員が健康であるために様々な取り組みをしてきましたが、健康経営を進めていくうえでさらに何かすべきことはないかという意識が高まってきました。そこから健康診断の検査項目をより充実させた内容にすることに取り組むことを優先事項と判断しました。

職場環境・労働環境をさらなる充実したものに！

熱処理加工業の職場環境・労働環境の大きな課題は、なんといっても夏場の暑さ対策です。早くからファン付作業服の導入や大型ファンの設置、水分補給・塩分補給のためのスポーツドリンクや塩飴の常備等の対策を講じてきましたが、新たに直射日光による温度上昇を抑制するために、工場の屋根に遮熱塗料を塗布しました。熱中症の未然防止としては、従業員同士がお互いに体調管理には気を配ると同時に自己申告を促し、不調が見受けられたら早めに休憩・休養を取るようにする体制を整えています。

大切な従業員とその家族の喜ぶ笑顔が 会社の原動力であるとの信念を持って！

福利厚生として、従業員だけではなく家族にも喜んでいただけるようにバーベキュー大会やバスツアーなど年に数回家族会を開催しています。家族会の参加者は奥さん・お子さんはもちろん、最近ではお孫さんの参加も見られるようになり、とてもアットホームな会になってきました。また、家族に対して、家族の支えを大切と思う気持ちから、毎月の給料日には社長自ら感謝の念と会社の現状や取り組みなどを伝える文書を届けています。

今後の展望

企業が未来永劫発展を継続するためには、人財の確保が必要です。人口減少に直面している現状では大きな課題になるのは必然です。健康経営に取り組むことでワークエンゲイジメントを向上させ、生き活きとやりがいを感じて働く親の姿を見て、子供が入社したいと思う会社、従業員がやりがい・働きがいがある会社と感じて、友人知人の入社を勧めてくれる会社。このような会社に成長させることが経営者の責務と感じております。



大阪府
大阪東営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
池田悦洋 氏

従業員の健康も「喜びを共有する」ために！

- 代表取締役社長 池田悦洋 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府東大阪市本庄西2-2-31
- 主 な 事 業 内 容 一般機械器具卸業
- 従 業 員 数 40名(男性:32名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定「きらきら感」を創出し、社員が会社のことで
自慢できる何かを創ってあげたい。

以前から、一所懸命頑張っている従業員に何か家族や友達、取引先に自分の会社のことで自慢できることをたくさんつくってあげたいと思っておりました。そうすることで会社への帰属意識が高まり愛社精神の育成にもつながると考えて、2017年頃から「きらきら感の創出」と名付けて様々な取り組みを行い始めました。そんな中、昨年取引先であるアクサ生命から今の取り組みや想いが「健康経営優良法人」の認定につながると聞きこれも従業員の自慢できることの一つになればと挑戦することになりました。

社員の憩いの場コミュニケーションの場として
休憩室を改装しました。

まずは来客時お茶出しをする女子社員の負担を軽減するため、ミーティングルーム付近に給茶機を設置、お茶出しはゲストを迎える各自が対応するようにさせました。同時に、水道水を沸かしたお湯を飲用としていたものを社員の健康への配慮からやめさせ、オフィス、倉庫、社員食堂等にウォーターサーバーを設置しました。次にウォームビズ期間に使用する防寒事務着をひと工夫しました。名刺のデザインをベースにワッペンを作成、社員の希望からワッペンを角型ではなく丸型にし、胸元ではなく肩口に配し少しカジュアルなイメージにしました。社員の反応は上々で、社外の方に肩口のワッペンを指さし、うれしそうに話す姿をよく見かけました。また、社員が休憩時間にリラックスしてゆっくりくつろぎながらコミュニケーションを深められる場を提供したいと食堂兼休憩室を大きく改装しました。会社内のオフィスとはできるだけ違う雰囲気になりたいとアメリカンダイナーのような空間を演出しました。完成した時は社員一同驚いていましたが、今は評判も良く当社をお訪ね頂いた方々にも利用したいと言っています。ここでは栄養を考えた総菜を用意し社員に安価で利用してもらっています(現在はコロナ禍で提供を一時休止)。食材と飲料水の備蓄は、社員の昼食の充実のみならず、万一の災害への備えにもなると考えています。

コロナ感染防止対策を徹底しています。

当社では現在コロナの感染防止に最も力を入れています。リモート在宅勤務、オフピーク通勤のための時差出勤、非接触型検温機にての健康状態の確認、マスクの配布、消毒液の設置、定期的な消毒作業など徹底しており、お訪ね頂いた方々からも安心できると評価頂いています。また、来客の招致を自粛されているお客様との面談をオンラインで行えるようリモート対応した会議室を新設しました。

さらなる推進のため取り組みたいことが
たくさんあります。

今後取り組みたいのが「頑張るルーム」の設置。一定時間電話や来客等の取次を一切排除し、資料づくり等に集中できる環境を提供したいと考えています。他にも社員の健康や集中力を維持向上させる取り組みを続け、結果として社員のポテンシャルをもっと引き出し、会社としての生産性の向上につなげていきたいと考えております。

オフィスとは異なる空間を演出した
カフェ&休憩室

大阪府
大阪東営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
青戸宣暁 氏

従業員には皆、定年まで元気で笑顔で勤めあげてほしい

- 代表取締役社長 青戸宣暁 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府八尾市太田7-18
- 主 な 事 業 内 容 バネ、線加工の設計・製造・販売業
- 従 業 員 数 43名(男性:30名・女性:13名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

不幸な出来事で健康経営の重要性を認識しました。

当社で以前50代前半の従業員が帰宅途上に倒れ、闘病に専念したいとのことで残念ながら退職せざるを得なくなった出来事がありました。定年まで勤めあげてくれるものと思い込んでいましたので大変ショックを受けました。また、会社の経営上の影響も大きく、改めて社員の健康が第一であることを思い知りました。そんな折に、八尾商工会議所から健康経営の取り組みについての案内があり、支援を受けながら「健康経営優良法人2021」認定を目指してみることにしました。

そして社長自ら全員集合した折に「健康宣言」をし、具体的な健康経営の取り組みをスタートしました。

体を第一に考えた取り組みを行っています。

運動への取り組みはまず、毎朝のラジオ体操から始めています。ラジオ体操は非常に効率のいいエクササイズなので継続して行っています。ほかにも、コミュニケーションの取り組みも兼ねた「ボウリング大会」等の実施をしたり、クラブ活動である「運動部」へ会社から活動費を補助するなど積極的な支援等行っております。また、無理のない継続できる取り組みとして「通勤方法のsmallチェンジ」すなわち最寄駅から会社までの「自転車通勤」を推奨しています。自転車は会社から貸与を行っており、2kmほどの距離ですので、挫折せず長続きできるちょうどいい運動だと評判も上々です。

また、体を第一に考えた職場環境づくりも積極的に行っております。今般、作業工程の中に無理な姿勢にて足腰に負荷を生じ、痛めてしまう懸念があることがわかりました。早速、作業用のイスを適度な高さに変更可能なものに入れ替えました。



Before



After



ワークライフバランスで仕事も効率アップ

ワークライフバランスは仕事を効率的にすすめるためにも不可欠です。当社では「指紋認証による勤務時間の管理」を徹底しており、長時間労働の発生未然防止に万全を期しています。時間外労働が多くなってきた従業員には原因を特定し、勤務シフトの変更にて対応をしています。また、突発的なクレーム等の業務には一人で当たらずチームで協力するように情報の共有を図っています。有給休暇の取得は年毎に「一斉有給休暇取得推奨日」を決めて、対外的には休日として案内し、取得しやすい環境を整えています。

従業員の健康が会社の財産です。

健康経営は効果の検証が難しいと思います。今取り組んでいることが効果として表れているのか疑問に感じてしまうこともあります。このように、せっかく意識を高めても熱が冷めてしまうことが一番怖いのです。そこで、月に一回品質に関するレポートを全社員に配布していますが、これに健康に関する情報も載せて配布し意識を継続してもらっています。このように今後も健康経営の取り組みは進化させながら、継続し行っていきます。なぜなら、健康経営により、多少の費用がかかったとしても従業員が病気になって会社を休まざるを得なくなったり、休まなくとも業務効率が落ちてしまうコストの方がはるかに大きいのです。そして、何よりも、会社を支えてくれている従業員が皆、定年まで大きな病気やけがをすることなく元気で笑顔で勤めあげてくれることが会社の財産だと思っているからです。



ボウリング大会

従業員に提供している
健康情報

代表取締役社長
福西邦彦氏

「社員の心身・社会的健康が企業の健康につながる」
と捉え健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長 福西邦彦氏
- 本 社 所 在 地 大阪府東大阪市加納5-14-12
- 主 な 事 業 内 容 精密研磨加工及びラップ加工
- 従 業 員 数 13 名(男性:12名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営導入のきっかけ

先代社長より引き継ぎ、何か新しいことを始めたいと思ったところ、アクサ生命の担当者から健康経営の話を知りました。弊社は、社員一丸となって品質向上、安心安全で生産効率の高い職場作りに取り組んでいます。これらを実現していく為の原動力は、社員一人ひとりが心も体も社会的にも健康であることだと思います。さらには社員の健康が会社の未来にとっても重要です。その上で「健康経営」への取り組みは必要不可欠だと感じスタートしました。

定期健康診断・再検査受診率100%！

定期健康診断に関しては、協会けんぽによる一般検診・生活習慣病予防検診を検診バスを使って社内で行っており、受診率が100%です。また、検診時に採取する血液検査では【腫瘍マーカー】のオプションを会社負担にし、「気軽に」検査を受けて頂けるように努めています。その結果、社員自らの健康を知ることができ、健康意識を高めることに繋がっていると思います。定期健康診断の結果、「要再検査」、「要精密検査」など所見ありの方にも、総務で病院の予約をし勤務時間内での受診を促しているため再検査率も100%となっております。その他にも保健師によるご指導も個別に実施しています。

ワークライフバランスに向けた取り組み！

働き方改革により年5日間の有給休暇取得が義務付けられました。従業員の希望するタイミングで取得しやすいように勤務調整をするようにしているので、従業員が有給休暇を計画的に休みやすい環境を整えています。仕事だけではなく、社員のプライベートを充実させることにより、社員のワークエンゲイジメントも上がりそして生産性の向上に繋がるといったメリットも出てきます。さらに、残業に関して、事前申告制度を取り入れたことで、時間外労働が減り、休日出勤もほとんど無くなりました。

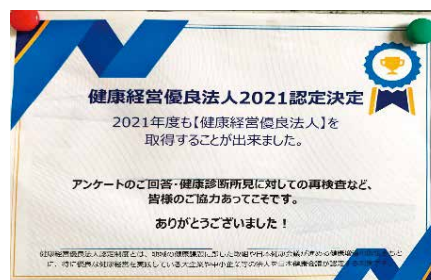
コミュニケーション不足に陥らないように リフレッシュの機会を会社が作る

今は中止していますが、社員のコミュニケーション促進を目的としたイベントとして毎年慰安旅行や慰労会等を実施していました。弊社は少数精鋭の会社ではありますが、普段接する機会のない社員同士が交流することでコミュニケーションの促進を図ることができています。特に、慰安旅行は社員同士がお互いに、精神的にも物理的にも仕事から離れて接することができる機会です。良い意味で、社員同士の距離を縮めることができたり、チームワークの醸成に繋がったりします。さらに、仕事に戻ってからも良好なコミュニケーションを生み出しています。

社員旅行時の集合写真！
(コロナ禍以前のもの)

今後の展望

感染症予防については不安を与えないようアクリル板、非接触体温計、消毒液の設置等に加え、社員全員のPCR検査も実施し、徹底しております。今後も、感染症予防を継続しながら、社員の健康を優先し、より良い会社となるように社員一丸となり、組織の活性化を目指します。さらに健康経営の取り組みを促進させて新しい人材の採用にも繋げていきたいです。人がすべてです！今在籍している社員、そして将来入社する社員のすべてがイキイキとした職場環境作りを目指していきたいと思っています。

掲示板に優良認定の決定のニュース
を貼りだして全員で喜びました。



「健康と経営の一体化」を実現するために！

- 代表取締役社長 早崎正憲 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府門真市柳町20-10
- 主 な 事 業 内 容 一般貨物自動車運送業
- 従 業 員 数 29名(男性:27名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康はひとりひとりの人生の基盤です。

当社では経営理念として「わたしたちは、物流業を基幹としてお客様と社会の繁栄に貢献し、社員の幸福と会社の発展につとめます。」を掲げております。この理念を実現させるためには「全従業員が毎日健康で働けること」が大切な要素であるとともに「健康」は業務活動にとどまらず、ひとりひとりの人生の基盤であると考えております。そこで平成30年に経営方針の「全員活動」として『からだ』と『こころ』の健康を維持する」と謳い本格的に健康経営の取り組みを始めました。

そんな中、令和元年に「健康経営優良法人」認定制度のことを知りさらなる取り組みの強化を目指し挑戦することになりました。

運動の増進、熱中症対策に取り組み始めました。

当社の運動増進への取り組みは、職場内にトレーニングルームを設置し休憩時間などの利用を促したり、毎日朝の点呼の際に体重、血圧を測定していただき、記録を残すことで運動への意識の継続を図っています。特に、毎月20日を「運動の日」と定め全社員で運動の意識を持ってもらっています。

また、昨今の夏場の「熱中症対策」も重要な健康経営課題の一つとなっております。まず、作業服を厚手のポロシャツから速乾性のあるTシャツに変えました。そして次の段階としてヘルメットにおいても、遮熱効果のあるものに変更すべく現在テストを行っています。



トレーニングルーム

従来のヘルメット(左)
遮熱効果ヘルメット(右)

健康診断結果を健康に向けての行動変容を促す重要ツールとして活用しています。

当社では、2023年に健康診断結果にて生活習慣病による要治療指摘者をゼロにすることを目標に掲げました。そこで、健康診断データを健康に向けての従業員の行動変容を促す重要なツールと考え活用するようにしています。まず、健康診断を会社に非常に近い病院で手配し100%実施できるようにした上で、健診結果を専用システムを使い一元的にデータの管理をしました。そして、結果に基づき健康づくり担当者が個人面談を行い、健診結果を確認の上課題を共有し、解決への取り組みについて話し合い、具体的な取り組みを決定します。その上で「健康指導記録票」(下表)として記録を残し、以後定期的に取り組みの進捗状況を確認して次の健康診断での改善につなげています。また、この度、改善取り組みへのインセンティブとして「健康評価制度」という健康診断結果が優良である項目ごとにポイントを付与し、ポイント数に応じて表彰をする制度を設けました。健康診断結果の改善に向けた意識が継続され、行動を促すようにしております。

経営トップの旗振りのもと

全員で今後も取り組みます。

当社で健康経営推進が上手くいっているのは、やはり経営トップの旗振りがあったからこそと認識しています。前述の経営方針として明確に健康経営の取り組みを宣言したことが大きいと思います。ただ、当社の課題としては「メンタルヘルス」や「女性の健康増進」についての取り組みが残っており、従業員の意識も健康についてようやく興味をもてた程度ではないかと思っております。それでも、社内で健康に関する研修会を開催したあとの懇親会では健康に対する話題で花を咲かせ大いに盛り上がっています。今後もこんな雰囲気でも明るく楽しく一歩ずつ健康経営を前に進めていきたいと思っております。

健康指導記録票					
所属	職種	社員番号	氏名	性別	年齢
大阪北合同運送株式会社				男・女	歳
社内運動チーム	総務・システム・LDL				
日 時	2021 年 月 日 () 時				
測 量 者	健康診断受診日	2021 年 月 日 ()			
	測定結果				
	測定結果				
健康・体調管理や精神衛生など、業に与えることではありません。					

健康診断記録表

大阪府
大阪東営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
島田真輔 氏

社員それぞれがこの会社で働いて良かったと思える会社に！

- 代表取締役社長 島田真輔 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府八尾市泉町1-93
- 主 な 事 業 内 容 製造業(ジーンズボタン・ジーンズリベット・
ホック・ハトメなど)
- 従 業 員 数 45 名(男性:32名・女性:13名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

1人1人の健康が最高のパフォーマンスになる！

2年ぐらい前に私の知り合いが「健康経営」に関する本を出し、健康経営について知りました。また、会社が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな期待ができること。そして、お客様に安心を届け、選ばれ、成長し続ける会社であるためには、その原動力となる社員の健康増進が必要不可欠だと感じておりました。そんな中、アクサ生命の担当者から実際に話を聞き、取り組むことを決めました。

コミュニケーションの促進・ワークライフバランス

社員とのコミュニケーション活性化に向けて、創業から取り組んでいることがございます。それは、月末の最終営業日の夕方に夕礼を20分ほど行い、そこで、誕生日月の方に旬で素敵なプレゼントを贈呈し、一言スピーチを行っています。また、3年ほど前から有給休暇の取得促進に向けて「誕生日休暇」を会社として設定しました。朝礼時に社員のみんなにアナウンスしたりすることで、社員間同士のコミュニケーションも以前よりもさらに良くなりました。今後もさらに働きやすい環境作り、会社行事への社員の参画意識アップに向けて、日々精進していく次第です。

食生活に関する取り組み

日々の食事は社員の健康に大きく影響するので、社員食堂によってカロリー計算されたメニューで栄養管理をおこなえば、病気にもかかりにくく健康的に働くことができるようになると思います。また、多くの人が集まる社員食堂では、普段なかなか話せない社員同士でのコミュニケーションも楽しむことができるので、人間関係も円滑になりやすく、リラックスした気持ちで仕事ができるようになっていると実感しております。

	昼	夜
	17	18
弁当	肉屋仕立てのミンチカツ 鶏肉のカレー照り焼き 味噌汁 漬付け海苔 漬付け カレー風味の野菜炒め さくら漬 小松菜の辛子和え しゅうまい	牛肉のオイスター炒め レンコンのはさみ揚げ イカの塩焼き ピクルス 坦々風春雨 赤かっぱ 納豆 白煮とわさびのお浸し
	184kcal - 542kcal 蛋白質 21.7g 脂質 17.5g 炭水化物 76.4g 食塩 3.5g	184kcal - 555kcal 蛋白質 26.7g 脂質 16g 炭水化物 72.5g 食塩 3.7g

社員食堂のメニューに
カロリーなどを表示！

今後の展望

弊社は創業から金属プレス加工のパーツ部分を主に取り扱っていましたが、これからはパーツ(部品)のみに限らず、完成品まで製造していきたいと考えています。そこで、20代の社員を中心とした「未来プロジェクト」をスタートさせ、いままでにない発想をもとにした製品作りにも力を入れています。さらには、弊社の経営理念でもある「良質、高機能、ファッショナブルなカネエム商品の提供を通じて社会に貢献する」ためには、我々自身が健康でなければならないと考えております。健康経営に取り組みながら、社員の健康と夢の実現が叶えられる企業に成長していきたいと考えています。

感染症予防の徹底

感染予防対策として、手で押すプッシュ式アルコール消毒液を事務所入り口に設置していましたが、「ポンプを押すときに触れるのが…」と不安を抱き、使用するのを躊躇する方がいました。そこで、弊社では「ペダル式アルコール消毒液噴射機」に切り替えました。靴のまま踏み込むことができ、より安心して使用できるようにしました。

ジーンズ等の服飾関連資材に使われる「ジーンズボタン」、
「ジーンズリベット」、「ホック」

代表取締役社長
高梨憲春 氏

会社の信頼を勝ち取るために従業員の健康を守ります！

- 代表取締役社長 高梨憲春 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府守口市南寺方東通3-13-23
- 主 な 事 業 内 容 合成樹脂の精密切削加工業
- 従 業 員 数 32名(男性:24名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

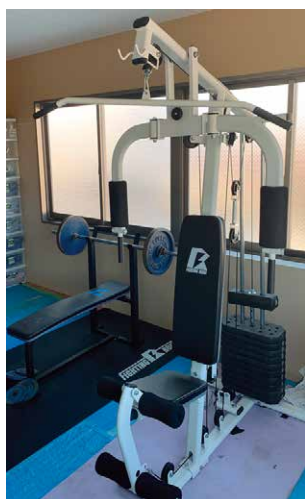
健康経営優良法人
2021 認定

ものづくりの会社であるからこそ 健康経営に取り組む必要を感じました。

当社は昭和44年に大阪市内にて合成樹脂の切削加工の「ものづくり」業者として創業し半世紀を超えました。今も地域社会に愛される企業を目指して、大阪ものづくり優良企業賞「匠」に選定された卓越した精密加工の技術力をバックボーンに常にエンジニアリング思考でも提案力とネットワーク力でお客様のニーズにきめ細かく対応しております。そんな技術力で社会に貢献している当社にとって、その技術の源泉である従業員の健康を維持することが、もっとも重要な経営課題であることは間違いありません。アクサ生命の担当者から「健康経営優良法人認定」の話聞き、これこそ当社の取り組むべきものと考え目指すことにしました。

健康づくりに体力づくりと感染症予防

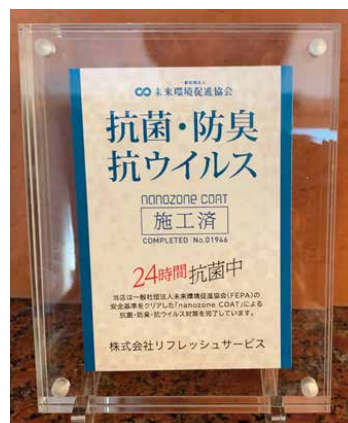
当社では健康づくりのため、運動機会の増進に取り組んでおります。長年全員で朝ラジオ体操し、一日のスタートを切っております。さらに、事業所内に運動器具を設置し休憩時間などに汗を流せるようにしております。また、感染症のまん延防止のため、事務所入り口に手をかざすと自動的に体温測定と消毒液の散布ができる機械を導入しました。加えて、事務所内を「可視酸化チタン光応答形光触媒抗菌」による抗菌コーティングを施行し万全を期しております。



トレーニングルームを設置しました

健康習慣アンケートから課題を発見し 改善の取り組みを行っております。

昨年従業員に健康習慣アンケートを実施したところ不健康な生活習慣をしている従業員が62%もいることが判明しました。特に「食べ物」について改善意識が低い傾向にあることが判明しました。中でも「朝食を抜くことが週に3回以上ある」とこたえた社員が31%もいることは衝撃的でした。当社は比較的に若い社員が多く今は健康であっても将来を考えると怖い結果です。そこでまず、フィードバックのセミナーを実施し、アンケート結果の共有および朝食摂取の必要性を認識してもらいました。さらに体に良い「ウォーターサーバー」を社内に設置したり、管理栄養士からの食事に関するアドバイスが受けられるアプリを全社員に導入しました。今後状況を確認しながらPDCAサイクルを回していき改善につなげていきます。



事務所内は抗菌コーティング施行済みです

従業員の健康が会社の信頼に直結しています。

当社は、顧客からの信頼にこたえることを第一にしております。100%検査し完全なもののみ出荷しており、納期も絶対に守っております。そうした取り組み姿勢が評価されてこまで50年にわたり業務をやってこれています。そうした背景には、従業員が何よりも健康でいて、責任感をもって頑張ってくれたことが大きく貢献したと今つくづく実感しております。今後も、健康経営への取り組みを継続し従業員の健康を守りさらなる信頼を勝ち得ていきたいと思っております。

木田バルブ・ボール株式会社

代表取締役社長
木田浩史 氏

「従業員の物心両面の幸せ」を実現するために！

- 代表取締役社長 木田浩史 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府東大阪市玉串町東3-1-36
- 主 な 事 業 内 容 製造業
- 従 業 員 数 60名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019・2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

会社として長期的かつ安定的にあり続けるためには、まずは社員の身体、心の健康が第一であると考えています。そこで、若い世代の採用や、今、弊社で頑張っている社員がさらに元気に働ける環境を整えるために、まず、弊社で実施していることを整理、確認することから始めました。その結果、優良法人認定の項目は、今実施していることで対応できていました。健康経営(=国が認めた優良企業)に取り組むことで、社員の健康はもちろんのこと求職者への大きなアピールポイントにもなると思い、取り組むことを決めました。

健康診断への取り組み強化！

弊社では検診バスによる健康診断を実施しておりましたが、胃の検査に関してバリウム検査を実施していました。今、ガンは二人に一人の確率でなると言われていることから、より精度の高い胃カメラ検査を受けることで、早期発見が可能となり、社員も安心して働くことができると思いました。そこで、健康診断の受診先を胃カメラ検査が受診できる病院に変更し、さらには、個人費用負担だと受けたくてもなかなか受けられないと思い、会社が全額費用負担しています。

残業の事前承認制の実施

働き方改革の一環として2017年より、残業する際は工場長、総務部長、社長の三人の承認を得られないと残業できない仕組みを作りました。また、事前に、残業の内容や生産個数、見込み残業時間を上司に相談することで無理のない働き方を実現しています。労働時間が短縮されても、社員一人ひとりの労働生産性が向上したことで、今ではほとんど申請する社員はいなくなり、定時の退社が当たり前の風土醸成が実現できてきたと感じております。さらには年々売上も増加しています。時間外労働が削減できたことは、社員のプライベートを充実させることにも繋がり、またメリハリをつけて仕事ができるようになっていきます。

親睦会による社内コミュニケーションを充実

弊社では10年前より、外国人従業員の採用を進めており、現在では現場作業員において多くの割合を占めております。その中で重要となるのが、コミュニケーションの充実です。社内イベントとして社員の誕生日に会社からプレゼントを進呈したり、また、社員のご家族も参加できる社員旅行や納涼会、忘年会等を毎年実施しています。普段の業務でなかなか話す機会のない社員同士のコミュニケーションアップや家族ぐるみで社員同士の団結、一体感を深める恒例行事となっています。

木田バルブ・ボール(株)親睦会
滋賀県近江 2018年9月23日木田バルブ・ボール(株)
ベトナム研修旅行記念CICS見学
2017年3月10日

今後の展望

弊社の企業理念でもある「従業員の物心両面の幸福を追求する」を実現していく上で、社員の健康関心度をもっと高めていきたいと考えています。定期健康診断受診後のフォローなど会社としてサポートし、社員の健康が生産性向上に繋がるように取り組んでいきたいと思ひます。さらには社員の安全と健康の確保は企業の根幹であり、企業存続と成長に欠かすことができない要素なので、今後もより魅力ある企業を目指して健康経営を広く活用し自社の発展、人員の拡大にも繋げていきたいと思ひます。



左:代表取締役社長
永谷 顕氏
右:常務取締役
永谷聖子氏

「社員の心身の健康が企業の健康に繋がる！」と捉え健康経営に取り組む

- 代表取締役社長 永谷 顕氏
- 本 社 所 在 地 大阪府寝屋川市石津元町11-22
- 主 な 事 業 内 容 建設業
- 従 業 員 数 109名(男性:87名・女性:22名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康経営が会社の成長に繋がる！

きっかけは、2年前に取引先の会社が健康経営に取り組んでおり、健康経営について知りました。昨今、労働や時間外労働などが社会問題とされており、働き方改革が求められている時代です。そこで、働き方改革の課題の一つでもある「生産性の向上」につながる重要な取り組みだと思い、健康経営を始めることを決めました。さらには、優良法人認定を目指すことで、社外にアピールすることができ、優秀な人材や若い人材の目に留まりやすくなり、求人において、同業他社との差別化を図ることができると思いました。

社員の健康と家族の幸せを守るために

一番大切なのは、「社員そしてその家族」であると思っています。その中で、社員の健康は会社の健全な成長を支える経営基盤です。社員の健康維持と増進を支えるため、会社一体となり、生活習慣改善、メンタルヘルス対策、喫煙対策など、様々な施策を展開しています。お客様へ「安心と安全」をお届けするには、社員自身も健康で幸せな人生を楽しむ必要があります。今後も、アクサ生命の健康経営のアドバイスをいただきながら社員間のコミュニケーションを活性化させ、健康で幸せな人生を送るための一助になればと思っています。

健康への意識改革！

普段何気なく飲んでいる飲み物は、健康に大きな影響を及ぼしていることを社員に気づいてもらう為に、社内の自動販売機の中身を栄養ドリンク、炭酸飲料などの甘味料が多く入っているものを減らし、トクホやミネラルウォーターの本数を増やしました。また、コーヒーや紅茶に関しても無糖や微糖の物を多く置くように変更しました。社員の健康づくりをサポートし、健康に関する情報提供も行い、健康行動を実践する意識を高めていきたいと思っています。

喫煙率低下に向けての取り組み

喫煙者が多いのも課題の一つです。会社として8年前から禁煙手当など社員が禁煙に取り組む機会を設けており受動喫煙対策として喫煙所を屋外に設置しています。さらには、新卒採用において非喫煙者であることを採用条件としています。

そして、目に見える結果として健康経営の取り組みを開始する前から少しずつ喫煙者への声掛けを行い続け、現在では喫煙率は26%になりました。社員自身のため社員の家族のためにも将来的には「喫煙率0%」を実現したいと思っています。

今後の展望

社員一人ひとりが健康で仕事に集中できる環境を構築することが、会社としての持続的な発展に繋がるものと実感しております。また、健康経営を対外的にアピールしていくことは、優良な人材確保のための有効な手段であり、人手不足解消に繋がるよう益々の健康経営への取り組み拡大をして参ります。

そして、社員自身が今以上に自分の健康に関心を持ち、生活習慣病予防などに努める健康的な生活を送ってほしいです。



会社内の自動販売機に
トクホのお茶を配置



社員全体のヘルスリテラシー向上のために
研修を開催

代表取締役社長
吉川靖真 氏

元気と笑顔が活力となる健康経営の取り組み

- 代表取締役社長 吉川靖真 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府東大阪市池之端町1-25
- 主 な 事 業 内 容 建築工事業
- 従 業 員 数 30名(男性:26名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定健康経営の取り組みのきっかけは
「人を活かす」ことから

「人を活かす」この言葉は、当社が大切にしている言葉であり、経営理念にも掲げています。創業当時は仕事や売上を増やすことに力を注ぎ、人を育てることに未熟で、思いやりを持って、従業員の気持ちにきちんと向き合う姿勢が足りていませんでした。そのため、期待していた従業員が辞めてしまったこともありました。会社をこれからさらに成長させるためにはどうしたら良いのか自問自答を繰り返しました。従業員を大切にし、しっかりと感謝の気持ちを伝えていこう。幸せを感じてもらい個人価値を高めてもらいたい。そして従業員と共に企業も成長していきたいと思い、「人を活かす」ということを今まで以上に念頭に置き、経営の取り組み方を変えたのです。そこから従業員の元気と笑顔が企業の活力になることを実感し、健康経営というものに関心を持つようになり、健康経営の取り組みを開始しました。

トレーニングルームの開設で
健康管理への意識の向上

健康づくりのために、社内に本格的なトレーニングルームを開設し、いつでも体を動かせる環境をつくりました。シャワー室も完備されていて、仕事終わりに汗を流し、気持ちよく帰宅できます。体調管理もできるように血圧計や体重計なども設置しています。社長自らが率先し毎日トレーニングに励んでいて、健康診断の数値にその成果が現れ、食事にも気をつけるようになったそうです。トレーニングルームを開設したことで健康管理に対する意識の向上につながっています。



トレーニングルーム

コミュニケーションで風通しの良い環境づくり

社内でのコミュニケーションを大切にしており、不満や不安を抱えてストレスにつながらないように話せる機会の場を多く設けるようにしています。コロナ禍で今は中止していますが、月に1度「親睦会」の開催や、個人面談の時間も増やし、従業員の心の負担の軽減に努めています。このようなコミュニケーションを通じて、風通しの良い環境をつくり、いつまでも心身共に健康でいて欲しいことが願いです。

健康は個人価値と企業価値を高めるための
重要な要素

心身共に健康であることにより、モチベーションや意欲、集中力のアップへとつながります。健康は個人価値を高めるために欠かせない重要な要素であることの認知度をより一層社内を高めていきたいと思います。そして従業員の元気と笑顔が活力となる健康経営に取り組むことで、企業価値を高め、社会貢献活動を積極的に推進していきます。



社屋



健康セミナーを開催

代表取締役社長
松清潤一郎 氏

「会社の永続的成長に欠かせない職員を守るために」 健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長 松清潤一郎 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府枚方市茄子作東町15-8
- 主 な 事 業 内 容 介護 福祉業
- 従 業 員 数 37名(男性:13名・女性:24名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」を耳にし、取り組む必要性を感じました。

「ご利用者様、ご入居者様の満足度を上げるのは職員の役割であるが、職員のことを考え、守るのは会社の役割である」という私の考えのもと、より良い職場の環境づくり、職員の健康増進のため、退職者からも可能であれば辞める理由など聞き取り、改善できるところはコツコツと取り組んできました。そこへ、知人の同業者が「健康経営優良法人認定」を取得したことを知り、「健康経営」の理念が私の考えと同じであると共感し、健康経営を実践することを決めました。

健康診断受診率100%！

健康経営の推進においては、多種多様な取り組みがあると思いますが、その中でも、職員の健康が大変重要であると考えています。健康診断は社員全員100%受診しています。そして再検査対象の職員は必ずチェックし、検査を受けるように声掛けをしています。また、健康に対して不安のある職員、通院の必要のある職員には業務時間内であっても、必ず病院に行くよう促しています。健康は会社や職員にとって一生の問題であるため、短期的かつ表面的な取り組みに終わらないよう継続的に行う必要があると考えています。

感染症への対応を通じて、あらためて健康経営の重要性を認識

今般の新型コロナウイルスの流行に伴い、職員の健康維持が会社経営に直結することを改めて認識致しました。弊社では感染症予防として、マスクの配布、消毒液、最新の空気清浄機やCO2センサーを設置、フェイスガードの着用などあらゆる対策を施しています。また、送迎車の使用後には必ず消毒を行っています。今後、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、ストレスを抱える職員が出てくるかもしれません。会社として管理職に対してメンタルヘルスの教育を実施し、職員に対しては、カウンセラーによる相談窓口を設けています。

食生活に関する取り組み

日々の食事が健康づくりの基本であると考えています。ご利用者様、ご入居者様の方のために、事業所内の調理場にて栄養士監修のメニューを委託している料亭の方に調理していただき、食事を提供しています。また希望する職員にも提供しています。健康な身体は、仕事効率にも大きく影響するため、日々バランス良い食事を常に心掛けることが大事です。会社としてサポートできることを行い、職員の健康な心身の保持や増進をしていきたいと思っています。

今後の展望

今回、健康経営に取り組んだことで、とても勉強になりました。そして会社として、今後何に取り組むべきか明確に知ることができました。男性の育休取得実績ができた事は取り組み成果の一つです。さらには、ご利用者様に誠実に向き合い信頼されるサービスの追求、そして確実に提供できる職員を育て、企業価値を高めていきたいと思っています。地域社会の活性化、ご利用者様、ご入居者様の幸せのためにこれからも「ヒト」を大切に、成長し続けていきたいと思っています。



2019年 納会時の集合社員！



栄養士献立による豪華な食事です！

代表取締役社長
松浦正治郎 氏

「社員が家族に誇れる」会社に！

- 代表取締役社長 松浦正治郎 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府枚方市東香里元町28-18
- 主 な 事 業 内 容 金属製仮設機材の製造及び販売業
- 従 業 員 数 35名(男性:28名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営を取り組むきっかけ

わが社の理念の一つに「社員の環境を大切にする」がござい
ます。2016年に社長に就任して以来自分の健康を守らない
と会社は守れない。しいては家族も守れないと社員に言い
続けています。また、3K(きつい・危険・汚い)と言われている
業界のイメージを変えたいと思いました。そんな中、九州の
取引先から送られてくる社内報で優良法人認定を取得した
というのを見たり、別の取引先のHPでも掲載されているの
を見て興味を持ちましたが、実行に移せていませんでした。
そこで、アクサ生命の担当者から詳しく「健康経営」の話
を聞き、サポートを受けて挑戦しようと決めました。

感染症予防の徹底

大阪市内から通勤する社員が多いことから勤務時間を短縮
し早帰りするなど、満員電車で配慮した勤務体制に切り替え
ました。仕事柄粉じん対策に以前からマスクを配布してい
たが、マスクが世間で不足していた時期も流通業者をあ
たり海外から購入して確保しました。感染症予防対策に関
して、組織で健康に留意していくことが本人そして家族の
幸せに直結していくものと信じ継続していきます。

社員の健康は「健康診断」の実施から！

「健康経営」、「働き方改革」を推進していくためには社員が
健康であることが大切です。全社員100%実施できるように
定期健康診断受診時の交通費を会社が負担したり、私自ら
受診に行くように声掛けを行っています。また、成人病の
オプション検診について会社負担で追加できるようにして
います。健康診断の受診率は100%を達成することはでき
ていますが、再検査の受診率は改善の余地があります。大切な
社員が健康で長く働けるよう、再検査の受診率アップと、
健康な生活を送れるよう、今後においても、社員に対して
声掛けや情報発信を行っていきます。

コミュニケーション機会の創出

コミュニケーション促進に向けての取り組みとして、弊社
では夏はバーベキュー大会、冬は餅つき大会を全社員と
そのご家族や友人を集めて実施しております。その他にも
釣りやゴルフ大会なども実施しております。さらには、町内
のクリーンデーに参加しています。会社の周りは住宅街な
ので、近隣の関係良化と社員の社会貢献の意欲向上を目指
しています。昨年、今年と開催できなかったイベントがほと
んどですが、コロナが落ち着いたら毎年継続して実施し、
コミュニケーションづくりを向上させていきたいと思ひます。

今後の展望

弊社の平均年齢は40歳代で比較的若い社員も多く、健康に
対する意識はあまり高くないと思ひます。そこで、まずは
定期健康診断の2次検査の実施や指摘事項についての取り
組みを徹底して行っていきたいと思ひます。健康経営に
関する取り組みを無理なく継続的に行うことで社内で定着
し、社員一人ひとりの健康に対する意識を高めていきたく
と思ひます。会社として社員の命(健康)を守ることは当然の
ことです。今後も社員とそのご家族の健康を守っていくこと
を使命としていきます。



バーベキュー大会



釣り大会

代表取締役社長
石川直人氏

「社員あつての会社！長く働ける職場環境づくり」を実現するために！

- 代表取締役社長 石川直人氏
- 本 社 所 在 地 大阪府八尾市泉町1-17
- 主 な 事 業 内 容 精密金属部品製造
- 従 業 員 数 187名(男性:147名・女性:40名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」導入のきっかけ

当社では従業員の健康取り組みとして就業時間内の完全禁煙を実現しようと検討していた矢先、特定保健指導医から「健康経営」の話を聞きました。喫煙のみならずあらゆる健康の取り組みが体系的、そして組織的に実行できる仕組みであるため、これに積極的に参加したいと思いました。また、社員が健康であり続けることが、良い品質の成果を生み出し、お客様にも喜んでいただき会社の発展にもつながると思ったことも、健康経営の取り組みを始めようと決めたきっかけです。

運動を通じた健康増進！

まず初めに取り組んだことは運動のきっかけ作りです。会社では以前新入社員を対象とした「40km歩行遠足」を行っていました。ところが新人特訓のようなイメージを持たれかねなく、今の時代にそぐわないのではと思い、逆にこれを前向きで楽しい歩行会にして健康増進につなげられたらと、この度全社員対象の希望者向けの「40km歩行会」に変更しました。本社、九州工場、福島工場で同日、同時間スタートで開催しました。思いのほか多くの社員が参加し、歩きながら仕事以外の話を自然とするなど普段できないコミュニケーションも取ることができ、「楽しかった」という感想が多くありました。残念だったのは参加者全員が完歩できなかったもので、次回以降は、楽しみながら、全員が完歩できるよう工夫していきたいです。また、九州工場にヨガの先生を招いてヨガ教室も開催しています。大阪営業所の社員も参加できるようにオンラインでつないでおります。運動を通じて、心身の健康の保持増進、また弊社で長く働いてもらえるよう、会社としてできることを継続していきます。



40km歩行会



ヨガ教室の様子

定期健康診断の再検査受診率UP

社員の健康管理はまず健康診断の実施からです。定期健康診断の受診率100%は当然のこととして、健診結果で「要再検査」などの項目があった場合は、2次検査に行くように朝礼時にアナウンスしたり、個別に声掛けをするように徹底しています。定期健康診断のオプションで婦人科検診を受診してもらったことで、がんの早期発見につながった例があります。大切な社員が元気に長生きできるため、そして社員に長く働き続けてもらえるようサポートして参ります。

健康経営と働き方改革

働き方改革の一環として、残業時間が月40時間を超えないように上司が勤務時間の管理を徹底しています。その結果、残業時間が月40時間を超えるケースはほとんどなくなりました。さらに、時間外労働については「事前申告制」を導入したことによって残業時間削減につながったと思います。メリハリをつけて仕事ができるようになり、家庭内のコミュニケーションや社員のモチベーションが向上したことで、家庭も仕事も充実し、活き活きと働く社員が増えるなど日々の業務にも良い影響を与えています。

今後の展望

今後も取り組みたい事がたくさんあります。例えば、「カレーの日」なるものを設定して野菜の豊富な栄養バランスのとれたカレーを会社で作り提供したいと考えています。また、喫煙率を改善するために「喫煙率改善2か年計画」を実行しています。喫煙場所を2か所に制限したところ2人が禁煙に成功しました。禁煙外来の補助施策などを検討して、喫煙率のさらなる低下につなげたいと思っています。そしてもう一つはメタボ予防施策の実行です。個人ごとに、数値化した目標を立てて改善するための取り組みを行いたいと思います。社員一人ひとりの健康に対する意識をさらに高めていきたいと思っています。

代表取締役
吉村健二氏

「健康経営」を通じて社員とご家族にも愛される会社作りを目指します！

- 代表取締役 吉村健二氏
- 本社所在地 大阪府交野市星田2-25-1
- 主な事業内容 建設・不動産業
- 従業員数 34名(男性:22名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営推進プロジェクトを立ち上げスタートしました

お客様との名刺交換をした際に、相手の名刺に優良法人認定のロゴマークが入っており、さっそく健康経営のことを調べました。それは、まさに当社の目指すものと一致した考え方でした。早速「健康経営プロジェクト」を立ち上げ3人のプロジェクトメンバーを選定しました。そして従業員全員に健康経営の宣言を行い、健康経営推進について

「スタッフ全員が健康である環境と風土づくり。

自分自身が『健康』であることで『家族の幸せ』を得る。

5つの指標『運動機会』『健診による早期発見・予防

対策』『食生活改善』『受動喫煙防止』『労働時間適化』

に注力。『笑顔』『活力』『ゆとり』をテーマとし2021年度

の健康経営優良法人認定を目指す。」

と伝え、当社の経営手帳にも記載しました。こうして従業員全員が賛同し、当社のプロジェクトがスタートしたのです。

委員会制度でコミュニケーション促進

弊社では、社員による委員会制度を作り、自主性、参画意識を高めてコミュニケーションの向上を図っております。

・「コミュニケーション委員会」・・・誕生日カード作成や社員旅行・運動会を企画、実施など。

・「安全衛生委員会」・・・一般的な健康管理・職場の安全はもとより「無事故無違反チャレンジ施策」の啓蒙、促進。

・「社外活動委員会」・・・地域とのふれあいの「さくらまつり」「もちつき大会」などの企画、運営。

・「環境整備委員会」・・・清掃の割り当て、管理など

また、他委員会との交流が図れるようにメンバーを定期的に入れ替えるようにしています。メンバー入れ替えの際はドラフト制度を取り入れて盛り上がるようにしています。

※コロナの影響により一部中止している企画があります。

家族との絆を深めてもらいたい

「家族の絆」を深めてもらいたい。そんな思いを実現するために、月に1回NO残業デーを設けています。また、残業時間が月40時間を超えそうな社員がいる時は上長からの指導・業務量のチェックを行っております。残業時間が40時間を超える社員の中には自分自身の能力がないから業務量が減らされると思い、業務量を減らすことをためらいがちです。よって、管理職側がしっかりと汲み取り業務量を強制的に減らすようにしています。また、結婚記念日やお子さんの誕生日など家族の行事は、会社の業務よりも優先して欲しいので、休暇取得や早帰りなど実現できるように全員が理解し助け合える環境を作っています。

今後の展望

まず初めに取り組むことは、一部の社員にしかできない仕事をなくし、各部署、チーム内での業務の共有化を行うことです。また、だれもがフォローできるように仕事の習熟化を図りたいと思っています。そして、「健康」は日常的なフォローが必要不可欠です。全社員が自身の仕事を通じて「喜び」を感じてもらい、いきいきと働くことができる会社を目指していきます。

社員が弊社で永く勤めてもらえるよう、さらなる健康経営の推進を図って参ります。



社内報「さくらんぼだより」と外部に向けた『さくら通信』毎月発行されており、大切なコミュニケーションツールの一つです。

健康経営推進
プロジェクトメンバー

代表取締役社長
阿形清信 氏

自己満足が、顧客満足につながる！

- 代表取締役社長 阿形清信 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府守口市大日町3-33-12
- 主 な 事 業 内 容 機械刃物製造業
- 従 業 員 数 44名(男性:32名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

社長自身が大病を患い、 健康経営に取り組む必要を感じました。

当社は、昭和35年創立以来、国内唯一のダンボール刃物専門メーカーとしてニッチな分野に特化して、技術革新による高精度、高速化の市場に弊社の誇る製品群を提供してきております。そんな当社も26年前に、当時の社長と専務(現社長)が同時期に突然大病に襲われしばらく働けなくなり、現場復帰するまで数か月を要するような非常事態が起こりました。その時は残りの社員が力を合わせて見事に乗り切ってくれましたが、現社長自身それまで無頓着であった健康のありがたさに気づき、何より健康が第一であることを痛感し意識が大きく変わりました。以来、従業員の健康についても様々な取り組みを行ってまいりました。このたび、アクサ生命から「健康経営優良法人認定」を聞き挑戦することになりました。

コロナの感染拡大防止にできる限りの対策 を行っております。

当社はコロナ禍における感染症対策に力を注いでおります。アルコール消毒液、クレベリン、オゾン発生装置の設置はもちろん、非接触サーモグラフィによる体温計による検温の徹底をしています。また、市況で不足していたマスクも調達を切らすことなく行い全従業員に配布を行っています。さらに、抗原・抗体検査のキットを会社で用意し、2か月に1回はパートも含めた全社員に実施しております。事務所内も「可視酸化チタン光応答形光触媒抗菌」による抗菌コーティングを施行し万全を期しています。



抗原抗体検査キットを準備



十分な数の確保をされたマスク

「健康診断」と「運動増進」を最も重視しています。

当社では「健康診断」を重視し、病気の早期段階での治療開始および生活習慣の見直しに繋がりたいと考えています。そこで、全員が受診できるよう検診車を手配し一斉に実施しています。また希望者には全額会社負担で付加検診を提供もしています。「運動増進」には毎朝のラジオ体操を20年以上行っており、さらに、体力づくりの機運を高めて関心を持ってもらうためにバスケットボールのBリーグチーム「大阪エヴェッサ」のスポンサーとなり応援しています。

従業員が満足でなければ顧客満足は 実現できない

当社が願う『顧客満足』とは、自社の資産をすり減らし、苦しみながら顧客を満足させるのは限界がある。あくまで自分や従業員が幸せで笑顔じゃないと、私自身が面白く感じないし、顧客満足なんて実現できない。だから、まずは自己満足。自分が満足しているか問うてみるのが大切。「自分が楽しんで仕事に取り組んではじめて、お客さまは自社のファンになってくれる。」ということです。このように当社では従業員の満足を常に考えております。ただ従業員が健康を害して、従業員の自己満足を高めるのは非常に難しいことです。逆に健康経営の取り組みによって従業員が健康であればそれを高めることは容易になり、ワークエンゲジメントも高まるとさらに自己満足も高まるはずで、今後も健康経営によって「自己満足が顧客満足」を実践できるように取り組みます。



Bリーグ「大阪エヴェッサ」を全員で応援

代表取締役社長
清水結三 氏

「健康経営」は未来永劫に必要な経営戦略！

- 代表取締役社長 清水結三 氏
- 本 社 所 在 地 大阪府茨木市横江1-2-30
- 主 な 事 業 内 容 家庭日用雑貨の製造、輸入及び販売
- 従 業 員 数 88名(男性:42名・女性:46名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康への思いを具現化していく

弊社は今年で設立から48年を迎え従業員の年齢層も高く、平均年齢も45歳になります。従業員の高齢化に伴い、私自身「健康経営」の取り組みの必要性を強く感じていました。そんな中、アクサ生命の担当者から「健康経営」の話を聞き、「健康」をキーワードとして、さらにより良い職場環境を形成するため、健康経営優良法人の認定取得することにしました。一人ひとりが健康に働くことで結果として組織の活性化、生産性の向上を目指しています。

体が資本！健康診断100%

健康管理の基本である定期健康診断の受診も業務多忙の社員もいたことから本社はマイクロバスを手配して受診できるようにもしています。社員全員が定期健康診断を毎年受診することで、自身の体の「経年変化」をチェックすることができるので、病気の予防につながっていると感じています。また、健康に対する意識も向上することができていると思います。そして、定期健康診断受診後は産業医にフォローしていただき、「要再検査」、「要精密検査」に該当する社員がいた場合は、所属長にも伝え、受診するように促しています。

働き方改革に向けての取り組み

働き方改革により年5日間の有給休暇取得が義務付けられました。そこで、弊社では年始に5日間の有給取得日を自己申告してもらっています。未取得者には取得日の2カ月前に所属長より本人にアナウンスすることを徹底しています。さらに、残業時間の削減にも注力しています。月20時間を超える場合は事前申告制度にしています。また、東京支店に関しては、パソコンのログイン、ログオフ記録して管理することを行いはじめました。残業をしない、させない、有給休暇をしっかりと取得して、プライベートも充実させるというワークライフバランスに配慮した職場風土をより向上させていきたいと思っています。

感染予防対策

感染予防対策としてインフルエンザ予防接種の費用を半分補助しています。そして、現在新型コロナウイルス対策として、手をかざすだけのアルコール消毒液自動噴射器の設置、検温の徹底、食堂にアクリル板の設置など行っています。さらには、在宅勤務・時差出勤の取り組みも行っています。営業職等で在宅、時差出勤ができない社員は自家用車での出勤を許可することで、感染予防に対する安全対策を強化しています。毎日の検温や衛生管理の強化により、社員一人ひとりが自分自身の健康に向き合うようになったことを強く感じます。

今後の展望

今後は働き方も多様になり、それに合わせた健康への取り組みも必要になります。また、弊社はプラスチック製品を扱っているのでSDGsの分野においてもどうやって社会に貢献していくか今後何を作って、何を提案して「利益」と「SDGs」を融合させていくかを考えています。日本だけが幸せになるのではなく、世界の人々が健康で豊かな笑顔の絶えない平和な世の中になれるよう、今後も健康経営の考えを源に社会への貢献活動をより深めていきたいと思っています。そして、社員全員が健康経営を理解し参画していくことで健康で長く勤務し、それぞれが弊社で働くことができ良かったと言えるよう取り組みを強化していきたいと思っています。

手をかざすだけの
消毒液自動噴射器！

アクリル板設置の食堂

代表取締役
森田 淳氏

健康経営にて若い社員の将来性を育んでいきます！

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

- 代表取締役 森田 淳氏
- 本社所在地 大阪府東大阪市荒本新町6-41-806
- 主な事業内容 翻訳サービス業、経営コンサルタント業
動画制作等
- 従業員数 6名(男性:1名・女性:5名)

仕事の関連にて健康経営を知りました。

当社は2019年9月に公的な補助金・助成金のコンサルタントを主力として、翻訳のサービス業や広告動画の作成等も業務として行う会社として設立致しました。補助金や助成金については、特に昨今コロナの影響により困っている方には無料での受給診断や申請サポートを行っております。「健康経営優良法人認定制度」はこの補助金や助成金の関連を調べているときに知り、申請項目が当社の取り組みに合致しているのではないかと思います挑戦することになりました。

「メンタルヘルス対策」に万全を期しています。

メンタルヘルス対策としては、まずは何よりコミュニケーションが第一と考えております。特に当社は「翻訳部門」と「動画作成部門」、「事務部門」の社員のそれぞれで業務に繋がりがなく全く別の仕事をしているため、同じ事務所にいながら、ほかの部門の社員が何をやっているのか、何に困っているのかなど分かりづらい傾向がありました。こういったコミュニケーションの悪化はストレスにつながりますので良くない状況だと思っておりました。そこで、全員が連携し取り組む初めての試みとして「YouTubeにて海外向けに料理のレシピ動画を配信する」という企画を当社の業務の宣伝もかねて始めてみました。

事務部門の社員が料理を作成を担当し、動画部門の社員が撮影および編集を担当し、翻訳部門の社員が外国語の紹介文章を担当し全員で完成させたものを配信するという流れを試みました。実際やってみたら非常に効果がありました。全員で楽しくあれこれ考えながら意見を述べ合い一つのものを協力の上で作り上げていきますので、本企画実施時はもちろん、普段においてのコミュニケーションも以前に比べて目をみはるほど良くなりました。ほかにもメンタルヘルスに対する理解と意識をもっといただくために心理カウンセラーによる管理職を対象としたメンタルヘルス研修を月に1回開いております。実は社長夫人が心理カウンセラー業を行っているので、当該研修をお願いして実施しています。

健康診断をもっとも重視しています

健康への取り組みの中でも最も優先すべきは健康診断であると思っています。病気の早期発見や健康意識の継続につながるからです。健康診断はアルバイトも含め全員で商工会議所斡旋の健康診断を受診しています。その際希望者にはがん検診等の付加検査を全額会社負担にて受診してもらっております。受診結果で指摘事項があった場合は社長が個別に再検査受診を指示して放置されることのないようにしております。健康維持は重要な業務として認識していますので、2次検査は就業時間内にて受診してもらっております。

健康経営を今後も取り組みます。

当社の社員は非常に若い年齢層が多いです。能力が高く可能性を秘めた将来が楽しみな人材が揃っております。そんな将来性のある人材が健康状態の悪化により、もてる力を発揮できなくなったとしたら会社にとっても本人にとってもこんなに悲しいことはありません。社長自身が学生時代教師を目指していたこともあり、前職でも新人教育の担当をしていた経験から、人を育てることに重きを置いており、本気で若い人の将来性を育みたいと思っています。健康経営においても次の段階ではトップダウンではなく従業員自身の自主的な取り組みにつながるように促していきたいと思います。

全員で「料理レシピ」を
YouTube作成しています

兵庫県
神戸営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
仲野正倫 氏

“時代を超えた感動が走るカーフィール”快適なカーライフを創造！

- 代表取締役社長 仲野正倫 氏
- 本 社 所 在 地 兵庫県洲本市下加茂
- 主 な 事 業 内 容 自動車販売・修理業
- 従 業 員 数 25名(男性:18名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

従業員に活き活きと働いて欲しい思いから 健康経営！

従来より従業員が活き活きと働いてくれることで、店舗の雰囲気良くなり、そのことで業績もアップすると思い経営していました。そして2年前、協会けんぽ主催セミナーに参加した際、それを体現できるのが健康経営と思い、取り組みを始めました。昨年社長が交代し、現社長に引き継がれましたが、思いが変わることはなかったため、まずは過去から受け継がれている毎朝の本気のラジオ体操を継続することから始めました。

毎朝仕事を始める準備運動として長期に継続していることで大きな怪我も事故もなく過ごせているのでこれからも継続したいと思っています。

コミュニケーションは重要！

“同じ釜の飯”を食べるという考え方が大切だと思い、毎月会社でお弁当を用意して雑談をしながら食事をしていました。最近はコロナ禍の中、密を避けるために2グループに分けて、かつマスク会食で感染防止にも注意しています。

なお、この弁当は総力ロリーを抑えたりして、健康を意識した内容にして、可能な限り従業員のリクエストも聞いて決めています。なので、飽きることなく、楽しい食事が出来ています。また、会社の清掃は欠かさず全社員で行っていて、他にも、年2回の恒例行事として、夏のバーベキュー大会と、冬の忘年会を楽しんでいました。しかし、コロナ禍の中では中止しています。落ち着いたらまた活動を再開したいと思っています。

女性に優しい健康診断！

健康診断とメタボ健診については協会けんぽさんの協力のもと、全従業員が受診してくれています。特定保健指導も協会けんぽさんの保健師さんから勤務時間中に実施し、重症化したり、症状が悪化しないよう指導を受けています。なお、婦人科健診については、受診希望者を対象に費用を全額会社負担で行っていることから女性からは大変好評です。ただ、有所見者に対して2次健診受診を促していますが、本人に任せていることから実際に受診したかどうかまでは確認していなかったため、今年から確認する予定です。

働きやすい環境整備！

ワークライフバランスを推奨していることから、ゴールデンウィーク、お盆休暇、年末年始休日の際に、社員ごとに有給休暇をプラスして取得するようにしています。また、家族あつての仕事なので、パートナーのいる方は“結婚記念日休暇”、独身の方は“誕生日休暇”を取得してもらっています。どちらも記念日なので、本人を含めて家族からも大変喜ばれています。

また、工場・ショールームともに水分補給のためにウォーターサーバーを設置しさらに、特定保健飲料を沢山入れた自動販売機を設置して、従業員もお客様も喜んでます。ちなみに、冬はカイロも無償でお渡しし、暖を取ってもらっています。

まもなく全員禁煙に！

喫煙に対しては、工場、ショールームともに全面禁煙にさせていただいています。お客様にも不便をおかけしていますが協力してもらっています。

従業員向けには社員食堂で目につく箇所に禁煙ポスターを貼り出して、喫煙者とも相談しながら、かつ禁煙成功者の意見も聞きながら徐々に節煙対策から始めています。おかげ様で完全禁煙を達成してくれる従業員が増えてきて、後もう少しで全社員禁煙目前となっていて、今年中に完全禁煙となる会社に出来ればと思っています。



2021認定証

代表取締役
粕谷直樹氏

動き続けるシステムを支える開発力！

- 代表取締役 粕谷直樹氏
- 本社所在地 兵庫県神戸市中央区御幸通
- 主な事業内容 システム開発
- 従業員数 9名(男性:7名、女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康意識の向上のため！

健康経営の取り組みを始めてから、従業員の健康に対する意識向上のために、毎月アクサ生命から提供されるワンポイントアドバイスや協会けんぽから提供される資料を配信するだけでなく、普段から目につく場所に継続して掲示しています。また、毎月の会議時にも紹介し、常に意識し記憶に残るようにしています。

季節や社会情勢に合った情報の提供により、日々の健康意識も高まり、その効果を実感しています。

メンタルヘルス対策！

定期的に、専門のカウンセラーによる1人30分程度のカウンセリングを全社員に対して実施しています。業務上のことはもちろん、プライベートの悩みなども相談出来、ストレスが溜まらないように、メンタルヘルスには十二分に注意しています。

また、話の内容や行動から、無呼吸症候群など普段見えない症状を見つけた場合には、指導だけでなく、事故防止の観点からも治療をするように促していただいています。

運動不足を意識して！

仕事柄、運動不足気味になるため、毎日10時と15時にラジオ体操を行うことを計画しています。ラジオ体操は、正しく体を動かすことで、相当な運動量になるので、みんながまじめに本気で取り組むようにもっていきたいと思います。

また、歩くことに関しては歩数計で記録することを勧めています。今では帰宅時に自宅最寄り駅の1駅前で降車して歩いたり、事務所が7階にあるため3階分は歩いて昇降し、残りをエレベーターを使用するなどの社員もあり、歩こうという意識につながっています。

喫煙者対策！

現在の喫煙者は3名です。事務所ビルは内外ともに禁煙となっています。よって、喫煙のためには近所の喫煙可能なコンビニ等の喫煙所までいかないといけないため、多忙な時は喫煙する時間も惜しくなるはずなので喫煙回数が減少しているように思います。こうしたことで完全禁煙してくれることを願っています。

健康診断からの注意！

健康診断受診後、指導対象者には協会けんぽから保健師の方にお越しいただき個別指導を受けてもらっています。

また、2次健診該当者には、確実に全員が受診するように会社として指導しています。2次健診を受診したことを会社が確実に管理していく体制をつくり、健康維持に努めていきます。



新人向けの勉強会

兵庫県
神戸営業所代表取締役
粕谷直樹 氏

ハードからソフトにいたるトータルなシステム開発！

- 代表取締役 粕谷直樹 氏
- 本 社 所 在 地 兵庫県神戸市中央区磯辺通
- 主 な 事 業 内 容 ハードおよびソフトの設計・開発
- 従 業 員 数 37名(男性:29名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定Voice Report
80th

女性活躍会社を目指して！

「ひょうご女性の活躍推進会議」の講習会を受講し、女性管理職やリーダーおよび女性社員の比率の増加をさせて、女性が活躍できる場を増やそうと考えています。そして、労働局HPからも推進されている女性活躍会社を目指して、少しずつですが、女性のリーダーや在籍者に占める女性の割合も増えつつあります。

3年連続優良法人認定を取得出来たことで、人材採用の面で女性の応募も増えているので、採用面においても、これから更に優良認定取得効果があることを期待しています。

働き方改革！

有給休暇の取得に関して、入社3年以内の社員についてはほぼ100%に近い取得率になっており、ワークライフバランスがとれています。4年目以降の社員については、有給休暇数が増えることや、業務の都合で休暇取得が難しい場合もあり、有休奨励日を設けています。副次的効果として、休暇をしっかり取ってリフレッシュしてくれることから生産性も上がり、残業時間も縮小につながっています。

充実したカウンセリング！

専門のカウンセラーによる1人約30分のカウンセリングを、定期的に全社員に対して行っています。カウンセリングの回数を重ねることにより、仕事以外のことで気軽に話せるようになってきています。社長もご自身の人柄から、気楽に話が出来る方なので、社員にとってはストレスを溜めない職場になっているようです。

なお、メンタルヘルスだけでなく、フィジカルヘルスにも力を入れて、カウンセリングと同時に整体師による1人1人の体幹チェックも兼ねてのマッサージを行っています。もちろん、接触に対して嫌悪感を抱く社員の場合は無理強いはいませんが、好評で継続して欲しいとの要望が多い取り組みです。

喫煙者ペナルティ！

喫煙者はいまだに3名在籍していますが、そのうち1名は紙巻きたばこから無煙タバコに変更してくれました。決して容認しているわけではありませんが、受動喫煙対策を考えてくれた結果だと思っています。禁煙を推奨する目的で人事評価について、喫煙者には残留副流煙対策等受動喫煙対策を考慮しない場合や、禁煙者への配慮のなさが見て取れる場合にはそれなりに評価をマイナスすることを検討しています。これで禁煙にチャレンジしてくれると嬉しい効果になると思っています。

新人も参加

新人入社時には研修会を実施していますが、全ての研修終了後に1人ずつ研修内容をまとめて全社員の前での発表会を行っています。緊張感につつまれて発表してくれていますが、こうしたことから自立性が養われ、更に、会社への意見具申が出来る環境が作られ、非常に風通しの良い職場が作られていると感じています。今後もこの良い文化を継続し、新人も参加してもらい、新しい意見を取り入れながら、健康経営の課題を見出し、目標を達成して、健康で明るく楽しく、更に働きやすい会社を目指そうと考えています。



新人の技術発表会

代表取締役社長
脇水博則 氏

「資源革命！」全てを大切にすることを持ち続ける！

- 代表取締役社長 脇水博則 氏
- 本 社 所 在 地 兵庫県神戸市北区山田町下谷字梅木谷
- 主 な 事 業 内 容 新聞販売業
- 従 業 員 数 38名(男性:20名・女性:18名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

業界の固定観念脱却からの健康経営！

新聞配達業においては朝刊の配達のため早朝は夜中1時半出勤から始まり、夕刊の配達のため午後から準備を始めて全て終了するのが夕方17時になる長時間労働が当たり前の職場環境でした。そして、毎日遅配が許されず、休刊日が月間1日ということが続くため、配達員の生活環境は特殊で、有給休暇を取得するにも他の社員に気を遣いながら取得し、長期休暇はほぼ取得できない環境のブラック業界と言われる環境下での勤務となっていました。このまま続けていては従業員の健康を損なうとの観点から健康経営に着手しました。

職場環境の改善に向けて！

まだまだ喫煙者は多いですが喫煙対策のために建物内は完全禁煙にしています。喫煙スペースとして建物外部に狭いスペースになるよう灰皿を設置し、短時間で喫煙が終わるように注意・指導しています。なお、完全禁煙の建物内で喫煙した場合は罰則制度を設けています。いまだ該当した社員はいませんが万一の喫煙に備えて空気清浄機も会社で購入予定です。また、飲み物についても、糖尿病罹患対策として無糖コーヒー等の商品を推奨して、社内の冷蔵庫には常に麦茶が常備され、いつでも好きなだけ飲めるようになっています。

常識を破る！

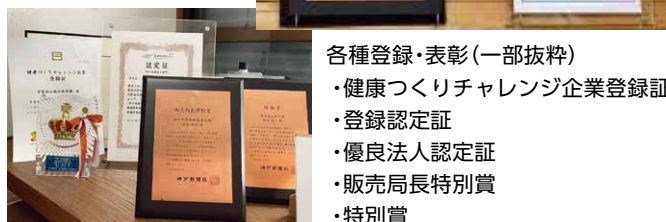
従業員がリフレッシュできて、家族を大切にできる時間が持てる環境を作らなければ健康を損なって幸せにはなれないとの思いから、業界の常識を破って週休2日制を導入しました。この時は同業他社から批判が相次いで寄せられ、販売店会議ではやり玉にあげりましたが、従業員の職場環境改善のためには絶対に必要であると考え徹底しました。結果として従業員から仕事と家庭の両立が出来ると絶大な賛同と信頼を得ることができています。なお、まだ業界としては長時間労働や残業が継続しているところがあり、風当たりは相変わらず強いですが、従業員のために継続していきたいと思っています。

町のホットステーション！

地元での信用・信頼を勝ち取るために、地元のホットステーションとなるべく情報サイトを立ち上げて情報発信を始めました。新聞配達業のため地元の住宅に何う利点を活用し、不用品回収情報提供や、地域清掃のお手伝い、荷物の受け渡しのお手伝い等地域に役立てる活動を展開しています。従業員からも地元から感謝されるためワークエンゲージメントの向上が高くなっていることが実感できます。これからも地域コミュニティを広めて、地元で役立つ企業として活動を続けていきたいと思っています。

メンタル不調に備えて！

早朝からの勤務のため、前日夕食での飲酒は厳禁となったり、短い睡眠時間が続いたり等することがあるため、フィジカルだけでなく、メンタル不調にも注意を払っています。健康診断は全従業員必ず受診してくれていますが、有所見者については協会けんぽから保健師にお越しいただきカウンセリングを年2回定期的に実施しています。その際、普段の愚痴も聞いてもらって不満をためないようにしてもらっています。



各種登録・表彰(一部抜粋)

- ・健康づくりチャレンジ企業登録証
- ・登録認定証
- ・優良法人認定証
- ・販売局長特別賞
- ・特別賞
- ・販売店奨励賞

代表取締役社長
柳瀬秀人氏

「つなぐ力」により、健全な未来の創造に貢献する。

- 代表取締役社長 柳瀬秀人氏
- 本 社 所 在 地 兵庫県神戸市兵庫区大開通
- 主 な 事 業 内 容 建設機械等産業用機械部品卸売業
- 従 業 員 数 90名(男性:50%・女性:50%)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

ワークエンゲージメント向上のために

「会社の財産である社員1人ひとりが生産性を向上し、イキイキと安心して働ける環境づくり」と「グローバル化に対応できる多様な人材の確保」のため、以下に取り組んできました。

- ①社員自身が能力を磨きながら個性を発揮し、自己成長を感じて仕事にやりがいを感じる体制の構築
- ②能力・生産性に見合った賃金体制の構築
- ③快適な職場環境の整備と福利厚生制度の充実
上記を達成することでワークエンゲージメントの向上を図り、健康経営を推進しました。

充実した福利厚生制度

2018年にリロクラブに加入し、全国約5万件の福利厚生施設等のサービスを楽しむ仕組みを導入しました。社員には好評で、利用率は異例の他社の約3倍と活発に利用してくれています。

また、会社全額負担の食事会を年2回開催、毎年の社員旅行も継続しています。(昨年はコロナ禍で延期でした)
他にも、本社ビルの内装一斉工事では働く環境を整備。飲料無料サービスも全事業所に導入し、快適な職場づくりが喜ばれています。

働きやすさの追求

社員に気持ちよく長く働いてもらうために以下の制度を取り入れ改革してきました。

- ①年間休日数:121日に設定(一斉有給日含む)
- ②有給休暇:年間一斉有給休暇日を4日間設定し、それ以外も取得しやすい環境を作る
- ③時間単位有給休暇:1時間単位で取得出来る有給休暇。
法令上限の40時間導入。社員には完全浸透
- ④育児短時間勤務:法定3歳までのところ6歳まで承認
- ⑤労働時間:業務の見直しで生産性向上を図り、総労働時間の削減へ。

男性育児休暇(パパ休暇)取得率100%!

女性のママ休暇取得率はかねてから100%取得されていましたが、男性は皆無でした。経営トップより「男子育休100%宣言」を会社方針として発信し、育休を取得しやすい職場環境づくりを推進。全社員に根付くよう協力を求め、さらに男性育児休暇(パパ休暇)5日以上取得で手当5万円を支給する制度も設けました。結果として、該当男性社員の育休取得100%を達成。家族の負担を減らし、復帰後に不利益もなく、周囲の社員同士が家庭の事情で休む際には助け合うという雰囲気できています。

働き方改革の外部評価!

これまで実施してきた様々な施策が評価され、国、県、市、外部機関等々から様々な認定や表彰を受けることが出来ました。社員に自社の強みを再確認してもらうことは、ロイヤリティの醸成にもつながり、働くモチベーションを生んでくれると実感しています。

これからも、働きやすく働きがいを感じる会社を追求しながら、様々な施策にもチャレンジしていきたいと思います。

- 主な表彰
- ★ホワイト企業アワード2020受賞
 - ★ユースエール認定
 - ★SDG's企業認定取得
 - ★ひょうご応援企業認定
 - ★ひょうご仕事と生活推進企業認定
 - ★こうべ男女イキイキ事業所認定・表彰 等々他多数



神戸本社にて

健康経営方針

会社の最大の財産である従業員が持てる能力と個性を充分に発揮できるよう安全・健康に配慮し、労働災害の防止や心身の健康保持・増進に向けた活動を実施します。



2020ホワイト企業認定・アワード

代表取締役
長井克暢 氏

気持ちをつなぐ新たな技術を提供する！

- 代表取締役 長井克暢 氏
- 本社所在地 兵庫県神戸市中央区京町
- 主な事業内容 各種情報処理システム設計・開発・運用・保守
- 従業員数 44名(男性:32名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営理念

健康経営を進めていくスローガンを「社員全員が元気に長く働ける職場を目指します。」として、全員に周知徹底を図っています。2年連続で優良法人認定を取得出来たことから、社員の健康に対する意識も少しずつ変化してきたと感じています。その一つとして、業者による社内据え置き飲料は、糖質の多いジュースから、水・お茶に嗜好が変化し、健康志向が高まっていることを実感しています。更にノー残業デーを毎月2回(第1・第3水曜日)設定し、早帰りを促し、スローガンを体感して欲しいと思っています。

健康診断および2次健診受診率100%へ！

以前より、健康診断の受診率は100%でしたが、有所見者の2次健診について調査してみると、受診率がかなり低いことが判明しました。よって昨年は、会社として2次健診を促し、受診したことを確認するまで後追ひしたところ、受診率が20%増加しました。今後も、保健師さんとの連携もしっかりと行いながら、再診率100%を目指していきたいと思っています。

コロナ禍の中、感染症対策を徹底！

感染症予防対策としては相当以前より、全従業員にインフルエンザ予防接種の就業時間内の接種と会社費用負担を行っていました。

昨年コロナ禍の不穏な広がりが始まった頃には、他に先駆けてマスク・アルコール消毒対策や在宅勤務対応等を進めてきました。こうした迅速な対応が従業員の安心感につながり、今まで以上にワークエンゲージメントが高くなったように感じています。

コロナワクチン接種についても、インフルエンザ接種と同様に就業時間内接種を容認し、就労認定をして、安心して接種してもらう予定にしています。

コミュニケーション促進施策

新型コロナウイルスが感染拡大する以前は、従業員間のコミュニケーションを促進するために、会社としての食事会イベントを定例的に年3回実施していました。(新人歓迎会、忘年会、決算慰労会) また、部署(チーム)ごとの食事会や、チームをまたいだ交流の場としての食事会は、業務でつながりのない社員間でのコミュニケーション促進の役割を果たしてくれるので、会社として費用の一部を福利厚生費として支出しています。更に、社員旅行も毎年実施していて、オンとオフがしっかり出来ている会社として喜ばれています。ただ、昨年から、コロナ禍の関係で実施出来ていないのが現状のため、落ち着き次第復活させたいと思っています。

喫煙者対策・受動喫煙対策

社内喫煙者は残すところ7名となり、絶対にやめないと強い意志表示をしている社員のみとなりました。対策として現在の完全分煙室の廃止を検討しましたが、喫煙者が自ら自費で強力な空気清浄機と、分煙室から出るときの副流煙対策としてサーキュレーターを購入し設置、また喫煙室内に向かう気流を計測し、タバコの煙が受動喫煙に影響がないことを証明したため、分煙室は継続することにしました。しかし、タバコは本人の健康被害をもたらすのには変わらないため、1人ずつ啓蒙して禁煙にチャレンジしてもらおうと考えています。



ストレッチ体操風景

代表取締役
上月和彦氏

夢が見られる魅力的な会社・ストレスを感じない会社を目指して！

- 代表取締役 上月和彦氏
- 本社所在地 兵庫県神戸市中央区御幸通
- 主な事業内容 経営支援
- 従業員数 8名(男性:4名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営への取り組み

健康経営に取り組むきっかけは、優良法人認定を取得した知り合いの社長からの紹介でした。元々、仕事も人生も経済も、根本である命が最も大事であり、それを守るために健康が必須であるとの考えであったため、健康経営に取り組むことに迷いはありませんでした。仕事をする上では、第一に従業員がストレスを溜めない環境が大事だと考えているため、健康経営を通じてその環境づくりが出来たらと考えています。

和気藹藹とした職場環境

有給休暇取得は、繁忙期にはなかなか自由には取得しづらいところもありますが、それ以外の時期においては、周囲の従業員に気兼ねなく休暇が取得出来る環境になっています。これは普段から和気藹藹としている事務所の雰囲気「お互いに助け合う」という土壌を醸し出しているからだと思います。こうした雰囲気を大事にして、更に働きやすい職場を目指したいと考えています。

従業員の健康意識

これまで、健康診断で所見のある従業員は皆無です。これは、従業員全員がそれぞれ日頃から生活習慣に気を付けてくれているからに違いないと思っています。また、ビル内は完全禁煙のため、僅かながらの喫煙者もそのルールを守り、就業時間中もそれ以外も、誰もその喫煙の姿を見たことがありません。受動喫煙対策自体が不要である環境はもとより、これも健康意識が高い現われだと思えます。こうして、皆で健康を維持していることで業務効率も良い方に影響していると感じています。

コミュニケーション促進、感染症予防

従業員間のコミュニケーションを図るために、毎年、忘年会や繁忙期の打ち上げ会等の食事会を開催していました。しかし、コロナ禍であるため、昨年は夜の会食を昼食会に切り替えての開催などで対応しました。収束後にはまた、全員で楽しく以前のような食事会や社員旅行を計画・開催したいと考えています。そのためにも感染症予防策として、マスクはもちろん必須、アルコール消毒も社内に常備し、出社時には必ず検温するなどの対策をとっています。外出する従業員には携帯用アルコール消毒を持たせ、顧客企業にも安心してもらえるように対策をとっています。

充実した研修会

全員参加の月初の全体会議では、その中で研修会を実施しています。社長自らが講師の場合もあれば、外部講師による場合もあります。内容は様々で、業務向上につながることを目的としています。健康経営促進のために、これまで以上に健康関係の内容も取り入れ、従業員全員が健康で、業務の生産性が上がるようにしていきたいと思っています。

2021中小規模
優良法人部門
認定証
お祝花と共に

代表取締役
龍田章一 氏

「1人1人が輝く未来」を全力サポート！

- 代表取締役 龍田章一 氏
- 本社所在地 兵庫県神戸市西区岩岡町野中
- 主な事業内容 訪問看護
- 従業員数 11名(女性:11名)



起業精神

会社は身体障害、知的障害、精神障害、障がい児など多岐にわたる方々を対象に、過去5年間で1,500名以上障害者相談支援を実施してきました。その中で、

- ・訪問看護の受け皿を構築する必要性
- ・疾病を予防する必要性
- ・精神疾患を予防する必要性

などに直面し、このようなことから困っている方に手を差し伸べ、その方の生活を安定化する仕組みが必要ではないかと考え、会社を設立しました。

会社の経営方針の根底には「皆様の笑顔がみたい。そして末永く神戸の街を愛し、住み慣れた地域で生活を継続して欲しい」と願い、「命」の大切さを社会に発信していきたいという想いがあります。

そんな時、各地方自治体などの関係省庁から元気で業務が出来なければ他人も幸せにできない、事業として実施していることを地元を含めた社会にアピールして欲しいとの話があり、優良法人認定取得を目指すこととしました。

従業員は家族と同じ

従業員は全員看護師のため、健康診断について、重要性は熟知しており、毎年定期的に受診しています。更に、健診結果で有所見の場合でも、対処方法は一般とは少し違い自分自身で判断が出来るので、その都度2次健診や治療等に行ってくれています。会社としてもバックアップ体制として、休暇や時短勤務等で働きやすい環境を創設しています。

また、普段から“従業員は家族と同じ”という観点から従業員自身の生活を守ることが最も重要と考え、働き方改革が叫ばれる以前より、週休2日制や振り替え休日制度、また残業ゼロを実現していて、17時の就業時間前でも業務が終了すれば16時帰社も認めています。子供をお迎えに行く等の家族の状況に合わせた時短勤務や有給休暇取得を推奨しており、働きやすい会社として従業員みんなから喜ばれています。

感染症対策は万全！

業務上、様々な方々との接触機会があることから、感染症対策には十分なほど気を遣っています。

アルコール消毒は常置用も携帯用も配備し、低濃度オゾン発生器で空気清浄を常に行い、手洗い等用の洗浄機も準備するだけでなく、防護ガウンも在庫を3000枚以上確保し、N95マスクも4000枚以上準備して不測の事態に備えています。こうして感染症対策は万全にしているにもかかわらず感染リスクは避けられないので危険手当を支給し、従業員には給与面でも支援をしています。

今後の展望

会社内でのコミュニケーション促進のために忘年会や納涼会、食事をコロナ対策を万全にして実施しています。定期的な情報共有の場としても有効に機能しています。

また、行政組織や病院等とのつながりが深いこともあって、従業員本人や家族の急な病気等の診療の際には、本人の了解を得てからですが、予約時間等で優先予約を依頼出来ていて子供を持つ従業員からは特に喜ばれています。これからも働きやすい職場環境を作り続けていきたいと思っています。



楽しい職場で働く社員

代表取締役社長
辻野幸夫 氏

“新たな健康社会創造企業”として地域になくてはならない存在に！

- 代表取締役 辻野幸夫 氏
- 本社所在地 兵庫県神戸市長田区花山町
- 主な事業内容 生活支援、病院・介護経営支援事業
- 従業員数 23名(男性:9名・女性:14名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

会社設立の根本が健康経営

“新たな健康社会を創造”するために以下の3つの視点に基づき会社を設立をしました。

- (1) WHOの健康の定義にある“肉体的・精神的・社会的全てにおいて健康である”人は少なく、老若男女、病める人も障害のある人も「その人が健康とを感じる社会」を創造していく。
- (2) 暮らしを支える医療・介護・福祉も重要であるが、“住まい・生活支援”を中心に必要なサービスを住民が主体となり行政・他企業とともに展開していける社会を創造していく。
- (3) 社名のライフの意味を①生命②生活③人生④にぎわいと定義し、地域密着＆総合的視点で「まち全体」を見据えた事業モデルを構築することで大きな価値を産み、永続的発展につなげる。

そこで、まち全体を良くしていくためには、それを率先する会社の所属員がまず健康になることが重要であるとの認識から健康経営優良法人認定の取得を目指しました。

神戸長田モデルの普及

当社は子供から障害者、高齢者まで、地域をささえ・はぐくみのばすことを目的に医療・介護・福祉をベースとして産・官・学・民連携で健康活力まちづくりを行うため、長田神社前商店街に「生活支援お困りごと支援センター・いきいき健康ステーション」を立上げ、医療・介護と福祉を結び付けた“神戸長田モデル”として行政から注目を集めています。“神戸長田モデル”は、長田区周辺に住む人・働く人の健康・未病・病気・要介護それぞれの状態すべてにわたり、切れ目なくサポートできる、地域多機能型病院と生活支援・健康予防が一体となった健康好循環社会を実現すること目的と考えており、その窓口として「生活支援お困りごとセンター・いきいき健康ステーション」として事務所を開設し、セルフ健康チェック等様々な活動を展開しています。こうした目的意識の高い事業に従業員が関わることで、ワークエンゲージメントは飛躍的に高くなっています。また、従業員は、地元のために出来ることを様々な提案してくれるので、事業の拡大にも役立っています。

会社として目指す健康経営

企業に勤める社員が健康であるためには働きやすい・住みやすい街であることが重要と考え、住民の皆さんや商店街の店主さん達と従業員が一緒になって健康に生活する仕組みをつくることでまち全体が健康になるというシナジー効果が得られると思っています。

街づくりを行うという経営視点から地元での講演会や健康等に関する参加型セミナーや、商店街の各店舗の特徴を活かしたコラボレーションイベントを定期的を実施しています。そこに講師等として参加する従業員のために今回の優良法人認定を取得出来たことはプラス効果として表れているので副次的な効果ですがよかったと思います。

企業内福利厚生制度

健康診断は臓器別検診を取り入れて、人間ドック項目を実施しています。医療の専門家が納得できる検診を行い安心感を醸成しています。

また、認知機能向上による社員の活性化も図るため、脳活性化アセスメント・トレーニングも取り入れて、身体ばかりでなく精神の鍛錬もぬかりなく実施しています。

また、仕事柄、従業員は地元の方々と関わる事が多く、地元の病院や診療所・介護施設・福祉施設、さらには地元商店街や地域の中小企業も含め志を同じくする“まちの仲間”を増やし、協働していく営みを通じ地域とともに発展していくことを実感してくれています。

これからも地元・地域の皆様とともに“新たな健康社会”を創っていききたいと思います。



2020.7.28 「生活支援お困りごとセンター・いきいき健康ステーション」開所式

兵庫県
阪神営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役
高野芳樹氏

「社員は家族」社員を守るために LOVE! ENJOY! WOW!

- 代表取締役 高野芳樹氏
- 本社所在地 兵庫県西宮市日野町
- 主な事業内容 ネイル用品の開発・販売
- 従業員数 310名(男性:42名・女性:268名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

ワークエンゲージメントの高い社風！

2017年頃、社風の変化と共に売上げが減少。そして同時期に現社長に交代しました。その際、幹部社員と一緒に60時間を超える打合せで“みんなの思いがカタチになる”の頭文字を取った「MOKbook」を作成し、新たに会社のコアバリューを策定し風通しを良くする社風に一新しました。基本となるのは「社員は家族」その社員を守るために会社は存続するという強い思いから、形式的な会社ルールを実態に即したものに變更して働きやすいものにしました。おかげで業績もV字回復を実現し、社員も明るく・楽しく働いています。こうした社員のワークエンゲージメントの高さが健康経営における優良法人認定取得の原動力になったと思います。

ワークライフバランスの浸透！

ワークライフバランスの「ワーク」にはしんどいというイメージがありますが、それを払拭して、職場は楽しく社員が幸せに過ごせるように仕事と家庭の両立が出来る会社、安心して休暇取得が出来る会社となることを目指しています。それ故、部門長は所属員の休暇取得を推奨していて有給休暇の取得率は95%以上です。また産休・育休についても対象者全員がしっかり取得していて、休暇を取得しても全員が必ず復職できる安心感のある環境となっているので離職率も3%以下となっています。従業員の多くが「やめたくない会社」と言ってくれるのが嬉しいです。

感染症対策は万全！

感染症対策としてアルコール消毒、マスク着用、除菌スプレーの配布、テレワークの推奨、給与保障した上での就業時間短縮(18時のところ16時退社)、緊急事態宣言下での店舗閉鎖等々、コロナ対策は出来る限りのことを実施しております。1年前のマスク品切れ騒動の際も、全国から何とか調達して家族を含めた全社員に2箱配布出来たときはものすごく感謝されました。

従業員サーベイから変革！

従業員の意識調査目的で毎月3問のアンケートサーベイを実施しています。問題数が少ないので、従業員の負担にならず実施できています。この回答を受けて内部変化につなげ、クリーンな組織に進化していると実感しています。福利厚生についても、長期に勤務が困難な病気やケガによる休暇・休職の際、アルバイト従業員であってもケースバイケースで期間に関係なく復職可能としていたり、メンタルに不調を感じる従業員向けに社内でカウンセリング出来る部署を作り相談できるようにしています。その際、本人の希望があれば産業医や外部の先生の紹介もして、早期に対応が出来る体制をつくっています。

経営理念～LOVE! ENJOY! WOW!～

従業員間のコミュニケーション促進のために各種コミュニティを作っています。遠方の従業員のためのZOOM朝礼、テーマを定めた雑談会、音楽好きが集まった演奏会等々楽しく過ごすための工夫を推奨しています。また、「TAT Times」という社内報を毎月発行しています。おもしろみを出すために各拠点ごとに社内報委員を選出して意見・知恵を出し合っあきさせない社内報が作られ、毎月楽しみにしています。経営理念のコアバリューである、LOVE(愛情が全て)、ENJOY(楽しくやろうぜ)、WOW(喜びと驚きと感動を)を基本とした経営をこれからも推し進めていきたいと思っています。



TAT Times



MOKbook

楽しく働く現場で
社長を囲んで！

代表取締役
塩見 孝氏

社は“風林火山”を実現し、健康経営を推し進める！

- 代表取締役 塩見 孝氏
- 本社所在地 兵庫県西宮市山口町下山口
- 主な事業内容 食品製造業
- 従業員数 25名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

会社の社是・理念を徹底することから

昨今の世情を鑑みて、ホワイト企業であることをPRするために健康経営優良法人認定の取得をめざしました。

まずは社是である風林火山の精神を基本に社員一丸となることが大事と考え、会社理念を共有することから始めました。

“風” 疾きこと風の如く

【ビジネスチャンス（攻める）時は、風のように早く行動しよう。】

“林” 徐かなること木の如く

【いかなる時も準備を怠らず、落ち着いて機会を待つことが大切。】

“火” 侵略すること火の如く

【ビジネスチャンス到来の時は、勢いよく行動しよう。】

“山” 動かざること山の如し

【足元を見つめ直す時は、周りの状況に惑わされず、どっしりと構えて次に備えよう。】

働き方、感染症対策

働きやすい環境とするために従業員には年間106日の休日をしっかりと取得してもらい、それ以外の有給休暇についても法定日数は当然として、計画的に家族のために取得してくれていて、急なこどもの発熱等にも対処出来るようにしています。

また、高齢者向けの食品を扱う食品製造会社として、感染防止対策には人一倍気を遣って万全にしています。手洗い・アルコール消毒は当然として、工場内のマスクは専用のマスクを常備し、工場内に入るときには必ず付け替えています。絶対に感染症を発症させないという強い意識でみんな取り組んでくれています。

コミュニケーション促進

従業員間のコミュニケーション促進のために、9～10月に忘年会という名目で食事会、そして1月～2月に新年会を開催していました。今年はコロナの関係で実施できていませんが、楽しみにしているので落ち着いたら再開したいと思っています。

従業員の健康意識を高めるために健康診断活用

過去は健康診断の重要性について、健診受診機関が近くなかったことから従業員から良く理解されず、健康は自己管理との思いから受診率は全員受診とはなっていませんでした。

しかし、健康経営優良法人認定取得を目指す際に、全従業員に健康管理の大切さは個人だけでなく会社としてもサポートしていきたいということを理解してもらい、まず健康診断の全員受診を徹底しました。なお、近くの健診受診機関でも遠くにあるため、今後は協会けんぽとも相談して巡回車等での受診も検討していきたいと思っています。

大事なことはしっかり伝える

業務内容の確認や健康を含む大切な伝えたいことは毎朝ミニミーティングを実施して徹底しています。更に、毎週月曜日の朝礼で様々なミニ研修も行い、従業員には情報過疎に陥らず、健康経営の一翼を担っていると感じてもらっています。

こうしたことから全員が同じ方向を向いて業務を遂行してくれることで生産性があることを期待しています。



真心を込めた業務風景



本社全景

代表取締役
石割洋一氏

“誠実”をモットーに皆が明るく元気に笑顔になれる会社を目指して！

- 代表取締役 石割洋一氏
- 本社所在地 兵庫県西宮市津門大筒町
- 主な事業内容 金属部品製造業
- 従業員数 25名(男性:21名・女性:4名)



健康診断受診率100%の継続！

以前からネットニュースで“健康経営”という言葉は認識していました。そんな時、アクサ生命から投げかけがあり、それから取り組みを始めました。

もともと健康診断受診率は100%が当たり前に継続されていましたが、有所見者に対しての2次健診受診の案内は個人別に出し、その結果については確認をしていませんでした。しかし、昨年、健康管理をおろそかにしてはいけないとの判断から、2次健診受診結果について報告をもらうことにして、受診の後追いを行うようにしました。

福利厚生制度は充実！

病気の治療と仕事の両立支援として、種々の福利厚生制度を実施しています。

★インフルエンザの予防接種は1人3000円を限度に会社負担で実施しています。本人だけでなく、家族の予防接種にも同額の補助をしているので、家族からも喜ばれています。

★病気への備えとして、公的医療保険等だけでは不十分と考え、民間生命保険会社と労災保険の上乗せ保険、医療保険、ガン保険を入社して3か月を経過した全従業員に付保しています。退職金の積立も加算して行っており、長期勤続のモチベーションになっています。

受動喫煙防止対策！

現在、従業員の内、本社に3名、徳島工場に5名で合計8人の社員が喫煙者となっています。当初、事務所・会館内は完全禁煙としていたため、出入口近くに灰皿を設置し、喫煙者に優しい分煙スペースを設けていました。

しかし、受動喫煙防止対策として、禁煙者への配慮からこれまでの分煙スペースを出入口から遠く、わざわざ喫煙のために出かけなければ行けない場所に分煙スペースを移設しました。おかげで禁煙者からは臭いがつかないと好評です。これを機会に喫煙者数を少しずつでも減らしていきたいと考えています。

働き方改革を先取り！

働き方改革が叫ばれる前から年間20日間の有給休暇の取得率は100%となっています。更に、毎年、年間計画で休日を策定していますが、土・日曜日以外に祝日の関係で飛石連休になる日程の時は、間の平日を休日としています。例えば今年のゴールデンウィークの場合は4月30日と5月6日7日を休日にして11連休としました。また年末年始は9連休、お盆休暇は8連休になるよう休日を設定しています。オンとオフがしっかりしているので従業員の皆は喜んでくれるだけでなく、出社時は集中して業務に精励してくれるので生産性も高くなっていると実感しています。

楽しい交流会！

会社組織が本社と徳島工場に分かれていることから各拠点ごとにコミュニケーション促進のために忘年会や食事会を随時実施しています。忘年会については費用を全額会社負担で実施していることから、かなり豪華な食事が出るので全従業員が毎回楽しみにしてくれています。

また、食事会は食事代補助として1人当たり2000円を上限に会社が一部負担してくれるのでタイムリーに複数回実施されて楽しんでくれています。最近はコロナ禍の関係でリモート食事会となっていますがリモートでも食事代補助が出るのでたくさんの参加者で盛り上がっています。



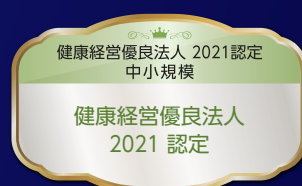
様々な大きさのスプリングワッシャー

ワッシャー製造風景

兵庫県
阪神営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役
瀬戸山良二氏

グローバル化社会での技術革新を目指す！

- 代表取締役 瀬戸山良二氏
- 本社所在地 兵庫県西宮市甲子園口
- 主な事業内容 プリント基板の設計・販売
- 従業員数 6名(男性:5名・女性:1名)



メンタルヘルスの必要性から健康経営

健康診断については全員が期間内に受診してくれています。また、おかげ様で2次健診を指摘される従業員も出ていないので、みんなが健康に働いてくれて、業務に支障を来していないので助かっています。

今後、2次健診が必要な社員が表れたとしても再検査の受診指示および結果の確認まで行い、検査結果が良好になるまで指導し続けようと考えています。また、健康診断結果で指摘を受けた場合、このぐらいは大丈夫と自主的に判断しないで、必ず医師の診断を仰ぐよう強く指導していこうとも考えています。今後1人でも生活習慣病やメンタルで休む社員を出さない経営を心掛けていきたいと思っています。

身体への気遣い

働きやすい環境を作るために、有給休暇については、事務所内に掲載されているカレンダーに休暇取得日を記載するだけで取得可能としています。急な休暇取得であってもカレンダーに「休暇」と記載があればOKとしています。休暇の取得しやすさで本当に喜ばれています。また、飲料水も水とお茶を用意し、糖分の多い飲料は避けるよう指導しています。

課題としては喫煙者が残り2名となり、ビル上階のベランダ(普段は締切)での喫煙を承認していますが、受動喫煙対策を兼ねて、就業時間内完全禁煙にチャレンジしたいと思っています。

コミュニケーション促進

従来より社長は身体を動かすことが好きで、毎月1回は次のような様々なスポーツや趣味に出かけています。

例えば、空で遊ぶハンググライダー、海で遊ぶダイビングやカヌー・釣り、陸で遊ぶロードバイク(長距離)等々、陸海空どんな場所でも楽しんでいます。そうしたことから3か月に1回は同じような趣味をもつ従業員の人々と誘い合っ一緒に楽しくプレイしています。

また、身体を動かす趣味だけではなく、忘年会・新年会等の食事会はお酒好きが集まっていることから大変好評です。現在はコロナ禍の中、自粛していますが、自粛明けには全員で楽しく盛り上げたいと願っています。

更に、業務上、営業中心の社員が多いことから、ほぼ毎日コミュニケーションをとることが出来ているため、従業員のメンタルを含めた体調不良等にも気づくことが出来ていると思っています。こうしたことから意思疎通がスムーズになり、仕事でも和気藹々とした切磋琢磨できていると感じています。

ユニテックベトナム株式会社(完全子会社)
を通じた貢献

現在は国外拠点として、2013年ユニテックベトナム株式会社(完全子会社)を学生支援のために、国立ダナン工科大学のキャンパス内に設立し、その後2018年に業務提携を行いました。また、2015年ラオス国立大学で同じ目的のために奨学金制度を開設し、これまで7名の学生支援を行い、ラオス国立大学から感謝状もいただきました。

今後も引き続き大学との業務連携を通して学生の人材育成のために貢献していきたいと思っています。そして、ゆくゆくは働きやすい・良い会社として当社のユニテックベトナム株式会社に勤務して事業拡大に貢献して欲しいと思っています。

ユニテック ベトナム株式会社を
100%子会社として設立
スタッフは学生が中心2018国立ダナン工科大学との
業務提携調印式

兵庫県
阪神営業所

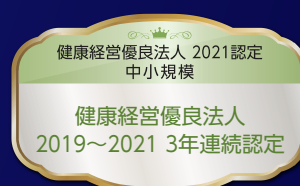
Voice Report
80th
The Interview



代表取締役
熊倉裕二氏

渦流探傷技術の非破壊検査装置・サービスの提供
を通じて安心で安全な社会の実現に貢献！

- 代表取締役 熊倉裕二氏
- 本社所在地 兵庫県西宮市上甲子園
- 主な事業内容 非破壊検査装置・サービスの提供
- 従業員数 12名(男性:8名・女性:4名)



従業員との信頼関係が健康経営の原点

9年前、先代社長が病気を患ったため、他業界で活躍していたご子息である現社長にバトンタッチしました。新社長は時間をかけてコツコツと取引先や従業員との話し合いを重ね信頼関係を築くことを重要視しました。健康経営を始めた原点には、心も身体も元気に一緒に働きましょうという思いがあります。75歳以上の現役従業員もいますので、全員がいつまでも健康に留意して働いて欲しいという思いが優良認定取得につながったと思っています。

働き方改革

働き方改革として「残業時間の削減」と「有給休暇取得5日以上」が出来るように環境を整えました。仕事の仕方を工夫したり、勤怠管理ソフトやノー残業デーの導入、有給取得推進日を設けることにしました。残業時間については少しずつ削減され、今では当初に比べると大幅な削減となり、有給休暇取得についても全員が計画的に5日以上取得できるようになりました。そのおかげで、健康経営に続き「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」にも認定されました。

万全の健康対策

健康診断については、全社員が100%受診し、合わせて女性健診も毎年会社負担で受診しています。インフルエンザ予防接種については、費用は全額会社負担で、就業時間内での受診を認めたところ接種率が100%になりました。また、喫煙対策として禁煙外来の受診費用を会社負担として、家族の協力も得て推進したところ、禁煙に成功し、現在喫煙者率は0%となりました。

コミュニケーション促進～昼食会・企業菜園～

コミュニケーション促進のための共通のイベントとして、年に数回、全員参加の昼食会を社内会議室で開催することにしました。会社負担で塩分やカロリー表記された弁当やサラダ・ヨーグルトなどを食べています。懇親会等は現在自粛中ですが、昼食会は感染防止対策を徹底して開催しています。また、今まで使用していなかった4階ベランダの花壇を整備して、ししとう、つる紫、たまねぎ、大根、人参、スイカ、いちごなど様々な野菜や果物の栽培に挑戦し、収穫できた時は社員全員でおいしく頂いています。



ひょうご仕事と生活の調和
推進企業認定証

企業菜園 収穫と共に！

東北・北海道

関東

北信越

関西・東海

中国・四国

九州

兵庫県
東播磨営業所

Voice Report
80th
The Interview



代表取締役社長
長沼恒雄 氏

企業理念：“人々が成長し社会に貢献できる場の提供”を目指す

- 代表取締役社長 長沼恒雄 氏
- 本 社 所 在 地 兵庫県加東市河高
- 主 な 事 業 内 容 プラスティック製造・販売
- 従 業 員 数 250名(男性:60%・女性:40%)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

禁煙から始めた健康経営！

13年前から禁煙対策を始め、4年前に会社敷地内を全面禁煙にしました。そして、3年前協会けんぽのお勧めから健康宣言を行い、その年から優良法人認定を取得し、3年連続取得することが出来ました。健康診断においては特定健診を含めて受診率は100%で、有所見者には産業医の面談を含めて、2次健診受診まで完全サポートをしています。更に、管理職には人間ドックの経費を1人3万円まで補助し、ガン等の早期発見に役立っています。

感染症対策は万全！

もともと工場において食品に携わる物を扱うことからクリーニングが必要で感染症対策は厳しく実施していました。入口ドアは非接触ドアにし、水での手洗い、石鹸での手洗い、乾燥、アルコール消毒等で除菌し、ソーシャルディスタンスを守りながら業務を行っています。ちなみに、トイレも一部非接触ドアとなっていて、接触感染が起きないように対策を行っています。また、インフルエンザ予防接種は全社員接種し、テレワーク、オンライン会議で接触感染を防止。出社した社員もフリーデスク制で密を避けた業務運営が可能となっています。クラスターを発生させない強い思いで徹底しています。

コミュニケーション促進事業！

従業員間のコミュニケーション促進は非常に大事と考えており様々なイベントを実施したり、サークル活動を支援しています。大きなイベントである社員旅行はコロナ禍で昨年は中止されましたが、毎年皆楽しみにしています。エクシブと会社が契約しているため、家族旅行で格安で保養所を利用出来、好評です。イベントでは、ソフトボール大会やソフトバレーボール大会、地元主催の駅伝大会に参加しています。参加費等は会社が負担するため、見学者も含め大勢の社員が参加しています。また、プロのインストラクターにお越しいただき社内で“ヨガ”教室を開催しています。ヨガ教室に参加している社員からは、以前よりも体が軽くなったと好評です。

MK活動による継続的改善

～基本精神『楽・正・早・安』！

みんな(M)で改善・活動(K)を協力して行うという意味の「MK活動」を45年前から途絶えることなく実践しています。そして、“楽”＝より楽に楽しく、“正”＝より正しく正確に、“早”＝より早く、“安”＝より安心安全に！を基本精神として全ての部署にMK活動リーダーを6か月ごとに任命し、自律協働型の風土を醸成しています。このMK活動のサイクルである6か月ごとに成果発表会を開催して総合評価を行い、慰労会で活動をねぎらい、次の活動への意欲向上を願って表彰を行っています。皆楽しみながら参加しています。

様々な表彰受賞～これからも！

企業として社外(外部)から評価を受けることは大切なことと考えております。これまでの活動において、下記記載のような各種表彰をいただくことが出来ました。これからも自己満足に陥ることなく、皆様に選ばれる企業を目指していきたいと思います。

記

- ★ものづくり表彰～ひょうごものづくり大賞・大賞、みやぎ優れMONO認定証、関西ものづくり新選
- ★ワークライフバランス～えるぼし認定、くるみん認定、みやぎ働き方改革実践企業、ユースエール認定、ひょうご女性の活躍推進企業表彰、ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰等
- ★その他税務関連、安全衛生、健康経営等々、各種認定・表彰多数



本社ビル



前衛的なビル～ナレッジパークin宮城

株式会社多田自動車商会

代表取締役会長
多田幸四郎 氏

「高品質、豊富な種類」でお客様のニーズをサポート！

- 代表取締役社長 平田武士 氏
- 本 社 所 在 地 兵庫県神戸市西区神出町田井
- 主 な 事 業 内 容 自動車中古パーツ生産・販売
- 従 業 員 数 40名(男性:28名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営の第一歩は真剣なラジオ体操から！

まずは健康な身体を作るため、暑い日も寒い日も朝礼の前にラジオ体操を毎日社員全員で行っています。

弊社のラジオ体操の極意は、呼吸の仕方、手足の伸ばし方、ふくらはぎの動き等をしっかり理解して社員全員が真剣に実施していることです。真剣さが足りない社員がいると声を掛け合いラジオ体操をする意味を伝えています。おかげ様でその思いは徐々に浸透しており、作業中の事故防止や健康増進にも役立っていると感じています。健康経営の取組みの第一歩とも言えます。

健康に留意した誕生日プレゼント！

ワークエンゲージメント向上のために、全従業員の誕生日月にプレゼントを渡しています。毎年、趣向を凝らしたプレゼントを渡すのですが、近年は健康関連商品を渡すようにしています。骨格筋率やBMI、身体年齢、体脂肪率の計れる体重計やスマートホンと連動できる血圧計などです。今年はパソコンやスマートホンなどで疲れた目に効果が良いと言われているアイ(眼)マッサージャーにしました。社員からは音楽も流れ、リラックス効果も高いことから好評です。仕事のやる気につながっていると感じています。

楽しいリクリエーション！

従業員間のコミュニケーション促進のために毎年バーベキュー大会を開催しています。家族同伴で参加が出来るので子供たちが飽きないような工夫を凝らしています。食事だけでなく流しうめん・金魚すくい・スイカ割りなどをしたりと準備は大変ですが、毎年社員とその家族が楽しみにしてくれています。

社員が喜んでる姿を見ることはとてもうれしいです。また、毎年仕事納めの日には「正月用の野菜フルセット」を会社から全社員に配布していて、ものすごく喜ばれています。これからもみんなが楽しめるイベントを増やしていきたいと思っています。

社員の健康は地球環境に繋がっている！

弊社は、不動態など不要な自動車から使える部品を美化作業をして、リサイクルパーツとして販売を行っています。また、リサイクルパーツとして販売の出来ない車の部品については鉄・非鉄などの素材として再生利用をしています。弊社が加盟しているNGP日本自動車リサイクル事業協同組合はリサイクルパーツを販売する団体で経済産業省の許可を得ており、部品1点につきベルマーク5点付与や交通遺児育英会への募金活動、香川県豊島の環境保全・再生活動などを行っています。社員の一人一人が1点でもより多くのリサイクルパーツを取扱うことで社会貢献や環境保全に繋がっており、社員の健康が不可欠となっています。

また、地元の「金物祭り」での売上金を被災地や神戸新聞厚生事業団体に寄付をし、弊社独自でも社会貢献には力を惜しみなく使っています。今後も徹底的なエコを追求して、SDGsを体現しながら社員が働きやすく、喜んで自慢できる会社にしていきたいと考えています。



三木営業所兼工場



今年の誕生日プレゼント



全員でのラジオ体操

株式会社小西建築設計事務所



代表取締役
小西龍機氏(右)
常務取締役
天羽剛氏(左)

常に誠実で、全ての人と喜びを分かち合い、元気な集団であること！

- 代表取締役 小西龍機氏
- 本社所在地 兵庫県小野市上本町
- 主な事業内容 建築設計
- 従業員数 26名(男性:23名・女性:3名)



健康意識を強く持って欲しい

昨年、長年勤めた従業員が喫煙を主因とする大病を患いました。こうしたことから従業員には自分の健康について普段より意識を強く持って取り組んで欲しいと思い、「健康経営」に取り組みました。

まず、健康診断は必ず受診してもらい、所見があった従業員には文書で通知し、個別受診指導を行い、受診日は出勤認定を行うことで自分自身の健康に対して強く意識してもらうようにしています。

食生活改善に向けて

これまで、昼食についてはコンビニやスーパーの弁当や惣菜で好きなものを選んで済ませる従業員が多かったのですが、「健康経営」を考えるうえでは決して良くない傾向だと危惧していました。そんな時、栄養士が監修する仕出し弁当の配達が可能業者が見つかり、これを機会に希望する従業員には費用を会社が一部負担することで健康に配慮した昼食を勧奨することにしました。安価でありながら、日替わりで毎日の栄養を考えたメニューとなっていて、飽きることがなく、多くの従業員が利用してくれています。生活習慣病の予防の一役を担ってくれると期待しています。

受動喫煙

喫煙に対しては、会社敷地内は完全禁煙で分煙室も一切設けておらず、喫煙者には肩身の狭い組織です。これは喫煙のための時間は休憩時間と同じとの判断をしているからです。こうして可能な限り受動喫煙を防止し、禁煙を推奨することで完全禁煙会社を目指したいと思います。



全従業員
と共に！

従業員のために出来ること

従業員間のコミュニケーション促進のためにBBQ大会や新入社員歓迎会、忘年会等を実施しています。コロナ禍の関係で今は自粛していますが、みんなで楽しい時間を共有できる機会を再開したいと思っています。また、従業員のリクエストから「健康経営」につながる様々なセミナーや研修を実施しています。社外から専門講師をお招きし、管理職向けや一般職向けのコミュニケーションやメンタルヘルス等の研修を実施していて社員から好評です。今後も社員が興味を持ち身近な内容の研修を継続していこうと思っています。

運動不足解消・気分転換

仕事柄、座って業務を行うことが多く、運動不足に陥りやすくなります。毎日15時からの換気タイム時に15分間のストレッチ体操タイムを設けています。机の回りだけでできる簡単な運動ですが、いい気分転換にもなっていてみんな楽しく実施してくれているので、今後も健康アプリ等を利用し継続していきたいと思っています。



社内公募健康川柳



本社全景

代表取締役社長
大西浩介 氏

品質本位、お客様本位でつくりあげる「日の出」ブランド！

- 代表取締役社長 大西浩介 氏
- 本 社 所 在 地 兵庫県加古郡稲美町蛸草
- 主 な 事 業 内 容 食品及び酒類の製造及び販売
- 従 業 員 数 230名(男性:70%・女性:30%)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

安心な健康診断！

健康経営の取組みは10年以上前からワークライフバランスの推進に取り組んでいて、健康経営の取り組みと重なっていたことから認定取得が可能と思い、始めました。当時からインフルエンザ予防接種は全社員に実施し、35歳以上の従業員には毎年の健康診断の際、ガン健診(腫瘍マーカー検査)費用を会社が半額負担することで受診率が上がっています。有所見者には2次健診を案内した後、実際に受診したかどうかの報告をもらって受診率を上げています。また、特定健診の有所見者に対しては保健師の方との面談を推奨しており、メタボ対策としています。

ワークライフバランスの徹底！

有給休暇制度については、皆さん真面目に働きすぎるので、取得率は50%ほどで推移しています。未取得分は1年間は繰り越せるので、毎月残日数を社員ごとに連絡して、少しでも取得率がアップするよう指導しています。また、疾病特別休暇制度を制定しており、勤続年数により日数に相違はありますが、長期疾病による入院等にも備えられるようになっていて雇用の確保につなげています。そして、介護時短制度も創設して、有給休暇の取得だけでは不足する際は、時短勤務可能としていて、従業員からは安心できる制度として喜ばれています。

禁煙に向けて！

喫煙者がまだ全社員の15%ほど在籍しているので、喫煙対策として下記施策を実践しています。1つは、屋外での分煙コーナーの設置です。最近ではコロナ禍の関係で副流煙による感染リスクがあり、受動喫煙防止の観点から、喫煙場所を移設する予定です。2つは、毎月禁煙デーを策定しています。この日だけは禁煙にチャレンジしてもらっています。このまま禁煙にチャレンジしようとする社員には禁煙外来の受診費用を補助することも検討していく予定です。

コミュニケーション促進！

コミュニケーション促進を目的として、毎年社内旅行を全従業員参加で実施しています。従業員間の互助会として積立していますが、その積立金と会社から補助を出して、有名な旅館やホテルに宿泊する事で、従業員も豪華な食事や温泉を楽しむにできており、参加率も非常に高くなっています。更に、互助会の補助により部署間で随時、懇親会を開催しコミュニケーションを図っています。また、会社に「アグリ事業部」があり、ワイン用のブドウを育てて収穫し、一からワイン作りを行っています。まだブドウの木も成長途中で満足のいく量は作れていませんが、今後安定した量が作れるようになれば、販売と同時に従業員の皆さんと一緒にワインを飲めればと思っています。

今後の課題！

今後の対策として、ひとつは喫煙者対策です。完全禁煙は難しいと思いますが、毎年少しずつでも禁煙者が増えるよう地道に啓蒙していきたいと思っています。そして、もうひとつは従業員の食生活の改善に向けた取り組みを始めたいと思っています。食生活の中で野菜の接種率が極めて低い社員も多いことから昼食の給食について、料金の一部を会社負担することで健康食を選択できるようにしようと考えています。昼食をしっかり食べることで仕事にも集中できるようになると考えているので早期に始めたいと思っています。



健康のための各種取扱商品

兵庫県
姫路営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役
高吉智也 氏①社員が成長する②人とのつながりを大切にする③楽しく仕事をする
3つの企業理念のもと、健康経営に取り組む

- 代表取締役 高吉智也 氏
- 本社所在地 兵庫県姫路市南条
- 主な事業内容 精密重量物運送業
- 従業員数 44名(男性:15名・女性:29名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

働き方改革で従業員の働きやすい環境作り

3年前、働き方改革の一環から、新たに応募してくる新人従業員のために、会社の企業イメージをアップさせるための方策として、就業規則を大幅に変更しました。その内容は同業他社ではなく、他業他社と比較しても遜色のない規定にしようと考えました。運送業ではこれまで運転手に勤務してもらうために難しいと言われていた休日、有給休暇の取得、残業管理等を徹底的に見直して、一般企業と同様な規則に変更しました。従業員からは大変な驚嘆と称賛をもらうことが出来ました。

引越し業者とのコラボから禁煙に！

事業はピアノ運送が主体であったため、引越し業者とのコラボレーションが進んでいました。しかし、運転手の喫煙率が高く、引越し荷物にタバコのにおいが付着して、荷主や引越し業者よりクレームが何度か入ったことで、車内禁煙を徹底しました。

配送中は会社の目が届かないことから、禁煙ステッカーを作成し、全配送車に目立つように貼り付けました。おかげ様でそれを見た引越し業者からタバコの臭いがなくなったと感謝の言葉も届き、禁煙が進んでいると感じています。でもまだ喫煙者が1/3ほどいるのでこの人数を減らすことが課題です。

就業規則の変更！

就業規則はこれまで運送業として、移動・運転・集配等で時間外勤務が常態化していましたが、社長の強いリーダーシップから一般の会社と同様に勤務時間を9時開始の18時終了を徹底しました。もともとピアノ運送が主体であることから時間外の集配は顧客の理解を得られないので、この時間内で勤務可能となりました。一般事務職の社員も昼休憩を交代制にしていたのですが、どうしても早番の社員の勤務が長引く傾向があったため、お昼のコア時間帯は「休憩中です。」とアナウンスを流し、社内外の連絡は待っていただくようにしたことで、全員が気兼ねなく休憩できるようになり、好評を得ています。

福利厚生とコミュニケーション

運送業の仕事柄交通事故や配送中の事故等への備えとして、労災保険とは別に損害保険に加入し、十分担保していました。しかし、最近脳梗塞により長期に治療が必要な社員が出て、その治療費が高額であったため、全従業員に3大疾病保険に加入し、万一罹患したときには100万円の一時金が支給できるようにしました。従業員からは会社で用意してくれるので、安心と好評です。

また、コミュニケーション促進事業として、任意ですが、ゴルフコンペの開催や、野球チームを作って早朝野球連盟に加盟していました。朝6時開始は厳しいこともありましたが、勝利したときは生産性がものすごくアップして楽しかったです。

今後の展望

社長は決断力が早く、指導力にも優れていて、良いと思ったことはすぐに実行に移してきました。健康経営もしっかりですが、事業上、様々な案件について威風堂々と対応してきました。ですが、最近は少し従業員が委縮しているのではないかと感じ、聞く姿勢を明確にしてみたところ、風通しの良い職場感が生まれ、権限委譲が進み、従業員が自ら考えて対応する姿勢が顕著となりました。事務所も大変明るくなり、お客様が来社されたときや、辞去するときには全員が立ち上がってお出迎えの挨拶をしていて、働きやすい会社であることが外部からも評価を受けてるので、今後も継続していきたいと考えています。

全従業員参加の楽しい
新年会集合写真お出迎えやお見送りが当たり前の
明るい事務所風景

兵庫県
姫路営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
大和武人氏

長年培った信頼の技術力を活かし、地域の皆様に貢献する！

- 代表取締役社長 大和武人氏
- 本 社 所 在 地 兵庫県姫路市大津区新町
- 主 な 事 業 内 容 土木、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、塗装
しゅんせつ、水道施設、解体工事等総合建設
- 従 業 員 数 26名(男性:23名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

従業員が大事だから始めた健康経営

2年前にアクサ生命から健康経営の話を聞いて、取り組みの提案をもらった際、従業員が長く、安心して、楽しく働き続けて欲しいと常々考えていたので、すぐに取り組むこととしました。

まずは健康診断について、既に全従業員が100%受診してくれていたの、そのまま継続するだけでなく、有所見者にはこれまで2次健診の受診勧奨をしていたので、がん検診や婦人科健診等も任意ではありますが、実施可能とし、病気の早期発見に努めたいと思います。

体調管理は万全にしています

建設業の仕事柄、1人が身体に不調を来すことで周囲の従業員に負荷をかけることになるので、普段から体調管理には十分気を付けるようにしています。

毎月理学療法士の方からアドバイスを受けて、定期的に計画的に指導を受けています。体幹を鍛えることで体調不良が減少しているのを実感しているので継続したいと思っています。更に、身体を鍛えられるよう会社内にトレーニングルームを設置し、常時時間の空いた時に利用できるようにしていく予定です。

社内コミュニケーションは積極的に実施

社内コミュニケーションはなるべくたくさんの従業員同士で仲間意識が醸成できるよういろんなイベントを実施しています。

例えば、ほぼ全員参加で事務所の広場を使用したバーベキュー大会は家族同伴でもOKとしたため、小さい子どもがいる従業員は連れてきて楽しんでくれています。

他にもボーリング大会や、ゴルフコンペ、釣り大会、ことあるごとの食事会、たまにはコロナ感染対策を万全にしたアルコールが入る懇親会も実施し、仕事終わりの楽しみのなっています。

エコアクション21認定の好影響

エコアクション21の認定取得を通じて環境問題への積極的かつ継続的な取り組みを行っているの、会社に所属している全従業員の意識が高く、自分の健康だけでなく、周囲の人への悪影響が少なくなるよう配慮もしてくれています。特に喫煙する社員は禁煙者への配慮が良くできていて、分煙室は可能な限り狭いスペースにして、多くの社員が一度に入室できないようにし、現場においては完全禁煙を励行していることから吸いたくても吸えない環境を作ることによって喫煙対策を徹底して、少ない喫煙者を更に減らしていきたいと考えています。



楽しい社員旅行

全従業員参加で
バーベキュー大会

福利厚生制度は充実

有給休暇について、仕事柄繁忙期にはなかなか希望通りには休暇取得が難しいですが、閑散期にはその分可能な限り希望通りに休暇を取得出来るようしています。計画的な取得が可能なので、従業員からは好評です。

また、労災保険の上乗せ保険や退職金の積立制度については生命保険も活用し、何か不測の事態が生じたときに従業員本人あるいは家族に負担が生じないよう万全の対策を行っていて、安心感につながっています。そんなことから離職率は非常に低く、ほとんど退職する従業員がいないので事業拡大にもつながっています。

鳥取県
米子営業所Voice Report
80th代表取締役社長
野間誠一 氏

「健康第一、社員あつての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長 野間誠一 氏
- 本 社 所 在 地 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津25-1
- 主 な 事 業 内 容 機械器具設置工事・管工事業
- 従 業 員 数 16名(男性:13名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

社員と家族の健康を願い

きっかけは協会けんぽからのお知らせでした。「不健康で医療費がかさむと保険料が上がり会社負担も増える。みんなが健康なら保険料負担も減って一石二鳥」という内容に共感。かねてから「会社は社員の健康あってこそ。社員と家族が心身ともに健康で、活気あふれる会社にしたい!!!」と考えていたので、すぐ健康経営事業所宣言をし、2014年7月から取り組み始めました。

懸垂棒とバランスボールも

2020年、アクサ生命の健康習慣アンケートを実施したところ、社員の運動習慣への意識の低いことがわかりました。そこで、社内で気軽にトレーニング出来るように、懸垂棒とバランスボールを設置しました。懸垂棒の横には「一日1分ぶら下がろう!」と書いたポスターとタイマーがあり、男性社員が張り切ってぶら下がっています。バランスボールは主に女性社員がデスクワーク中座っています。少しでも腰痛や肩こりの改善になればと願っています。

具体的な取り組み

- ・就業前のラジオ体操、体重・血圧の測定を毎日しています。
- ・休憩室に畳を敷き、休憩時間に横になって体を休められるようにしています。
- ・健康に関する情報や社内報を随時閲覧し、健康意識を高めています。
- ・コロナ禍で親睦会が出来ないため、こまめに社員に声をかけてコミュニケーション不足を補うようにしています。

今後の展望

長引くコロナ禍で、より一層、健康の大切さや人とのつながりの大切さを痛感しています。「社員あつての会社」。社員とその家族みんなが、心身ともに健康で安心して暮らせるように寄り添い、社員がやりがいを感じ自己実現出来るような健康経営を目指していきたいと思います。そして、SDGs（持続可能な開発目標）の精神に則り、安全で快適な暮らしを支える企業として、地域社会の皆様に愛され貢献することを目指します。

健康診断の徹底と5年分のデータで知事表彰

毎年の健康診断はもちろんのこと、オプション検査も会社が全額負担しています。また、インフルエンザ予防接種や脳ドック受診費用も会社が全額負担しています。さらに、健康診断結果通知表の5年分のデータをグラフ化して、一人一人に渡しています。自分の体の変化と課題に気づいてもらい、健康意識を高め、健康行動につなげてほしいと考えたからです。この取り組みで2018年度の鳥取県知事表彰を受賞しました。



島根県
出雲営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
森山恵介 氏

「お客様の期待を上回るサービス」を実現するために！

- 代表取締役社長 森山恵介 氏
- 本 社 所 在 地 島根県出雲市上塩冶町
- 主 な 事 業 内 容 都市ガス供給/LPガス販売・電力小売り
- 従 業 員 数 29名(男性:24名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」は出雲ガスの重要な経営戦略事項！

平成31年2月に現在の社長が就任されました。新社長の方針の中で、①現役社員が年々、健康診断の結果が悪化している事②これから入社される新しい仲間にとって働きやすい職場環境作りが必要な事。この2点への改善計画として、「健康経営」の存在を知り取り組みを始めました。現在の出雲ガスの中期経営ビジョンにも「健康経営」は重要な経営戦略事項として掲げています。

「社長自ら社員の健康面に関心を持つ」！
コミュニケーションこそ成功への秘訣！

まず、社長自らが健康診断の結果にて所見があった従業員と個別面談を行っています。
社長自らが従業員の健康状態に関心を強く持つことが健康経営に欠かせないものだと思います。
従業員のコミュニケーション促進として2年に1回、2班にわけて社員旅行を行っています。東京や北海道、大阪などこれまで様々な土地に行き、業務を離れた親睦を通じて普段の従業員同士の連携強化につながっています。

認定後、さらに社員の健康意識が高まりました！

「健康経営優良法人」に認定されてから特に、従業員同士の健康意識が高まったと感じています。
従業員同士で「こんな状態だと優良法人をはく奪されてしまうよ！(笑)」と「健康」が社内での共通言語となり互いの健康を意識するようになりました。お取引先はじめ地域貢献として、週に1度お弁当をテイクアウト(会社が半額負担)しておりますが、そのメニューについてもお互いが声をかけあって健康を意識した食生活に繋がっています。

会社説明会に参加された全員が面接希望へ！

リクルートにおいて大きな効果がありました。過去、求人を出しても応募者0人という事もありましたが健康経営の取り組みをHPや会社説明会など幅広く社外発信をした事で今年は10人を超える応募者があり、その全員が面接を希望されました。会社が従業員の健康と働き方を最大に配慮している事が強く求められる時代だと感じています。離職率もほぼ0%であり定着率も非常に良くなっています。



【社員旅行】

コロナ禍にて現在は旅行延期しています。収束後の旅行を皆、楽しみにしています。



【新入社員】

会社の未来を背負う貴重な人財です。

お客様の期待を上回るサービス提供に向けて「健康経営」益々取り組んでいきます！

弊社は、「地域の皆様の豊かな暮らしを提供できる企業」になるために「お客様の期待を上回るサービスを提供できる企業」を目指しています。
その為には従業員がやりがいと誇りを持てる職場を構築し、生産性高く、創造性豊かな働き方の実現が必要不可欠であり、健康経営に対しても今後益々取り組んでいきたいと考えています。

岡山県
倉敷営業所Voice Report
80th
The Interview

(有)南栄工業 社屋外観

「従業員の健康が会社の喜び」

- 代表取締役社長 森田吉武 氏
- 本 社 所 在 地 岡山県倉敷市亀山820
- 主 な 事 業 内 容 鋼構造物業製造業
- 従 業 員 数 14名(男性:11名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」導入のきっかけは社長の病気から

健康経営導入のきっかけは、社長が大病を患い、長期入院する事態に陥ったことでした。一人欠けることで生じる不利益や、リスクの大きさを目の当たりにし、従業員1人1人の健康・マンパワーの大切さを思い知りました。それがきっかけとなり、協会けんぽの「晴れの国から健活企業」の健活宣言を行うことになりました。しかし、何から取り組んでいけばよいか分からず、悩んでいました。そんな中、アクサ生命の担当者から優良法人認定制度の詳しい話を聞き、本格的に健康経営の取り組みをスタートすることになりました。

今後の展望

社内にトレーニングルームを設置したいと考えています。従業員だけでなく、ご家族の方にも利用していただき、個人の健康増進のサポートをしていきます。さらに、健康セミナーを随時開催し、従業員の健康意識を高めるとともに、「健康診断再受診対象者0名」を目指していきます。「従業員の健康が会社の喜び」という考えのもと、今後も健康経営優良法人認定を取得し、ブライツ500にもチャレンジしたいです。

健康診断再受診率100%を目指しました

アクサ生命の健康経営アドバイザーによる健康習慣アンケートを実施し、従業員の健康に対する意識や健康状態を把握するところから始めました。その後、アンケート結果を全社員にフィードバックすることで生活習慣改善の必要性を皆で共有できたと思います。その結果として、2020年度は、「健康診断再受診率100%」を達成できました。

カロリー表示だけでなく、
内容も見直しました毎朝8時からラジオ体操を
実施しています

具体的な推進活動

- ①自動販売機のカロリー表示
- ②共有スペースに食生活に関するチラシの掲示
- ③毎週木曜日に、会社より手作りのヘルシーメニューを無料で提供
- ④毎月1回健康情報を配信
- ⑤ラジオ体操を実施
- ⑥商工会議所主催のメンタルセミナーを受講

健康情報は
ファイリングして、
いつでも見返せる
ようにしています従業員の
共有スペースです毎週木曜日の
手作りメニューです

株式会社千田組

代表取締役社長
上原正樹 氏

「創立70周年を迎え地域の皆様に愛される企業となるため」

- 代表取締役社長 上原正樹 氏
- 本 社 所 在 地 岡山県岡山市北区吉備津1684-4
- 主 な 事 業 内 容 総合建築業
- 従 業 員 数 31名(男性:29名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

自身の禁煙成功体験を従業員へ

弊社が健康経営に取り組むきっかけとなったのは、まず私が禁煙を成功させたことが挙げられます。近年はタバコの健康被害について様々な警鐘が鳴らされていますが、私自身、禁煙を実行することで体調が良化し、改めて健康的な生活習慣を過ごす大切さを感じることができました。また同時期に長年勤務してくれていた従業員を病気で失うという出来事も、結果として弊社が健康経営に取り組む大きなきっかけとなりました。

具体的な健康経営の会社施策として

まず禁煙対策としては社屋の禁煙、会社車輛の禁煙を実行しました。また勤務時間内の禁煙時間設定により、従業員の喫煙率を大きく減少することができました。次に感染症予防としてマスク・アルコールの設置に加えて、インフルエンザ予防接種の全額会社負担を新たな施策として取り入れました。最後に運動習慣の向上を目的として、地域で行われるマラソン大会参加を従業員に呼びかけ、従業員の大部分が参加し、共に汗を流すことができました。

岡山県協会けんぽの「健活宣言」を行いました

健康経営に取り組むスタートとして、岡山県協会けんぽの担当者より、健康宣言事業をご紹介頂いたことから、「晴れの国から健活企業」にエントリーすることとしました。なお、具体的な取り組みは健康経営の担当者を設定の上で、喫煙対策・感染症予防・運動習慣の向上を3つの柱として、様々な会社の施策を策定・実行してきました。

創立70周年を迎え、健康経営を更に深めます

弊社は高圧送電線基礎工事を主体に、電気通信事業に関わる土木・建築工事などにおいて「自主施工」を行っており、おかげさまで2021年に創業70周年を迎えることができました。会社の発展は社員の健康があってこそ実現するものです。今後も引き続き地域へ貢献できる企業を継続するために、健康経営を深めていきたいと考えています。



地域のマラソン大会に参加しました



会社車輛は全面禁煙へ

岡山県
倉敷営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
守永一彦氏

「時代と共に自らの姿を変えていく」企業であり続けるために！

- 代表取締役社長 守永一彦氏
- 本 社 所 在 地 岡山県倉敷市玉島阿賀崎1-6-14
- 主 な 事 業 内 容 工作・精密設備機械等の輸送・搬入・据付サービス
- 従 業 員 数 27名(男性:23名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

運輸業ならではの従業員の健康課題

弊社の主な事業内容は工作・精密設備機械等を輸送する運輸業です。トラックで長距離運転を行う多くの従業員は、腰痛の持病を持ち、長期間の勤務より歯医者に通院できずに虫歯を悪化させるといった業界ならではの健康課題を抱えていました。

協会けんぽの健康宣言事業に参加

現状の課題に頭を悩ませていた時に出会ったのが、協会けんぽが実施している健康宣言事業です。社内外に健康経営を取り扱う企業であることを宣言することで、社内で具体的な対策をスタートするきっかけが生まれました。

現状課題の把握により、具体的な対策を立てることができました

まず、従業員の生活習慣アンケートを実施することで、喫煙者数の多さ、運動習慣の不足などといった健康課題が明確になりました。そこで会社としてスポーツ奨励の働きかけを行ったところ、現在では社内でバドミントン・フットサルといったスポーツを楽しむ社員が増え、社内コミュニケーション向上の効果も出てきました。



トラックに装備する次亜塩素酸水と事務所入口の消毒液

新型コロナウイルス感染症対策も迅速に

2020年からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、弊社ではトラック1台につき次亜塩素酸水を装備し、事務所入口に消毒液を設置するといった感染症予防対策を迅速に実施しました。

「モノ」に籠められた想いを運び「繋ぐ」者であるために

我々は、「モノ」を運ぶことを主たる業とする集団ではありますが、「運び」エキスパートになることもさることながら、「モノ」に籠められた想いを運び「繋ぐ」者でありたいと願っております。そして、現状に満足することなく、変革の能動者たることを自らの使命として変化成長するためにも、従業員の健康は欠かすことができないものです。引き続き健康経営への取り組みを前に進めていきたいと思っています。



岡山県倉敷市玉島の事業所

岡山県
倉敷営業所Voice Report
80th
The Interview

水島運搬機(株) 社屋外観

会社の成長は「従業員の健康」があっこそ！

- 代表取締役社長 平垣真佐和 氏
- 本 社 所 在 地 岡山県倉敷市東塚5-13-36
- 主 な 事 業 内 容 産業機械の検査・整備、物流製品の販売
- 従 業 員 数 13名(男性:12名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

メディアで知ったことがきっかけでした

弊社は、ボブキャットやフォークリフト等の建設機械販売だけではなく、検査や整備・修理も行っている、建設荷役車両の専門家集団です。専門的な資格・技能を有している従業員が多いため、1人欠けることで生じる不利益や、マンパワーの大切さを感じていました。そんな中、健康経営について、テレビや新聞などのメディアで知り、「従業員の健康があっこそ、会社の成長につながる」という考えに強く共感しました。それがきっかけとなり、健康経営の取り組みをスタートしました。

最初の取り組みとして、完全禁煙から始めました

健康経営に取り組む以前は、従業員13名中9名が喫煙者で、喫煙者率が高かったように思います。受動喫煙の面から考えても健康へのリスクが高いと考え、まずは、完全禁煙を目標としました。きっかけづくりとして、禁煙成功者にはQUOカードを進呈する制度を確立しました。現在は、敷地内の喫煙所を撤去し、社屋敷地内の完全禁煙を達成することができました。従業員1人1人が前向きに取り組んでくれたことを嬉しく思います。

運動不足解消の取り組み

次の課題として、従業員の運動不足解消に取り組みました。まず、ラジオ体操を実施し、毎日欠かさず継続して取り組んでいます。また、運動機会の提供として、法人でスポーツジムと年間契約を行いました。その他、お昼休憩中の縄跳び運動、自転車通勤を推奨しています。

今後の展望

2021年度最初の取り組みとして、従業員に対してアンケートを実施する予定です。弊社の現状を見える化することで、今後の取り組むべき課題を明確にすることが目的です。健康経営優良法人認定はもちろんですが、ブライイト500にもチャレンジし、「従業員の健康・会社の成長」を実現したいです。

スマート通勤おかやま実行
委員会よりいただいた感謝状従業員から要望があり
購入した体重計

お昼休憩中の縄跳び運動



毎朝実施しているラジオ体操

法人契約している
スポーツジムの会員証

代表取締役社長
本宮克博 氏

「社員を大切に下さい」先代からの言葉と想いを信条とし、その想いは全てのステークホルダーへ繋がっています。

- 代表取締役社長 本宮克博 氏
- 本 社 所 在 地 広島県東広島市安芸津町三津4892-1
- 主 な 事 業 内 容 配管冷暖房装置等卸
- 従 業 員 数 22名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営への取り組みについて

「社員を大切に下さい」との先代からの言葉と想いが本宮社長の信条です。ここへ来て働き方改革と両輪で更にもう一歩、より従業員の健康へと、健康経営への取り組みを開始しました。

丁度取り組みを始めた矢先コロナウイルスの感染が広まり、世界的なパンデミックとなり、国内でも消毒液、マスクが不足する中、いち早く海外から購入し、社員へ配布する等、改めて社員の命が一番大切であることを痛感したスタートでした。

社員のより働きやすい会社になる事は 会社の利益である

最初に取り組んだことは働き方改革と両輪で有給休暇の取得しやすい環境作りでした。本宮社長自ら取得奨励を積極的に発信すると共に、女性社員も多い職場であることから従来からあった育児・介護休暇取得奨励の規定化を実施しました。社員の参画が始まり、今では社員間でスケジュール表を作成し、より気持ちよく休暇取得出来るようになりました。



本社社屋



本宮社長(優良法人認定証)



休暇取得スケジュール表

健康経営の広がりについて

健康習慣に関する行動傾向において、①運動②飲み物③食生活への課題が明らかとなり、飲み物は常時、冷蔵庫へお茶を準備し社員の誰もが気軽に飲めるようにし、食生活についてはランチタイムに管理栄養士でもある本宮社長の奥様が独身の社員さんへお昼を提供する等以前より実施していたことへ目的と意識をプラスしスモールチェンジから広げています。今後は運動への意識付けを考えています。

今後の取り組みについて

健康経営としての取り組みは始まったばかりですが、社員が自ら考えて、自ら行動に移して行けるよう、その為の環境作りやサポートを様々な事例を参考にしながら取り組んでいきます。

アクサ生命担当者の引き続きのサポートに期待しています。

株式会社キャスルコーポレーション

代表取締役社長
馬屋原聖史 氏

「働きがい 人生を楽しめる」そんな会社でありたい

- 代表取締役社長 馬屋原聖史 氏
- 本 社 所 在 地 広島県福山市明神町2-17-3
- 主 な 事 業 内 容 リネンサプライ業
- 従 業 員 数 6名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定従業員に元気で長く働いてほしいと思い、
健康経営に取り組む必要を感じました

アクサ生命担当者から健康経営の話を聞くまでは健康経営という言葉を知りませんでした。人生において体が資本であり、従業員に元気で長く働いてほしいという思いから健康経営の取り組みをしていくこととしました。

様々な取り組みを実践

健康経営の取り組みとして、毎月アクサ生命から頂く健康経営ワンポイントアドバイスのチラシを従業員一人一人に社長から手渡しで配布しました。また、会社入り口にある自動販売機にトクホの商品を導入し従業員の意識改革を図りました。休憩室には運動器具を設置し従業員がいつでも利用出来る様にしました。

コロナウイルス感染拡大防止対策を実施

品切れ状態だったマスクを会社から全員に配布した他、空気清浄機、消毒液を早期に設置しました。また、お客様の元へ訪問する仕事であることから、消毒液をスプレーボトルに入れ個々に持たせました。訪問の際、入り口で必ず消毒をするよう徹底。お客様に安心して頂ける様取り組みました。



社員と考えた経営理念



消毒液をスプレーボトルに入れ替え、携帯用を全員が所持

従業員の意識が変化

健康経営の取り組みとして実施したアンケートの結果を見ると朝食を食べてない従業員が多くいることがわかりました。社長からの声掛けが良かったのかは分かりませんが、会社で朝食をとる社員の様子が見られるようになり意識の変化を感じました。また、禁煙した社員もあり、健康経営を実践して良かったと感じています。

今後の展望

昨年50周年を迎え、目指す100年企業に向け折り返しとなりました。私の代で100年は難しいですが、100周年を迎える三代目に良い形で繋げるため、二代目社長として社員とともに経営理念を考えました。そこで全員で決めたのが『働きがい 人生を楽しめる会社作りをします』という言葉でした。当社は20代～40代の社員がほとんどであり、これから長く一緒に働いていく仲間です。健康経営を実践していくことで社員が一丸となり会社と社員が共に成長していく。そんな会社にしていきたいと思っています。

会社入口の自動販売機に
トクホ商品を導入休憩室に設置した運動器具
(エアウォーカー)

広島県
福山営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役
山田哲矢 氏

社員幸福 ～社員と家族を第一に考えよう～

- 代表取締役 山田哲矢 氏
- 本社所在地 広島県福山市曙町4-3-18
- 主な事業内容 建設工事業
- 従業員数 21名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営のきっかけ

弊社は組織を適切に管理統制する「仕組み」として国際標準規格「ISOマネジメントシステム」の品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステムを取得しています。その中で労働環境の整備に取り組み、安全に働ける職場作りを日々心掛けております。その取り組みを続ける中で、労働災害を未然に防ぐためにも、社員の健康を整えることが重要であり、その積み重ねが顧客満足につながると気付かされました。そこにアクサ生命のご担当者様から健康経営のお話があったことが健康経営の始めるきっかけになりました。

健康経営の取り組み

健康経営の取り組みとしては、食べ物や飲み物、タバコなど様々なテーマで社内研修を行い、その結果、社員の健康意識が高まりました。健康診断などの健診にかかる費用はすべて会社負担とし、健診に行きやすい環境を整えました。

社員第一の取り組み

昨年は新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染対策のため従業員、家族、そしてパートナー企業様にマスクを100枚ずつ配布いたしました。



会社の外観

健康経営を取り組んでみた結果

健康経営に取り組んだことで、原点である企業理念を思い返すことができ、職場内の雰囲気はとてもの明るく良くなりました。会議では、職場環境を良くするための意見が社員から出るようになり、団結力が生まれ、社員一人ひとりが何事も自分ごととして考え行動する、積極性が生まれました。会社としては、他社とのつながりが増えたことも健康経営に取り組んだことの効果になります。

今後の展望

弊社は創業30周年を迎えましたが、社員幸福を第一に掲げております。企業が成長するためには社員の活躍は不可欠です。従業員一人一人と向き合い安心・安全・安定した環境を維持するため、今後も健康経営に取り組んでいこうと考えております。そして、この健康経営を企業文化として残していき、地域に愛され持続的な社会に貢献できる企業であり続けたいと考えております。



環境に配慮した企業等活動をリードする人材を育成して輩出し、その活動をバックアップする企業を表彰する「環境大臣賞」を取得しています。



屋上を有効活用し、休憩スペースに

山口県
下関営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
高井信明氏

物流企業として地球環境保護に取り組む！健康経営もその一環！

- 代表取締役社長 高井信明氏
- 本 社 所 在 地 山口県宇部市川上字上白石133-1
- 主 な 事 業 内 容 一般貨物自動車運送
- 従 業 員 数 43名(男性:38名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

常に安全を確保し、お客様の要求に応えていく

物流企業として常に安全を確保しなければならないことは誰もが周知していることですが、そのためには従業員が健康でなければいけない。

この業界の傾向として、肥満・喫煙・高齢化が挙げられます。長く働いて貰う為にも、健康経営は不可欠なことであると思い、健康経営の取り組みを決意しました。

そしてこれが、お客様の要求に応えていくことにも繋がっていきと確信しました。

少しずつ健康経営の広がりを実感

健康経営に取り組み始めて以降、自分自身も健康に気を付けるようになり、健康に関するチラシや記事などに目が向くようになったことは取り組みによる意識の変化だと感じます。

また健康宣言を行って以降、社員の中には自発的に運動を始め、減量に挑戦した人もいました。

1人ずつ、少しずつ、会社の中で広がっているなと実感しています。

優良法人認定に向けての取り組み

最初に、従業員全員に生活習慣アンケートを実施し、その結果を従業員へ向けて、アクサ生命さんのフィードバックセミナーとして開催し、共有していただきました。

このセミナーの実施が、従業員には本気で会社が取り組みを始めたことを認識して貰えた最初の1歩となりました。

今後の展望

社員が元気で永く務めることができる会社を目指しています。まだまだ、社員には健康経営が浸透しきれていない部分もありますが、従業員あつての会社ですので従業員の為にもとにかくコツコツと継続していきたいと思っています。

出来ることから無理せず開始

- ①健康診断100%の受診率
- ②再検査受診の声掛け
- ③自販機に特保のお茶を採用
- ④ウイルス対策
 - ・アルコール消毒の設置
 - ・マスクの配布
 - ・事務所への出入りの人数制限
- ⑤健康チラシの回覧



代表取締役
安成信次 氏

従業員がより健康で、生き活きと働くことが出来る環境を実現！

- 代表取締役 安成信次 氏
- 本社所在地 山口県下関市綾羅木新町3-7-1
- 主な事業内容 総合建設業
- 従業員数 183名(男性:124名・女性:59名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

従業員の健康の大切さを実感

昨年、社員が病気になり、長期休暇をとったことをきっかけに社員の健康の大切さを改めて実感しました。そこで、社員がより健康で生き活きと働くことが出来る環境を実現できるよう、健康経営を進めていくことにしました。安成工務店は、健康に良い自然素材の木の家を扱っていることもあり、当社の理念とも通じるところがあります。健康に良い木の家を扱っている会社で働く従業員も、健康で生き活きと働けるようにと思っています。

従業員の喫煙習慣の大幅改善を実現

- ①前から気になっていた喫煙習慣の改善に取り組みました。第一段階として、禁煙外来の補助から実施しました。段階的禁煙を経て、2021年より完全禁煙へ移行しその結果、2020年3月から2020年12月にかけて従業員の喫煙率は、20%から9.5%へ減少しました。
- ②社内に設置している自動販売機については、野菜ジュースや体脂肪を減らすお茶などをメインに導入しました。

ワークライフバランスの推進

- ①従業員が病気にかかった時、安心して治療と仕事の両立ができるようにするため、傷病等により長期休暇となった従業員に対して、生活保障の拡充を図ることが出来る保険を導入しました。
- ②育児等を理由に退職した社員が一定条件を満たした場合に再就職できるジョブ・リターン制度を導入しました。また、従業員自身が年間5日の有給取得計画を立て、それに従って取得する制度を始めました。

社員とその家族を守るための取り組み

- ①感染症の拡大を阻止する対策として、アルコールの設置、状況に応じた在宅勤務、インフルエンザ予防接種に対する費用補助等を実施しました。予防接種費用補助により、予防接種率は昨年より24%から64%に増加しました。
- ②スポーツイベントの参加費補助を実施しました。社員が健康で生き活きと働くことで、その家族も含めて、会社と社員(+家族)と一緒に成長できると信じています。

今後の展望

今年初めて、健康経営優良法人に認定されましたが、どちらかと言うと会社としての取り組みが先行して、社員にあまり浸透していない部分があるように感じます。これからも社員自身に意識が浸透していくように活動を推進・継続していきます。



代表取締役
二宮多美枝 氏

職場を良い環境にすることで従業員の心の健康をつくる！

- 代表取締役 二宮多美枝 氏
- 本社所在地 山口県下関市川中豊町2-7-10
- 主な事業内容 司会・イベント業
- 従業員数 15名(男性:0名・女性:15名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

健康経営について初めて触れた時に、従業員の為になるならとの思いで、まずは出来る事から無理をせずにをモットーに取り組みを開始しました。
そして職場をより良い環境にすることが、従業員の心の健康に繋がるという思いもありました。
また、経営理念の『一言・一動・一音』(優しさや温かさを持ち、お客さまの感動を求めていく)を実現していく為にも従業員の心身の健康は非常に重要です。

健康習慣アンケートで健康課題を可視化

従業員に健康習慣アンケートを実施し、健康課題を可視化し、課題として上がったものについて改善を図りました。
改善状況については、月に一度のWeb会議で時間を設け、従業員へフィードバックを行いました。
会社から従業員への思いを伝えたことで、従業員も会社の取り組みへの理解が進み、少しずつ自分自身のこととして捉えるようになったように思います。
また、女性が多い職場なので、メンタルサポートも併せて行うことで、安心感も生まれてきているように思います。

取り組み内容

『健康経営』を形式的ではなく、具体的に行いました。

- ①オンラインセミナーの導入
- ②乳ガン触診体験
- ③ウイルス対策への取り組み
- ④健康に関するチラシの配布
- ⑤減塩のすすめ(減塩ライフ)
- ⑥運動の促進



健康経営に取り組んでみて

アンケート結果による課題から、取り組みの一つとして運動機会の促進を呼びかけました。
従業員が1箇所にいない為メール発信となることが多く、伝わりにくさも感じましたが、「継続は力なり」と思い継続してきました。
アプリを使っでの運動実施の呼びかけや、職場でのストレッチのチラシの配布などを行った結果、運動に興味を持ち始めた・ジムに通い始めた・実際に運動を始めたなど、少しずつですが嬉しい変化が見られるようになりました。
また、乳がん触診体験は社員が集まり健康について考える良い機会になりました。

今後の検討課題

従業員が様々な箇所で業務に就いている為、月に一度の定例Web会議を開催していますが、その会議内において、参加したいな、と思ってくれるようなセミナーや講習を取り込み、情報提供の場としても楽しみになる会議にしていきたいと検討しています。そして、より健康に対する興味を持って貰うことにより、一層心身ともに元気で明るく働ける職場を目指します。
この会社に入って良かったと思いながら働いて貰えたら本当に嬉しく思います。

取組風景

代表取締役
坂井秀継 氏

社会から必要とされる会社、社員となる！そのためにも健康経営！

- 代表取締役 坂井秀継 氏
- 本 社 所 在 地 山口県下関市秋根本町1-1-12
- 主 な 事 業 内 容 建機販売・レンタル、バイオマス燃料・木質ペレット
- 従 業 員 数 15名(男性:12名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営取り組みのきっかけ

もともと離職率の低い会社ではありましたが、雇用の延長もあり、社員の高齢化が顕著となっております。全体的なパフォーマンスの低下を防ぐため、会社としての対応策を摸索しておりました。そんな時、アクサ生命さんから健康経営についての話を聞き取り組むことを決意致しました。

社員の变化

少しずつではありますが、社員の中で健康に関する話題が出てくるようになりました。例えば、食事内容に気を付けたり、食後に歯磨きをしたりと、栄養バランスだけでなく、口腔衛生にも効果が出てきているようです。今年アクサ生命さんとフィードバックセミナーをした際には、社員から健康に良い野菜の食べ方や調理方法についての質問が出ておりました。健康を維持し、生活環境をより良くするための意識が芽生えてきたようで大変嬉しい変化です。

取り組み内容

まず最初に、社員にとって健康に対する意識はどの程度のもなのか、そして社内において健康増進が出来ないネックは例えばどのようなことなのかを確認する為に、健康習慣アンケートを実施するところから開始致しました。そしてその結果の中から課題を発見し、何から優先的に取り組むべきかを考えました。

- ①禁煙 → いきなり全社禁煙にするのではなく、最終的には喫煙ゼロを目標に、まずは社内喫煙率の低下を目指しました。
- ②運動 → 休暇の取得を推進し、休日に積極的に運動機会を得る事ができる為の環境を構築。
- ③食事 → アクサ生命さんから定期的にいただく健康関連のチラシを全社員に配布し、食事の重要性や野菜の摂取などの啓発実施。
- ④ウイルス対策 → 弊社は海外現地法人を有していたこともあり、マスク等の供給等は速やかに行うことができました。また、公共施設への除菌液の寄付を早期の段階で実践することもできました。

今後の対応について

健康経営推進担当者とアクサ生命さんが打ち合わせを行いながら、引き続き健康経営を推進して参ります。担当者を決めたことで、社員全員参加型の健康経営を目指すことが可能となり、取り組み状況や効果などが共有しやすい環境となってきております。今後も、エンドレスで会社全体の健康増進に努めて参ります。

健康経営の率先垂範

健康経営に取り組むようになって、まず自分がランニングを始めました。自分が取り組みを始めることで、社員が少しずつでも健康を意識してくれればとの願いもあります。朝ランは心身共に健康になります。スマホアプリ(TATTA)を活用し、モチベーションを上げながら取り組んでいます。



関門ロードサービス株式会社

代表取締役
岩崎 太氏

車社会の安心安全のため、お客様から信頼され続ける存在になる！

- 代表取締役 岩崎 太氏
- 本社所在地 山口県下関市幡生宮の下町6-11
- 主な事業内容 ロードサービス
- 従業員数 15名(男性:14名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

お客様から信頼され続ける存在になる為に

当社はロードサービスの会社です。
お客様が困った時に寄り添うのが私達の大切な業務です。
そしてその為には、健康な体と心が必要です。
お客様に安心していただける笑顔を作れるように、会社として健康経営に取り組むという決断をしました。
そして、何を目標に取り組めば良いか考えた結果、良い職場環境を整えてあげることが大切、という結論が出ましたので、まずは現状確認から開始しました。

健康経営は無理の無い取り組みから

- ・タバコに関して、一番最初に取り組みを開始。
すぐに禁煙は出来ないと思い、まずは減煙から始めました。また、受動喫煙のリスクが載ったチラシを配布することにより喫煙者以外への影響も知って貰い効果を高めたいと思いました。
- ・給料明細と一緒に健康促進チラシを毎月配布。
- ・ウイルス対策。速やかに取り組み開始しましたが、これに関しては継続が必要です。
感染しない為の努力を1人1人へお願いしています。

取り組みの中で苦労したこと

従業員の平均年齢が若いこともあり、健康に対する興味が薄い為、なかなか自分自身のこととしての意識を持って貰えませんでした。飲料についても、炭酸や甘い飲み物を好む従業員が多く、意識をすぐに変えるのはなかなか難しいことでした。
しかし、健康促進チラシや声掛け、健康関連のオンラインセミナーの参加呼びかけ等、小さな取り組みをコツコツ継続することにより少しずつですが健康に対する意識が変わってきたように思います。

取り組み後の変化

当初のアンケート結果において「運動に関心がない」との回答が多数ありましたが、最近は運動への興味が出てきたようで若い従業員たちを筆頭に、会社の倉庫の片隅に、ベンチプレスやダンベルを持ち込み、休憩時間に使用しているようで、皆で競っている姿は、とても楽しそうでした。
運動によりコミュニケーションも取れ、仕事に活力が出てくる、という良いスパイラルとなっているようです。
これは、取り組んで本当に良かった！と思った瞬間でした。

今後の検討課題

アクサ生命さんの、サポートパッケージを紹介してもらったのですが、あまり従業員に浸透してなかったことが判明しました。
もう一度サポートパッケージの説明やアプリの紹介をして戴き、遊び感覚でも良いので運動が取り入れるようになること、そしてコロナなどみんなが不安な時に相談出来る、「24時間相談サービス」の周知を再度案内して困った時は利用できる安心についても再度周知したいと思います。
実際、自身や身近な人が病気になった時にしか健康の大切さにはなかなか気付けないものですが、そうなる前にしっかり健康が大切ということに気付いて貰える会社でありたいと思います。



株式会社コミュニティエフエム下関

代表取締役
富永洋一 氏

明るく楽しく元気良く、何事にも取り組んでいく！

- 代表取締役 富永洋一 氏
- 本社所在地 山口県下関市上田中町2-5-2
- 主な事業内容 放送・イベント業
- 従業員数 5名(男性:4名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

社員に健康で、明るく楽しく働いてもらうこと。当たり前のことのようにですが、敢えて取り組む！と宣言することによってより社員へ意識付けができるのではないかと思い、健康経営の取り組みを決意しました。また改めて確認してみると、今まで当たり前と思っていたことが出来ていなかった事に気付くことができました。

取り組み内容

まずは生活習慣病についてのアンケートを行い、課題を見つけることから開始し、それらを数値化することでより実感を得ることができたように思います。また、自身の生活習慣を見直し、ストレスをできるだけ溜めない生活をしていくことや明るく物事を捉えるようにすることなどを話したりと、コミュニケーションを取りながら継続していくことで、少しずつ効果を感じ始めました。

取り組み後の変化

上記でも触れましたが、数値化したことは効果がありました。アプリを使ってウォーキングを始めた社員も出てきました。やはり数字として見えるというのはゲーム感覚で運動を行うことが出来て大変効果的だと思います。コロナの影響で飲食の機会が減り、同時にアルコールの摂取量も減ってきた中で、運動への興味と実際に取り組みができる環境ができたことも後押しの要因のひとつでした。



ストレスを溜めない働き方

何事にも明るく楽しく元気に取り組むことが大切と考えています。仕事でストレスを溜めるのではなく、ストレスを溜めない為に働くというモチベーションで働けたら良いと常々思っているため、仕事をすることによって喜びを得られる、という働き方を目指しています。業務内容についてもできる限り健康的に行えるようにと考えています。嬉しいことに、アンケートでは「職場にストレスがない」という結果が出ていました。これからも明るく楽しく元気にやりがいのある仕事を社員全員ができるよう取り組んでいきます。

今後の健康経営への取り組み

今後は触診キットなどを取り入れたがんセミナーなど体験も交えながら、社長自ら社員と一緒に楽しんで健康経営に取り組んでいきたいと考えております。自分が楽しみながら取り組むことで、社員へも自信を持って取り組みを勧めることが出来ますし、そうすることで皆が一緒にモチベーションで取り組んで行けるという明るい展望を描いております。



↑ 芋洗坂係長 ゲスト出演中

代表取締役
山賀竜郎 氏

『豊かな食文化の創造』

- 代表取締役 山賀竜郎 氏
- 本社所在地 山口県下関市彦島西山町2-1-24
- 主な事業内容 水産加工製造業
- 従業員数 30名(男性:10名・女性:20名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

最初の一步は健康宣言から

健康経営の話聞いた瞬間、従業員の為にできることだ！と思いました。会社は従業員を大切にこそ成り立っていきます。直ぐに取り組むことを決意しました。ただ、何から取り組んだら良いかわからない状況でしたが、まずは「健康宣言」を行うこととしました。これが最初の一步となりました。

最も力を入れた取り組みは

生活習慣アンケートの調査結果によって、不健康な生活習慣を持っている従業員が91%という結果が出ました。特に喫煙者が多かった為、真っ先にタバコに注目し、改善を目指しました。タバコの健康被害についてのチラシの回覧や配布を行い、建物内での喫煙の禁止を決定しました。また健康経営担当者が、副流煙は主流煙の2～3倍の有害物質を含んでいる事を周知し、喫煙するのであれば周りに迷惑をかけない配慮が必要であることについても、アナウンスや声掛けを一生懸命行っています。

感染対策を実行しながらの朝礼

感染対策を実行しながら、毎日朝礼を行います。お客様に、美味しいと言っただけのように、従業員が心を1つにして取り組む為にも大切な時間です。朝の時間から始まり、皆が毎日一生懸命頑張っています。



大切な社員とその家族の健康と共に会社も成長を

会社が健康経営に取り組んでいることを、社員の家族にも知って貰い、健康に興味を持って貰う事によって、共に健康で過ごし、その効果で健康寿命も伸びていくことを願っています。従業員が心身ともに健康で働くことができれば、会社の雰囲気も良くなり、生産性が上がることにも繋がっていきます。従業員・その家族も含めて一丸となって成長したいと思います。

今後の検討課題

現在コロナの影響で、運動機会が減っています。以前は体育館でレクリエーションなどを行っていましたが、今は開催できないので、まずは健康や運動に少しでも興味を持てる情報提供の一助として様々なアプリを使いながらゲーム感覚で運動に取り組むことを推奨しています。中には、歩くことやジムに通うことに興味が出てきた方もいます。後は、とにかく継続していくことが重要だと思っています。



山口県
岩国営業所Voice Report
80th代表取締役社長
米重尊雅 氏

「顧客第一、社員あつての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長 米重尊雅 氏
- 本 社 所 在 地 山口県岩国市尾津町5-11-1
- 主 な 事 業 内 容 鮮魚介卸業
- 従 業 員 数 21名(男性:13名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

大切な「財産」である社員をもう失いたくない！！ その思いが、健康経営への取り組みへ。

2019年、長年勤めてくれていた社員の一人にガンが見つかり、余命半年との診断でしたが、わずか3カ月後に亡くなりました。一生懸命に働いてくれていた社員だったので、非常に大きなショックと共に、社員の平均年齢が上がっている現状も踏まえ、大切な財産である社員の健康に会社がもっと関わっていく必要があると強く感じていました。そんな折、アクサ生命から健康経営の話聞き、「これは！」と思い、取り組みを決めました。

まずは取り組みそうな活動から始めることに。

会社としてまず取り組んだテーマが「喫煙」でした。喫煙率が非常に高かった事もあり、喫煙の課題でもありました。受動喫煙に対する管理(喫煙場所の隔離設置など)を行うと同時に社員への禁煙の大切さを粘り強く伝えました。また、体に不調を感じる社員も以前は、「これぐらい大丈夫。仕事が大事。」と出勤し仕事をしてくれていました。会社にとり、その気持ちは大変ありがたいものですが、これでは長続きしない。もう大切な社員を失いたくない。そういう思いから、会社の事を考えてもらえるのであれば、まずは自分の健康を優先するよう会議などの場に加え現場でも、「健康は全てではないが、健康を失えば全てを失う」この思いを社員へひとりひとり丁寧に伝えました。



事務所入り口のカウンター、一番目立つところに掲示しており、社内外に同社が健康経営に取り組むという強い意志を感じられる。

岩国地区の食を担う会社として

会議の際にも、この岩国地区の食を担う会社として、自身の健康に率先して取り組むべきである、食に関する意識を高く持つべきであるという事は、いつも社員には伝えていき、健康経営に取り組み始めたことをきっかけに、その意識はより高くなってきています。更に、今回「健康経営優良法人認定2021」を取得できた事で、今後の健康に取り組みへの気持ちが増してきているのも確実に感じています。

今後の展望

社員の健康に関して、会社としてもっと関わっていきたいと考えています。例えば、二次検診を受診するにも、社員が生活習慣改善に取り組むにも、楽しみながら行えるようなそんな施策を打って行きたいです。楽しみながら健康になる事、それが最終的には当社の大切な財産になっていくと考えています。



毎朝、各地より鮮度抜群の魚介類が売り場に並び、岩国市内各地へと運ばれる。まさに岩国地区の食と健康を支えるリーディングカンパニーである。

特定非営利活動法人クリスタル



代表の亀田氏(中央) 副理事長の
桑野氏(左)、事務長の畠山氏(右)

職員さんがいて成り立つ事業所だからこそ「健康経営」

- 代表取締役 亀田新司氏
- 本社所在地 山口県岩国市門前町2-33-3
- 主な事業内容 児童福祉事業
- 従業員数 20名(男性:3名・女性:17名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」という考え方に共感しました。

「健康経営」を知るきっかけは、アクサ生命の営業担当の方からでした。更に、健康経営に取り組んでいる事業所がテレビで取り上げられていて、従業員たちが生き生きしながら働いている姿を見て、「当社もそんな事業所にしたいな」と。当事業所は職員がいないと成り立たない事業であり、だからこそ、職員一人ひとりの健康をもっと大事にしたい。そう思っていたところ「健康経営」を知り、その内容に大変共感しました。そしてすぐに、取り組むことを決めました。

元々取り組んでいた事の大切さを改めて感じることができました。

今回、「健康経営」に取り組む中で、健康経営優良法人認定のチェック項目を確認してみると、以前から当事業所が職員の為に行っていた事が、多く該当していることが分かりました。例えば、【有給休暇を取得しやすい環境作り】ですが、子育てをしている職員が多いので家庭を大事にしながら働ける環境作りには力を入れてきました。当り前の事と思い実施してきた事がどれだけ重要であるか、そして継続する事がどれだけ大切であるかを認識できた点も今回取り組んで良かったなと思えたポイントです。



健康経営に取り組んで加速した「健康」への意識

健康診断受診勧奨は、以前は経営側からの発信のみでしたが、健康経営に取り組むようになってからは、健康診断受診も職員達を中心となって受診をするよう声掛けをするようになりました。また、アクサ生命さんから提供いただいた健康に関する情報「健康経営ワンポイントアドバイス」もとても役に立っており、休憩の上手な取り方やストレッチなど、職員同士の話にも出てきているので効果は実感しています。喫煙に関しても、受動喫煙に対する意識やマナーなども確実に上がってきています。

地域の福祉事業の一翼を担う事業として

今年初めて健康経営優良法人認定を受け、まだまだこれからという所ですが、地域の児童福祉をお手伝いさせて頂いている事業所として、これをきっかけに職員が健康を常に意識し、長く働くことができる職場作りをしていきたいと考えています。職員がいて、そして元気でいてくれて初めて成り立つ事業所ですから。



株式会社ヨコタコーポレーション

代表取締役社長
横田勝己氏

経営理念「にんげんいきいき」 健康経営は、ひとづくりの基本！

- 代表取締役社長 横田勝己氏
- 本 社 所 在 地 徳島県吉野川市川島町字辻42
- 主 な 事 業 内 容 ①ベアリングレス・自動車部品加工②FA機械製造、③リユース店舗運営、④住宅事業
- 従 業 員 数 225名(内パート69名)

ハードオフ徳島末広店
2021年4月9日 グランドオープン健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2018～2021 4年連続認定

毎朝のラジオ体操、クラブ活動、健診補助

当社は経営理念である「にんげんいきいき」のひとづくりと「地域貢献」を実現するため、従業員ひとりひとりが心身共に健康・健全であるための以下の取組を実践しています。

1) 創業当時から継続している毎朝のラジオ体操

2) クラブ活動の支援

マラソン部、バドミントン部
サイクリング部、ゴルフ部
釣り部、カラオケ部等
※社内コミュニケーション
の活性化の視点も兼ねて
活動補助を実施。

サイクリング部活動の様子
(ツール・ド・にし阿波 出場)

3) 健康診断の補助

生活習慣病予防健診については、一般健診＋付加
健診まで含めて全額補助を実施しています。

ニューノーマル時代に合わせた働き方を実現

時代に合わせた柔軟で生産性の高い
働き方を模索し実施することで、従
業員の働き易さを向上させています。



1) テレワークの導入

コロナ禍対応等事業継続のため
の、対応を行っています。

徳島県働き方フォー
ラムでの一コマ2) タブレット端末の導入(リユース
部門)

棚卸業務での集計・確認作業の効
率化やミスの削減により、従業員
のストレス軽減につながってい
ます。

ハードオフで棚卸業
務をタブレットで行
う従業員

住宅用ヘルスケアルーム 足踏み式消毒液スタンド



徳島新聞 2020年08月20日 水曜日 第2版 第1ページ

関連会社のヨコタホームでは、コロナ禍での運動不足解消や、高齢者の方に運動を習慣化していただけるような家づくりの取組を行っています。IT技術を活用して、自宅に居ながら離れた場所にいる友人や家族とも楽しんで、運動や健康維持ができるような仕組みを検証しています。

事業者様に対しては、ボトルに触れずに手指の消毒ができる『足踏み式消毒液スタンド』を開発しました。徳島県内の各スーパーマーケットや食品工場、公共施設などに設置されています。

ヘルスケアをお客様に対してご提案する限りは、まずは社員自身のヘルスケア意識を醸成することが必要と考え、ヘルスリテラシーを高めるための勉強会を行っています。この一連の取組が社員自身の健康行動にもつながっていると実感する今日この頃です。

実績と今後の展望

以上のような取組により、従業員の健康状態が良くなることで、業務の生産性の向上や技術力の蓄積により、多くの表彰を受賞することができました。今後は、健康経営への取組を積極的に発信することによる普及促進活動を通じて、更なる地域貢献を目指します。

また、ブライト500取得へ向けて、今後もより高い意識をもって、健康経営への取組を行って参ります。

【主な技術表彰受賞実績】

- ・科学技術庁長官賞
- ・高度熟練技術者認定
- ・徳島県機械マイスター
- ・技術尊重モデル工場
- ・技能検定 1級・2級



徳島県
徳島営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
港 正祥氏

「四国のいい会社、大切にしたい会社」を目指し健康経営に取り組む
～A I・ロボット・X を活用し、快適な社会づくりを推進する～

- 代表取締役社長 港 正祥氏
- 本 社 所 在 地 徳島県徳島市川内町
平石住吉209-1
- 主 な 事 業 内 容 精密機械卸売業及び空調工事業
- 従 業 員 数 126名(男性:102名・女性:24名)



長時間労働対策・メンタルヘルス対策

残業時間、有給休暇取得状況のデータを毎月本人と上司に配信することで、現状の「見える化」を図る仕組みを整えました。

社員の意識を変える必要もあるため、月の時間外労働時間が42時間を超えそうな場合には上司と協議し対策を講じることで残業時間の削減につなげています。

規定以上の長時間労働者や希望者には「こころ」と「からだ」それぞれの専門医（産業医）による面接指導が受けられるように健康面にも配慮しています。

労働環境改善

安全衛生委員会を設置し毎月安全パトロールを実施しています。労災発生の予防に努めており、駐車場にLED照明を設置、倉庫の暑さ対策として空調設備を導入しました。

また、感染症予防に向けた取り組みとして、感染症感染者の出勤停止やアルコール消毒・加湿器・空気清浄機等の設置、必要な備品・物資の備蓄等を行っています。

日々変わる労働環境に対応し、状況に合わせた改善を常に行うことで、身体的リスク・心理的なストレスを軽減し、働きやすい職場としていくことは、社員の健康維持には欠かせない取り組みだと考えます。

「こころ」と「からだ」の健康づくり

年1回全社員を対象としてストレスチェックを実施し集団分析の結果から、職場改善に役立てています。定期健康診断は、会社負担で就業時間内に受診できるようにし、受診率100%となっています。健康課題が浮き彫りになった「要精密検査」、「要治療」の社員には再診を促すと共に、必要に応じて勤務時間内に全国健康保険協会による特定保健指導を受けられるようにしています。

職場コミュニケーションの促進

社員の親睦を目的とした組織の「港友会」を主体に新入社員歓迎会や忘年会、家族も参加できる慰安旅行や吉野川フェスティバルでのBBQ等にてコミュニケーションを図っています。また、会社から助成をし、マラソン・テニス・卓球・自転車のサークルが活動しています。

自転車サークル
ツールドにし阿波 出場

慰安旅行で訪れたハワイにて

取り組み結果と今後の展望

これらのことなどが評価されて、徳島商工会議所が認定するMS（モチベーション・スマイル）認定の最上位ランク「ダイヤモンド認定」及び、2021年経済産業省主導の「健康経営優良法人2021（中小企業部門）」に認定されました。

今後は、事業活動だけでなく、当社の健康経営への取り組みを積極的に発信することにより、健康経営普及に少しでもお役に立ち、快適な社会の実現を目指します。

当社はブライツ500取得へ向けて、今後もより高い意識をもって、健康経営へ取り組んでまいります。

徳島県
徳島営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役
石川雅一氏

「豊かで住みよい地域社会づくり」を目指し健康経営に取り組む
～信頼あるサービスと技術は、従業員の健康から～

- 代表取締役 石川雅一氏
- 本社所在地 徳島県徳島市川内町平石流通団地29
- 主な事業内容 冷凍空調設備工事業
- 従業員数 40名(男性:33名・女性:7名)



高度な技術と誠意をもってお客様の信頼を得る

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康な「からだ」づくりと、身体的リスクの軽減策

毎朝朝礼前に、社員全員でラジオ体操を実施し職場の健康な体づくりに役立てています。

熱中症対策として、現場社員に空調服を支給、作業場には熱中症計を設置し、危険作業にならないよう注意しています。

定期健康診断は、費用を会社負担とすると共に、就業時間内に受診できるようにすることで受診率100%となっています。健康課題が浮き彫りになった「要精密検査」、「要治療」の社員には再診を促し、必要に応じて勤務時間内に全国健康保険協会による特定保健指導を受けられるようにしています。



職場コミュニケーションの促進と「こころ」の健康

社員の親睦を目的とした4月の花見をはじめ・新入社員歓迎会・慰安旅行・夏季慰労会・忘年会を実施しています。各イベントをきっかけとした、職場でのコミュニケーションの促進により、社員のこころの健康にも繋がっていると実感しています。



慰安旅行で訪れた宮島にて

社員の運動の促進

ゴルフ、ボウリング、等の運動サークルが活発に活動しており、社員の運動不足解消に繋がっています。

社員の健康リテラシー向上を目的とした情報発信を行うことでサークル活動(運動)の継続にも寄与し、結果、気力・体力共に充実した社員が増加しています。



取り組み結果と今後の展望

これらのことなどが評価されて、2021年経済産業省主導の「健康経営優良法人2021(中小企業部門)」に認定されました。更に新型コロナウイルス対策として、入口にサーモグラフィ、手指消毒用アルコールを設置しました。

今後は、当社の健康経営への取り組みを積極的に発信することにより、健康経営普及に少しでもお役にたち、快適な社会の実現を目指します。



令和3年 年始集合写真



ワークエンゲージメントの高い組織を目指し 「社員と一体」となって健康作りに取り組む

- 代表取締役社長 生鷹泰太 氏
- 本 社 所 在 地 愛媛県松山市西垣生町
- 主 な 事 業 内 容 運送業
- 従 業 員 数 24名(男性:19名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康で末永く働いてほしい!!

トラックドライバーの高齢化に伴い、生活習慣病等による健康起因事項が多く発生しました。ドライバーは限られた時間で食事をすることが多いため、栄養バランスが崩れがちになることが多く、健康で仕事をする大切さを実感することがきっかけです。

また、運送業界でSASの事故が問題になり、睡眠時無呼吸症候群の検査を取り入れたこともきっかけの1つとなりました。

新型コロナウイルス対策

出勤時・事務所入室時に非接触型体温計で体温測定を実施。また、ノロックスとアルコール消毒液の設置を行い、社員には携帯用のアルコール消毒液とマスクを配布して、新型コロナウイルスの感染防止対策を行っています。

健康経営を取組んだ効果

平成29年2月に協会けんぽ愛媛支部で実施している「健康づくり宣言」を実施し、健康づくり優良事業所に認定されました。また、社員1人1人が健康に関する意識(特に食事や生活習慣)が向上したことにより、健康診断後の再検査受診率も向上しました。

今後の展望

退職した後も永く健康でいてもらいたいという想いがあるため、社員の健康に役立てることをできることから、少しずつ取り入れていきたいと考えています。また、社員1人1人の健康意識が向上できる取り組みを行い、健康で永く勤務してもらえる会社作りをしていきます。

社員の健康を考えた手厚い取組

社員の健康増進を考え、ドライバーは年2回・事務職は年1回の健康診断を全員受診し、オプション費用補助も実施しています。

運輸ヘルスケアナビシステムを活用して社員の健康状態が把握でき、適切な健康指導を行っています。

保健師による特定保健指導等の健康相談・インフルエンザ予防接種助成金・整体やマッサージ費用のための心身リフレッシュ手当(年2回)・熱中症対策としてOS1、水素水、飴を支給しています。

アクサ生命の健康経営ワンポイントアドバイスなどの健康情報を毎月配布しています。

社員が自ら健康を意識してもらうために、血圧計を設置し出勤時に測定をしています。また、朝礼時にはラジオ体操も取り入れたことで、社員同士のコミュニケーション向上にも繋がりました。

荷物の積み下ろし等で汗をかくことが多いため、衛生面とリフレッシュ効果を兼ねシャワールームを完備しました。いつでも好きな時に利用できると好評です。



愛媛県
今治営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
松田泰幸 氏

「健康経営」を通じて地域の皆様の健康を支えたい！

- 代表取締役社長 松田泰幸 氏
- 本 社 所 在 地 愛媛県今治市
- 主 な 事 業 内 容 医薬品小売業
- 従 業 員 数 30名(男性:3名・女性:27名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

地域の皆様の健康を支えるために

私たちはこれまで、社員満足と資質向上を原動力に、保険調剤を通じて地域の皆様の健康づくりをサポートして参りました。調剤薬局という仕事柄、社員一人ひとりが自身の健康にも気を遣っていましたが、協会けんぽの「健康つうしんぽ」で前年よりリスク該当率が高くなっていることがありました。地域の皆様の健康づくりを支えていくためには、自分自身も健康であることが大切です。健康増進に個人だけでなく会社として取り組み、働きやすい職場づくりを推進するために健康経営に取り組み始めました。

食事、運動の改善のための取組

社内の管理栄養士チームが中心となって健康経営に取り組んでいます。食事については“食物摂取頻度調査”を実施し、結果に応じて管理栄養士がアドバイスを行いました。また定期的にAGEs(最終糖化産物)の測定を行い、食事相談を行っています。

運動機会の促進のためには、ウォーキング競争の開催やラジオ体操を行っています。新型コロナの影響で食事会などの社員同士の交流の場がなくなったため、運動促進と社員のコミュニケーションを兼ねて、ビーチクリーンに若手社員で参加したり、社内でチームを組んで「えひめウォーキング大作戦」に参加したりもしました。

疾病の予防、早期発見の取組

毎年、全員に定期健康診断を実施し、結果に応じて保健指導を受けるよう推奨しています。さらに女性が多い会社なので、女性社員は2年に一度乳がん・子宮頸がんの検診を行い予防と早期発見に取り組んでいます。

取り組みによる意識の変化

会社として健康経営に取り組むことで、若手社員も自身の健康に目を向けたり、運動習慣を話題にして共有したりするなど社員の意識も変わりました。特に、食事について管理栄養士から個別アドバイスを受けたことが食生活の変化に影響を与えました。

新型コロナ流行時には一人ひとりが一層健康に留意し、会社としても早期に感染症対策を講じることが出来ました。

健康経営を地域へ

社内ではさらに取り組みをグレードアップして社員の健康の保持増進と働きがいのある職場づくりに努めて参ります。また2名の管理栄養士が健康経営アドバイザーの資格を取得し、今後は地域の健康ステーションの役割として他企業へも健康経営の取り組みを推進し、働き手世代の皆様の健康づくりをサポートしていきたいと考えています。

血圧測定器とAGEs測定器
(写真左側)定期的に測定し、管理栄養士
がアドバイスを行います。

代表取締役社長
高口敏行 氏

失敗を恐れず挑戦し続ける社員の夢の実現のために！

- 代表取締役社長 高口敏行 氏
- 本 社 所 在 地 福岡県柳川市三橋町吉開681
- 主 な 事 業 内 容 精密部品加工
- 従 業 員 数 29名(男性:25名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康で働く必要性

工作機械の数値制御やコンピュータ数値制御の導入が進んだこともあり、手作業の技術より、数値の入力やプログラミングの重要性が高まってきたため、「全員がオペレーター」を合言葉に、各機械を誰でも使えるように人材育成にも取り組んでおり、全く別の業界からのモノづくり未経験の中途採用者も第一線で活躍できる社風を構築しています。そのためには従業員全員が、健康で働くことが重要だと気付きました。

健康経営に取り組む必要性を感じました

従業員が安全に安心して働けるよう、従業員の自己管理だけでは行き届きにくい健康管理を会社として取り組んで行くことが重要です。

永く勤務いただいていた従業員の病気を、早期発見ができなかった事もあり従業員の皆さんには、元気で長く働いてもらいたいからこそ、従業員の健康は大切な事だと感じていました。

そのときにアクサ生命の担当者の方に健康経営の取り組みを勧めてもらい、企業として取り組むことに共感し健康経営を始めることにしました。

健康セミナー実施 講師 アクサ生命
テーマは心の健康・お金の健康

従業員教育の一環として、心の健康とお金の健康についてセミナーを実施。従業員の将来設計や金融リテラシーの教育を実施。

セミナーで社員の意識が向上

健康習慣アンケートのあと、アクサ生命にフィードバックセミナーを実施してもらいました。健康経営とは何か。当社のアンケート結果、健康に対する意識を持つ大切さなどの話があり、従業員の意識が向上しました。

また、給料日にはアクサ生命の健康ワンポイントアドバイスのチラシを明細書と一緒に渡して従業員の家族の健康も考えていただいています。

今後の展望

これからも、お客様が困っている事を解決する仕事で勝負していきます。エネルギーなどいろいろな分野への挑戦も考えています。

「全員オペレーター体制」は技術者に自信を付け、全社のレベルも上がりました。

得意分野をさらに伸ばす意識付けにもつながっています。特定の技術者に依存せず、誰が休んでもカバーできます。有給休暇の取得促進など、働き方改革にも取り組んでいきます。そして健康経営についても社員一人一人が心身ともに健康であり続けるため、今後も継続的に取り組んでいきたいと考えております。



高口精密工業精密部品スペシャリストの集団

代表取締役社長
古賀雅臣 氏

「顧客第一、社員あつての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長 古賀雅臣 氏
- 本 社 所 在 地 福岡県大川市一木439-8
- 主 な 事 業 内 容 総合建設業
- 従 業 員 数 21名(男性:19名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

大切な社員とその家族の健康とともに 会社も成長していきたい

当社は、「常に社会に貢献する建設会社でありたい」と願い、社員一丸となって、自己啓発、技術研鑽に力を注いでおります。これから少子高齢化の加速により、将来、確実に訪れる人材不足の時代に備え、社員が健康であることを願い健康経営に取り組みました。

「健康経営実践プログラム」から、協会けんぽの サポートを受けてまずは取り組みそうな活動を。

アクサ生命社員と協会けんぽのサポートを受けてがん検診推進員を設置するとともに、従業員やその家族に対し、がん検診の普及啓発や受診勧奨を行います。健康診断を受診することで健康に対して認識が高まっています。また、従業員ががん検診を受けやすい環境づくりの整備に取り組みます。社内で血管年齢を社員が測るなどして、健康を意識させるために協会けんぽのサポートも受けています。

2021年協会けんぽからのサポートを受けて
「血管年齢」測定器を借りて社員の皆さんに測定の推奨

「健康経営」に取り組むきっかけ

健康経営は、企業が存続していくためには、まず「社員とそ
のご家族の幸せ」が最も重要であると言われています。
そのためには、社員の健康第一です。弊社では、これからの
人手不足、高齢化に対応すべく、希望する者には70歳まで再
雇用する就業規則を制定しています。創業120年を迎える年
に、アクサ生命の担当者から「健康経営優良法人認定制度」
の説明を受け取組むことにしました。

今後の展望

明治33年(1900年)の創業以来、環境と人に視点を据えた快
適な空間創造をコンセプトに官公庁発注の諸施設、道路、橋
梁を始め商業施設、集合住宅、一般戸建に至るまで、地域に
根ざしたやさしく美しい都市づくりをこれからも目指して
参ります。そのためには、社員が健康で働ける環境を整え、
健康経営の取り組みを推進していきます。



会頭
玉木康裕 氏

「企業を育て地域を伸ばす！豊かな地域づくりを目指して」

- 会 頭 玉木康裕 氏
- 所 在 地 福岡県筑後市大字和泉118-1
- 主 な 事 業 内 容 地域総合経済団体
- 従 業 員 数 14名(男性:8名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

筑後商工会議所は、昭和31年(1956年)の創立以来、地域商工業者の声を代表し、商工業の振興に力を注いでまいりました。地域経済の健全発展に寄与するための地域総合経済団体です。商工会議所では、大企業も中小企業もともに力を合わせ、街を住み良く、働きやすい場所にしようと日々頑張っています。そんな商工会議所の業務はデスクワークが主であり、普段運動不足を感じている職員も多かったことから、職員の健康を組織で支援する必要性を感じていました。その時アクサ生命の健康経営アドバイザーの勧めにより、令和2年(2020年)に健康経営の取り組みをスタートしました。

「健康経営実践プログラム」から、
まずは取り組みそうな活動を。

職員に対して生活習慣のアンケートを1年に1回実施しています。結果は管理職に対するフィードバックセミナーを通して把握に努めています。この中で、運動に対する職員の意識が低いことがわかりました。職場における体操の実施や運動促進アプリに関する情報提供により、職員の運動機会を促進する取り組みを行っています。また望まない受動喫煙対策として屋内全面禁煙、屋外喫煙所の設置を行いました。

健康診断100%受診とオプションで
インフルエンザの予防接種を実施しています

最近のコロナ禍もあり、職員一人一人の健康に対する意識は大きく高まっています。健康診断受診率100%はもちろん、希望者にはオプションでインフルエンザ予防接種費用の全額職場負担を実施しています。できることから一つずつ、健康経営に取り組んでまいります。

人は宝、人は財産

組織を運営するために必要な資源として、ヒト・モノ・カネなどの経営資源があります。ヒトは宝であり、新人から管理職まで全ての人材が大切な財産です。当所で働く人材一人ひとりが職務を遂行するために、健康経営は大きな役割を果たしてくれると期待しています。

今後の展望

人生100年時代に向けて、すべての職員が健康で生き生きと働ける職場を目指します。ひいては、地域に根差し、愛され続ける商工会議所であり続けたい、そう願っています。



筑後商工会館

代表取締役
中原亜希子 氏

経営理念「明るい挨拶 元気な会社」
～人と人のつながりを大切に～

- 代表取締役 中原亜希子 氏
- 本社所在地 福岡県北九州市八幡西区
- 主な事業内容 介護サービス業
- 従業員数 100名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組んだきっかけ

弊社は以前より、業務の細分化・分業化や、職員個々人に合わせた柔軟な働き方を取り入れることで、職員の働きやすい環境づくりに力を入れてきました。職員教育に関しても、社内外の研修への積極参加を促してきたことで、現在では他社へ講師派遣できるまでになっています。

職員支援策の一環として、この健康経営に取り組むことにより、職員の健康維持を支援し、永く安心して勤めることのできる会社にすることで、職員のモチベーションアップにつなげていきたいと思ったことがきっかけです。

健康経営の「目的」達成に向けて

職種上、人の力に依存する仕事であり、かつ高齢のご利用者と接するため、職員の健康管理には以前より力を入れてきました。これまでの取り組みをさらに充実させるために健康経営優良法人認定を目指そうと決めました。

具体的な目標を決めるにあたり、まず幹部ミーティングの場で話し合い、そして各事業場に周知したことで、職員の参画意識の向上にもつながったと感じています。

『日本の介護をグローバルスタンダードに』このビジョン実現のための推進力になると期待しています。

具体的な取り組み内容

- 特定健診を含む、健康診断受診の完全実施
- 感染症対策の実施(感染症に対するBCP策定)
- ワークライフバランスの実現
(長時間労働対策、有給休暇取得促進)
- メンタルヘルス対策(ストレスチェック実施)
- 受動喫煙対策と飲酒管理
- 社内に健康経営委員会を設置

今後の展望について

この健康経営の取り組みを社内で活性化することで、職員の家族にも良い影響を与えていきたいと考えています。心も体も健康になれば、仕事にやりがいを感じることができ、生活にも張り合いが出てきます。公私ともに生きがいを感じることができると確信しています。生涯を通じて心身ともに健康な生き方ができる人になり、地域や関わるすべての人に対して幸せになるためのステップを発信できる集団にすることが私の目標です。



株式会社新長崎製作所

代表取締役社長
梶原正雄 氏

“社員のために”健康を守る取り組みを続けていきます

- 代表取締役社長 梶原正雄 氏
- 本 社 所 在 地 長崎県諫早市貝津町2083-11
- 主 な 事 業 内 容 金属製品製造業
- 従 業 員 数 135名(男性:124名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営に取り組んだきっかけ

“物”づくりは“人”づくりです。いい職人でないといい物はありません。確かな技術を習得するためには最低10年はかかります。また日々環境が変化する中で新しい事へ挑戦していかなければ会社は発展していきません。そのためには新しい事へチャレンジする社員を応援する会社になりたいと考えております。良い人財(社員)を育て長く働いてもらうために社員が健康で働ける環境を整備することが重要であると考え、健康経営の取り組みを始めました。

社員の誕生日に社長自ら「個人面談」を実施

社員との面談を実施する中で社長自身の健康上の経験を踏まえて健康の重要性について話をしています。年齢が上がり不健康な状態になってから慌てて取り組んでも遅いこと、若いうちから健康について意識することが重要であることを伝えていきます。社員によって反応は様々ですが面談を機に健康に配慮する社員も増えてきました。

事業所全体での継続的な健康増進・改善に向けた取り組み

- 健診結果が良くない社員へは個別に保健指導を利用するように案内し、検査後のフォローをしています。
- 検診結果で再検査が必要な社員は全員二次検診を就業時間内に会社負担で受診させています。
- 自動販売機に飲み物ごとのカロリーを表示して個人の健康への意識を高めています。
- 社内に運動施設を整備しています。休憩時間や時間外に自由にバスケットボールや卓球などの運動を行うことができ社員の運動意識の向上とコミュニケーションの向上に繋がってます。
- 新型コロナウイルスの影響もあり、感染予防対策にも力をいれています。インフルエンザの予防接種も全額会社負担で会社近くで集団接種しています。

社員が自分の子供を入社させたいと思う会社

目標は社員が自分自身の子供を入社させたいと思えるような会社です。そのためにできる限りの働きやすい環境整備を行っていきます。一般的な有給休暇制度等は以前より設けておりますが新たに社員の親の介護や子供の授業参観に対応しやすいように時間休を設けました。また有給休暇は基本的に期間が過ぎれば消滅しますが年に4日分蓄積できる制度を作り、将来病気等で長期に休まないといけなくなった場合に備える仕組みづくりを行いました(積立休暇制度(最大で40日))。また工場内の環境整備も行い、夏の暑い時期に熱中症にならないよう屋根の改修(室温が2～3度下がる)や冷却ジャケットの導入を行いました。この先も健康促進のためにできることは積極的に行いたいと考えています。

今後の取り組み

今後は社員の家族も含めた健康づくりを行っていきたいと考えています(予防接種や健康診断等)。また定年退職後に再雇用で働いていただく社員が健康で働ける仕組みも検討しています。運動については今までも様々なスポーツイベントに会社単位で参加したり自社でイベント企画をして実施していますが今後は社内運動チームを作りたいと社員の申し出があれば会社として支援していきたいと考えています。



社屋内のバスケットコートでリフレッシュ

大分県
大分営業所

Voice Report

代表取締役社長
劉 懿喆 氏

健康のまま、元氣のままでいきいきと100年過ごすために 健康経営に取り組む

- 代表取締役社長 劉 懿喆 氏
- 本 社 所 在 地 大分県大分市政所3684番地
- 主 な 事 業 内 容 ペット関連商品の輸入・卸業
- 従 業 員 数 31名
- ホ ー ム ペ ー ジ <https://www.tomishiro.com/>

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

大切な従業員の発病が、 健康経営に取り組むきっかけとなりました

ある従業員が、健康診断では異常が見つからなかったものの、その後体調不良で再検査したところ、胃がんが発見されました。治療も回復に叶わず、7か月後に亡くなったという辛い経験から、健康であることの重要性を認識し、4年前から健康経営に取り組むこととなりました。

まずは会社に取り組むことができることから 始めました

元気に見えていても、健康とは限りません。当社では、健康診断時に全従業員ががん検診を受けています。個人費用負担だと受けたくてもなかなか受けられないと思い、会社が全額負担しています。現在までに3名早期発見ができ、多くの従業員から感謝をされています。大変な病気であっても早期発見が可能になることにより、従業員は安心して働くことができ、会社も安心して雇用できます。

楽しく健康な体づくりを 社員の健康は会社の健康につながる

協会けんぽ大分支部主催の健康ウォーキングに、従業員と従業員家族を誘い、4年連続参加しています。体を動かすことで、気分転換が図れます。また家族ぐるみの参加で、その人の意外な一面を知ることができます。それによってコミュニケーションが取りやすくなり、今まで以上に仕事が円滑に進んでいます。イベントの参加は健康になるだけでなく、社内の人間関係向上につながる良い取り組みだと思います。

健康経営に取り組んだことで、 職場が段々と変化してきました

現在は健康診断の後に、相談医が事務所に来て、勤務時間中に相談医と社員が話す場を設けています。当初、健康に問題があった社員も多く相談件数も多くありましたが、健康経営に取り組むことで、今は健康に問題がある社員は1～2名程度になっています。また、以前は社員の半数が喫煙していましたが、健康経営を取り組み始めて禁煙者が増え、喫煙者はごく僅かになりました。皆の健康意識が高まりつつあることを感じます。

今後の展望

従業員の皆さんが、安全に事故もなく健康で仕事を続けられる環境づくりが、企業にとって最も重要だと思います。人生100年時代。最後だけ気を付けてもだめなのです。『健康のまま、元氣のまま100年を！』を合言葉に、従業員とともに頑張っていきたいと考えています。



会頭
古手川保正 氏

「会員第一、職員あつての会議所」を実現するために！

- 会 頭 古手川保正 氏
- 所 在 地 大分県津久見市港町1-21
- 主 な 事 業 内 容 総合経済団体
- 従 業 員 数 11名(男性:6名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

企業と地域を応援していく商工会議所として、まず率先して健康経営に取り組む姿勢が重要であると考えていたところ、アクサ生命からの声掛けがあり、取り組みを始めました。少子高齢化に伴い、多くの企業が人手不足や後継者不足で悩みを抱えています。健康経営を率先垂範し、地域企業の持続的な発展と健康増進に寄与して参ります。

まずは取り組めそうな活動を。

アクサ生命による健康経営サポートを中心に取り組みを行っています。具体的には、健康習慣アンケートを全従業員に実施し、健康課題を特定、その結果を元にしたフィードバックセミナーを受けました。その他には従業員に月に一度健康情報を提供したり、朝礼時には全従業員が体操・ストレッチを行うなど、様々な取り組みを行っています。



毎日の朝礼時のストレッチ体操の様子

健康経営優良法人認定をきっかけに意識改革

2021年3月25日には、並行して取り組んでいた津久見市・大分県中部保健所主催の「事業所ぐるみで健康チャレンジ事業」働き盛りへの健康づくりへのサポート(ホコタッチ(歩行計)貸出や、健康講話、健康弁当の試食等)参加事業所の中から最優秀賞に選ばれました。継続的に健康経営に取り組むことで、従業員の健康に関する意識が徐々に向上していると感じています。



「事業所ぐるみ健康チャレンジ事業」表彰式の様子

今後の展望

これからも健康経営を実践しながら、商工会議所の取り組みを地域企業に発信し、津久見市における健康経営のモデルとなれるよう継続していき、会員企業を始め、地域企業の発展に貢献して参ります。

宮城県
日向営業所

Voice Report

80th
The Interview代表取締役社長
秋田浩二氏

「社員とその家族の幸福」を実現するために！

- 代表取締役社長 秋田浩二氏
- 本 社 所 在 地 宮城県日向市
- 主 な 事 業 内 容 一般産業用機械製造業
- 従 業 員 数 27名(男性:23名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

社員の健康は普段から考えてましたが、お題目としては掲げていませんでした。

今までも朝礼時のラジオ体操、毎年の健康診断、最近ではコロナウイルス感染症の予防対策等、社内健康管理はしてきましたが、『社員の健康』を明確な目標として活動してはおりませんでした。

今回の健康経営をご提案いただき、改めて健康を周知する良い機会だと思いましたので取り組んでみることにしました。今回、正式に認定をいただいた事で、社員はもちろん、社外にもPRしていきたいと思っています。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組みそうな活動を。

アクサ生命様からのご提案で、健康に関するワンポイントアドバイスを毎月の給与明細と同封して社員全員に配布するところから取り組んでみました。

最初の数カ月あまり目立った反応はありませんでしたが、3～4ヶ月後に社員から『ワンポイント見えます。簡単な内容から取り組めます！』という話を聞き、やはりこれは続けた方が良く感じました。

自分もそれを参考に栄養管理に取り組ませてもらってます(笑)

健康のためには、まず体を動かすことから

これまで会社行事で身体を動かすスポーツといえば、忘年会の際に行うミニバレーくらいでしたが、最近はどういう訳かゴルフ人口が増えてきたので、思い切って社内ゴルフコンペを恒例行事として始めました。

これを機にゴルフを始める社員も増え出し、会社として定期的にスポーツ行事に取り組める良いきっかけになりました。現在はコロナウイルスの影響により社員のためのコンペとなっておりますが、今後は外部の方にもご参加いただき、健康的且つ参加者同士の親睦を深められる楽しいイベントにしていきたいと考えております。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

弊社の経営理念に『社員とその家族の幸福を目指します』という一文があります。

この健康経営に取り組むことが、それに向けての大きな一歩になったのではないのでしょうか。

社員が健康でないと、そのご家族も安定した生活を送るのは難しくなってくると思います。

『社員とその家族の幸福を目指す』ためにも、今後も継続し、会社経営をするうえで大きな自信に繋げていきたいですね。

安全第一と健康第一

弊社の仕事は製造業という事もあり、常に『安全第一』を心掛けております。

「安全」と「健康」の違いを考えたとき、「安全」の中に「健康」があるのか、それとも逆なのか、全く別物なのか、明確な違いというのは上手く説明できません。

しかしながら、要するに両立する事が出来れば最高という事は分かります。(勿論、簡単な事ではありませんが…)

これからはそれを認識し、今まで以上に全社員が快適に生活できるための職場環境づくりを目指していけば、いつかは『社員とその家族の幸福』に辿り着けると考えています。



宮崎県
都城営業所Voice Report
80th
The Interview代表取締役社長
酒井公昭氏

「大切な社員とその家族の健康」そして会社の成長！

- 代表取締役社長 酒井公昭氏
- 本 社 所 在 地 宮崎県串間市西方14769番地
- 主 な 事 業 内 容 小売業
- 従 業 員 数 163名(男性:80名・女性:83名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定人手不足だからこそ、
健康経営に取り組む必要を感じました。

ストレス社会の現代、心も体も疲れている方が多いと感じておりました。当社においても従業員の働き方、労働意欲等を把握し改善出来る事が無いかを模索している時に健康経営の事を知りました。日々の業務を行なう中、職場で「健康」を意識する取り組みを行うことで、少しでも安心感を与えられる事が出来れば労働意欲の向上にもつながると思え実践しております。

まずは社員の生活習慣を把握する事から始めてみました。

「健康経営実践プログラム」から、
まずは取り組みそうな活動を。

お金をかけずに出来る事からスタートする。
健康経営アドバイザーの方からアンケート調査が有効である事を説明頂きました。

まずは現状を把握する事から始め、社員がどのような事に関心があるか、無関心な事は何かを確認する事が出来ました。その中でまずは、呼吸するがごとく「自然な取り組み」が一番と考え、無理のない仕事前の簡単なストレッチ体操から始めてみる事にしました。体の緊張、心のケアに繋げる第一歩と考えております。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで
社員全員に理解してもらえました。

実践開始するうえでまずは社員への説明にも時間をかけ伝える事から始めていきました。

毎月開催される各地区ごとの店長会で会社として健康経営に取り組む事の説明を行ないました。各スタッフへは、メール、掲示板を活用し健康の大切さ、ワンポイントアドバイス情報の提供をすることで何故、どのように、そしてその効果等を丁寧に発信し続ける事から全社員への展開を行なってきました。

今では定例の発信文書として健康に関する情報を目にする機会が増えてきており少しずつではありますが社員の様子にも変化が出てきております。

大切な社員とその家族の健康とともに
会社も成長していきたい

仕事や会社の成長の礎は、大切な社員の「健康」であると考えます。社員も仕事に邁進できることも家族の健康と支えがあつてのことです。

大切な社員とその家族が健康経営の実践により生活習慣を再確認し意識の変革に繋げていきます。

会社経営の方針の中に「健康を推進する」という風土を作っていきたいと考えます。

会社も社員と共に成長し続けてまいります。

今後の展望

社会全体の高齢化が進む中、いくつになっても「元気と笑顔」で働ける環境・お店を作っていきたいと思っています。お客様も若者だけに限らず年配の方やご高齢の方も多くご来店いただいています。

対応する社員も若者からご高齢の方が行う「シルバーストア」の実現を目指します。

健康だからこそ高齢な方でも長く働けるお店を作りたいと思います。





本社 社屋

「全社員の健康、笑顔」「地域貢献」「お客様への感謝」
を通し健康経営に取り組んでいきます。

- 代表取締役社長 高橋利光 氏
- 本 社 所 在 地 宮城県宮崎市高岡町下倉永283-5
- 主 な 事 業 内 容 太陽光発電システム・蓄電池 (他)
- 従 業 員 数 13名 (男性:7名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模

健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

当社は比較的、平均年齢が若い従業員が多く、朝食を取らない社員が多くいる事を以前より気にかけておりました。アクサ生命の担当者の方から健康経営についての提案を頂き「まずは現状を把握する事から始めませんか？」からサポートを開始して頂きました。生活習慣Webアンケートを実施し「飲み物・食生活・運動・睡眠」など7項目についての調査を開始し当社が具体的にに取り組むべき内容についてアドバイスを頂き取り組みを開始しました。

健康経営実践の取り組み

朝礼の時に全社員でラジオ体操を行っており、心身をリフレッシュする事から1日をスタート致します。また毎週月曜日の早朝会議の時には全社員にバナナを準備し栄養補給として配布をしております。従業員の栄養補給、体調管理の一環として栄養のバランスを考えた日替わりランチを準備し週に2～3回の手作りの食事を作っています。社員には大変好評であり継続して取り組んでおります。

健康経営優良法人認定による地域への安心

優良法人認定の取得により当社の企業イメージアップに繋がった事を実感しております。また社員の健康こそが顧客満足度アップにも繋がり更に品質が向上すると思います。顧客へのサービス向上、安心感、満足度アップで当社を選択して本当に良かったと思って頂ける様に努めて参ります。企業にとっても社員にとっても健康である事こそがとても大切であり地域社会に対する貢献を今後も展開するうえで継続し取り組んで行きたいと思っております。

今後の展望

優良法人認定を受け、従業員一人一人の健康に気遣いそれぞれ声掛けをし、全員がこのコロナ禍を乗り切ると共に生き生きと仕事ができる環境作りを目指しております。2年連続の健康経営優良認定法人の取得に向け、更に取り組みにも工夫を取り入れて進めていきます。様々な関連企業の方々とも情報を共有させて頂きながら、そして健康経営アドバイザーの力も借り次年度はブライツ500認定を目指したいと思っております。

大切な社員とその家族の健康とともに 会社も成長していきたい

健康管理の一環としてベジタブルチェック器具をお借りし、従業員の野菜不足チェックをしております。常に皆でどう解決していくか話し合いをし、社員一人一人が常に健康を気にする様に努力をしています。健康になれば自然と笑顔が増えて来ているのを実感しており、またそれが日々の活力となり仕事にも良い成果が現れている事を実感しております。社員の健康と共に会社も成長していく事こそが健康経営の根源であると実感しております。



栄養管理を考えた専務手作りランチ

株式会社クリーン・アクア・ビバレッジ

代表取締役社長
米元正巳氏

【人材を育て、そして会社も成長する仕組みこそ健康経営】

- 代表取締役社長 米元正巳氏
- 本 社 所 在 地 宮崎県小林市細野1750
- 主 な 事 業 内 容 清涼飲料製造業
- 従 業 員 数 29名(男性:25名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

勤務には夜勤がある為、従業員の健康が心配だった。

製造業は、稼働率をいかに高めるかが重要な産業である。その為、従業員についても交代制による24時間の勤務体制となっております。深夜勤務があると、当然ながら生活は不規則になりがちであり、従業員の健康面に負担をかける心配があった為以前から従業員の健康に関する心配を抱えておりました。

勤務間インターバルや、時間単位有給休暇制度で、休み方を改革

創業から10年を経過し、経営状況も安定してきた。また世間的には働き方改革が叫ばれ、労働状況の改善が必須となってきた。これを機に、以前より気にしていた従業員の健康面について取り組みを強化することにした。まず取り組んだのが、休みやすい環境の整備だった。勤務間インターバル制度を設け、交代勤務でもしっかりと休息をとれるようシフト管理を行うようにした。また有給休暇も時間単位で取得できるようにし、フレキシブルに休みをとれるようにした。

健康診断とインフルエンザの予防接種は、創業当初から会社負担かつ就業時間内で実施

健康診断とインフルエンザの予防接種については、創業当初より全員へ実施し、その費用は全額会社で負担してきた。また仕事の生産性を上げるには、しっかりと休息をとることが重要だと考えており、健康診断や予防接種についても就業時間内に実施することで、従業員の休息時間を奪わないように心掛けてきた。

人財を育てる会社である為に

製造業はモノを売っているのではなく、ヒトを売っている。と私は考えている。実際に販売しているのは商品、つまりモノだが、商品を作り付加価値を与えているのは他ならない人財だからだ。この人財を育てる上で、健康経営は有用な取り組みだと考えている。

将来の展望

健康経営を通して、より社員の健康意識を高め、大切な従業員が少しでも長く働ける職場づくりを更に整備していきたいと考えます。会社として社員教育の一環として人材育成の教育の機会を設けていきます。そして社員とともに会社も長く存続できるよう成長を続けていきたい。



当社商品「清涼飲料水」

代表取締役社長
百井貴史 氏「顧客第一、社員あつての会社」を実現するために
健康経営に取り組む

- 代表取締役社長 百井貴史 氏
- 本 社 所 在 地 宮崎県都城市中原町39-5
- 主 な 事 業 内 容 各種機械及び工具の販売
- 従 業 員 数 12名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

当社は昭和34年に創業、常に変化し続ける時代と向き合いお客様の繁栄をサポートして参りました。そして更なるサービス向上のため社員の日々の努力、健康の維持、仕事に対する意欲をさらに拡充させたいという思いがありました。そこで、アクサ生命の担当者から健康経営の説明を聞き、当社も取り組む必要性を感じました。まずは現状を把握する事から始め健康習慣Webアンケートを実施致しました。

健康経営実践の取り組み

- ・運動不足解消のため朝礼後の体操みんなでの健康チェック
- ・有給休暇の取得推進
- ・健康診断100%実施
- ・健康習慣Webアンケートの定期的な実施

健康経営の効果

朝礼後の体操による心身リフレッシュ効果と社員同士のコミュニケーションが取れるようになり朝から社長、役員、みんなで笑ったり意見交換を今まで以上にとれるようになった。体調管理、個人毎のチェックをしっかり行うことで、交通事故の未然防止にも役立っています。健康習慣Webアンケートはこれからの課題を見つけるいい機会になっております。

今後の展望

これからも健康経営を実践し、お客様の繁栄をサポートする役割を果たし、社員自らの努力を積み重ねて、弊社の社員の豊かさと幸せを追求します。国内・海外メーカー問わず、専門知識・ノウハウ・行動力・最適なソリューションを惜しみなくお客様へ提案し導入から稼働、アフターサービスまで、しっかりと百井鋼機はサポートいたします。

社員の健康なくして会社の飛躍はない

健康経営を実践することによって社員の健康増進だけではなく、社員一人一人に関わる人々の健康にも繋がります。その方々のおかげで今日まで会社を経営することができています。感謝を忘れずコツコツ全員で更なる飛躍をしたいと願っております。



www.axa.co.jp



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 03-6737-7777 (代表)

www.axa.co.jp/

Form No.0X0535(1.0) AXA-A2-2110-0415/C0T 2021.12.01